

**NETIMPRESS** air

**CAN Flash Programmer & Logger**

**操作マニュアル**

**(ロガー編)**

**改訂履歴**

版	発行日付	変更内容
第1版	2015.04.13	新規発行
第2版	2017.02.06	シナリオ機能追加

## &lt; ご注意 &gt;

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について、ご不審な点やお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 本製品を運用した結果の内容の影響については、(3)項にかかわらず、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本書に記載されている会社名・製品名は、各社の登録商標、または商標です。

## はじめに

「NETIMPRESS air 操作マニュアル(ロガー編)」(以下、本マニュアル)は、以下について示したドキュメントです。

- ・ 各種設定及び操作方法
- ・ ソフトウェアのインストール手順と使用方法
- ・ 使用する際の注意事項

NETIMPRESS air シリーズ (以下、本機もしくは air) 製品で、ロガー環境を構築し、ロギングを実行する際にお読みください。

また、本マニュアルで使用している画面は、Windows 7 環境で作成しています。他の環境をお使いの場合、表示や操作手順が異なる場合があります。



本マニュアルにおける「ロギング」とは、ターゲットシステムの CAN 通信のモニタのことをさしています。

## アイコンについて

本ガイドで使用しているアイコンには、以下の意味があります。



特に重要な情報を記載しています。操作する際は十分に注意してください。



操作を進める上で役に立つ情報やアドバイスなどの補足事項を記載しています。



本マニュアルのほかのページやほかのマニュアルなどの参照情報を記載しています。

## 用語一覧

用語	説明
ロガーライセンス	本機をロガーとして使用する際に必要なライセンスです。
ロガーファーム	本機をロギング動作させるために必要なファームウェアです。
本体ファーム	本機のファームウェアです。
ストレージモード	本機をスタンドアロンでロガー動作させる際の呼称です。
モニタモード	本機を AZ992(NETIMPRESS air Logger)からロガー動作させる際の呼称です。
ロギング設定	本機をロガー動作させる際の条件です。
ロギング設定ファイル	ロギング設定を記録したファイルです。
ログファイル	本機でロギングした CAN メッセージを記録したファイルです。CSV 形式で記録されます。
ビューフィルタ	AZ992 上で実行可能な、ログデータのフィルタ処理です。
シナリオ/ シナリオファイル	任意の CAN メッセージを指定し、記述した情報の先頭から送受信を実行する機能です。CSV 形式で編集が可能です。

# 目次

改訂履歴 .....	1
はじめに .....	2
アイコンについて .....	2
用語一覧 .....	3
目次 .....	4
1. 概要・特長 .....	9
1.1. NETIMPRESS air シリーズの概要 .....	9
1.2. 通信環境 .....	10
1.3. ログイン開始までの流れ .....	10
2. ハードウェア、ソフトウェアの確認(標準的な構成) .....	11
2.1. ハードウェア .....	11
2.2. ソフトウェア .....	12
2.2.1. ソフトウェアの使用環境 .....	13
3. ソフトウェアのセットアップ .....	14
3.1. ソフトウェアのインストール .....	14
3.1.1. AZ992(NETIMPRESS air Logger)のインストール手順 .....	15
3.2. USB 接続設定 .....	22
3.2.1. PC との接続 (AZ992: NETIMPRESS air Logger 設定) .....	22
3.2.2. USB 接続時にエラーが発生した場合の確認事項 .....	26
3.3. Wireless LAN 接続設定 .....	27
3.3.1. 接続環境と設定の確認 .....	27
3.3.2. Wireless LAN の設定を行う .....	28
3.3.3. PC との接続 (AZ992: NETIMPRESS air Logger 設定) .....	31
3.3.4. Wireless LAN 接続時にエラーが発生した場合の確認事項 .....	35
4. ログイン環境のセットアップ .....	36
4.1. ロガーライセンスの追加 .....	36
4.1.1. 本機へのロガーライセンス追加手順 .....	36
4.2. ロガーファームの書き込み .....	39
4.2.1. 本機へのロガーファーム書き込み .....	39
4.3. ログイン設定 .....	41
4.4. ターゲットシステムとの接続 .....	45
4.4.1. ターゲットプローブを使用して接続する場合 .....	45
5. ログイン実行 .....	46

6. AZ992(NETIMPRESS AIR LOGGER)を使用する .....	47
6.1. 画面説明 .....	48
6.1.1. 共通画面 .....	48
6.1.2. File(F)メニュー .....	50
6.1.3. Logger(L)メニュー .....	54
6.1.4. Maintenance(M)メニュー .....	55
6.1.5. View(V)メニュー .....	56
6.1.6. Search(S)メニュー .....	57
6.1.7. Window(W)メニュー .....	58
6.1.8. Help(H)メニュー .....	59
6.1.9. Open Log File 画面 .....	60
6.1.10. Upload Log File 画面 .....	61
6.1.11. Purge Log File 画面 .....	62
6.1.12. Load Configuration File 画面 .....	63
6.1.13. Save Configuration File 画面 .....	64
6.1.14. Purge Configuration File 画面 .....	65
6.1.15. Transfer to air 画面 .....	66
6.1.16. Connection Configuration 画面 .....	67
6.1.17. Logging Configuration 画面 .....	68
6.1.18. Select Current Configuration File 画面 .....	69
6.1.19. Select Current Scenario File 画面 .....	70
6.1.20. Read Logger License 画面 .....	71
6.1.21. View Filter 画面 .....	72
6.1.22. Search 画面 .....	73
6.1.23. Version 画面 .....	74
6.2. 操作方法 .....	75
6.2.1. 本機との接続設定 .....	75
6.2.2. 本機と接続 .....	77
6.2.3. 本機から切断 .....	78
6.2.4. ロガーライセンス追加 .....	79
6.2.5. PC 上のログファイルを読み込み .....	80
6.2.6. 専用 SD カード内のログファイルを読み込み .....	81
6.2.7. ログデータを PC 上に保存 .....	82
6.2.8. 専用 SD カード内のログファイルを PC 上にアップロード .....	83
6.2.9. 専用 SD カード内のログファイルを削除 .....	84
6.2.10. 専用 SD カード内のログファイルをすべて削除 .....	85

6.2.11. PC 上のロギング設定ファイルを読み込み.....	86
6.2.12. 専用 SD カード内のロギング設定ファイルを読み込み.....	87
6.2.13. AZ992 のロギング設定を PC 上に保存.....	88
6.2.14. AZ992 のロギング設定を専用 SD カード内に保存.....	89
6.2.15. 専用 SD カード内のロギング設定ファイルを削除.....	90
6.2.16. PC 上のファイルを専用 SD カードにコピーする.....	91
6.2.17. モニタモードでのロギングを開始.....	92
6.2.18. モニタモードでのロギングを終了.....	93
6.2.19. ワンショット送信.....	94
6.2.20. ロギング設定.....	96
6.2.21. 本機のカレントロギング設定ファイルを選択.....	110
6.2.22. 本機のカレントシナリオファイルを選択.....	111
6.2.23. ログライセンスの読み出し.....	112
6.2.24. ログライセンスのテキスト保存.....	113
6.2.25. ログファームのアップデート.....	115
6.2.26. 本体ファームのアップデート.....	117
6.2.27. ビューフィルタの設定.....	119
6.2.28. ビューフィルタの読み込み.....	121
6.2.29. ビューフィルタの保存.....	122
6.2.30. ビューフィルタの有効/無効切り替え.....	123
6.2.31. ログデータの検索.....	124
6.2.32. 次のログデータを検索.....	127
6.2.33. 前のログデータを検索.....	128
6.2.34. ウィンドウの整列.....	129
6.2.35. バージョン情報の表示.....	130
6.2.36. Web ページの表示.....	131
6.2.37. AZ992 の終了.....	131
7. スタンドアロンで使用する.....	132
7.1. 操作.....	133
7.2. 画面説明.....	134
7.2.1. ログ実行不可の表示.....	135
7.2.2. ログ設定ファイルが選択されている場合の表示.....	136
7.2.3. ログ設定ファイルが選択されていない場合の表示.....	137
7.2.4. AZ992 と接続して操作中の表示.....	138
7.3. ロギングを実行する.....	139
7.3.1. 手順 1~3 : ログ設定ファイルの準備.....	140

7.3.2. 手順 4 : ログ設定ファイルを選択する .....	142
7.3.3. 手順 5:ロギングを実行する(開始待ち) .....	143
7.3.4. 手順 6:ロギングを終了する(終了待ち) .....	146
7.3.5. 手順 7~8 : ログデータを確認する .....	147
7.4. MENU 操作を行う .....	148
7.4.1. MENU 項目選択 .....	148
7.4.2. ロギング設定ファイルを選択する .....	151
7.4.3. シナリオファイルを選択する .....	152
7.4.4. ロギング設定ファイルを削除する .....	154
7.4.5. ログファイルを消去する .....	156
7.4.6. ライセンスを追加する .....	158
7.4.7. 登録されているライセンス情報を確認する .....	159
7.4.8. システムバージョンを確認する .....	161
7.4.9. 専用 SD カード/本体のシリアル番号を表示する .....	162
7.4.10. 専用 SD カードの空き容量を確認する .....	164
7.4.11. 専用 SD カードをクイックフォーマットする .....	165
7.4.12. ログ用ファームウェアのアップデートを行う .....	166
7.4.13. PLD のアップデートを行う .....	167
7.4.14. オプションモードを使用する .....	168
7.4.15. Wireless LAN の IP アドレスを設定する .....	169
7.4.16. Wireless LAN の MAC アドレスを確認する .....	171
7.4.17. Wireless LAN の SSID を確認する .....	172
7.4.18. Wireless LAN を ON/OFF 設定を行う .....	173
8. APPENDIX .....	175
8.1. フォルダ及びファイルの構成・仕様 .....	175
8.1.1. CAN_LOG フォルダ .....	177
8.1.2. ログファイル .....	178
8.1.3. シナリオファイル .....	184
8.2. エラーメッセージ一覧 .....	188
8.2.1. 本体 .....	188
8.2.2. AZ992 .....	190





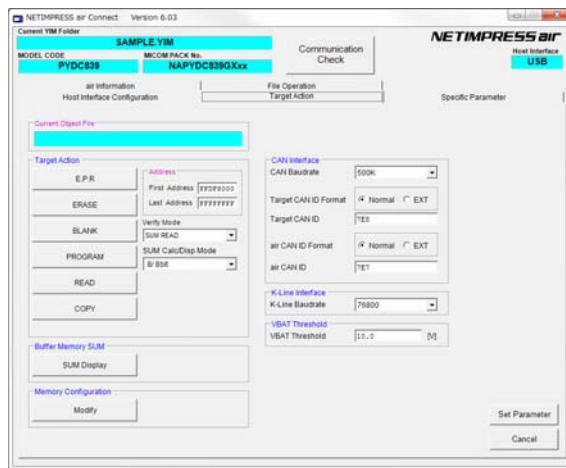
# 1. 概要・特長

この章では、NETIMPRESS air シリーズの製品概要、ロガー環境の構成、および、ロギング開始までに必要な操作の流れについて説明します。

## 1.1. NETIMPRESS air シリーズの概要

NETIMPRESS air は ECU 開発・評価・フィールドサービスでご利用頂けるコンパクトな CAN Flash Programmer& Logger ツールです。USB を標準搭載しているので、PC から USB 経由で制御・実行できるほか、WLAN モデル (/W モデル) は、USB に加えて Wireless LAN を搭載しているため、ワイヤレス環境でも実行・制御することが可能です。

本機は、車載バッテリーからの電源供給(12V)で動作しますので、スタンドアロン環境 (PC レス環境) でもプログラミングやロギングを実行することが可能です。



NETIMPRESS air Connect



NETIMPRESS air

本機に挿入する専用 SD カード内に、各種マイコンのプログラミング用のファームデータ (定義体) を追加することにより、各種デバイス (ECU) に対応することができます。

また、ロガー用ライセンスを追加することにより、SD カード内にロギングデータを保存することもできます。

PC に AZ990(プログラミング専用 PC ソフトウェア)、AZ992 (ロガー用専用 PC ソフトウェア) をインストールすれば、USB や WLAN 経由でプログラミングやロギングに関する実行・制御・条件設定などの操作が可能です。

また、設定条件等は専用 SD カード内に保存されますので、スタンドアロン(PC レス)でもご使用いただけます。

## 1.2. 通信環境

ホスト PC と本機の通信には、USB 及び Wireless LAN を使用します。

USB で使用する時は、専用のドライバが必要です。

Wireless LAN で使用する時は、アクセスポイントまたは Wireless LAN 接続可能なホスト PC が必要です。

## 1.3. ログイン開始までの流れ

製品を購入してから、ログインを開始するまでの基本的な流れを以下に示します。

具体的な設定手順については、それぞれの参照先をご覧ください。



## 2. ハードウェア、ソフトウェアの確認(標準的な構成)

### 2.1. ハードウェア

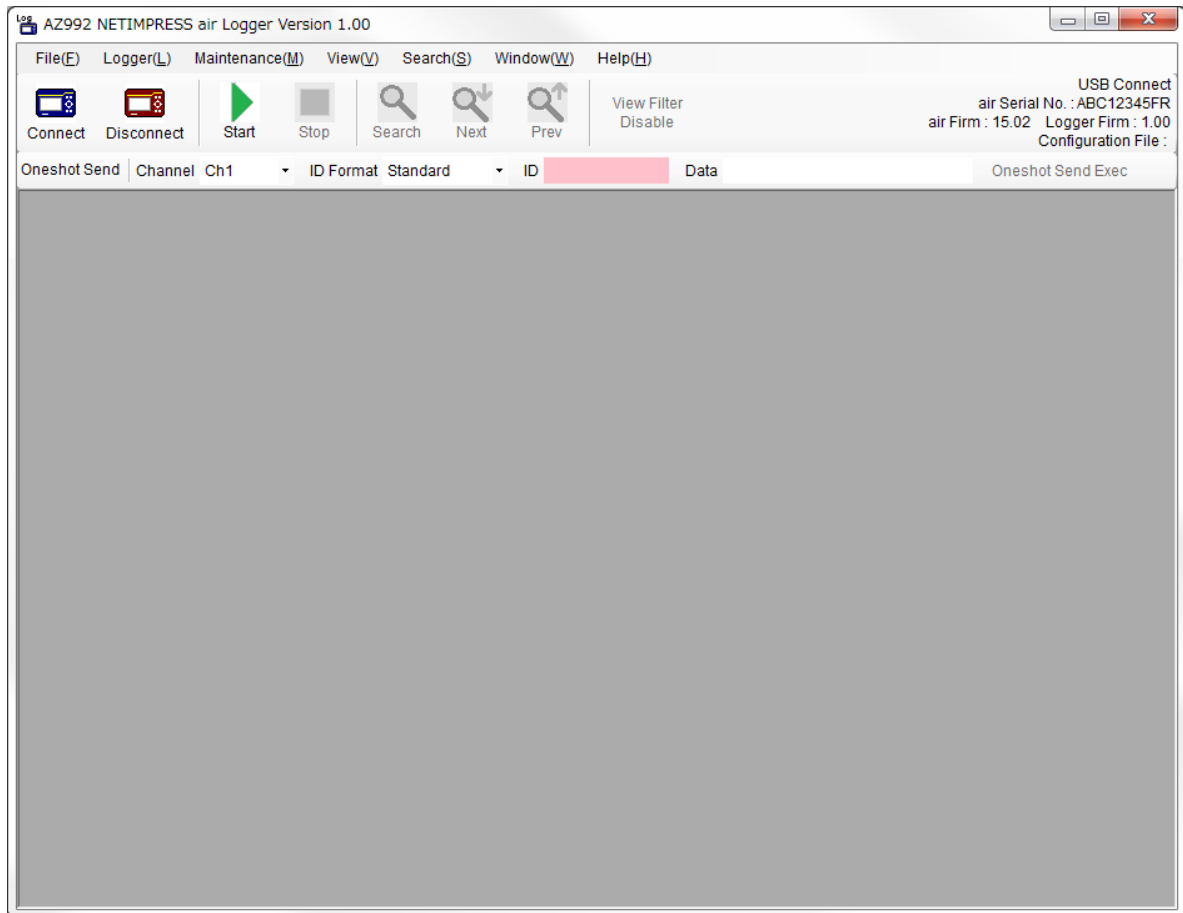
- NETIMPRESS air 本体(型番 AF930 or AF930/W)
- 専用 SD カード(型番 FX900)
- ターゲットプローブ  
お客様のご利用になるターゲットシステム環境により異なります。
- ホスト PC  
Windows 7 (32bit/64bit)
- USB ケーブル  
ホスト PC と直接接続して使用します。



USB を使用する場合は必ず、製品に付属の USB ケーブルを使用してください。

## 2.2. ソフトウェア

- AZ992 (NETIMPRESS air Logger)  
各種ファイルのダウンロード、ロギング設定、ロギングの実行、ロガーライセンス追加、ファームアップデート等をおこなう際に使用します。



## 2.2.1. ソフトウェアの使用環境

OS	Windows7 32bit 版 (Professional) もしくは 64bit 版(Professional) 日本語版、英語版
CPU	1GHz 以上
メモリ	1GByte 以上
モニタ	1024x768 以上
その他	.NET Framework 3.5 を使用 USB2.0 コネクタ(USB 接続時) Wireless LAN 環境(Wireless LAN 接続時)

## 3. ソフトウェアのセットアップ

### 3.1. ソフトウェアのインストール

プログラミング環境の構築にあたり、下記のソフトウェアを使用します。

- AZ992 (NETIMPRESS air Logger)

これらの、本機への各種設定をおこなうソフトウェアは弊社ホームページから提供しています。

下記の URL からダウンロード取得してください。

[https://www.dts-insight.co.jp/support/support\\_netimpress\\_air/?m=Document&item=1](https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air/?m=Document&item=1)



本マニュアルでは、最新版の AZ992 の使用を前提としています。古いバージョンをご使用の場合、画面構成が異なる箇所がありますので、上記リンクから最新版をダウンロード・インストールしてご使用下さい。

ソフトウェアは、自己解凍形式ファイルとなっていますので、ホスト PC 上で解凍の上、インストールを行ってください。ソフトウェアのインストールが完了すると、デフォルトでは、

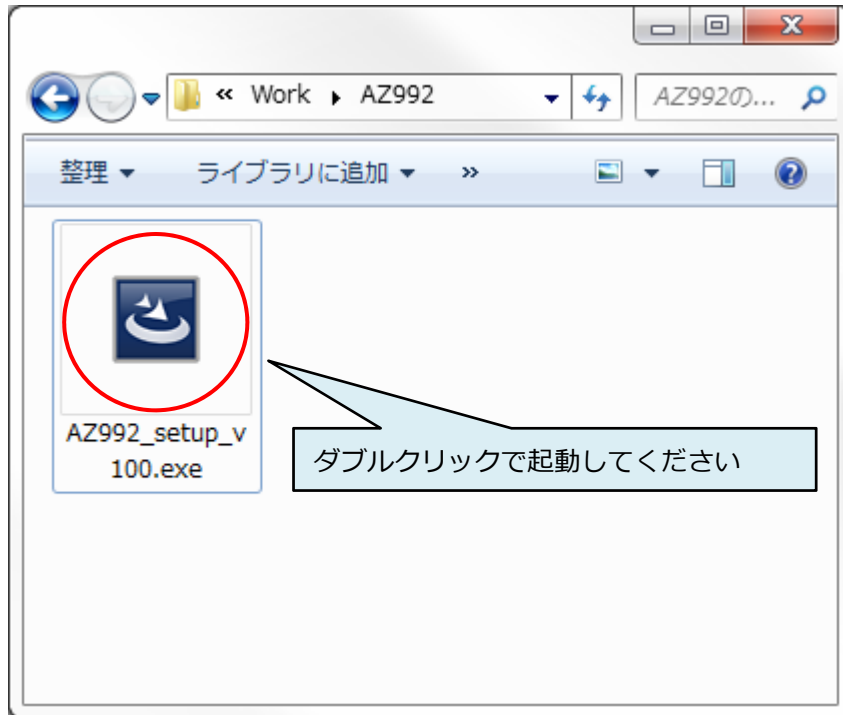
Windows [スタート]メニュー - <すべてのプログラム> - <DTS INSIGHT Tools>

に、アイコンが登録されます。

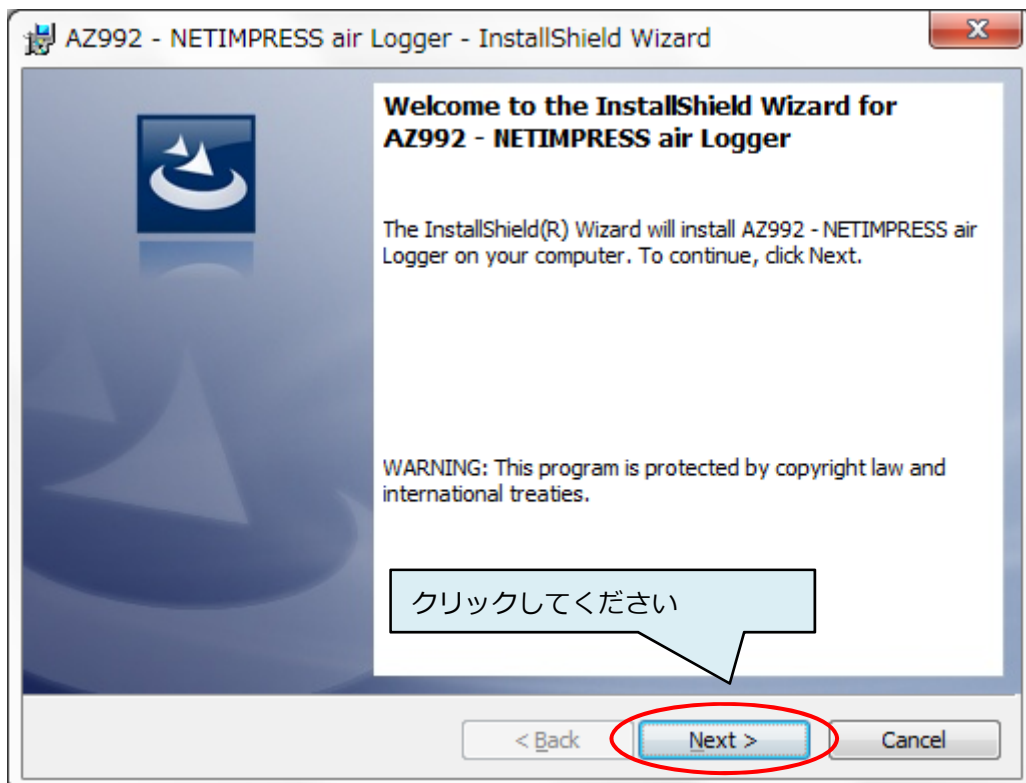
## 3.1.1. AZ992(NETIMPRESS air Logger)のインストール手順

インストールは管理者でログインした状態で行ってください。

(1) AZ992\_setup\_vXXX.exe(XXXの部分はバージョン番号が入ります)を起動して下さい。

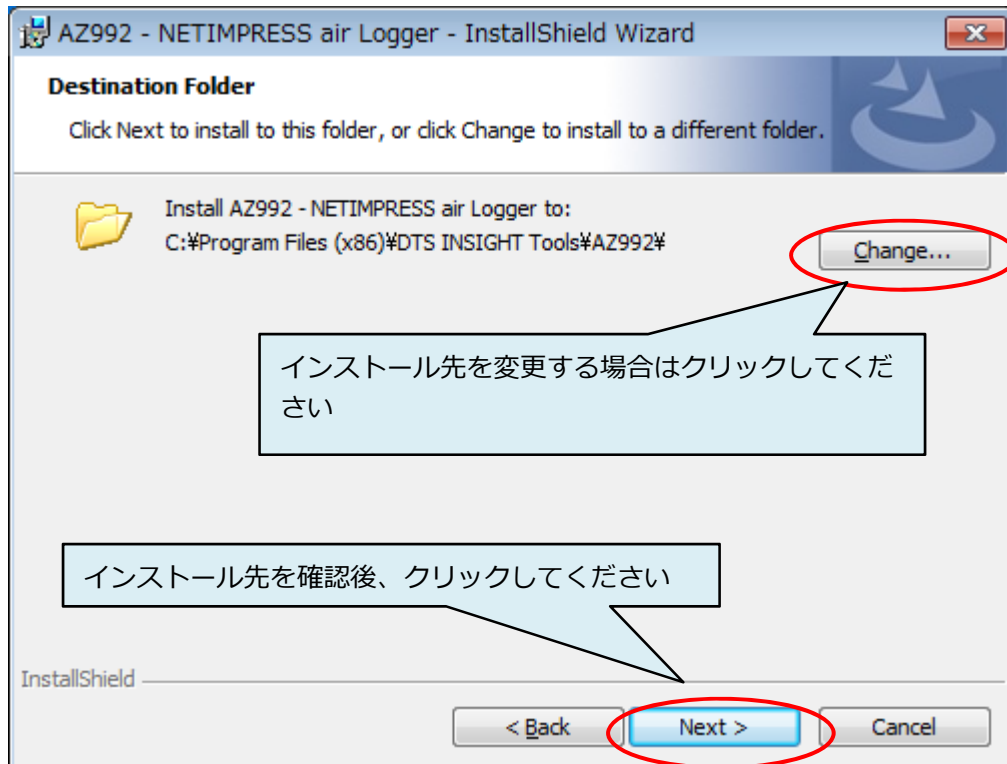


(2) setup.exe が起動すると下記画面が表示されますので“Next”をクリックしてください。

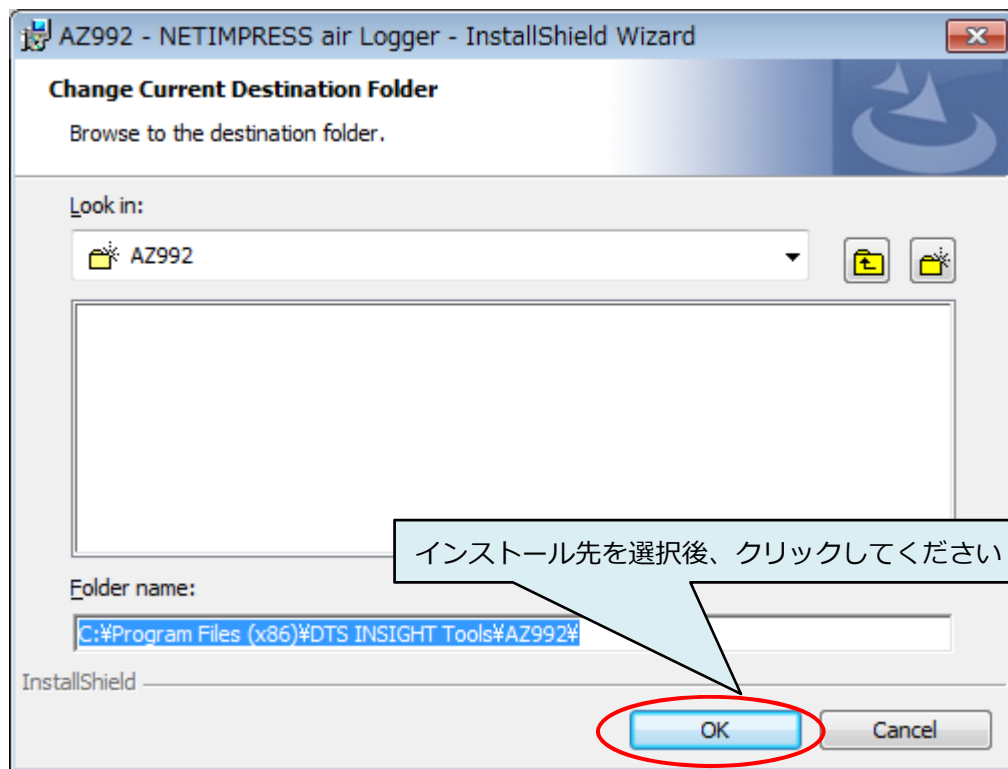




- (3) インストール先を確認し、“Next”をクリックしてください。  
インストール先を変更する場合は“Change”をクリックしてください。

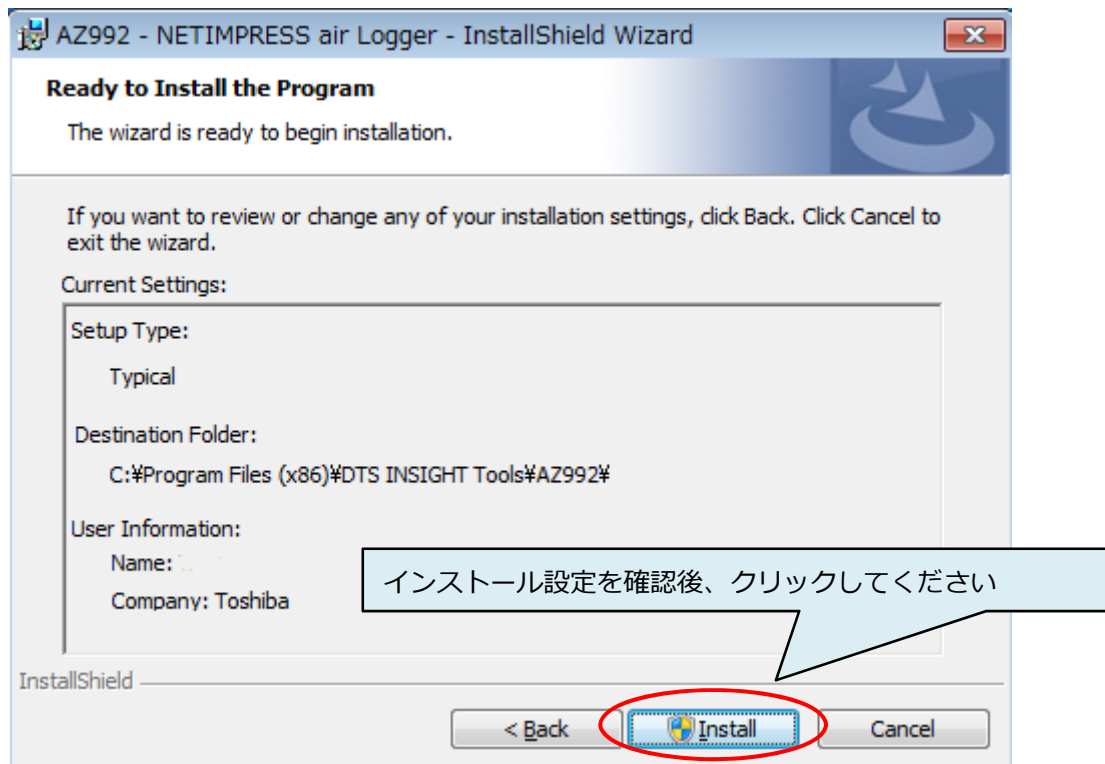


(4) インストール先を選択後“OK”をクリックしてください。(インストール先を変更する場合)

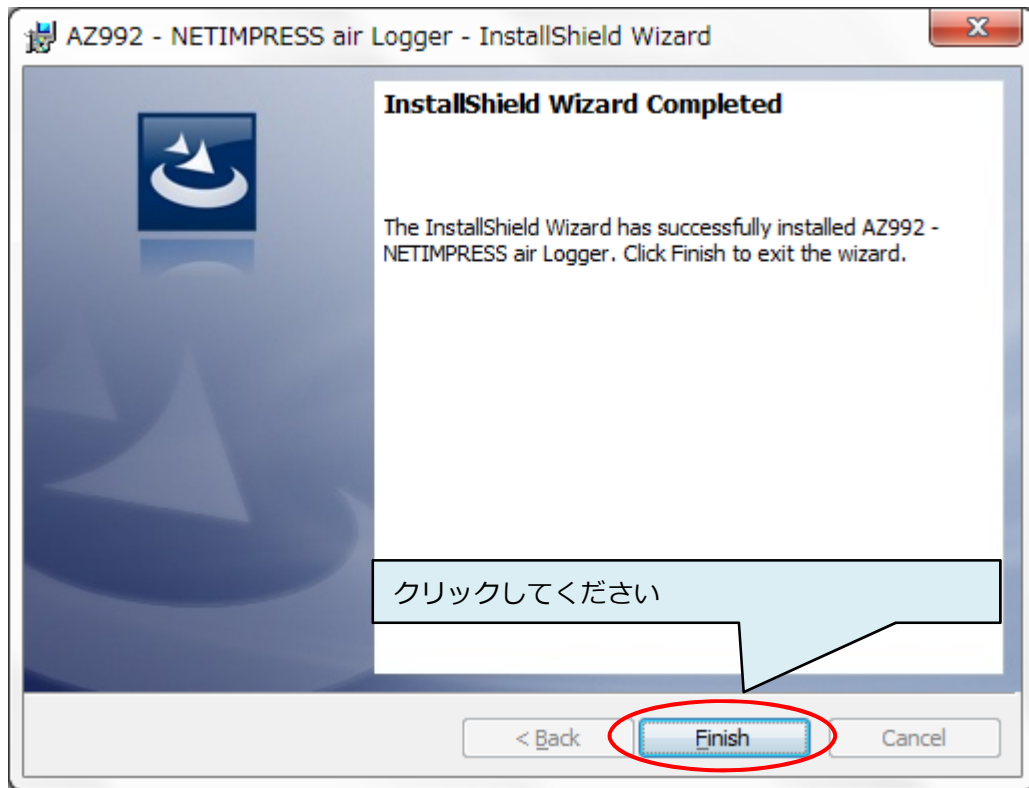


(5) インストール設定を確認し、“Install”をクリックしてください。

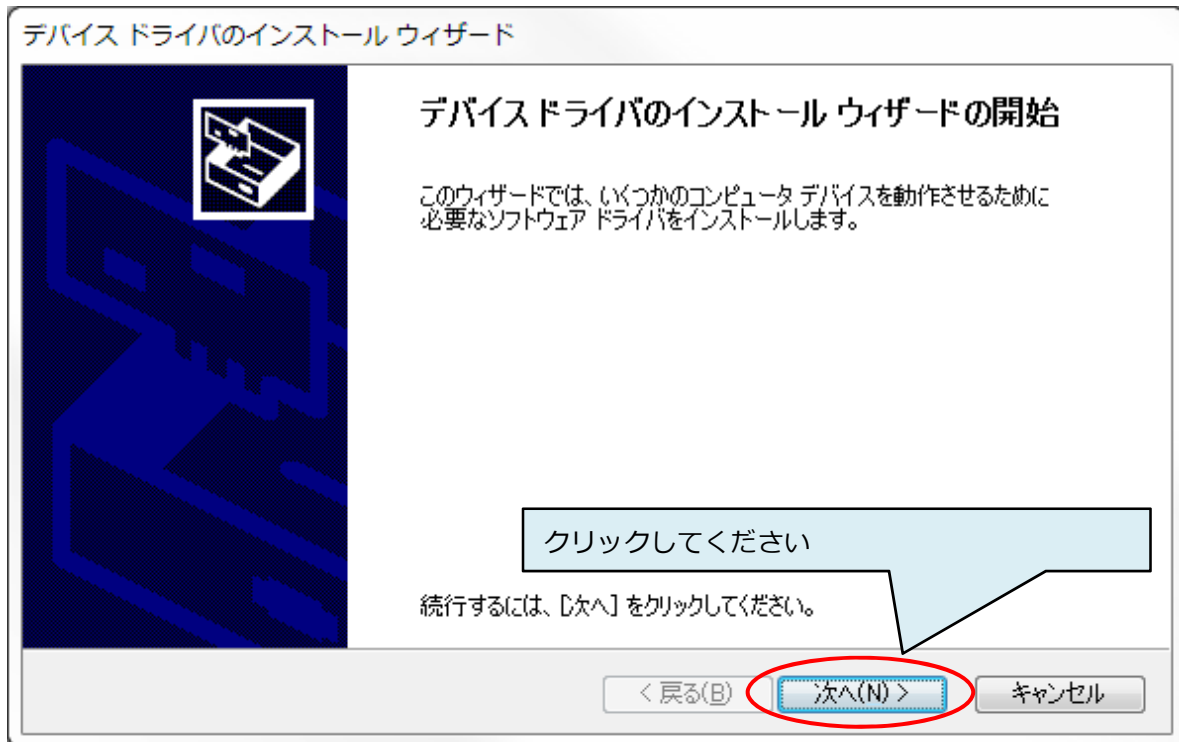
インストール中にユーザアカウント制御画面が表示された場合は、“はい”をクリックしてください。



- (6) 以下の画面が表示されれば、AZ992(NETIMPRESS air Logger)のインストールは完了です。  
“Finish”をクリックすると、引き続き USB ドライバのインストールが開始されます。  
インストール中にユーザアカウント制御画面が表示された場合は、“はい”をクリックしてください。



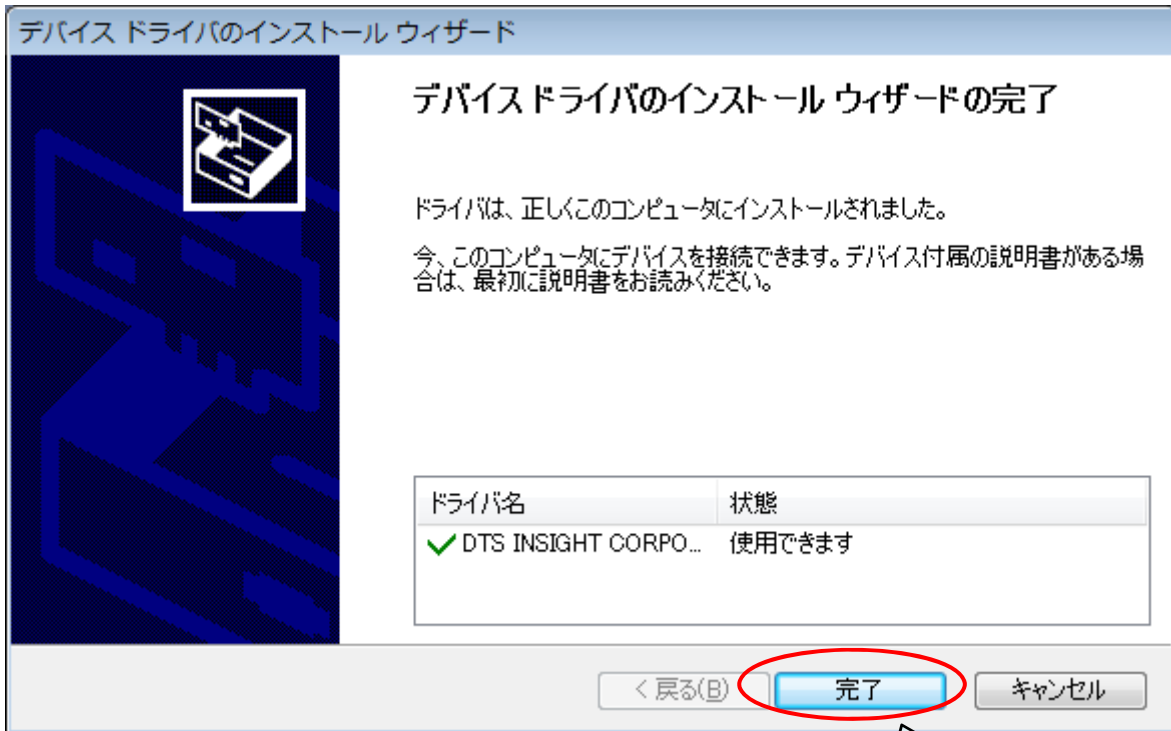
(7) “次へ”をクリックしてください。



(8) “インストール”をクリックしてください。



- (9) 以下の画面が表示されれば、USB ドライバのインストールは完了です。  
“完了”をクリックしてください。



クリックしてください

## 3.2. USB 接続設定

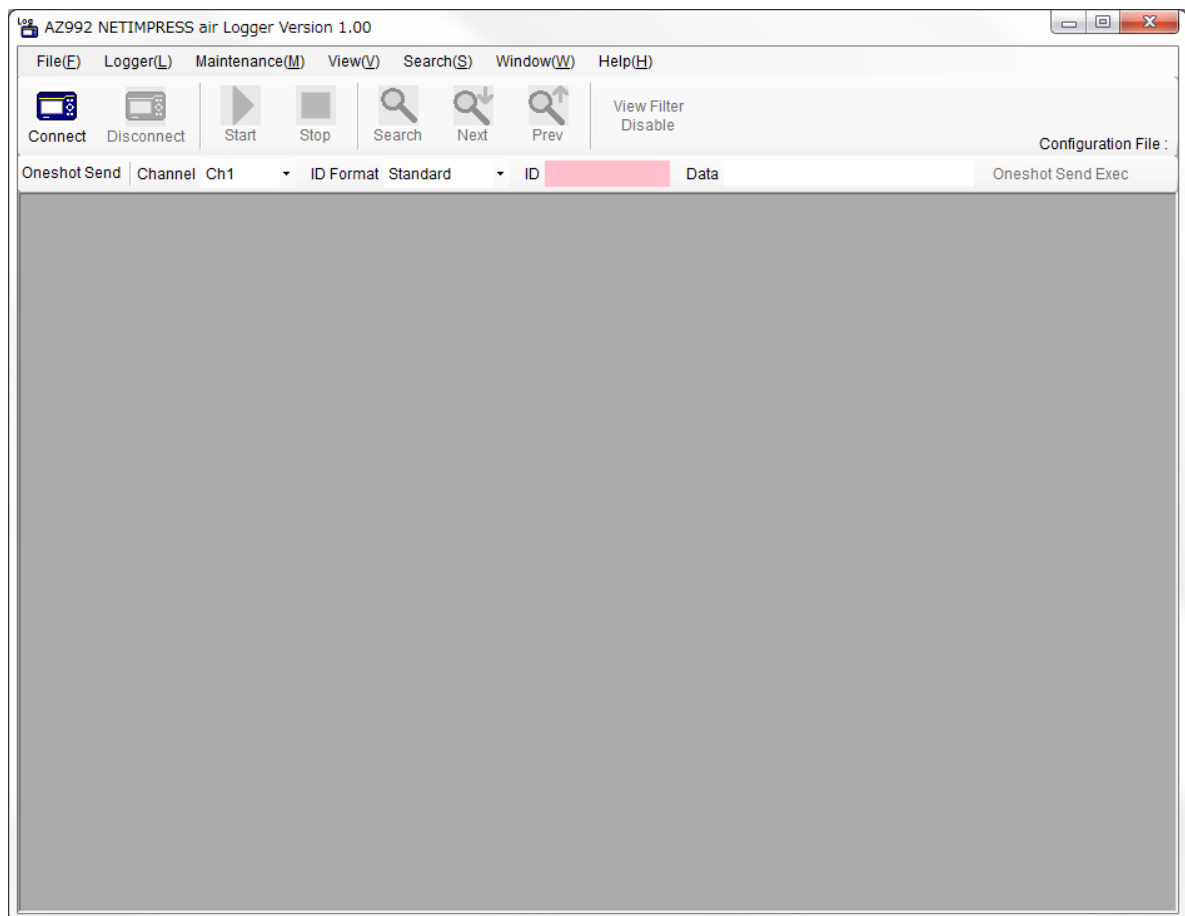
### 3.2.1. PC との接続 (AZ992: NETIMPRESS air Logger 設定)

本機を AZ992(NETIMPRESS air Logger)から制御する環境を設定します。

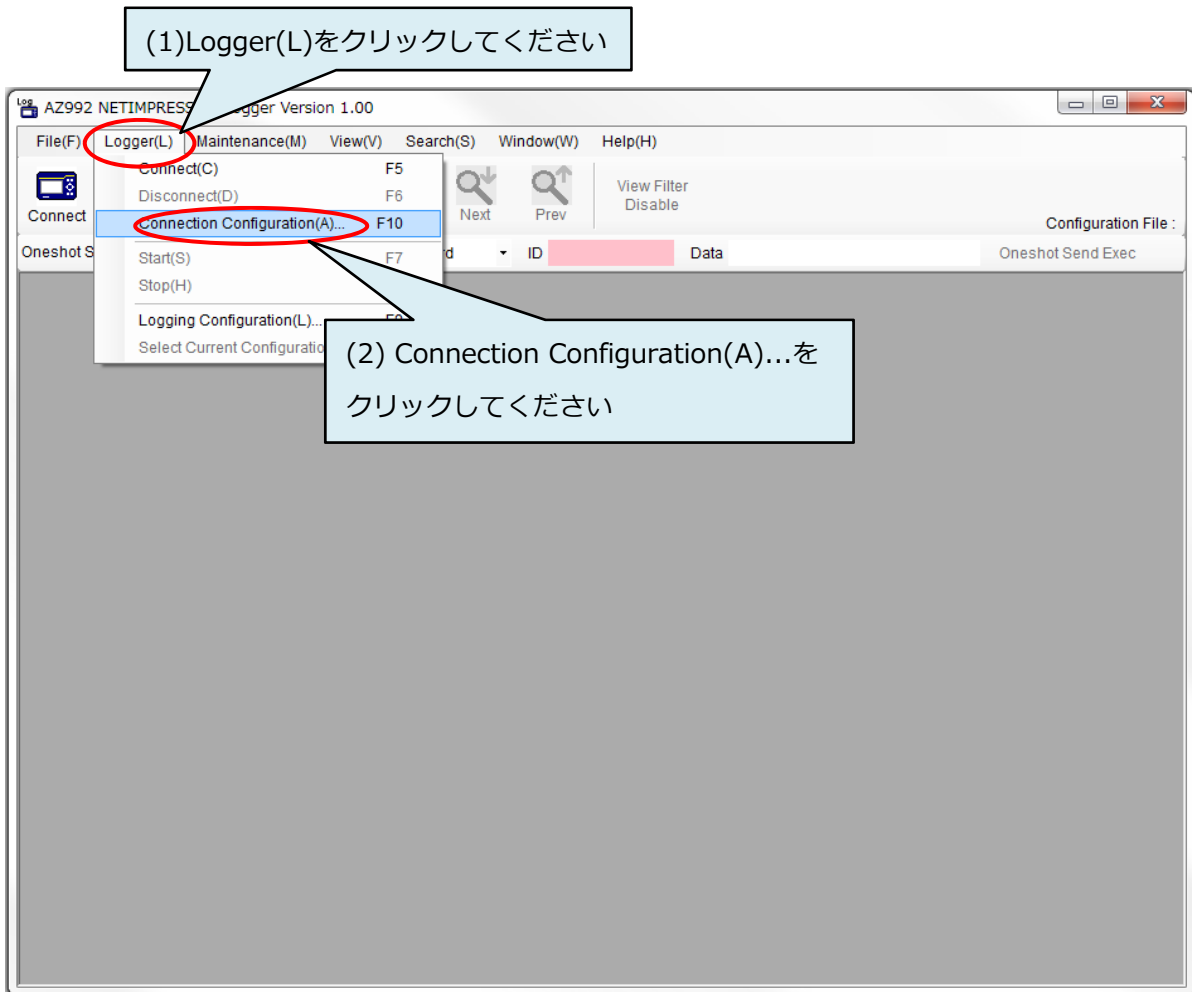
- (1) 本機に専用 SD カードを挿入してください。
- (2) 本機とホスト PC を USB で接続してください。
- (3) ホスト PC で、AZ992(NETIMPRESS air Logger)を起動します。

Windows [スタート]メニュー - <すべてのプログラム> - <DTS INSIGHT Tools> - <AZ992>

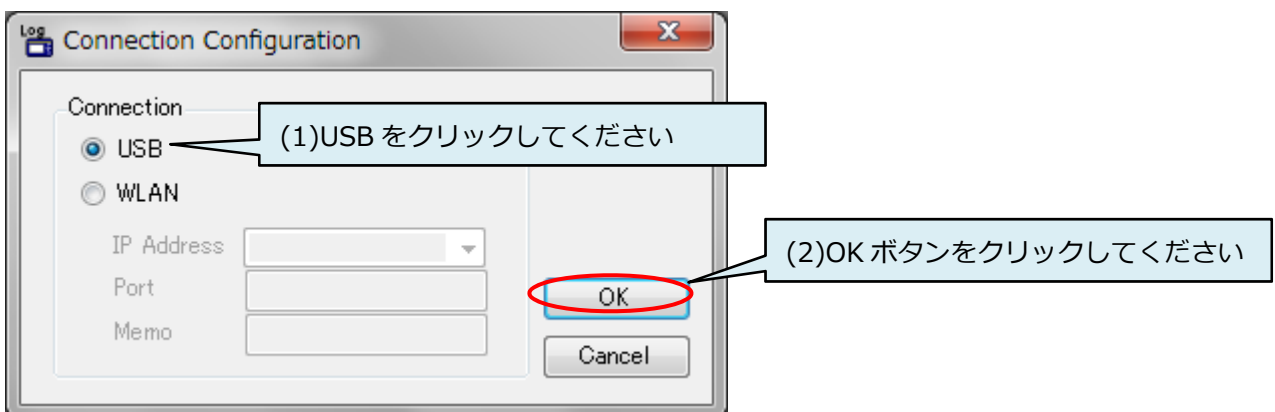
<起動画面>



(4) Logger(L)メニューを選択し、“Connection Configuration(A)”をクリックしてください。

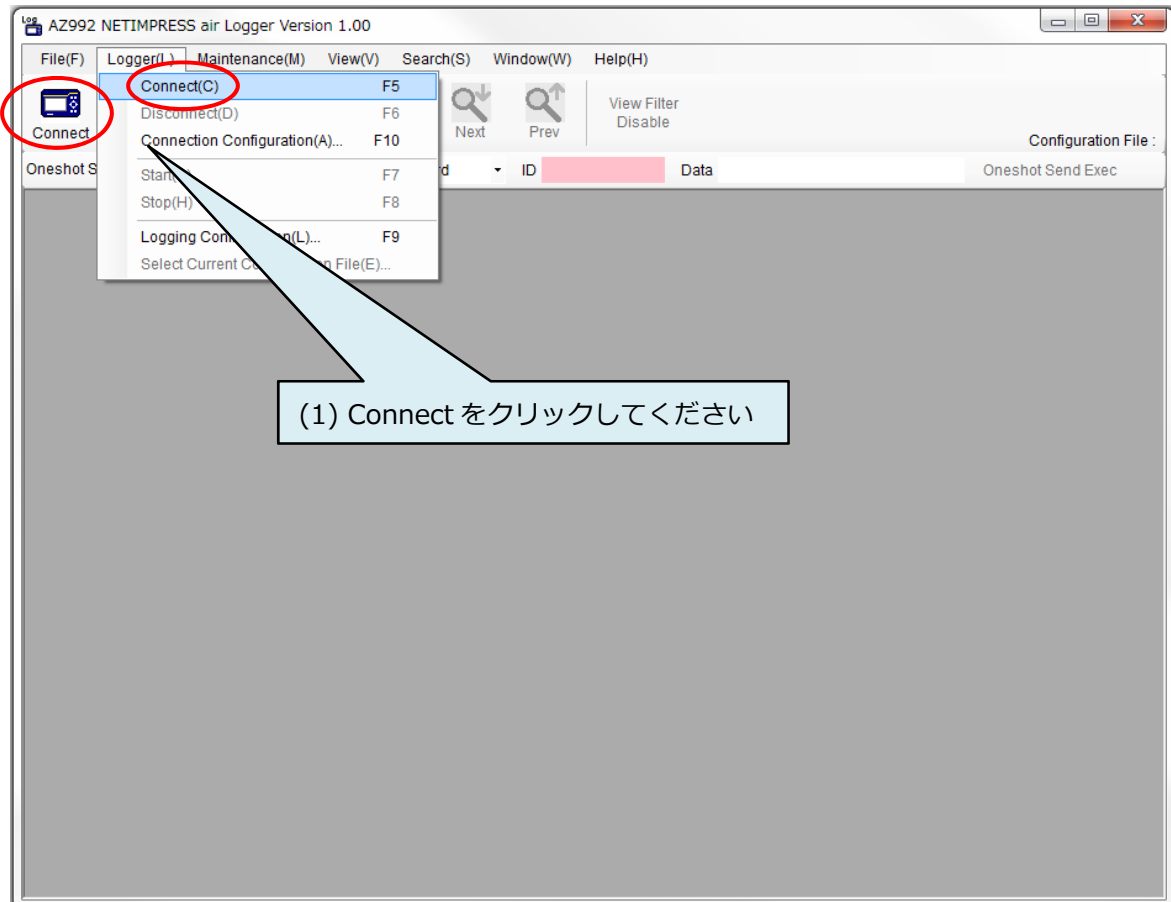


(5) Connection Configuration 画面で“USB”をクリックし、OK ボタンを押してください。

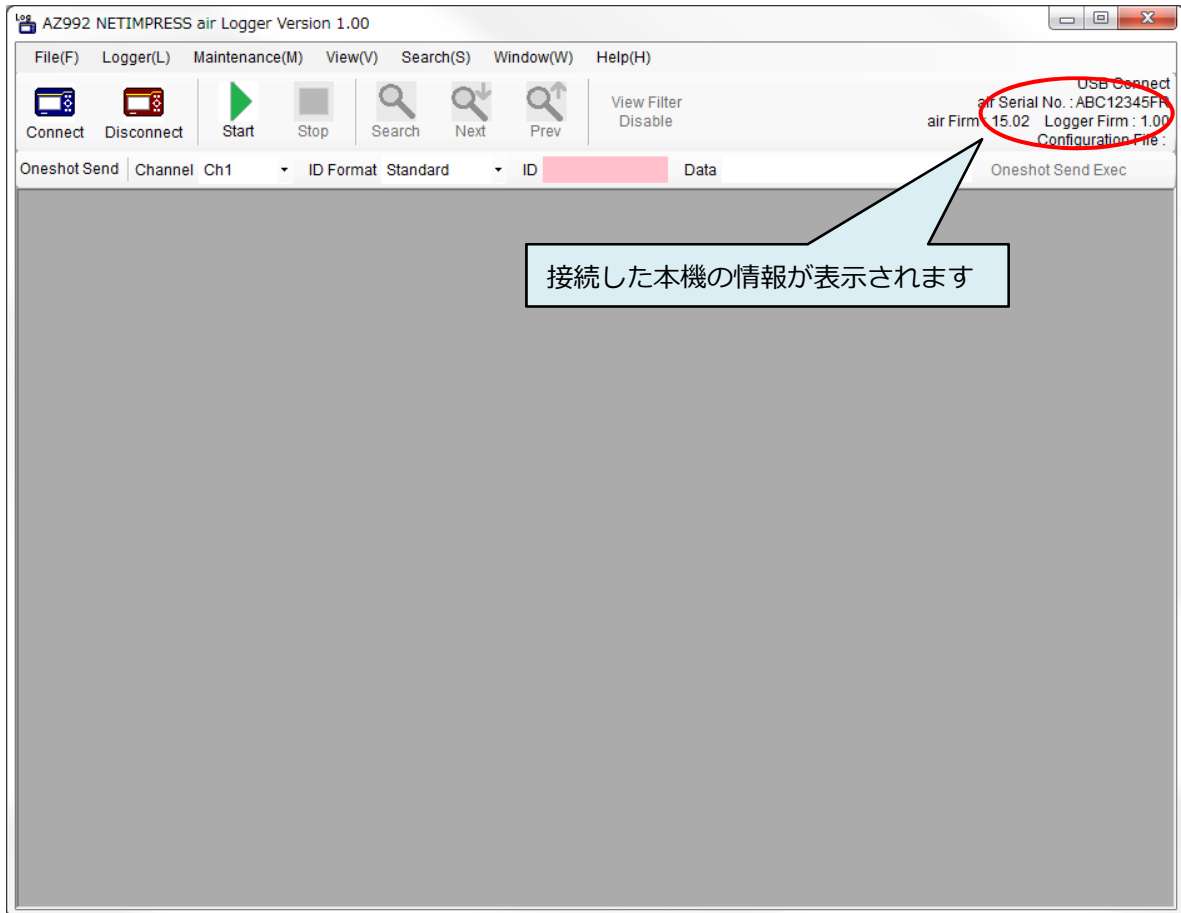




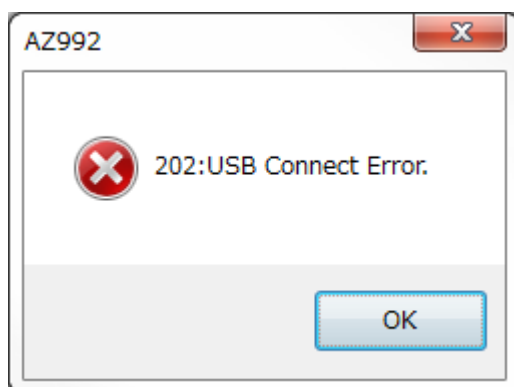
(6) Connect ボタンを押すか、Logger(L)メニューから Connect(C)を選択してください。(どちらでもよい)



- (7) ホスト PC と本機の USB 通信が確立されると、以下の画面が表示されます。  
以降、ホスト PC から本機への制御が可能になります。



- !** 通信エラーにより、下記のダイアログウィンドウが表示された場合、ホスト PC と本機の接続が完了していません。接続の状態や設定を再度ご確認ください。



## 3.2.2. USB 接続時にエラーが発生した場合の確認事項

<p>USB が接続されていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホスト PC、および、本機のコネクタに USB ケーブルが間違いなく接続されている事を確認してください。 USB ハブを使用している場合は、ハブがホスト PC と接続されていることも確認してください。</li> </ul>
<p>ドライバが正常にインストールされていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホスト PC に本機の USB ドライバが正常にインストールされているか確認してください。  ホスト PC と本機を USB ケーブルで接続後、ホスト PC で[コントロールパネル]-[システム]-[デバイス マネージャー]を開き、[ユニバーサル シリアル バス コントローラー]  内に、“ProgrammerUSB”という項目が存在することを確認してください。</li> </ul>

## 3.3. Wireless LAN 接続設定

### 3.3.1. 接続環境と設定の確認

本機は、インフラストラクチャモード、アドホックモードの2通りの接続モードに対応しています。

インフラストラクチャモードで本機と接続する場合は、Wireless LAN アクセスポイントの用意と設定が必要になります。

アドホックモードで本機と接続する場合は、ホスト PC 側に Wireless LAN が接続できる環境が必要になります。

本機で設定可能な Wireless LAN 設定は以下の通りとなります。

通信方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インフラストラクチャ [初期値]</li> <li>● アドホック</li> </ul>
SSID	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 任意の文字列(1~32文字)を指定します。</li> <li>● netimpress [初期値]</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● なし [初期値]</li> <li>● WEP64</li> <li>● WEP128</li> <li>● WPA-PSK(TKIP)</li> <li>● WPA2-PSK(AES)</li> </ul>
WEP キー	<ul style="list-style-type: none"> <li>● WEP64 選択時は 5 文字の英数字を指定</li> <li>● WEP128 選択時は 13 文字の英数字を指定</li> </ul>
WPA / WPA2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 任意の文字列(8~63文字)を指定します。</li> <li>● WPA-PSK, WPA2-PSK を選択時に有効になります。</li> </ul>

### 3.3.2. Wireless LAN の設定を行う

下記手順に従い、本機への Wireless LAN 設定を行ってください。

なお、Wireless LAN 設定を行う場合、AZ990(NETIMPRESS air Connect)が必要です。



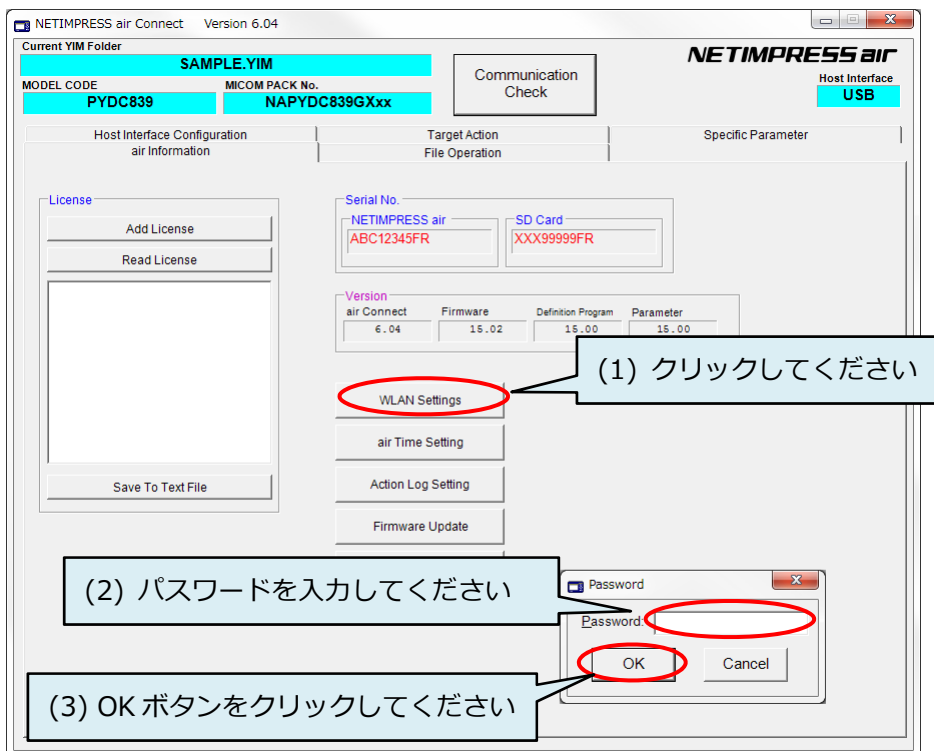
NETIMPRESS air は、DHCP には対応していません。固定 IP アドレスを割り当ててご使用ください。

- (1) 本機に専用 SD カードを挿入してください。
- (2) 本機とホスト PC を USB で接続してください。
- (3) ホスト PC で、AZ990(NETIMPRESS air Connect)を起動します。

Windows [スタート]メニュー - <すべてのプログラム> - <DTS INSIGHT Tools> - <NETIMPRESS air Connect>

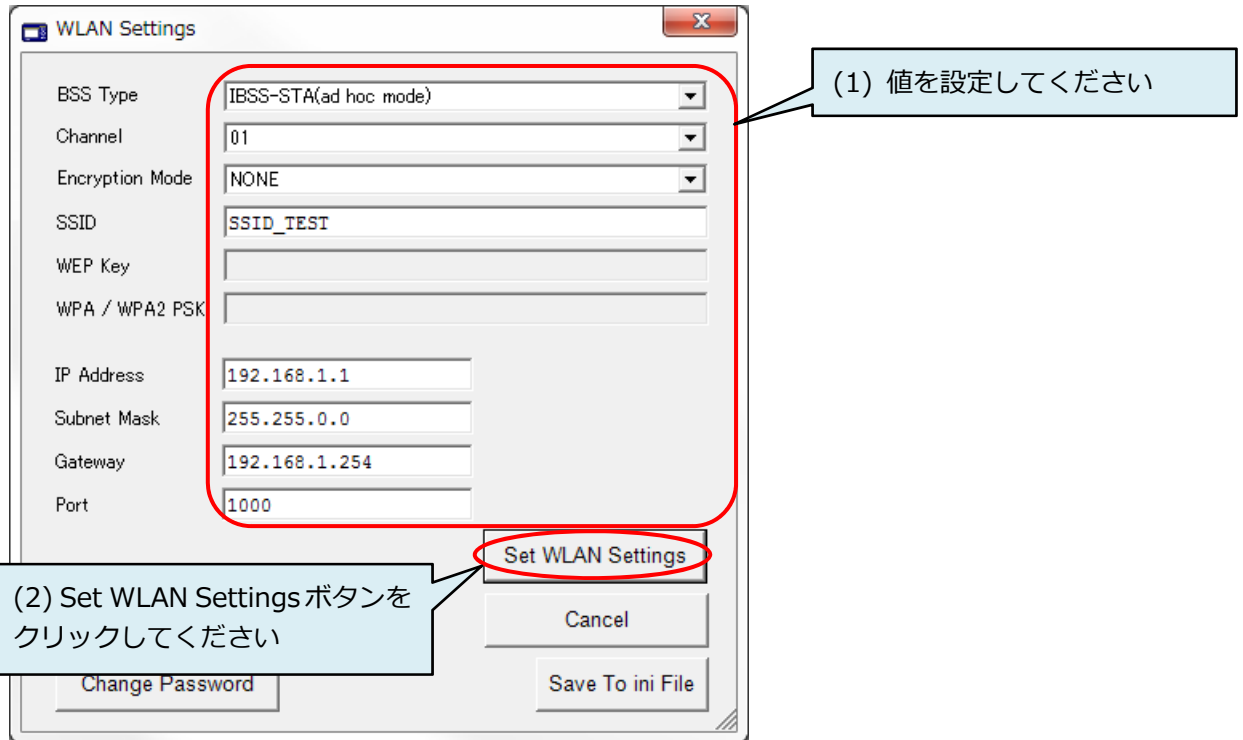
- (4) “Host Interface Configuration”タブで、“USB”を選択し、“Communication Check”ボタンをクリックします。
- (5) “air Information”タブの“Action Log Setting”ボタンをクリックします。

パスワード入力画面が表示されますので、Wireless LAN 設定画面を開くためのパスワードを入力し、“OK”ボタンをクリックします。初期パスワードは“AF200”です。また、入力したパスワードは“\*”で表示されます。



正しいパスワードを入力すると、Wireless LAN 設定画面が表示されます。

各項目の設定値を入力後、Wireless LAN 設定画面上の“Set WLAN Settings”ボタンをクリックします。



ここで設定する本機の IP アドレスと、Wireless LAN で接続したいパソコンの IP アドレスを同一ネットワーク上に設定する必要があります。

IP アドレスは、ネットワークアドレス（上記の例でいうと 192.168 のところ）が同じでないと通信できません。ご注意ください。

Wireless LAN 設定画面の項目と意味は次のとおりです。

項目	意味	設定範囲
BSS Type	本機の Wireless LAN 接続タイプを設定します。	BSS-STA(infrastructure mode): インフラストラクチャモードでホスト PC と Wireless LAN 接続します。 IBSS-STA(ad hoc mode): アドホックモードでホスト PC と Wireless LAN 接続します。
Channel	Wireless LAN 通信に使用するチャンネルを設定します。	Ch1~Ch13
Encryption Mode	通信の暗号化モードを設定します。	NONE: 暗号化を行いません。

		<p>WEP-64: WEP64 による暗号化を行います。</p> <p>WEP-128: WEP128 による暗号化を行います。</p> <p>WPA-TKIP: WPA による暗号化を行います。</p> <p>WPA2-AES: WPA2 による暗号化を行います。</p>
SSID	SSID を設定します。	<p>BSS Type に BSS-STA(infrastructure mode)を設定している場合、接続するアクセスポイントの SSID を設定します。</p> <p>BSS Type に IBSS-STA(ad hoc mode)を設定している場合、本機の SSID を設定します。</p>
WEP Key	<p>WEP キーを設定します。</p> <p>Encryption Mode に WEP-64 もしくは WEP-128 を設定している場合のみ入力可能です。</p>	<p>Encryption Mode に WEP-64 を設定している場合、5 文字の英数字を入力します。</p> <p>Encryption Mode に WEP-128 を設定している場合、13 文字の英数字を入力します。</p>
WPA / WPA2 PSK	<p>WPA/WPA2 使用時のキーを設定します。</p> <p>Encryption Mode に WPA-TKIP もしくは WPA2-AES を設定している場合のみ入力可能です。</p>	<p>8～63 文字の英数字を入力します。</p>
IP Address	本機の IP アドレスを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx の形式で IP アドレスを入力します。
Subnet Mask	本機のサブネットマスクを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx の形式でサブネットマスクを入力します。
Gateway	本機のデフォルトゲートウェイを設定します。	xxx.xxx.xxx.xxx の形式でデフォルトゲートウェイを入力します。
Port	本機のポート番号を設定します。	0000～FFFF の 16 進数を入力します。

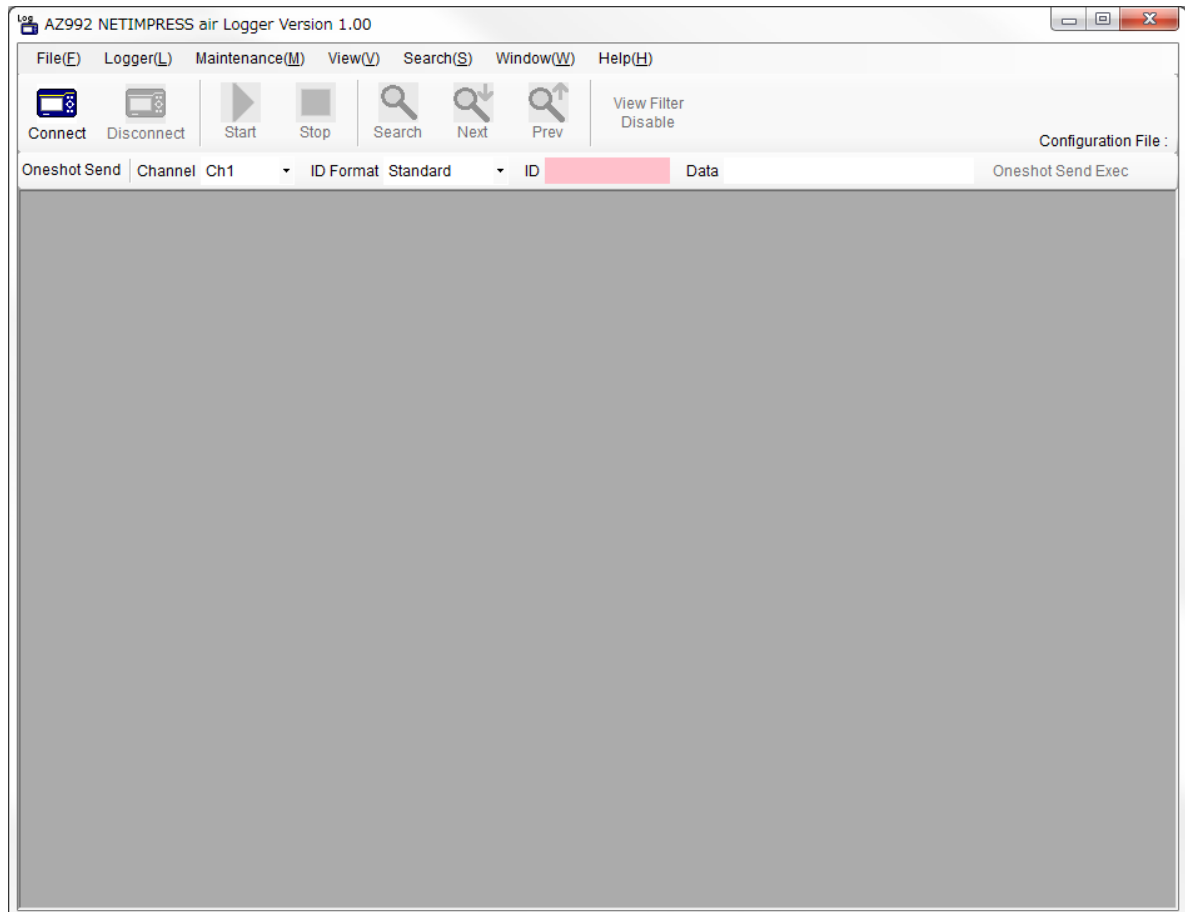
## 3.3.3. PC との接続 (AZ992: NETIMPRESS air Logger 設定)

本機を AZ992(NETIMPRESS air Logger)から制御する環境を設定します。

- (1) 本機に専用 SD カードを挿入してください。
- (2) 本機のターゲットインターフェースにある VBAT 端子から、本機に電源を供給します。
- (3) ホスト PC で、AZ992(NETIMPRESS air Logger)を起動します。

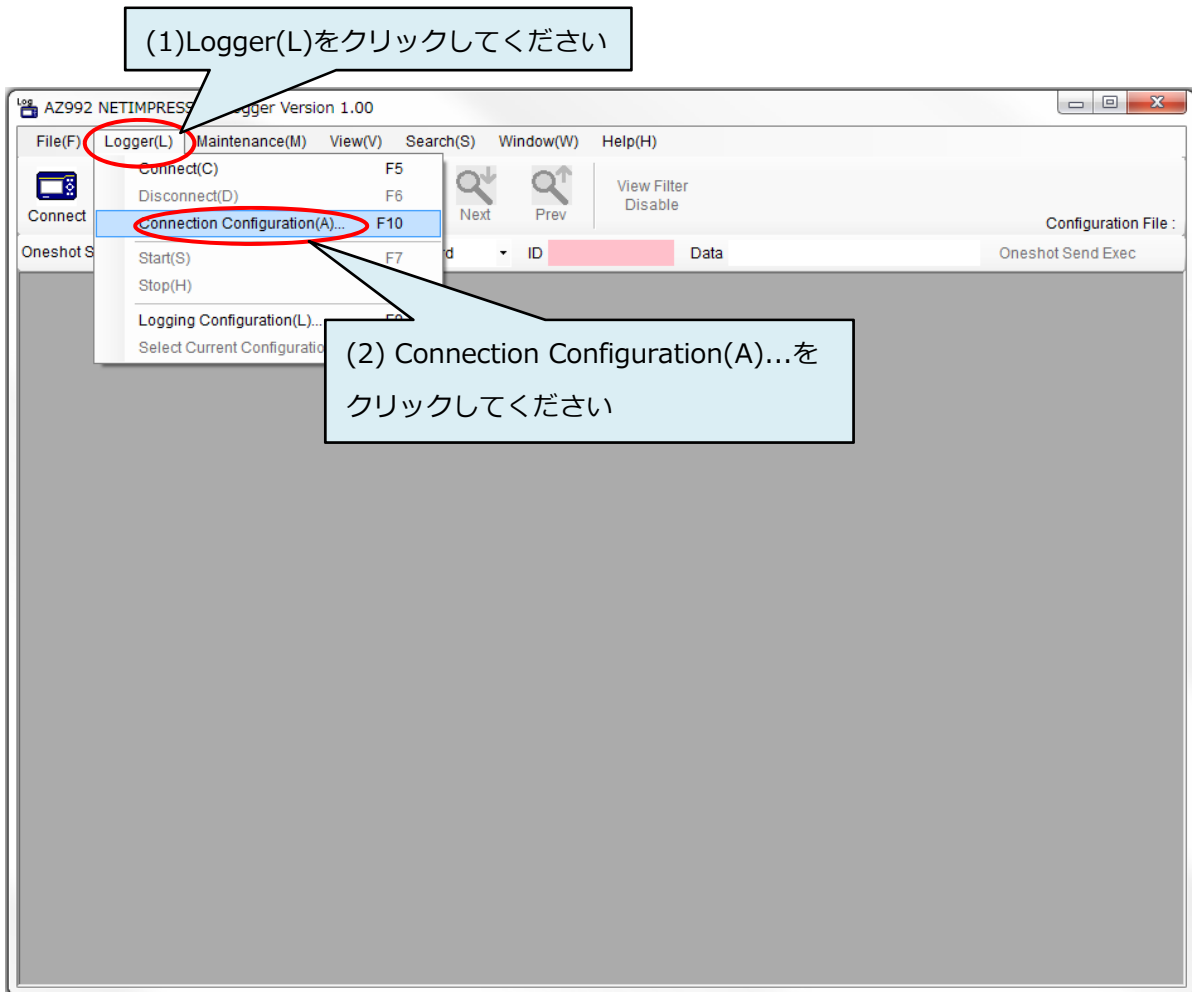
Windows [スタート]メニュー - <すべてのプログラム> - <DTS INSIGHT Tools> - <AZ992>

<起動画面>

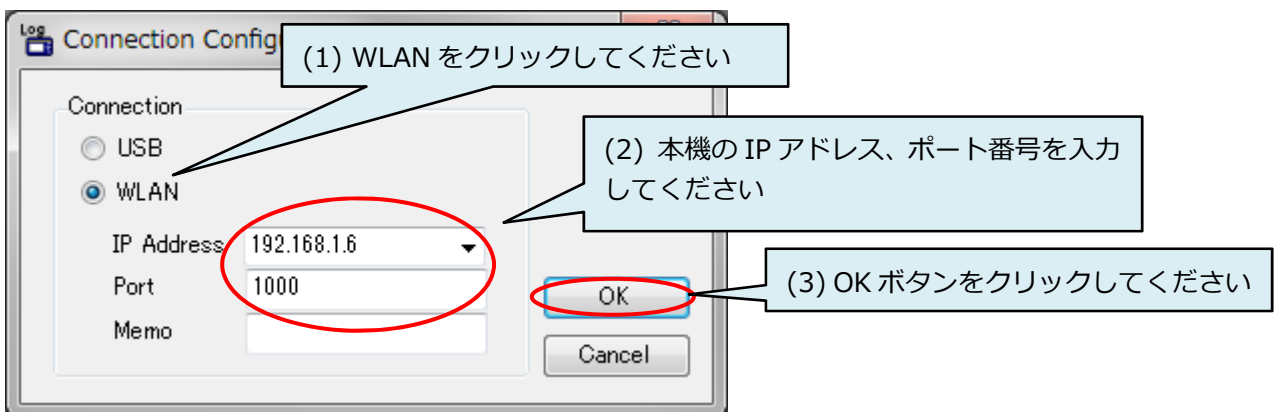




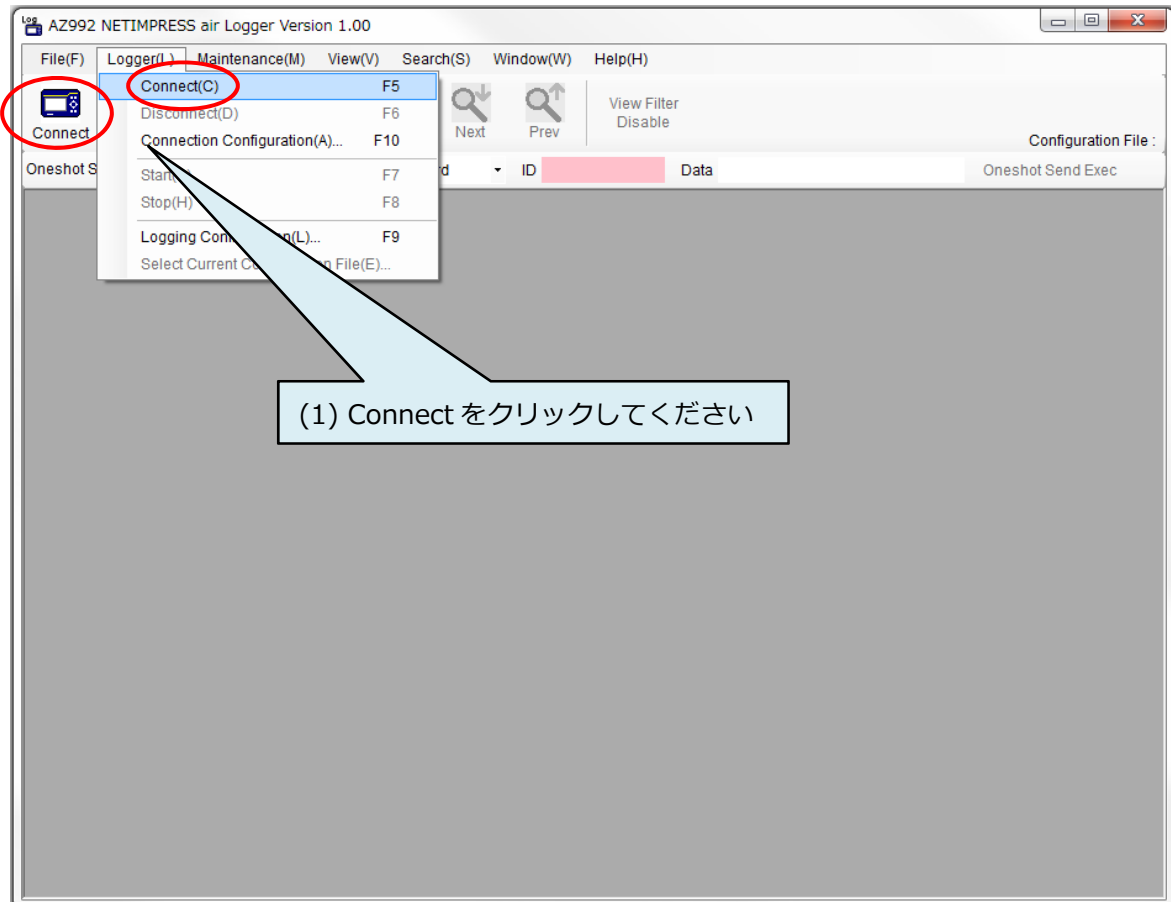
(4) Logger(L)メニューを選択し、“Connection Configuration(A)”をクリックしてください。



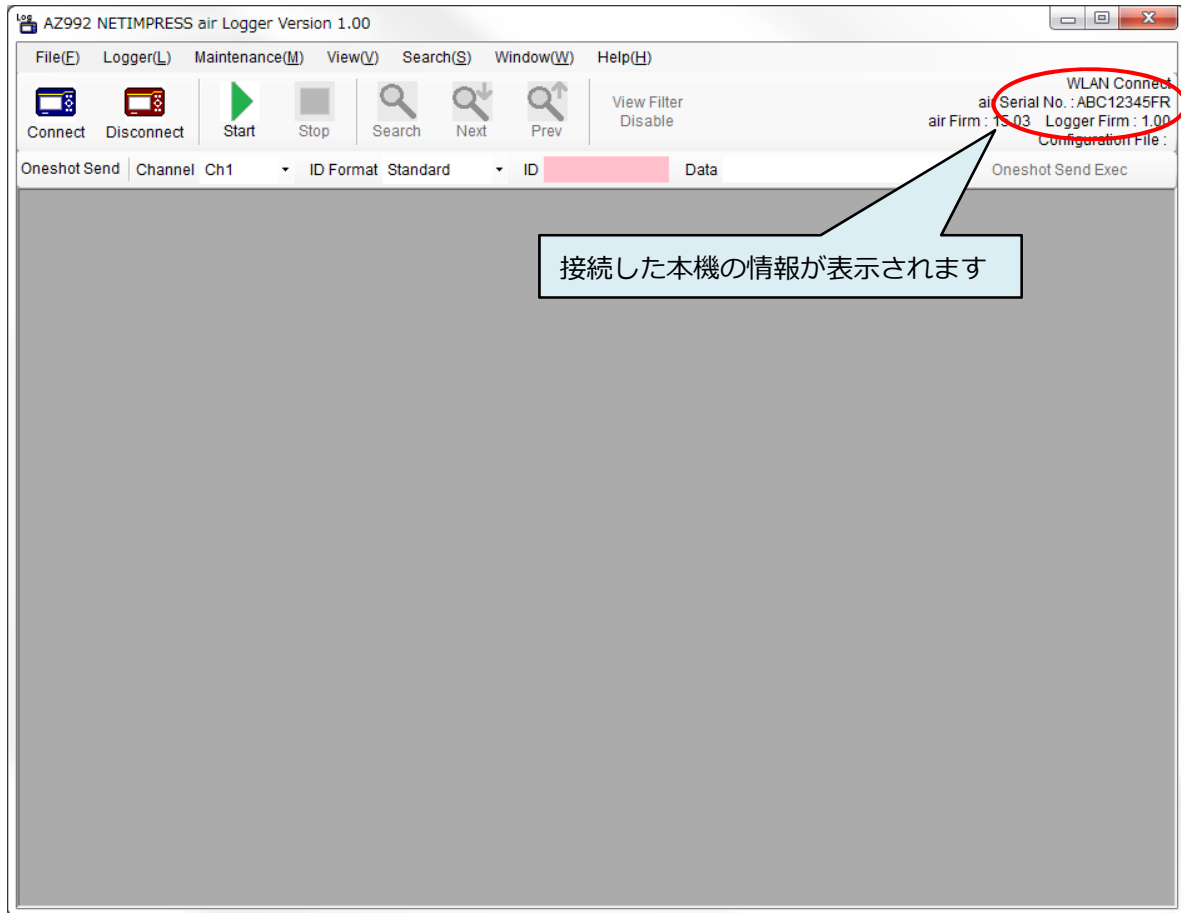
(5) Connection Configuration 画面で“WLAN ”をクリックし、“OK”ボタンを押してください。



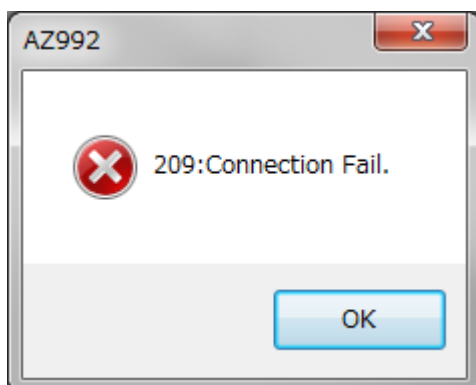
(6) Connect ボタンを押すか、Logger(L)メニューから Connect(C)を選択してください。(どちらでもよい)






- (7) ホスト PC と本機の Wireless LAN 通信が確立されると、以下の画面が表示されます。  
以降、ホスト PC から本機への制御が可能になります。



- !** 通信エラーにより、下記のダイアログウィンドウが表示された場合、ホスト PC と本機の接続が完了していません。接続の状態や設定を再度ご確認ください。



## 3.3.4. Wireless LAN 接続時にエラーが発生した場合の確認事項

<p>ホスト PC と本機は正しく Wireless LAN 接続されていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホスト PC、および、本機が Wireless LAN 接続されている事を確認してください。</li> </ul>
<p>IP アドレスは正しく設定されていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機に設定した IP アドレスが正しく入力されている事を確認してください。   本マニュアル「3.3.2 Wireless LAN の設定を行う」を参照してください。</li> <li>● ホスト PC や同じネットワークに接続している機器に設定されている IP アドレスと重複していないことを確認してください。</li> <li>● ホスト PC が IP アドレスを自動的に取得する設定(DHCP)になっている場合、本機と接続できません。ホスト PC には必ず固定の IP アドレスを設定してください。</li> <li>● サブネットマスクの設定に従った正しい IP アドレスをホスト PC、および、本機に設定して下さい。  サブネットマスクが 255.255.255.0 の場合、上位 24 ビットはホスト PC と本機で共通の値とする必要があります。</li> </ul>
<p>ポート番号は正しく設定されていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機に設定したポート番号が正しく入力されている事を確認してください。特に設定を行ってない場合は、デフォルト値の“1000”を入力してください。   本マニュアル「3.3.2 Wireless LAN の設定を行う」を参照してください。</li> </ul>
<p>サブネットマスクについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機のサブネットマスクのデフォルト値は 255.255.255.0 となっています。サブネットマスクは、ホスト PC 側の設定に合わせてください。   本マニュアル「3.3.2 Wireless LAN の設定を行う」を参照してください。</li> </ul>

## 4. ロギング環境のセットアップ

この章では、AZ992(NETIMPRESS air Logger)を使用し、モニタモードでロギングを実行するための環境をセットアップします。

➡ ストレージモードでロギングを実行するための環境をセットアップする場合「7.スタンドアロンで使用する」をご確認ください。

### 4.1. ロガーライセンスの追加

ロギングを実行するためには、本機にロガーライセンスを追加する必要があります。

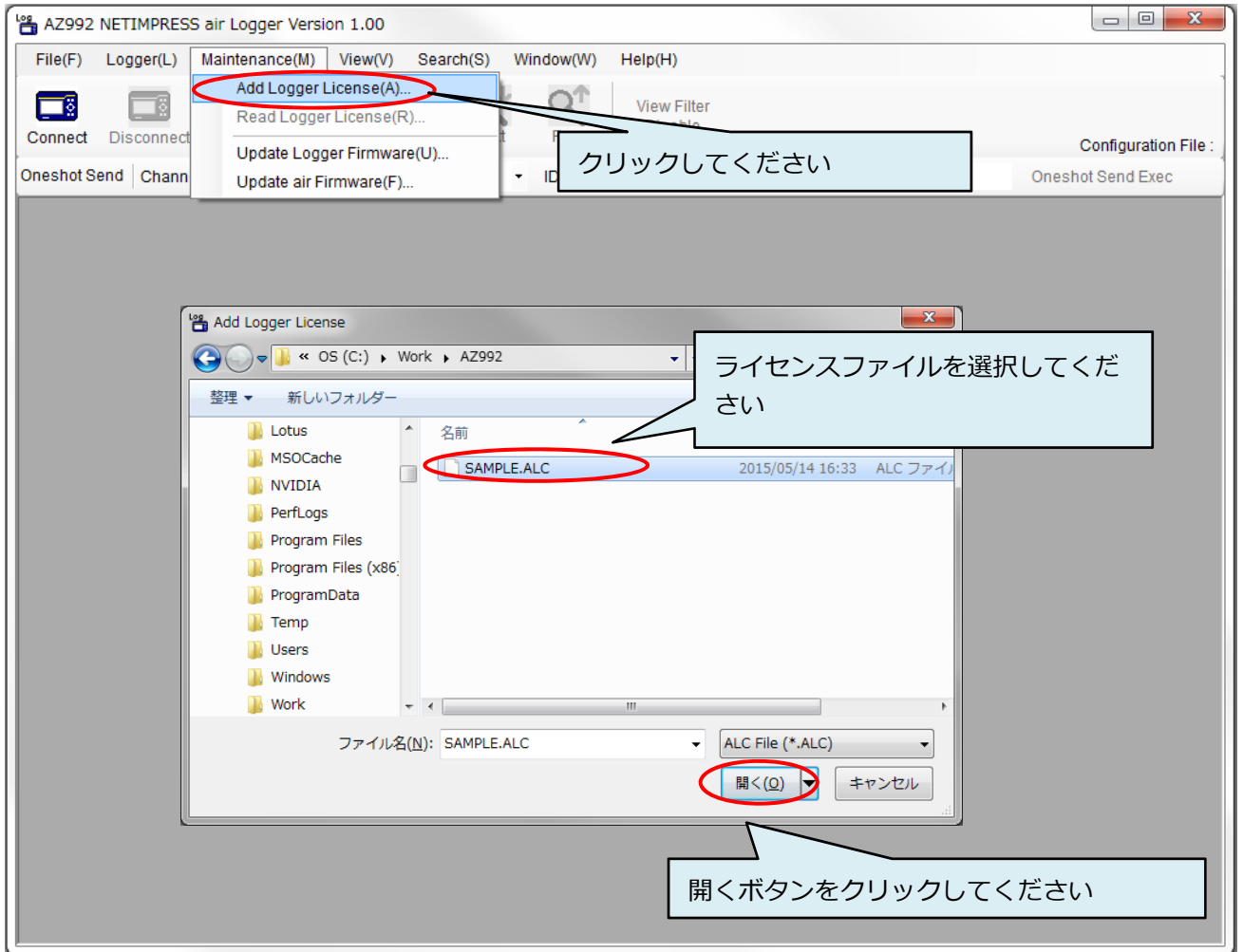
ロガーライセンスの追加に必要なライセンスファイル(拡張子.ALC)は、ご購入時に、弊社からホームページより取得します。

ロガーライセンスファイル	<ul style="list-style-type: none"><li>● 拡張子は.ALC です。</li><li>● 弊社ホームページより取得します</li></ul>
--------------	--

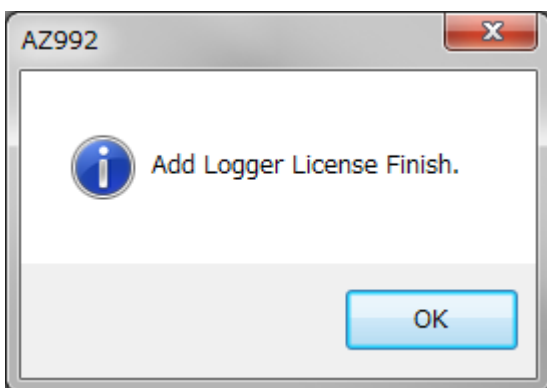


#### 4.1.1. 本機へのロガーライセンス追加手順

- (1) 取得したロガーライセンスファイル(.ALC)を、ホストPCのローカルフォルダにコピーします。
- (2) AZ992(NETIMPRESS air Logger)を起動します。
- (3) “Maintenance(M)”メニューの“Add Logger License(A)”をクリックします。
- (4) ファイルオープンダイアログが表示されますので、(1)でコピーしたロガーライセンスファイルを選択し、“開く”ボタンをクリックします。



(5) ロガーライセンス追加に成功すると、以下のメッセージが表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。





ライセンスファイルは、適用先 air 本体のシリアル番号が固定されています。

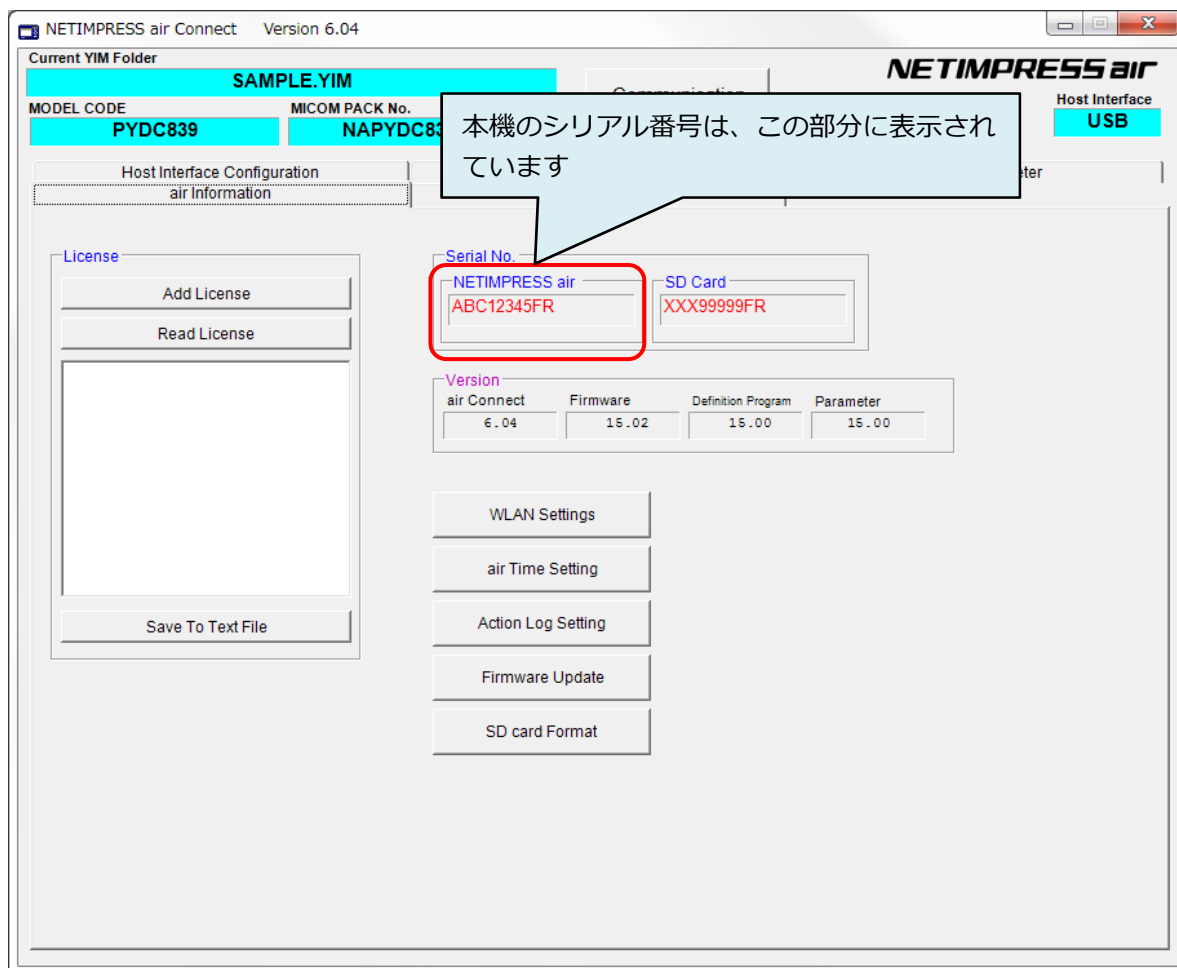
ライセンスファイルの対象シリアル番号と本機のシリアル番号が一致していない場合には、ロガーライセンスを追加することができません。

本機のシリアル番号は、本機の裏面に印字されています。

また、AZ990(NETIMPRESS air Connect)を使用して確認することもできます。

(1) AZ990 を起動し、本機と接続します。

(2) “air Information”タブの“Serial No.”内にある“NETIMPRESS air”に、本機のシリアル番号が表示されます。



## 4.2. ロガーファームの書き込み

本機でロギングを実行する場合、本機にロガーファームが書き込まれている必要があります。

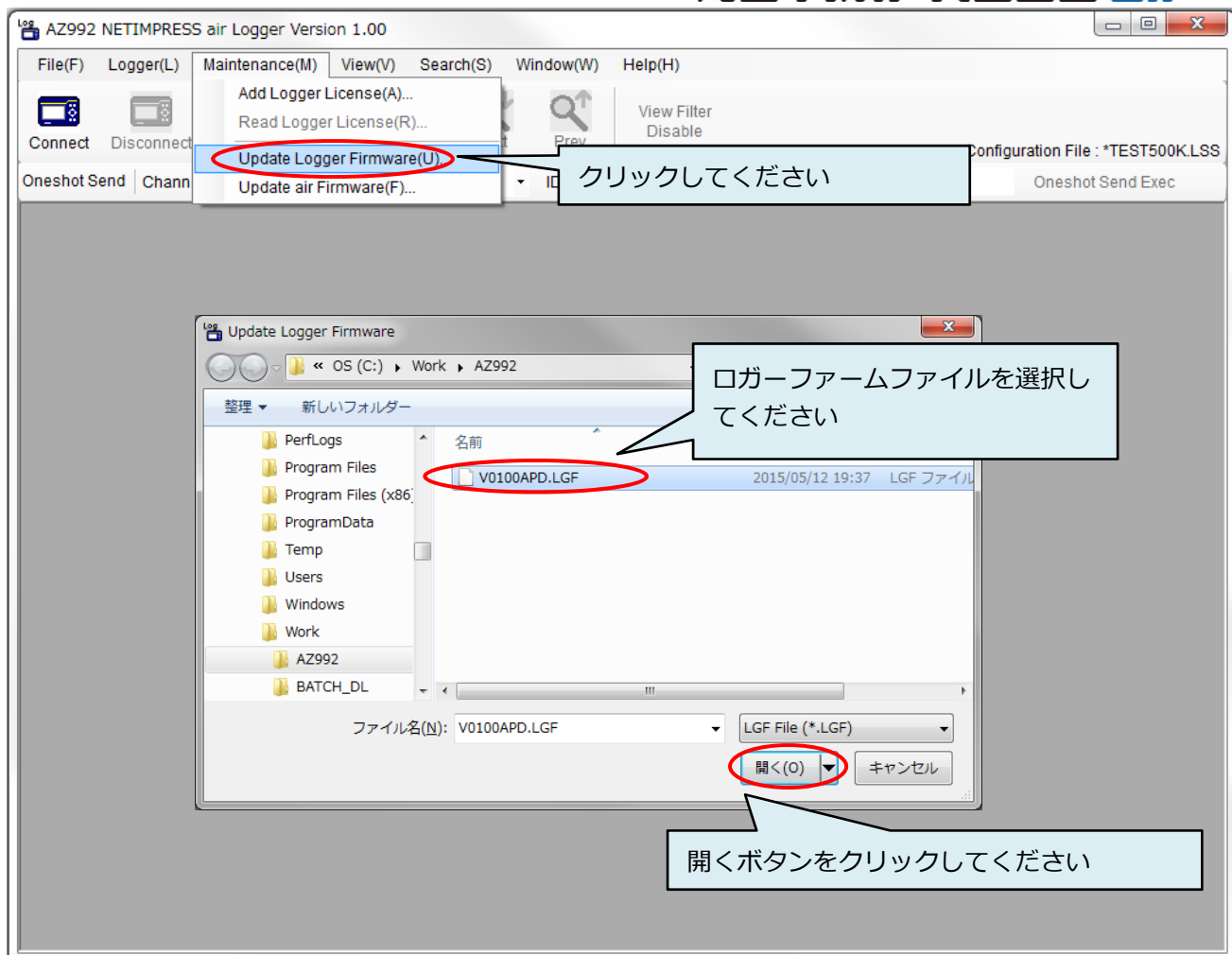
本機の出荷状態では、ロガーファームは書き込まれていないため、本機で初めてロギングを実行する前にロガーファームを書き込む必要があります。

ロガーファームファイル	● 拡張子は.LGF です。
-------------	----------------

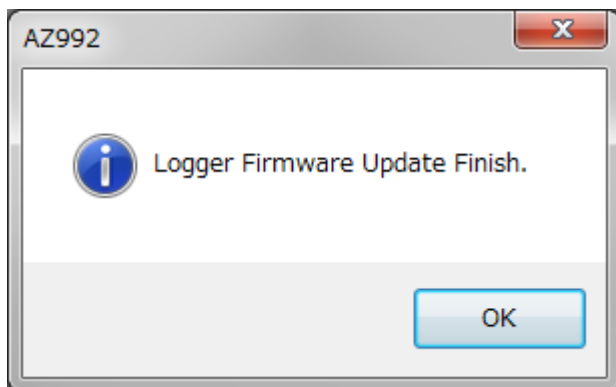
### 4.2.1. 本機へのロガーファーム書き込み

- (1) 取得したロガーファームファイル(.LGF)を、ホスト PC のローカルフォルダにコピーします。
- (2) “Maintenance(M)”メニューの“Update Logger Firmware(U)”をクリックします。
- (3) ファイルオープンダイアログが表示されますので、(1)でコピーしたロガーファームファイルを選択し、“開く”ボタンをクリックします。





(5) ロガーファームの書き込みに成功すると、以下のメッセージが表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。

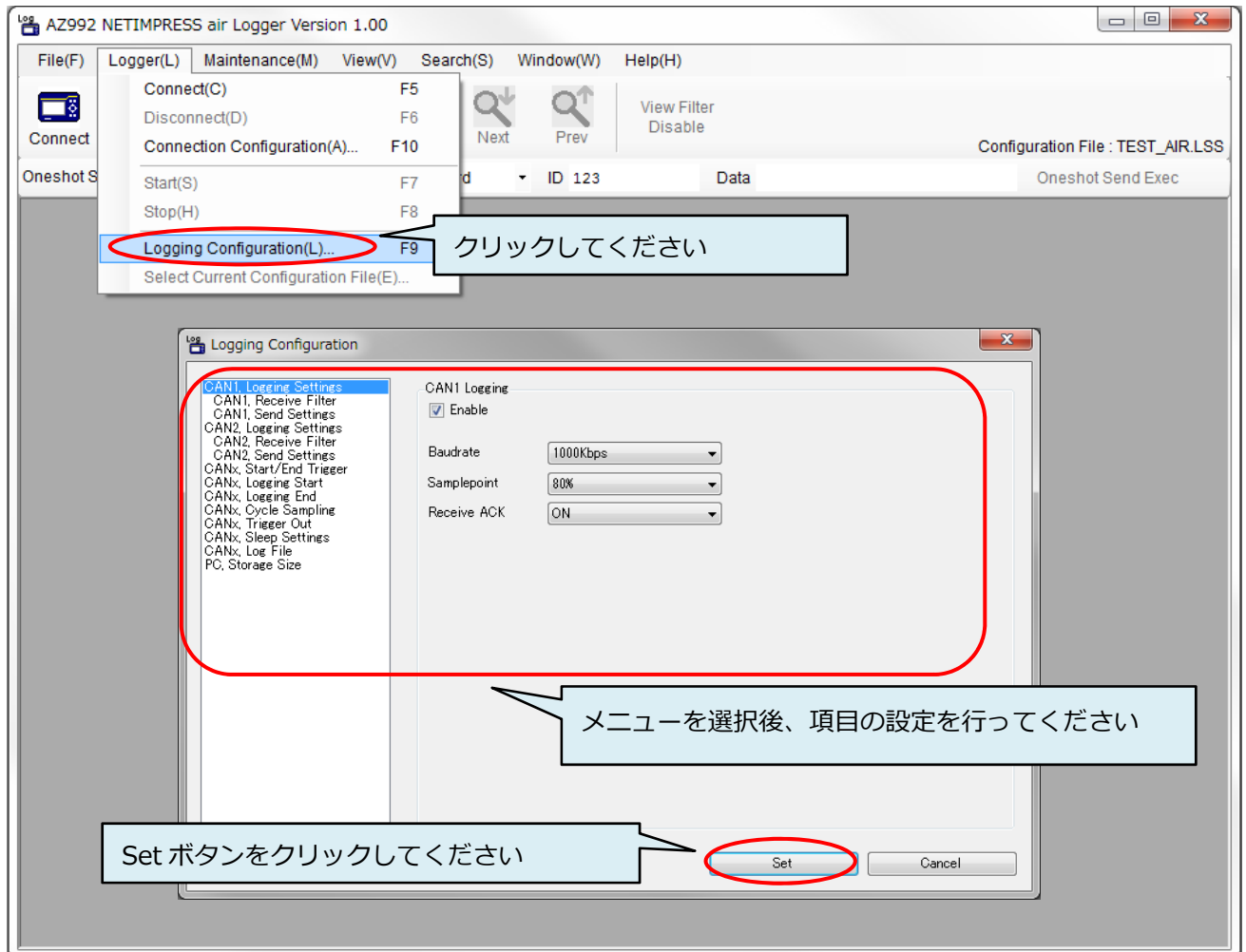


**!** ロガーファームの書き込みには数十秒の時間がかかり、その間本機および AZ992 は操作できません。ロガーファームの書き込み中に本機の電源を切ったり、本機の実行を行ったりしないでください。本機の故障の原因となります。

### 4.3. ロギング設定

モニタモードでロギングを行う際のロギング条件を設定します。

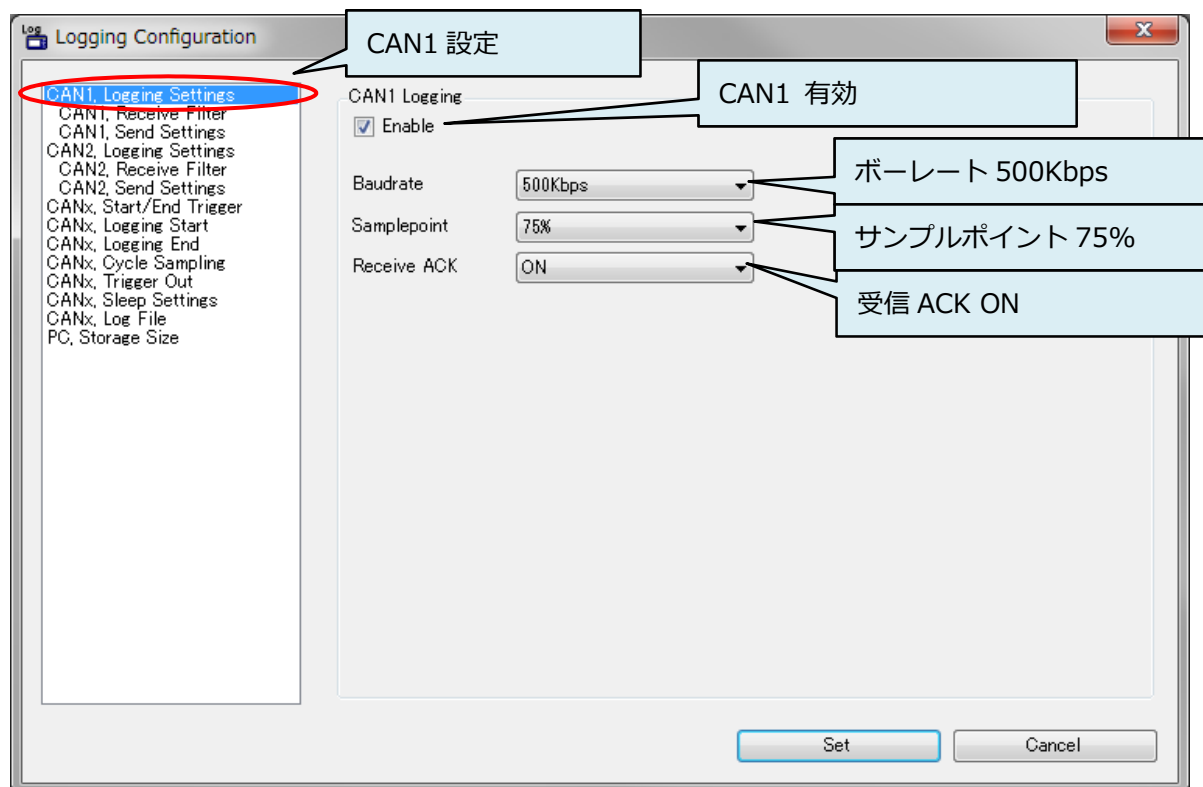
- (1) “Logger(L)”メニューの“Logging Configuration(L)”をクリックします。
- (2) Logging Configuration 画面が表示されますので、ロギング条件を設定後、“Set”ボタンをクリックします。



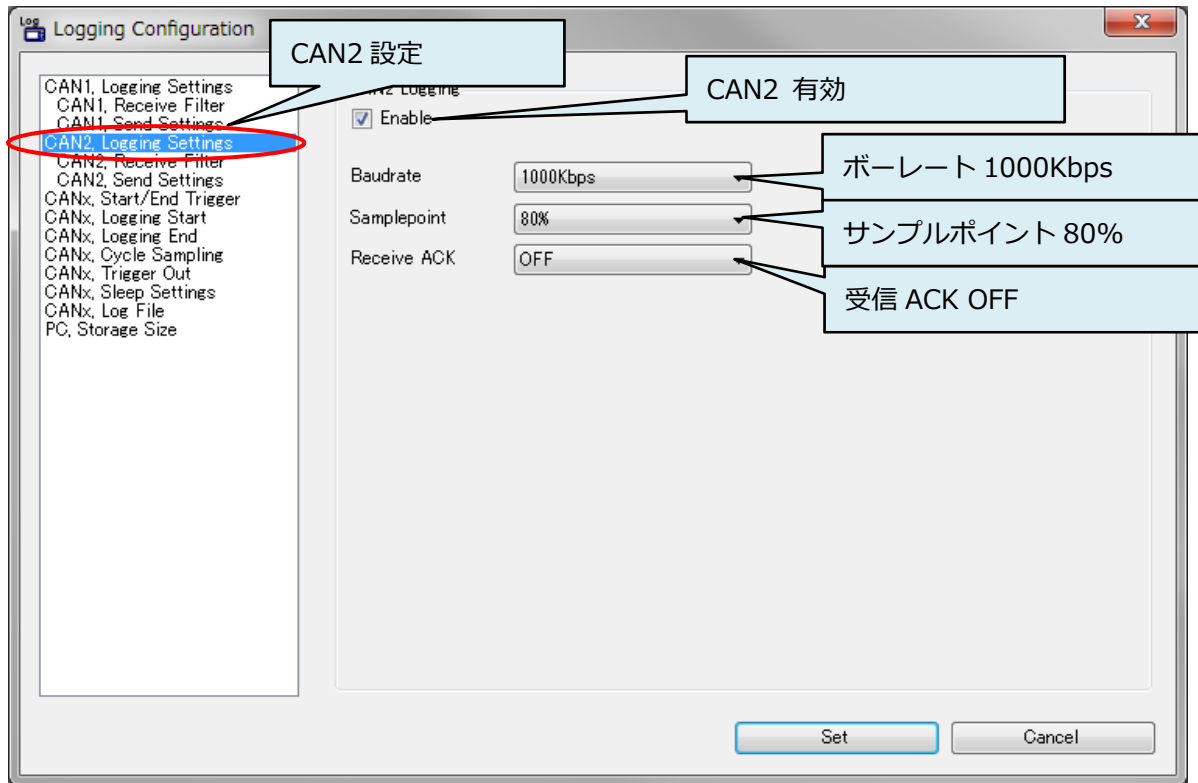
設定例として、次の条件を設定します。

設定項目	設定値
CAN1	有効 ボーレート : 500Kbps サンプルポイント : 75% メッセージ受信時の ACK : あり
CAN2	有効 ボーレート : 1Mbps サンプルポイント : 80% メッセージ受信時の ACK : なし
バスのモニタ開始条件	なし(無条件でモニタ開始)
CAN メッセージのロギング開始条件	トリガ入力 H レベル
CAN メッセージのロギング終了条件	10 秒経過

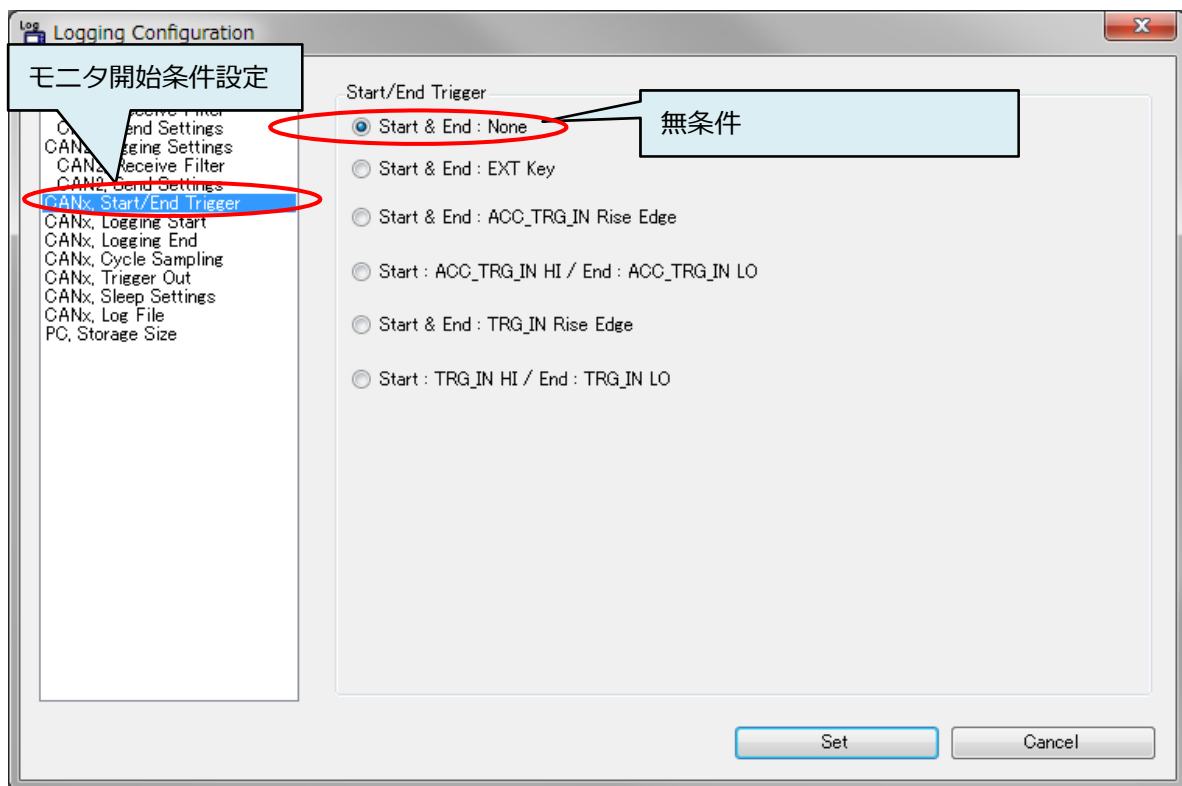
CAN1 の設定はメニューの CAN1, Logging Settings で行います。



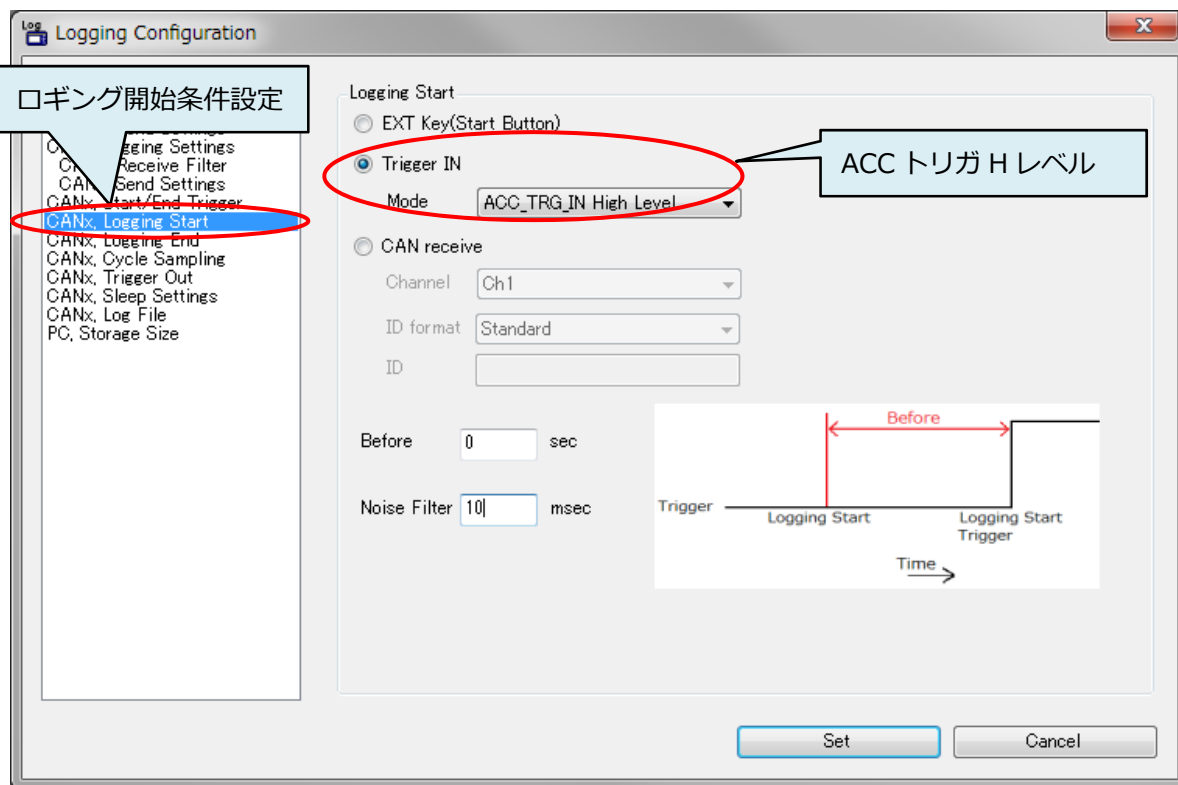
CAN2 の設定はメニューの CAN2, Logging Settings で行います。



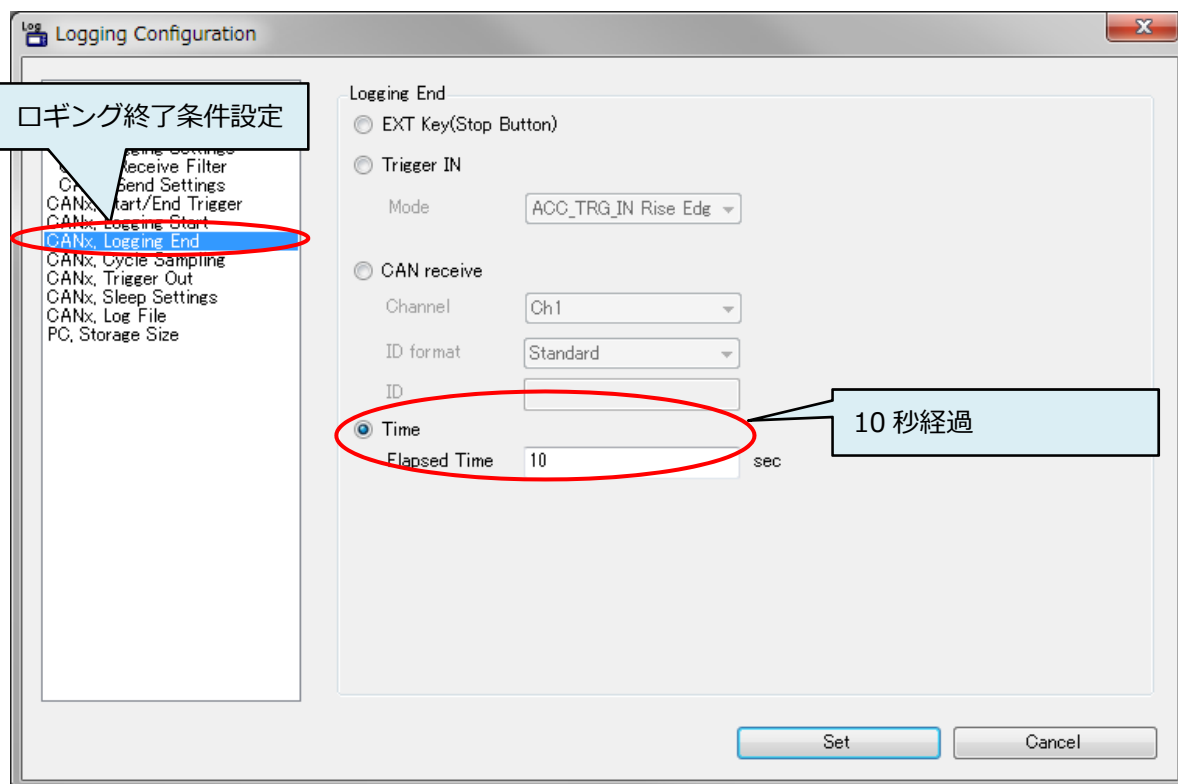
バスのモニタ開始条件設定は、CANx, Start/End Trigger で行います。



CAN メッセージのロギング開始条件設定は、CANx, Logging Start で行います。



CAN メッセージのロギング終了条件設定は、CANx, Logging End で行います。



設定終了後、“Set”ボタンをクリックして設定を反映します。

## 4.4. ターゲットシステムとの接続

本章では、本機とターゲットシステムの代表的な接続例を示します。

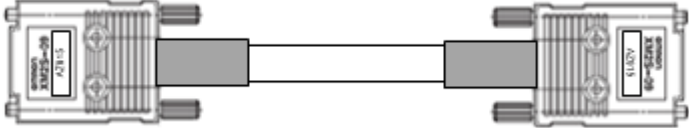
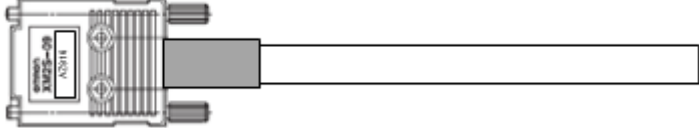
各種ターゲットプローブの仕様は、「NETIMPRESS air ハードウェアマニュアル」の5章をご参照下さい。マニュアルは下記の弊社ホームページ URL からダウンロードいただけます。

[https://www.dts-insight.co.jp/support/support\\_netimpress\\_air/?m=Document&item=1](https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air/?m=Document&item=1)

### 4.4.1. ターゲットプローブを使用して接続する場合

#### (1) プローブの種類

お客様のターゲットボードに適したターゲットプローブを使用して、本機と接続してください。

AZ915	ターゲット側：D-SUB 9pin 
AZ916	ターゲット側：未処理（コネクタなし。ターゲット側の仕様に合わせてコネクタを付けるなどの加工をしてご使用下さい。） 

#### (2) 結線

お客様のターゲットシステムをご確認頂き、ターゲットプローブとターゲットシステムの結線をおこなってください。

#### (3) 接続

「ターゲットプローブの種類」と「結線」を確認し、本機とターゲットシステムを接続します。



電源の投入/遮断順序にご注意ください。

- 電源投入時・・・本機の電源が ON の状態で、ターゲットシステムの電源を ON。
- 電源遮断時・・・ターゲットシステムの電源を OFF にしたあとに、プログラムの電源を OFF。

## 5. ロギング実行

この章では、ターゲットシステムのロギング実行手順について説明します。

(1) 本機とターゲットシステムを接続します。

正しく接続されていることを確認後、本機の電源を投入します。

(2) ホスト PC と本機を Wireless LAN もしくは USB ケーブルで接続してから、AZ992(NETIMPRESS air Logger)を起動します。

(3) “Logger”メニューの“Connect”もしくは画面上の“Connect”ボタンをクリックし、本機と AZ992 を接続します。

AZ992 の設定が完了していれば、本機の接続が完了します。

➡ 接続できない場合には、「3.2 USB 接続設定」、「3.3 Wireless LAN 接続設定」をご参照の上、設定を再度ご確認ください。


(4) “Logger”メニューの“Start”もしくは画面上の“Start”ボタンをクリックし、モニタモードでのロギングを開始します。

(5) ターゲットシステムの電源を投入します。

(6) ロギングが完了したら、“Logger”メニューの“Stop”もしくは画面上の“Stop”ボタンをクリックし、モニタモードでのロギングを終了します。

(7) ターゲットシステムの電源を遮断します。

(8) “Logger”メニューの“Disconnect”もしくは画面上の“Disconnect”ボタンをクリックし、本機から AZ992 を切断します。

 ターゲットシステムの電源を投入／遮断するタイミングは、上記のとおりでなくてもかまいません。例えば、モニタモードでのロギング開始前にターゲットシステムの電源を投入しても問題ありません。

## 6. AZ992(NETIMPRESS air Logger)を使用する

AZ992(NETIMPRESS air Logger)をご利用いただくことによって、各種ファイルのダウンロード、ロギング設定、ロギングの実行をおこなうことができます。

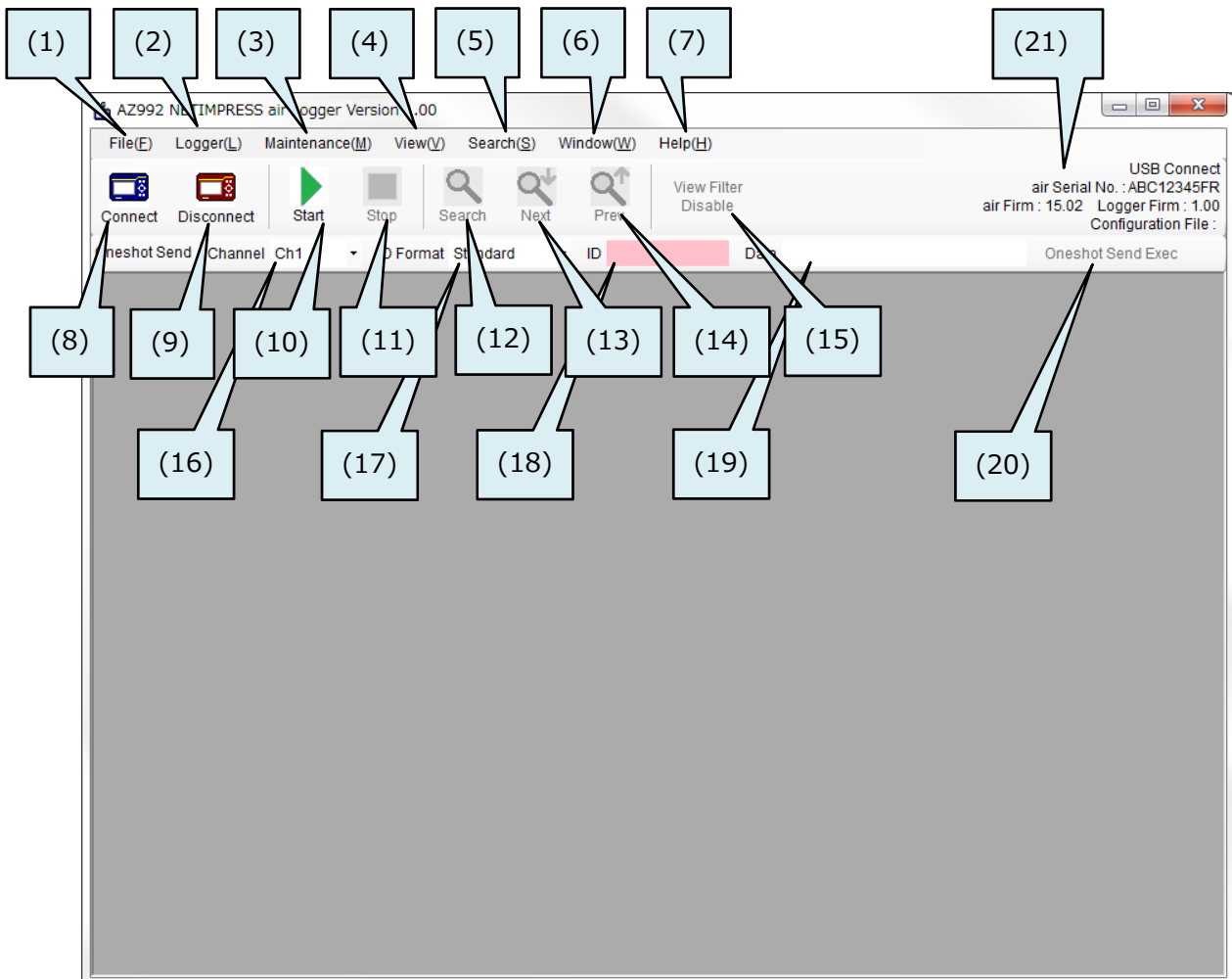
AZ992 の主な画面構成は、共通画面、7つのメニュー画面で構成されています。

- 共通画面 . . . 基本情報表示画面
- File(F)メニュー . . . ログファイル・コンフィグレーションファイルを操作します。
- Logger(L)メニュー . . . PCとの接続・ログの取得操作を行います。
- Maintenance(M)メニュー . . . ロガーライセンスの設定・読み出し、アップデートを行います。
- View(V)メニュー . . . ビューフィルタの設定を行うことができます。
- Search(S)メニュー . . . 検索画面を開きます。
- Window(W)メニュー . . . 子ウインドウを並び替えます。
- Help(H)メニュー . . . バージョン情報の表示とサポートページを表示します。



## 6.1. 画面説明

### 6.1.1. 共通画面



(1) File(F)メニュー

Log File や Configuration File を管理します。

(2) Logger(L)メニュー

本機との接続設定・ログの管理をします。

(3) Maintenance(M)メニュー

ロガーライセンスの設定・ファームウェアのアップデートを行います。

(4) View(V)メニュー

ビューフィルタの設定をします。

(5) Search(S)メニュー

ログデータの検索をします。

(6) Window(W)メニュー

ログデータウィンドウを並べます。

(7) Help(H)メニュー

バージョン情報・弊社製品 Web ページのリンクが開きます。

(8) Connect ボタン

本機と接続します。

(9) Disconnect ボタン

本機との接続を切断します。

(10) Start ボタン

ログの取得を開始します。

(11) Stop ボタン

ログの取得を停止します。

(12) Search ボタン

ログから任意のデータを検索します。

(13) Next ボタン

次のデータを検索します。

(14) Prev ボタン

前のデータを検索します。

(15) View Filter Enable/Disable ボタン

ビューフィルタの有効/無効を切り替えます。

(16)チャンネル選択

OneshotSend で使用するチャンネルを選択します。

(17) ID フォーマット選択

OneshotSend で使用する ID フォーマットを選択します。

(18) ID 入力

OneshotSend で使用する ID を入力します。

(19) Data 入力

OneshotSend で使用する Data を入力します。

(20) OneshotSendExec ボタン

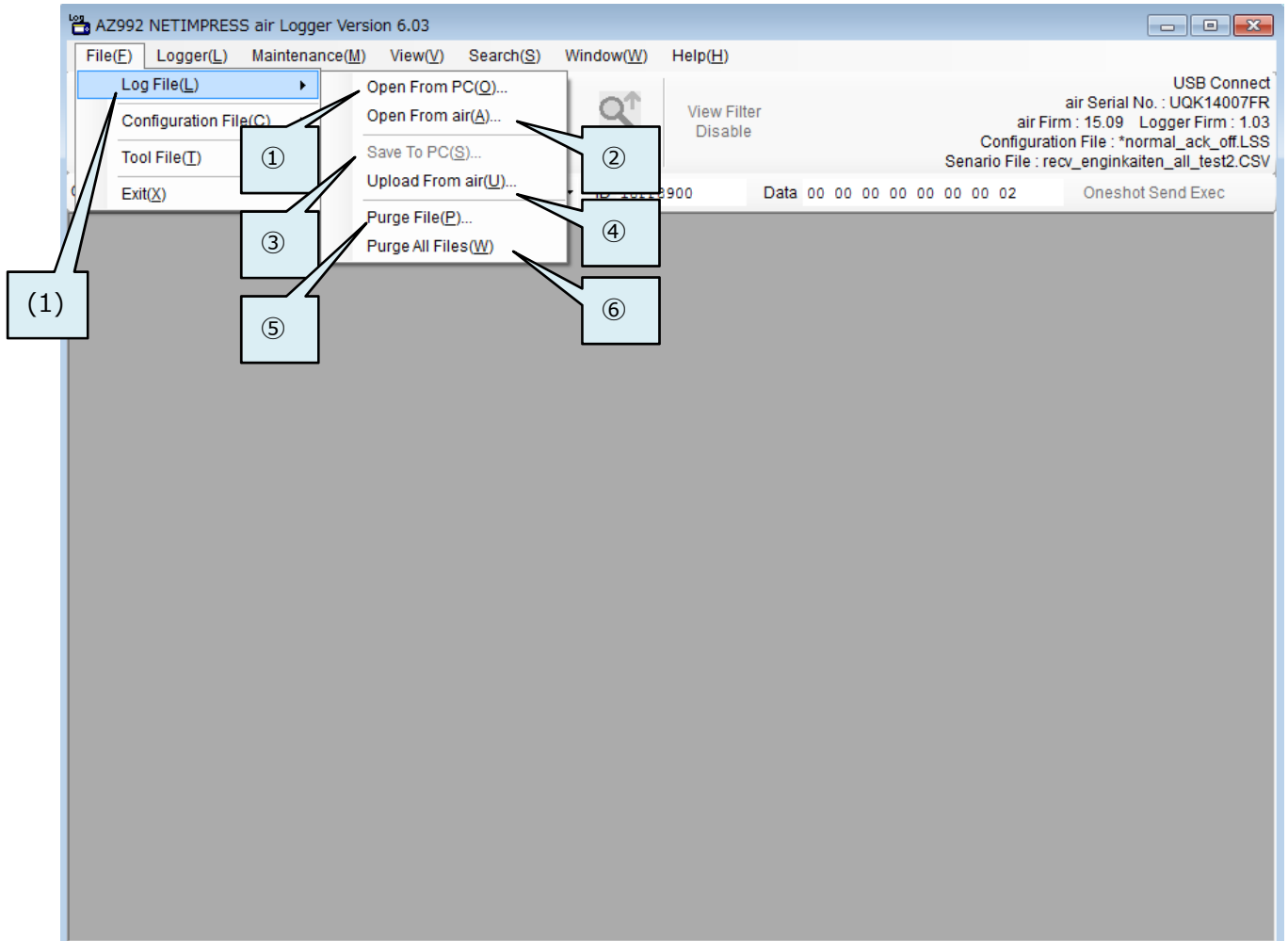
OneshotSend を実行します。

(21) 情報表示ラベル

本機との接続方式、本機のシリアル番号、本機のファームウェアバージョン、AZ992 で読み込んだロギング設定ファイル名、シナリオファイル名を表示します。

## 6.1.2. File(F)メニュー

### (1) Log File (L) リスト

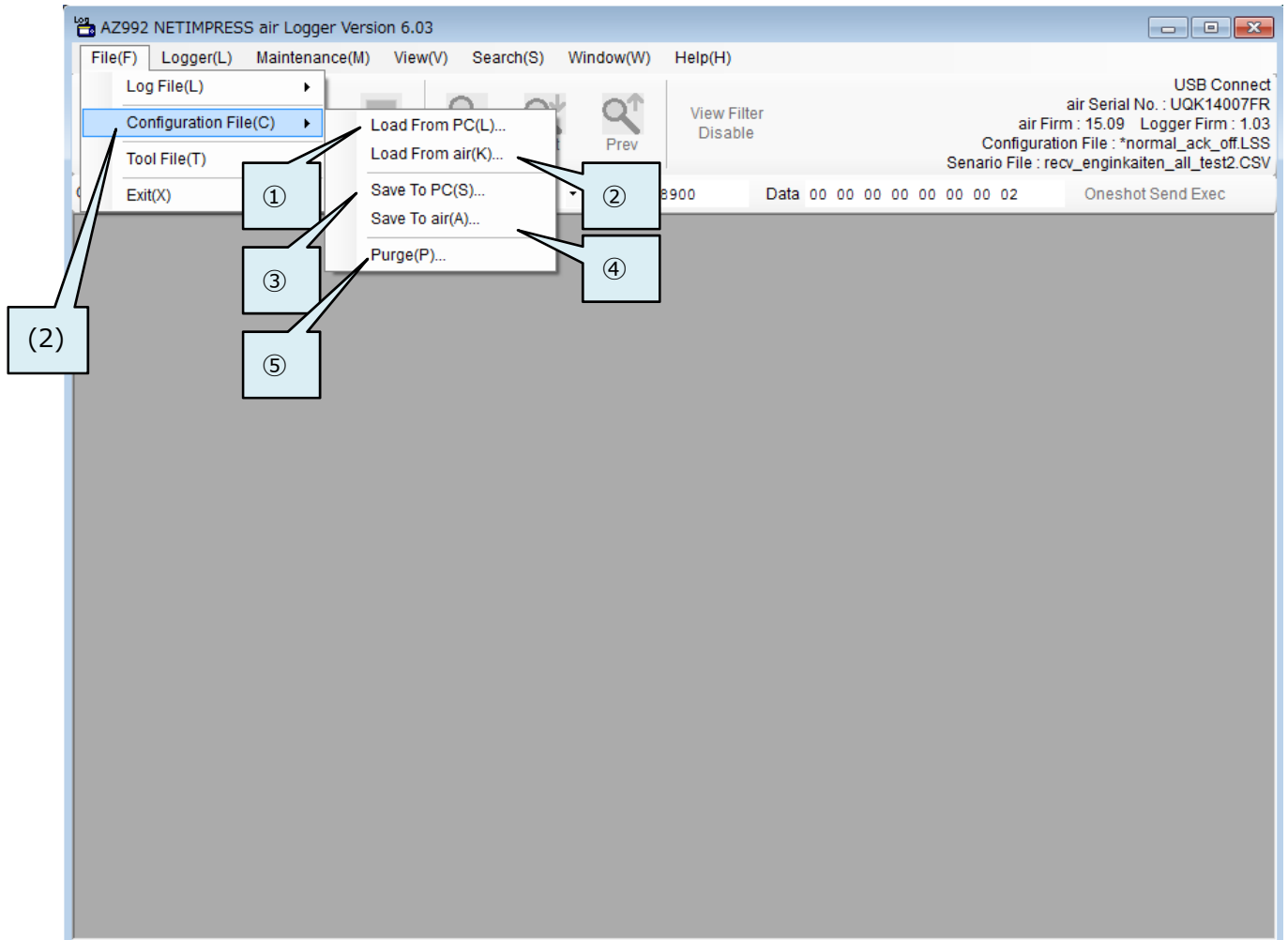


- ① Open From PC(O) ...  
PC上のログファイル(\*.csv)を開きます。
- ② Open From air(A) ...  
専用SDカード内のログファイル(\*.csv)を開きます。
- ③ Save to PC(S)...  
ログデータをログファイル(\*.csv)としてPCに保存します。
- ④ Upload From air(A) ...  
専用SDカード内のログファイルをPC上に保存します。
- ⑤ Purge One File(P) ...  
専用SDカード内のログファイルを選択して削除します。

## ⑥ Purge All Files(W)

専用 SD カード内のログファイルをすべて削除します。

## (2) Configuration File(C) リスト



## ① Load From PC(L) ...

PC 上のロギング設定ファイル(\*.LSS)を読み込みます。

## ② Load From air(K) ...

専用 SD カード内のロギング設定ファイル(\*.LSS)を読み込みます。

## ③ Save To PC(S) ...

AZ992 上のロギング設定をロギング設定ファイル(\*.LSS)として PC 上保存します。

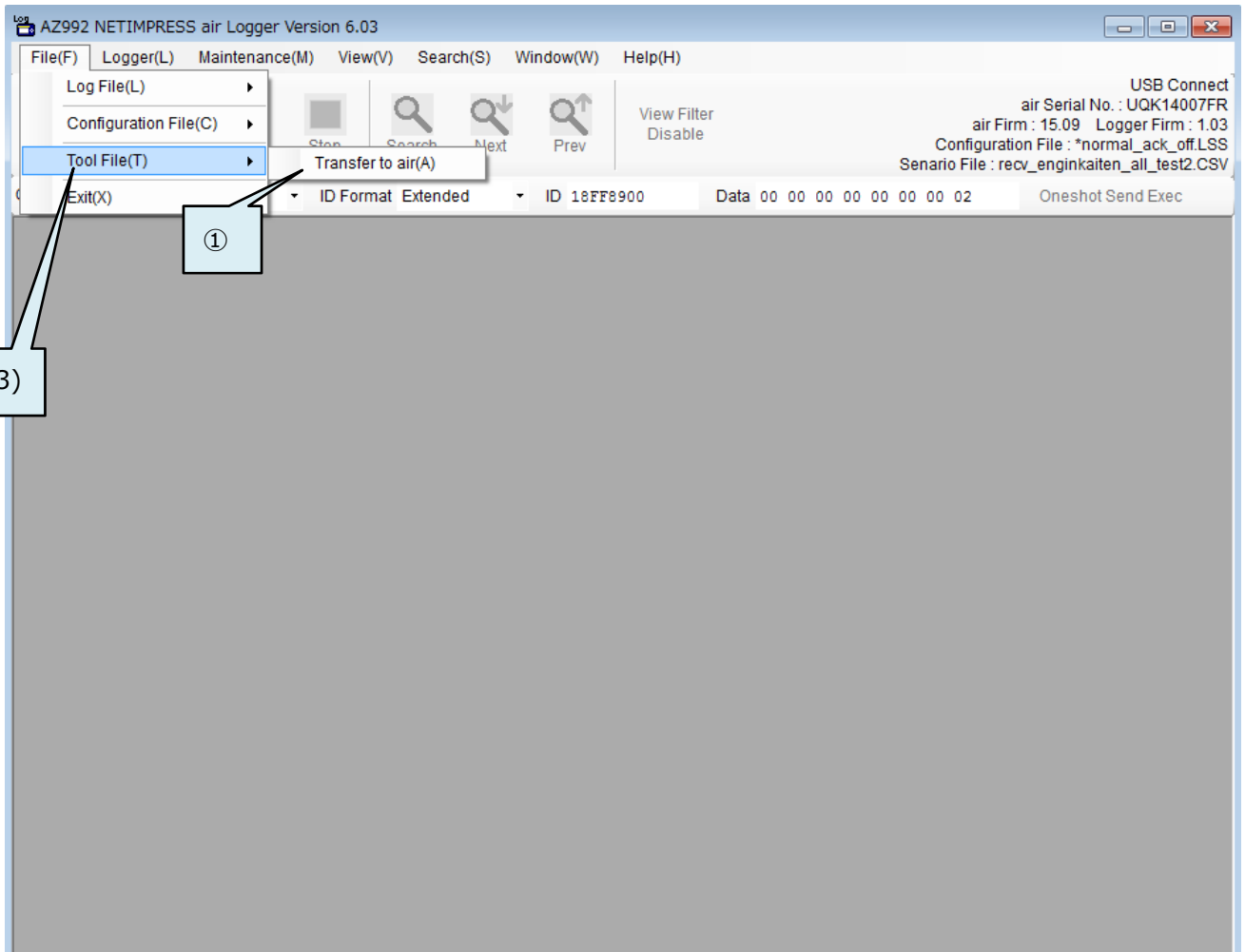
④ Save To air(A) ...

AZ992 上のロギング設定をロギング設定ファイル(\*.LSS)として専用 SD カード内に保存します。

⑤ Purge(P) ...

専用 SD カード内のロギング設定ファイル(\*.LSS)を削除します。

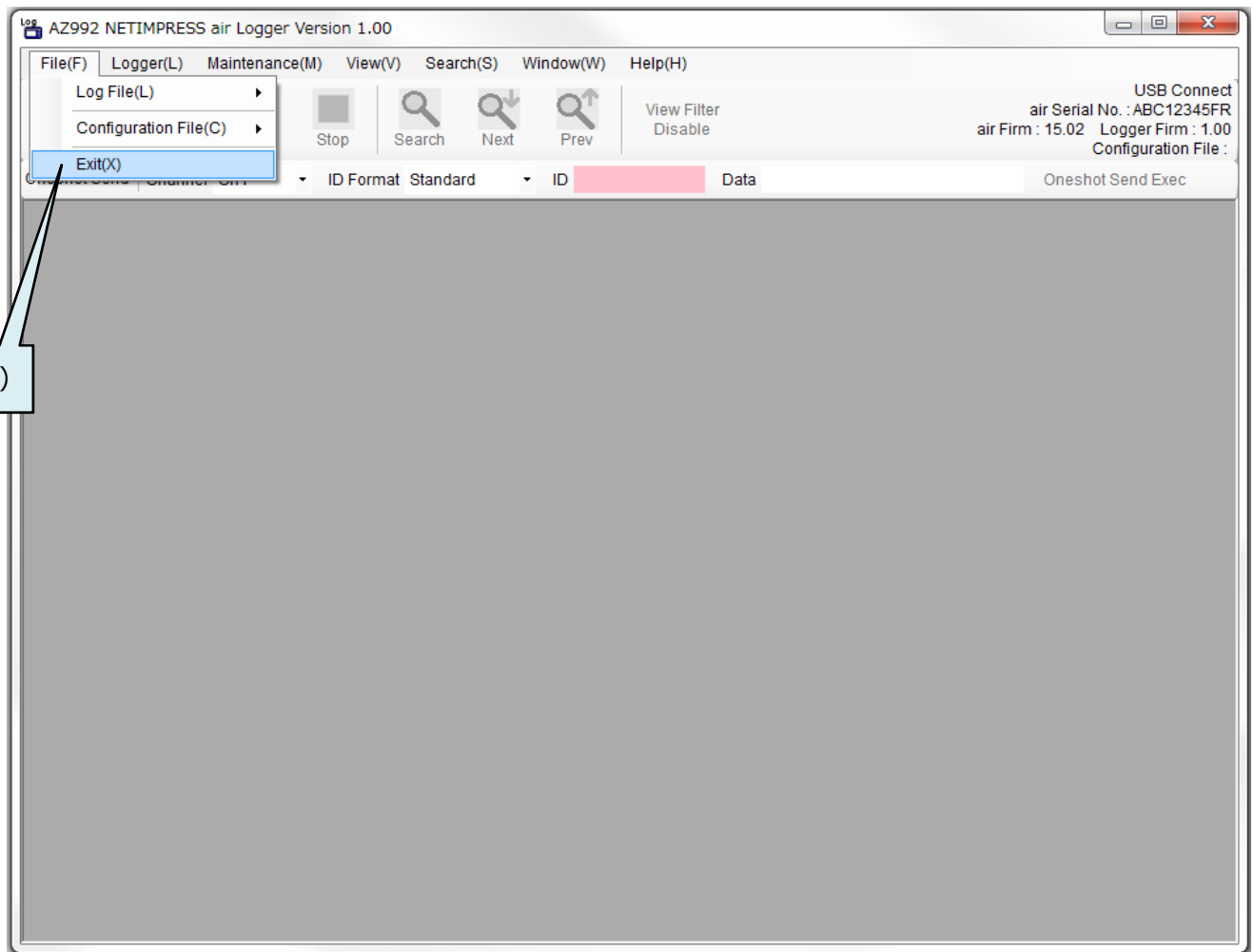
(3)Tool File(T)



① Transfer to air(A) ...

PC 上のファイルを専用 SD カードルートディレクトリに保存します。

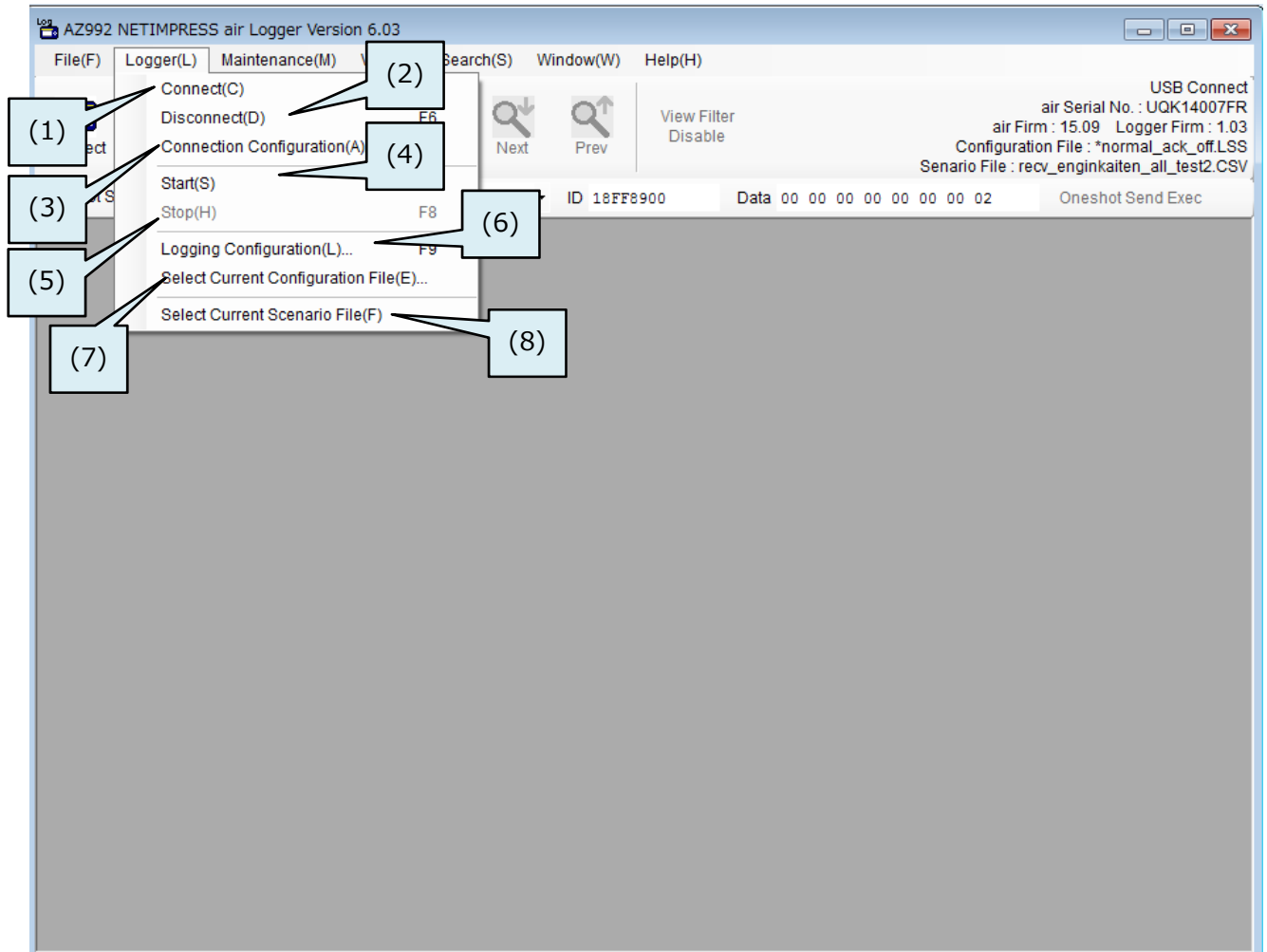
## (4)Exit(X)



### ① Exit(X)

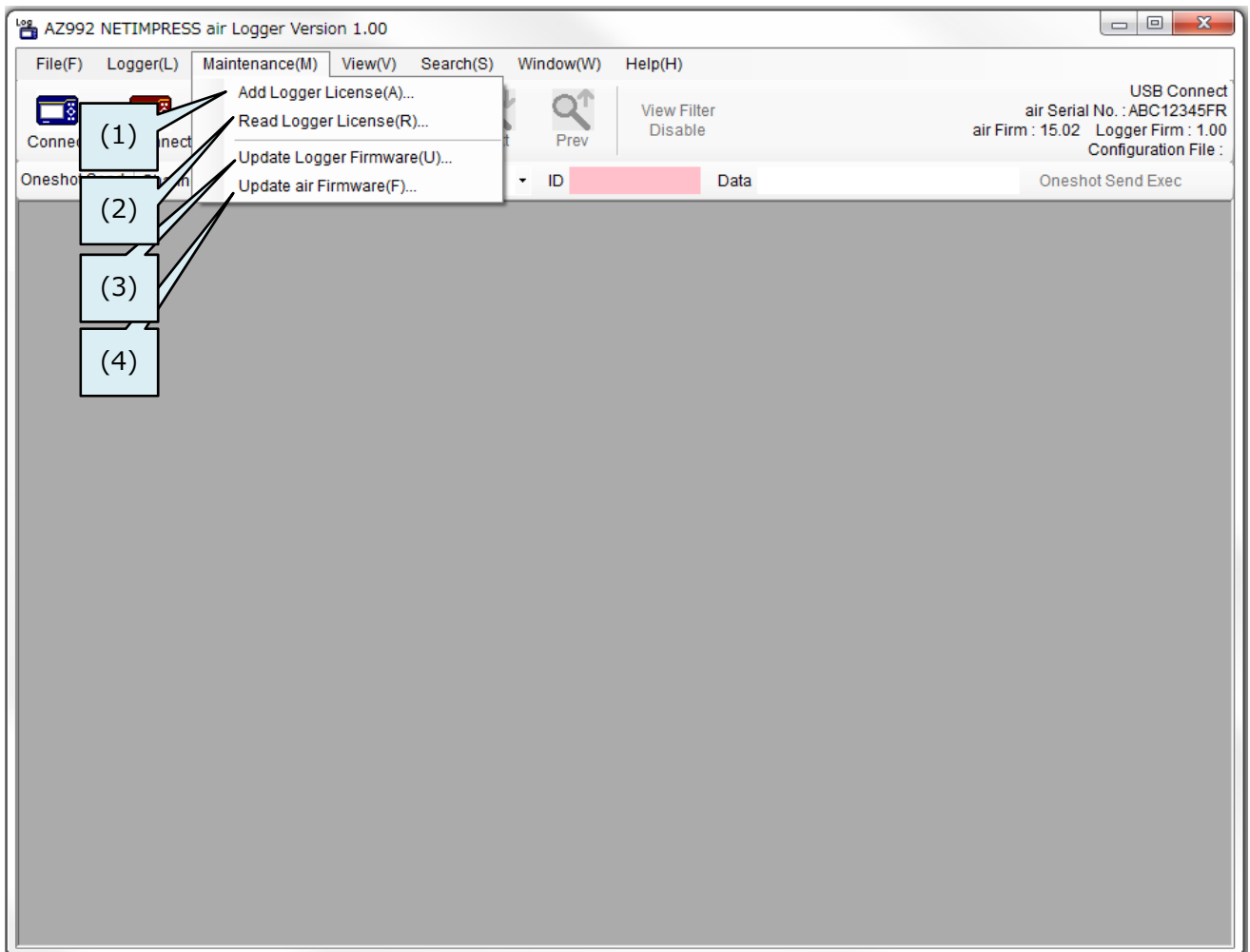
AZ992 を終了します。

## 6.1.3. Logger(L)メニュー



- (1) Connect(C)  
AZ992 と本機を接続します。
- (2) Disconnect(D)  
AZ992 と本機の接続を切断します。
- (3) Connection Configuration(A) ...  
本機との接続方式を設定します。
- (4) Start(S)  
モニタモードでロギングを開始します。
- (5) Stop(H)  
モニタモードでのロギングを終了します。
- (6) Logging Configuration(L) ...  
ロギング条件の設定を行います。
- (7) Select Current Configuration File(E) ...  
ストレージモード時に使用するロギング設定ファイル(\*.LSS)を選択します。
- (8) Select Current Scenario File(F) ...  
使用するシナリオファイル(\*.CSV)を選択します。

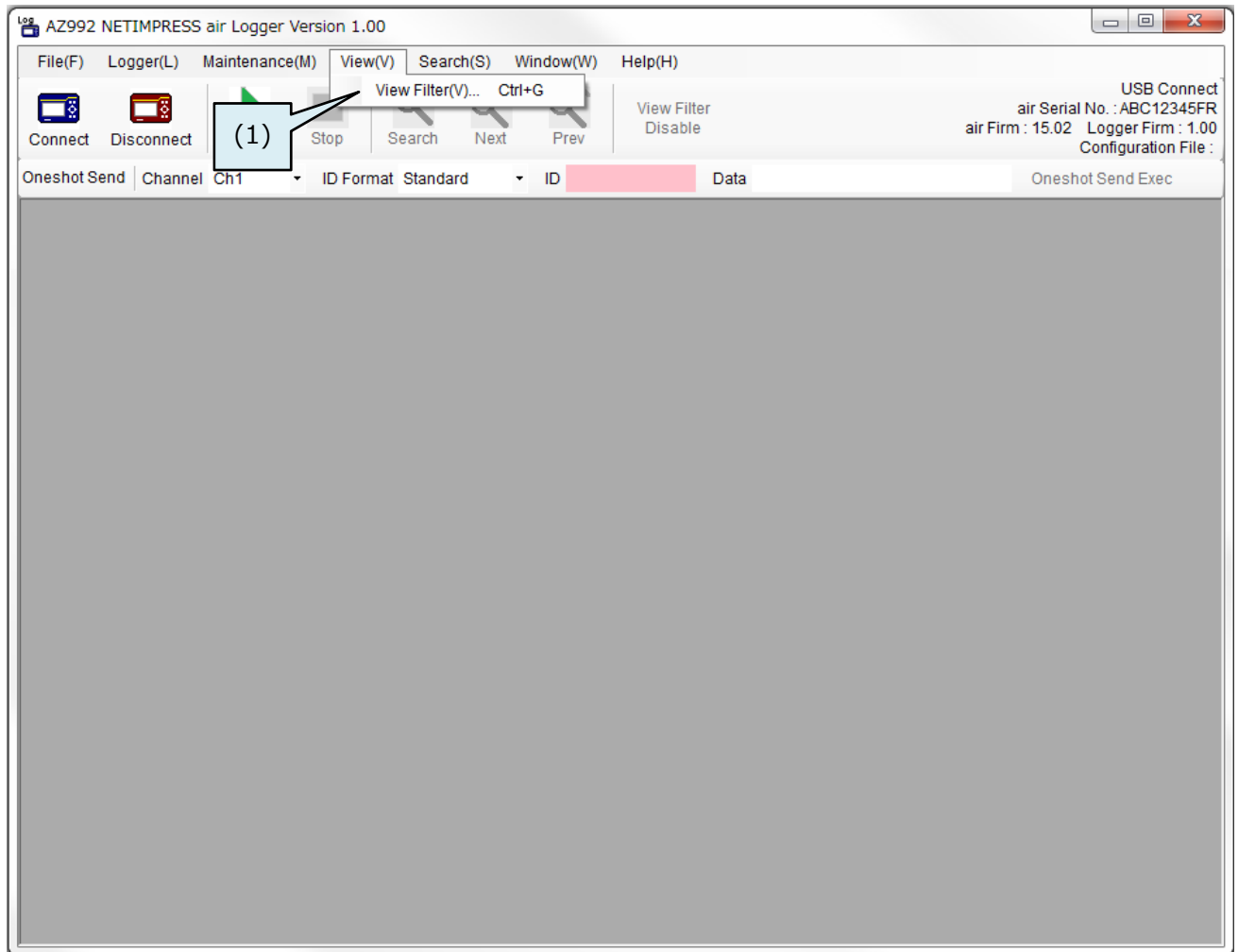
## 6.1.4. Maintenance(M)メニュー



- (1) Add Logger License(L) ...  
ロガーライセンスを本機に追加します。
- (2) Read Logger License(R) ...  
本機に追加済みのロガーライセンスを読み出します。
- (3) Update Logger Firmware(U) ...  
本機のロガーファームのアップデートを行います。
- (4) Update air Firmware(F) ...  
本機の本体ファームのアップデートを行います。



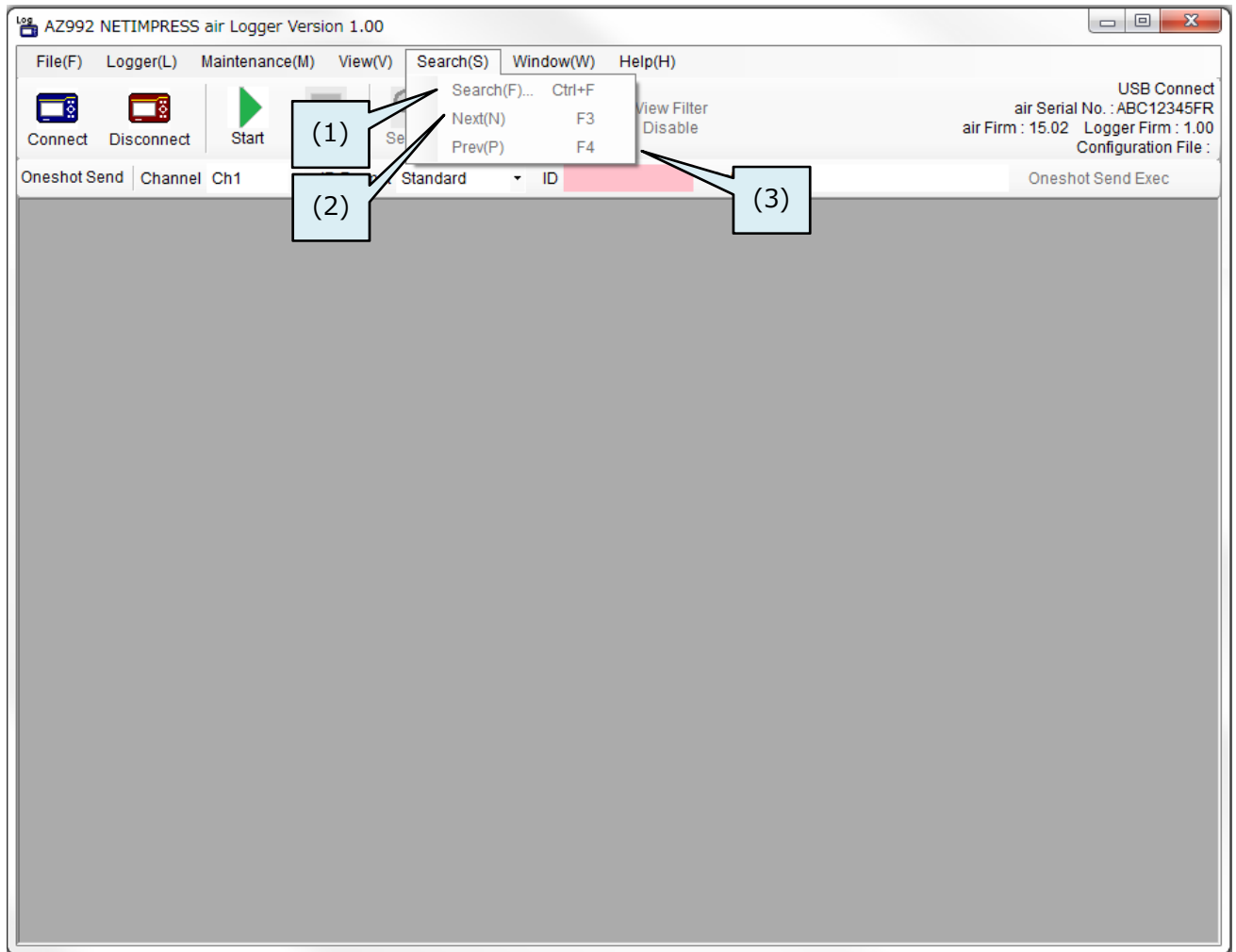
## 6.1.5. View(V)メニュー



## (1) View Filter(V) ...

ビューフィルタの設定を行います。

## 6.1.6. Search(S)メニュー



## (1) Search (F) ...

ログデータの検索画面を開きます。

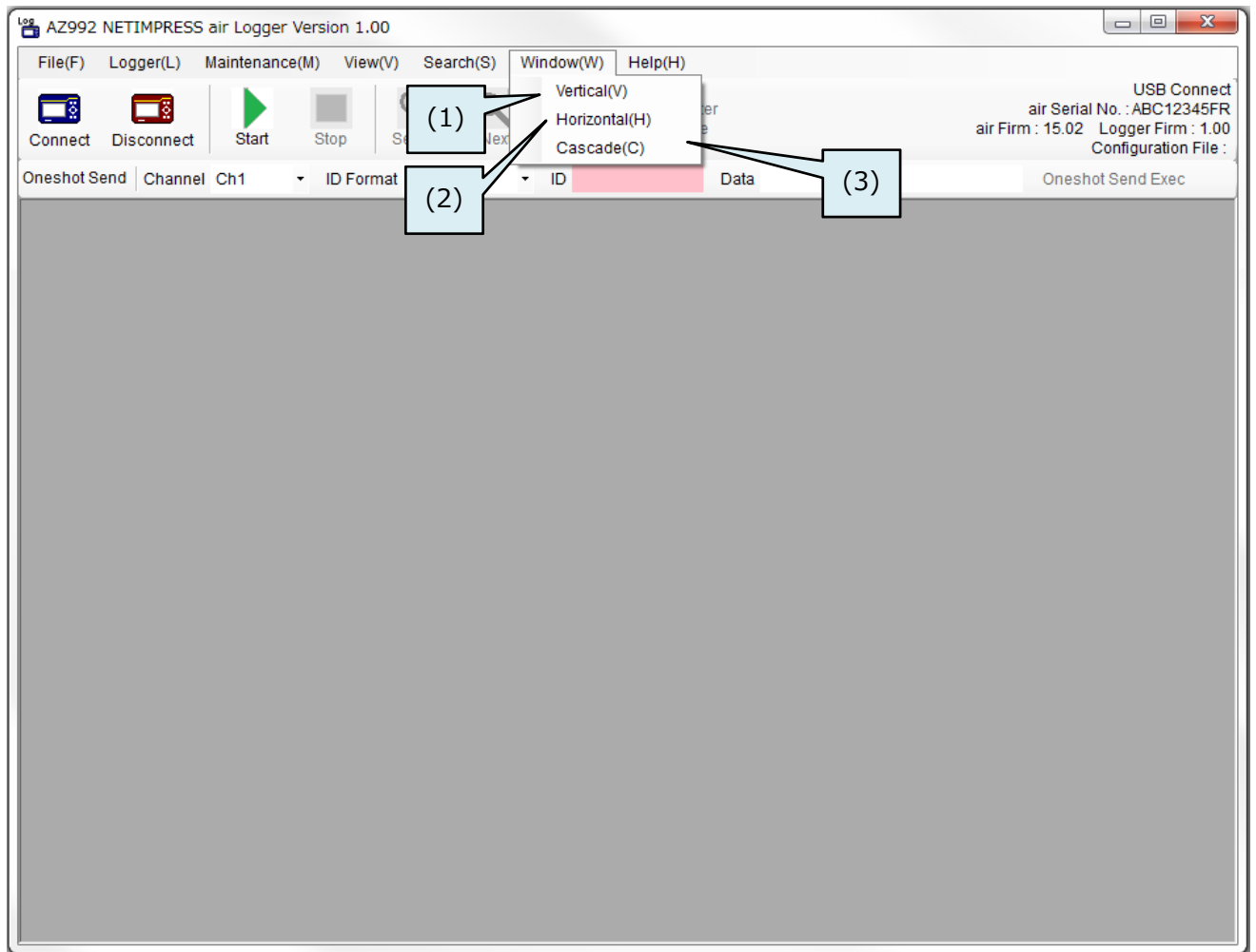
## (2) Next (N) ...

次のログデータを検索します。

## (3) Prev(P) ...

前のログデータを検索します。

## 6.1.7. Window(W)メニュー



## (1) Vertical (V) ...

ログデータウィンドウを垂直に区切って並べます。

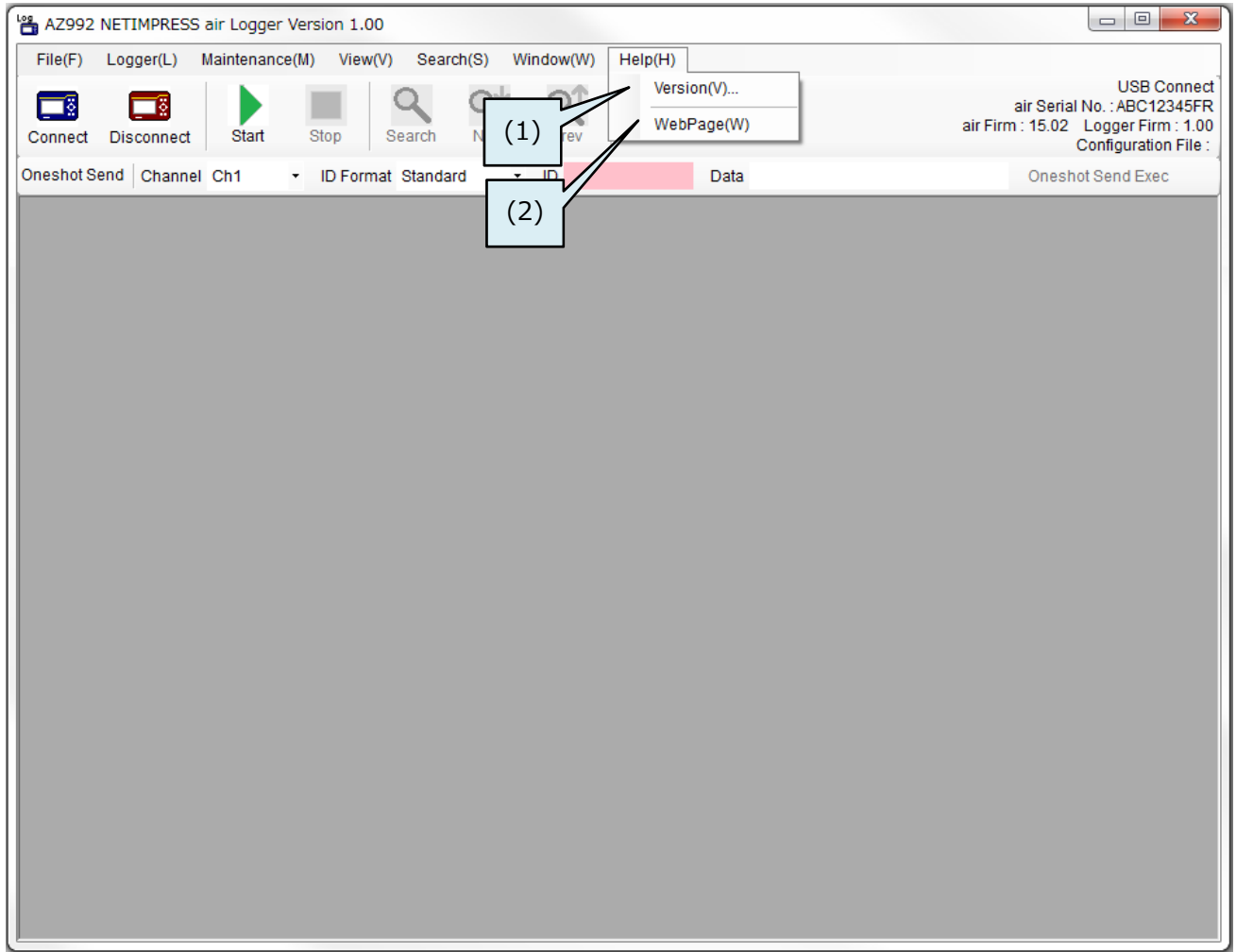
## (2) Horizontal (H) ...

ログデータウィンドウを水平に区切って並べます。

## (3) Cascade(C) ...

ログデータウィンドウを重ねて並べます。

## 6.1.8. Help(H)メニュー



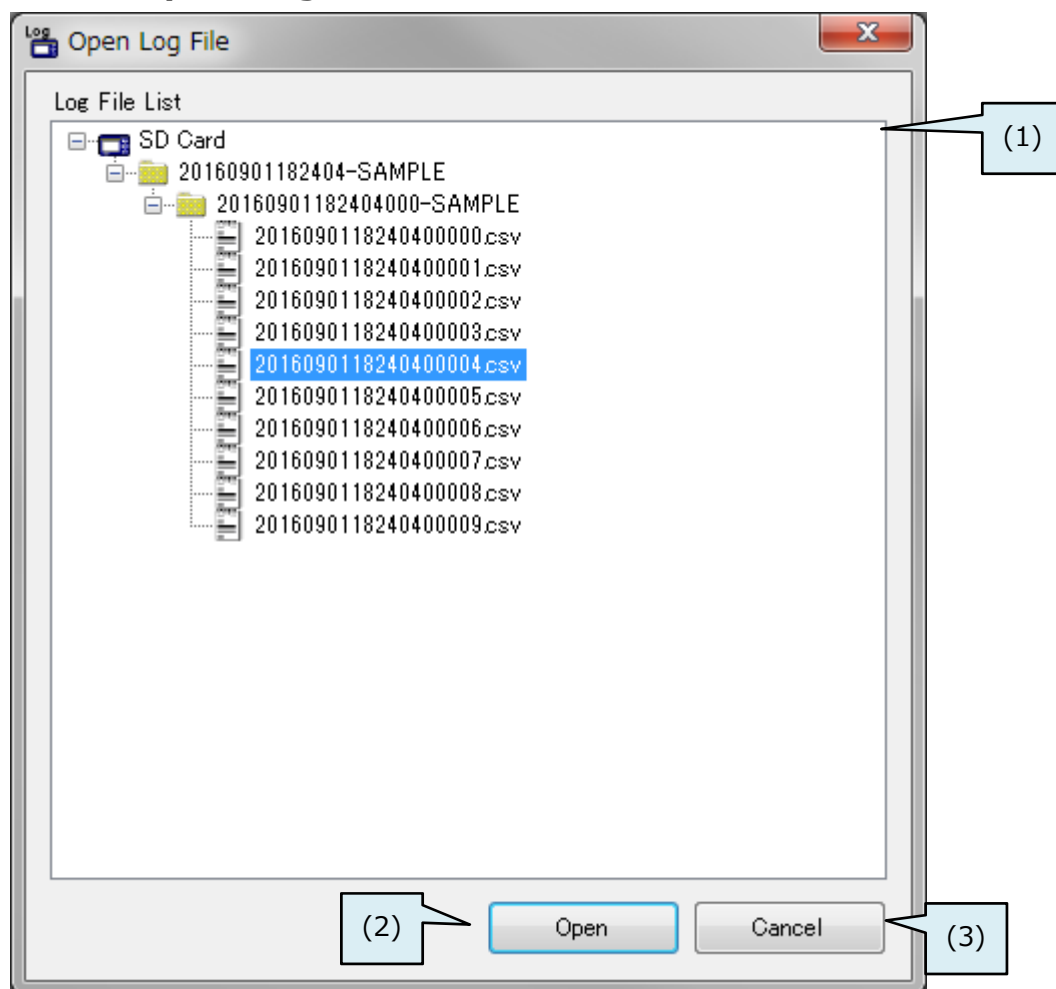
## (1) Version(V) ...

AZ992 のバージョンを表示します。

## (2) WebPage(W)

弊社のサポートページを表示します。

### 6.1.9. Open Log File 画面



(1) ログファイル一覧

専用 SD カード内のログファイルを表示します。

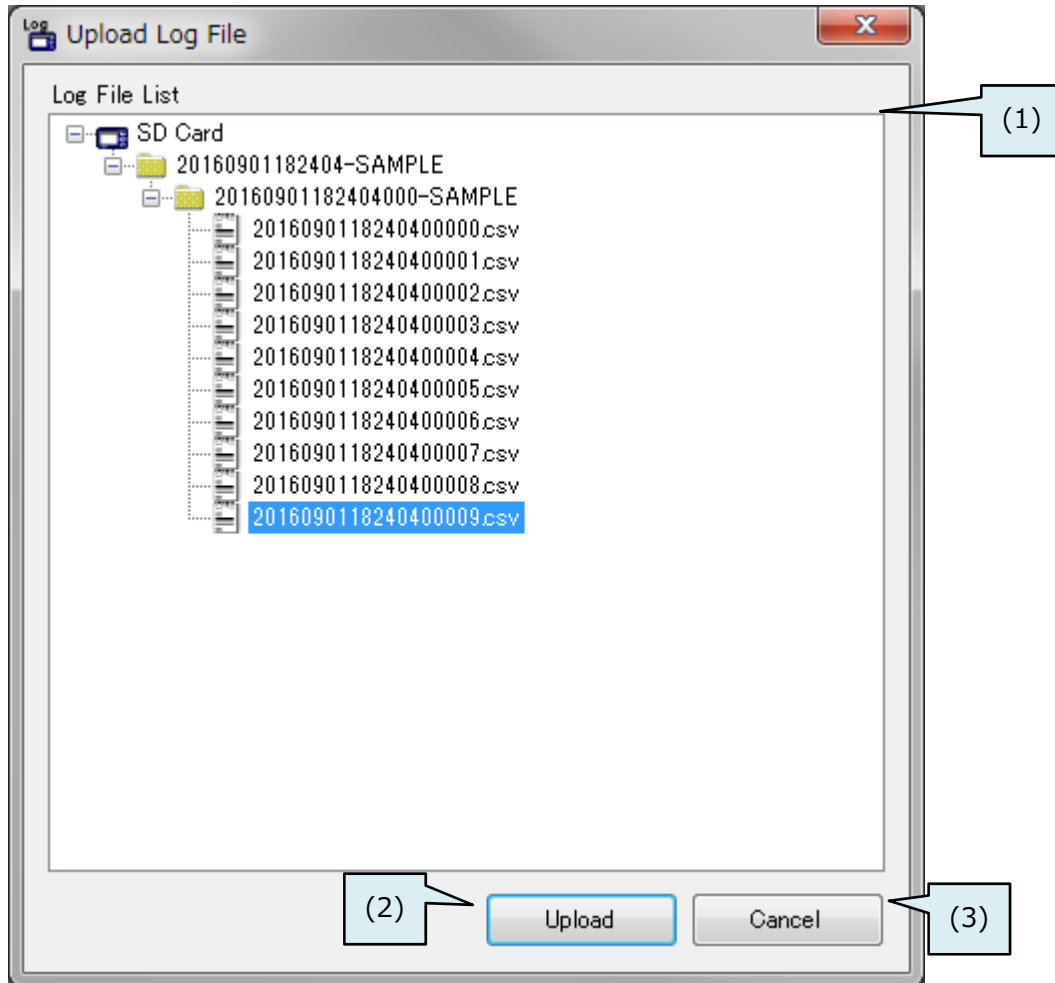
(2) Open ボタン

選択したログファイルを読み込みます。

(3) Cancel ボタン

ログファイルの読み込みを中止します。

## 6.1.10. Upload Log File 画面



## (1) ログファイル一覧

専用 SD カード内のログファイルを表示します。

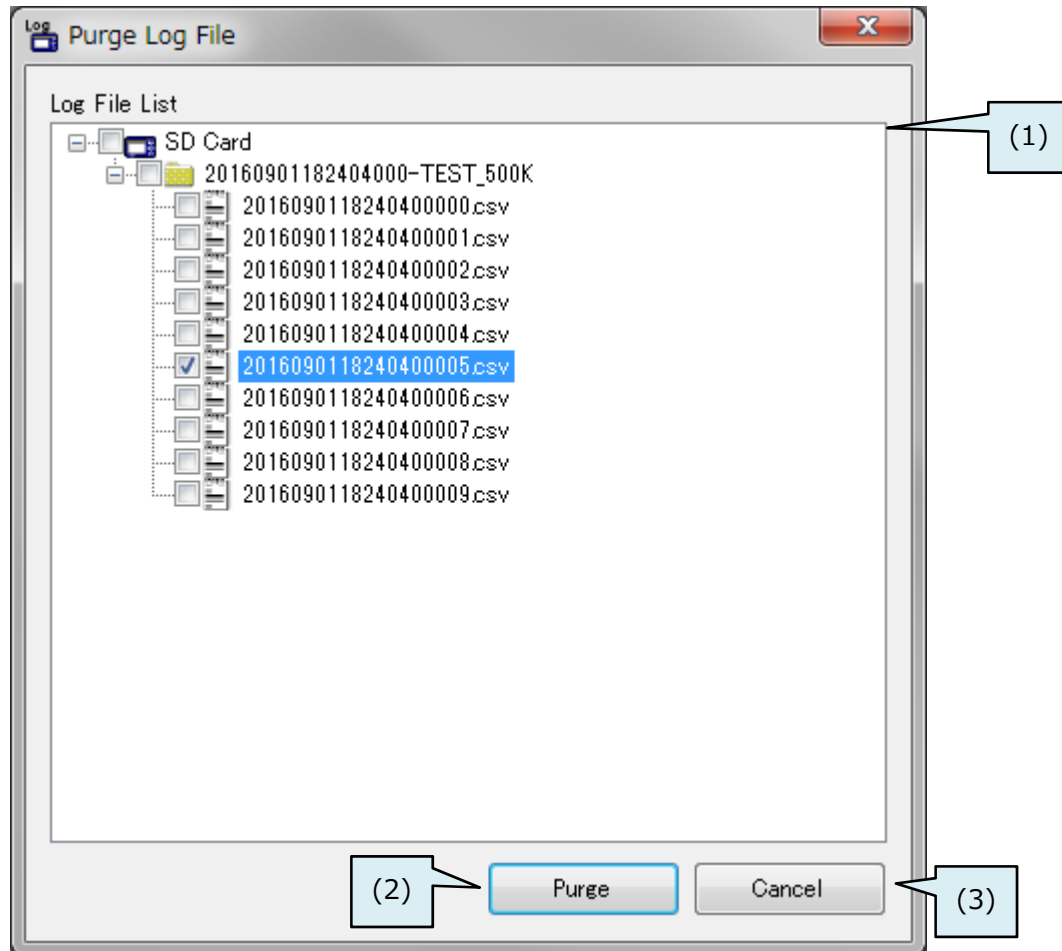
## (2) Upload ボタン

選択したログファイルをアップロードします。

## (3) Cancel ボタン

ログファイルのアップロードを中止します。

## 6.1.11. Purge Log File 画面



## (1) ログファイル一覧

専用 SD カード内のログファイルを表示します。

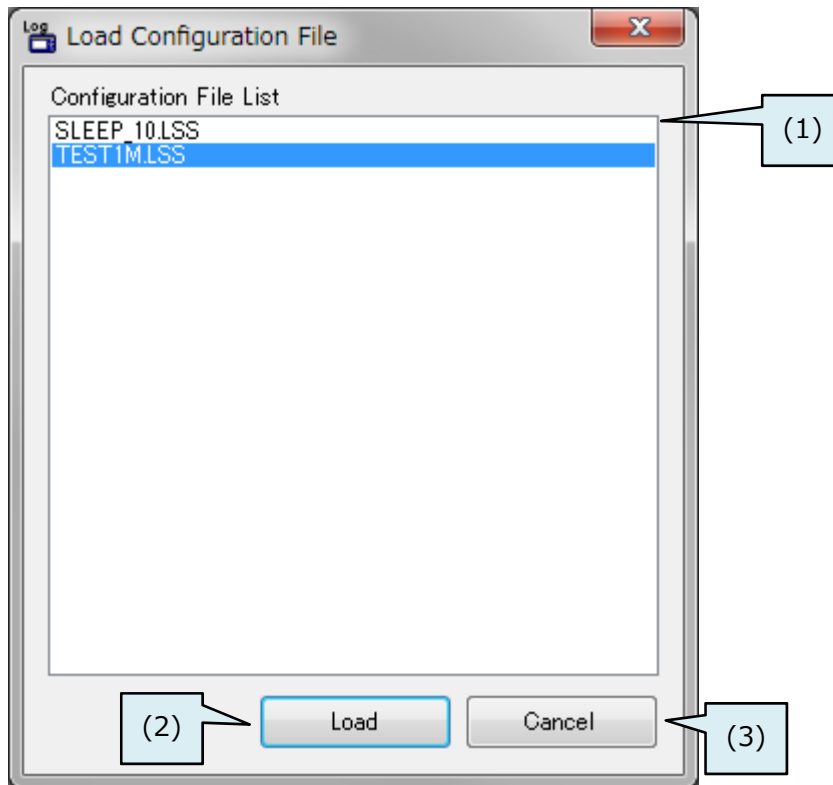
## (2) Purge ボタン

選択したログファイルを削除します。

## (3) Cancel ボタン

ログファイルの削除を中止します。

## 6.1.12. Load Configuration File 画面



## (1) ログ設定ファイル一覧

専用 SD カード内のログ設定ファイルを表示します。

## (2) Load ボタン

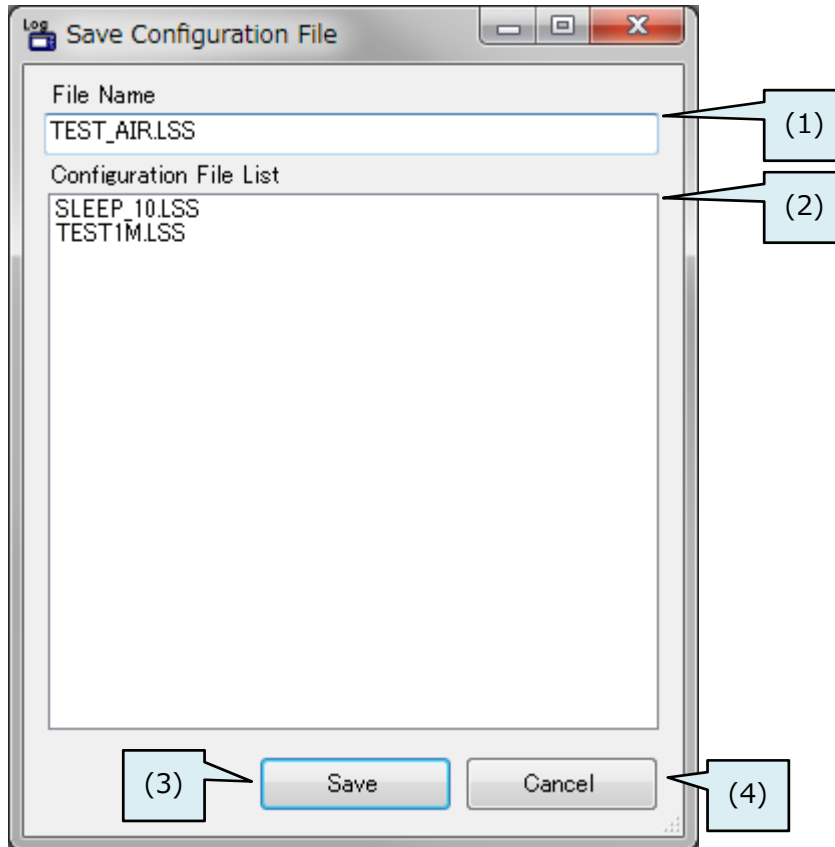
選択したログ設定ファイルをロードします。

## (3) Cancel ボタン

ログ設定ファイルのロードを中止します。



## 6.1.13. Save Configuration File 画面



## (1) ログ設定ファイル名入力ボックス

専用 SD カード内に保存するログ設定ファイル名を入力します。

## (2) ログ設定ファイル一覧

専用 SD カード内のログ設定ファイルを表示します。

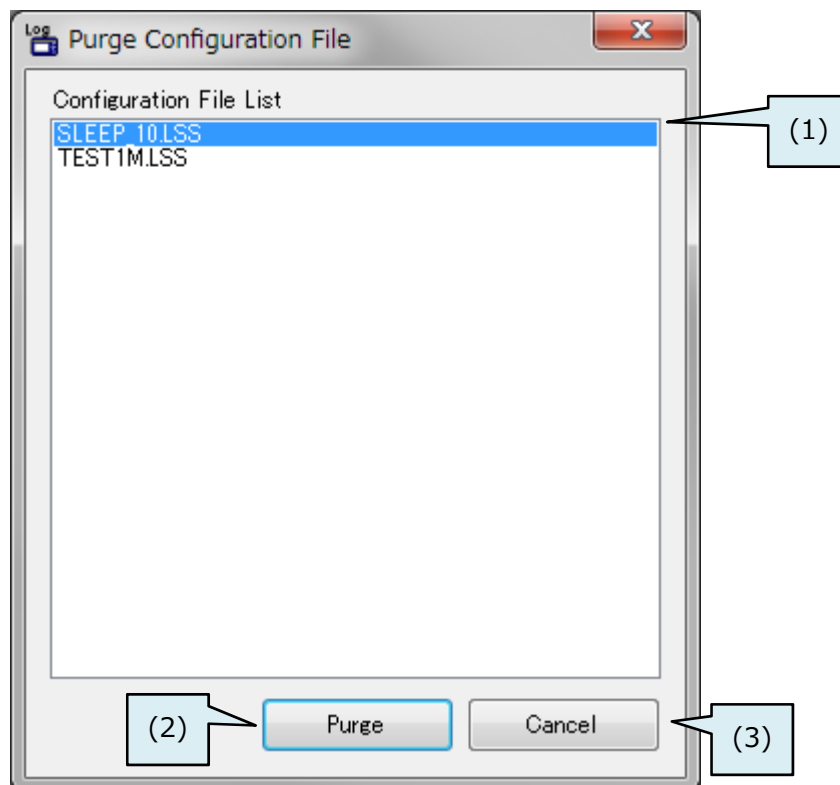
## (3) Save ボタン

ログ設定ファイルを専用 SD カード内に保存します。

## (4) Cancel ボタン

ログ設定ファイルの保存を中止します。

## 6.1.14. Purge Configuration File 画面



## (1) ログ設定ファイル一覧

専用 SD カード内のログ設定ファイルを表示します。

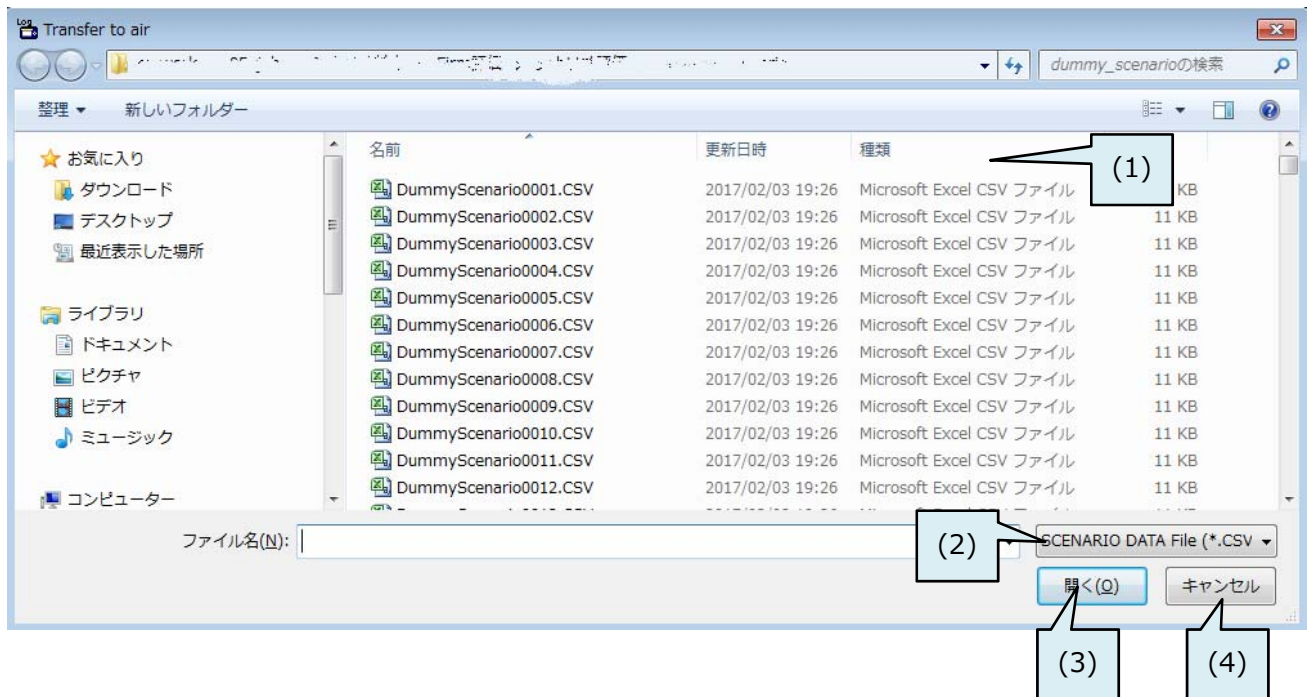
## (2) Purge ボタン

ログ設定ファイルを削除します。

## (3) Cancel ボタン

ログ設定ファイルの削除を中止します。

## 6.1.15. Transfer to air 画面



## (1) ファイラー一覧

PC上のファイルを表示します。

## (2) ファイル種別 (拡張子選択)

SCENARIO DATA FILE(\*.CSV) または All Files(\*.\*)が選択できます。

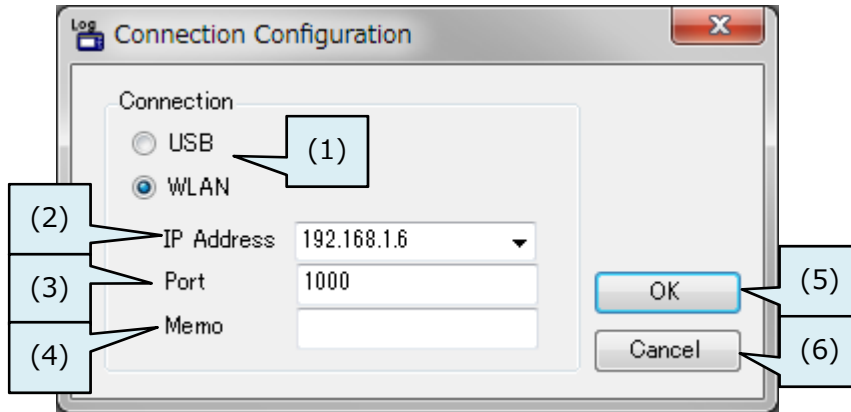
## (3) 開くボタン

選択したファイルを開いて専用 SD カードのルートディレクトリに保存します。

## (4) キャンセルボタン

本処理を中止してウィンドウを閉じます。

## 6.1.16. Connection Configuration 画面



(1) 接続方式選択

本機との接続方式を選択します。

(2) IP アドレス入力ボックス

本機の IP アドレスを入力します。

もしくは、接続したことがある IP アドレスの履歴から IP アドレスを選択します。

(3) ポート番号入力ボックス

本機のポート番号を入力します。

(4) メモ入力ボックス

IP アドレスに紐付いたメモを入力します。

また、IP アドレス入力時に、IP アドレスに紐付いたメモを表示します。

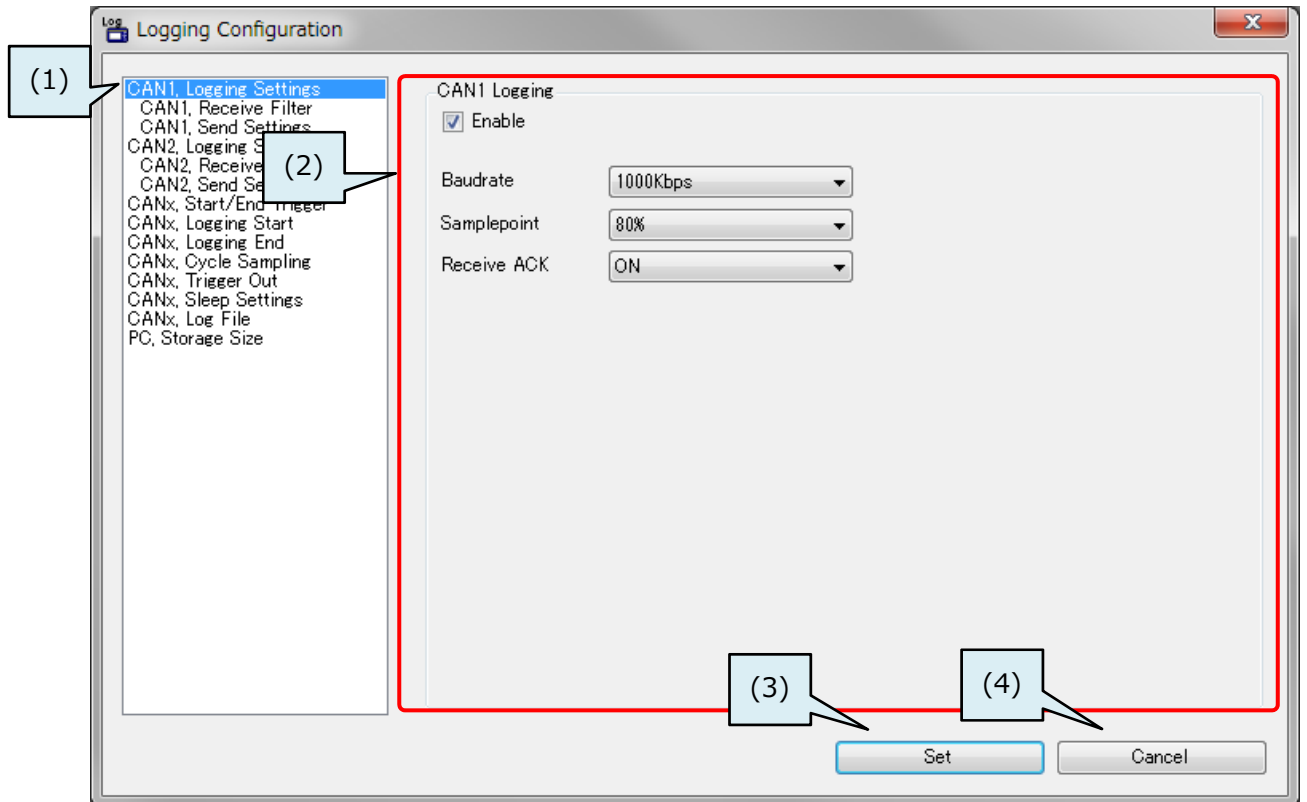
(5) OK ボタン

本機との接続設定の変更を反映します。

(6) Cancel ボタン

本機との接続設定の変更を破棄します。

## 6.1.17. Logging Configuration 画面



## (1) メニュー

画面右側に表示する設定項目を選択します。

## (2) 設定項目

メニューの選択に応じた項目が表示されます。

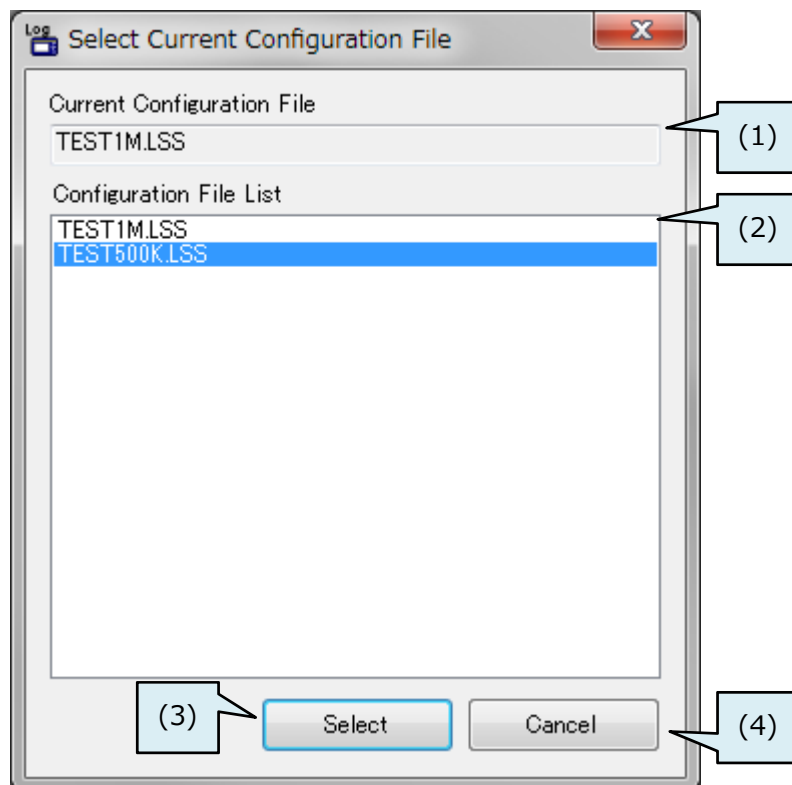
## (3) Set ボタン

ロギング設定の変更を反映します。

## (4) Cancel ボタン

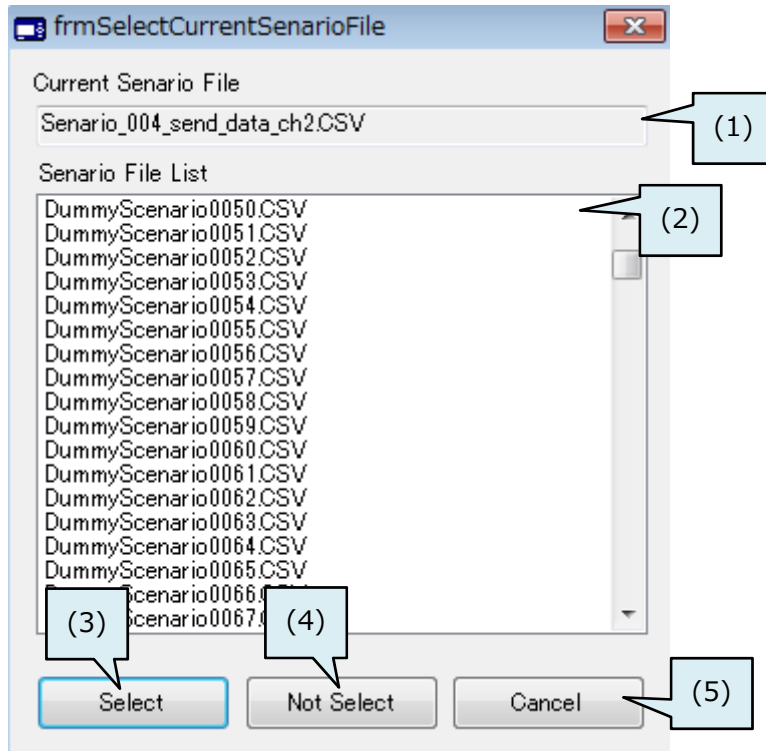
ロギング設定の変更を破棄します。

## 6.1.18. Select Current Configuration File 画面



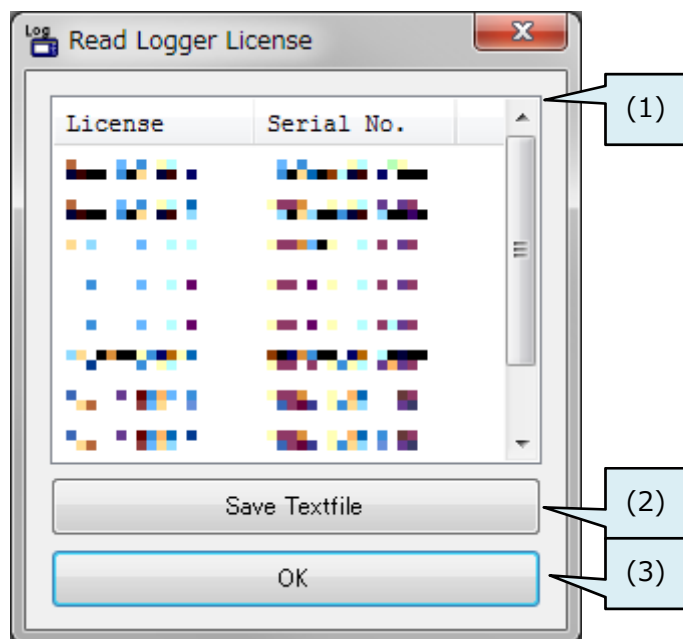
- (1) カレントロギング設定ファイル名ボックス  
現在のカレントロギング設定ファイル名を表示します。
- (2) ロギング設定ファイル一覧  
専用 SD カード内のロギング設定ファイルを表示します。
- (3) Select ボタン  
カレントロギング設定ファイルを選択します。
- (4) Cancel ボタン  
カレントロギング設定ファイルの選択を中止します。

## 6.1.19. Select Current Scenario File 画面



- (1) カレントシナリオファイル名ボックス  
現在のカレントシナリオファイル名を表示します。
- (2) シナリオファイル一覧  
専用 SD カード内のシナリオファイルを表示します。
- (3) Select ボタン  
カレントシナリオファイルを選択します。
- (4) Not Select ボタン  
カレントシナリオファイルを解除します。(未選択状態にします)
- (5) Cancel ボタン  
カレントシナリオファイルの選択を中止します。

## 6.1.20. Read Logger License 画面



## (1) ロガーライセンス一覧

本機に追加済みのロガーライセンスを表示します。

## (2) Save Textfile ボタン

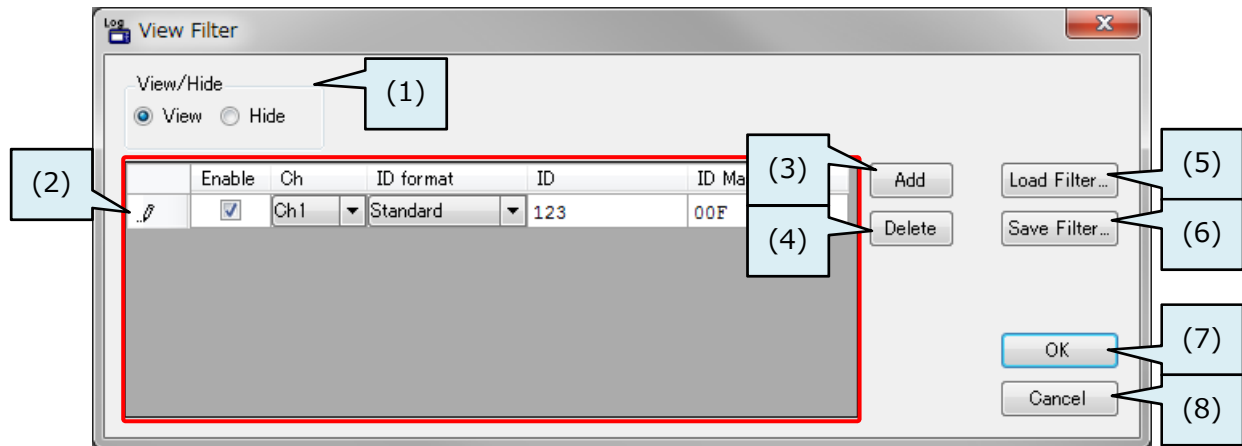
ロガーライセンス一覧をテキストファイルに保存します。

## (3) OK ボタン

Read Logger License 画面を閉じます。



## 6.1.21. View Filter 画面



## (1) ビューフィルタ動作選択

ビューフィルタに一致したログデータを表示するか隠すかを選択します。

## (2) ビューフィルタ設定一覧

現在のビューフィルタを表示します。

また、ビューフィルタの設定を変更することができます。

## (3) Add ボタン

ビューフィルタを 1 つ追加します。

## (4) Delete ボタン

選択したビューフィルタを 1 つ削除します。

## (5) Load Filter...ボタン

ビューフィルタファイルからビューフィルタを読み込みます。

## (6) Save Filter...ボタン

現在のビューフィルタをビューフィルタファイルに保存します。

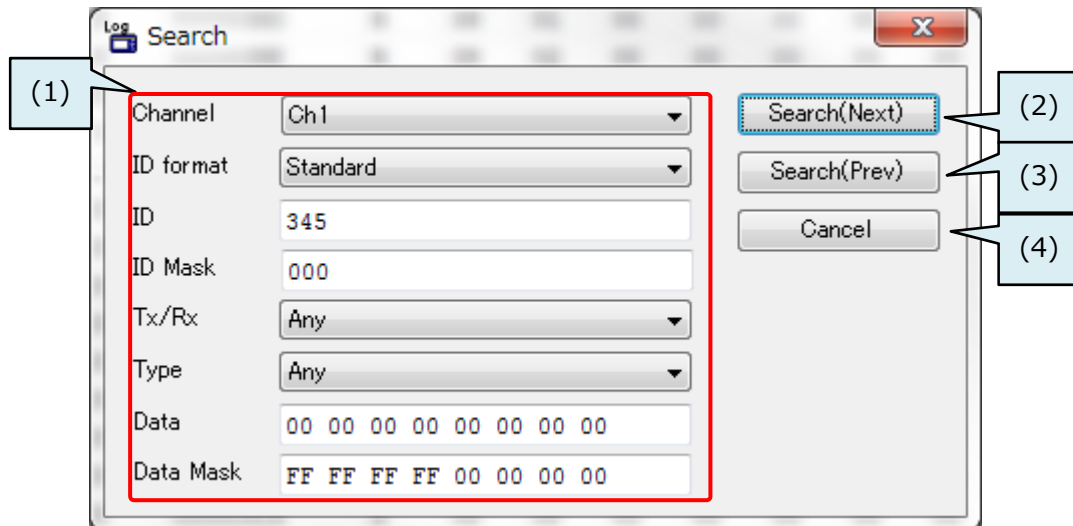
## (7) OK ボタン

ビューフィルタの変更を反映します。

## (8) Cancel ボタン

ビューフィルタの変更を破棄します。

## 6.1.22. Search 画面



## (1) 検索条件設定

ログデータを検索する条件を設定します。

## (2) Search(Next)ボタン

ログデータの後ろ方向に向かって検索を開始します。

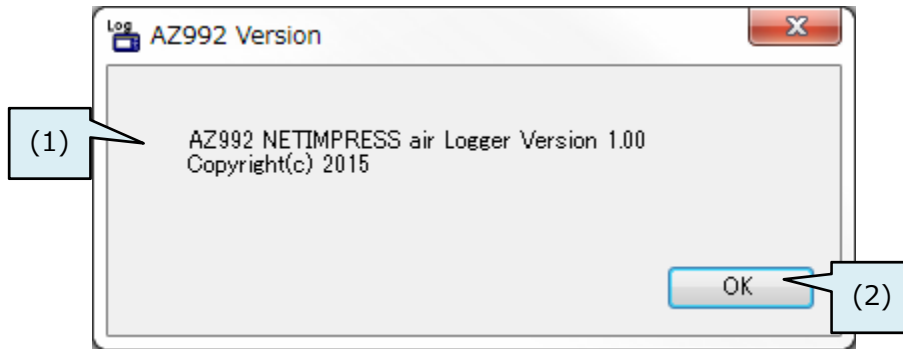
## (3) Search(Prev)ボタン

ログデータの手前方向に向かって検索を開始します。

## (4) Cancel ボタン

Search 画面を閉じます。

## 6.1.23. Version 画面



## (1) バージョン情報表示

AZ992 のバージョン情報を表示します。

## (2) OK ボタン

Version 画面を閉じます。

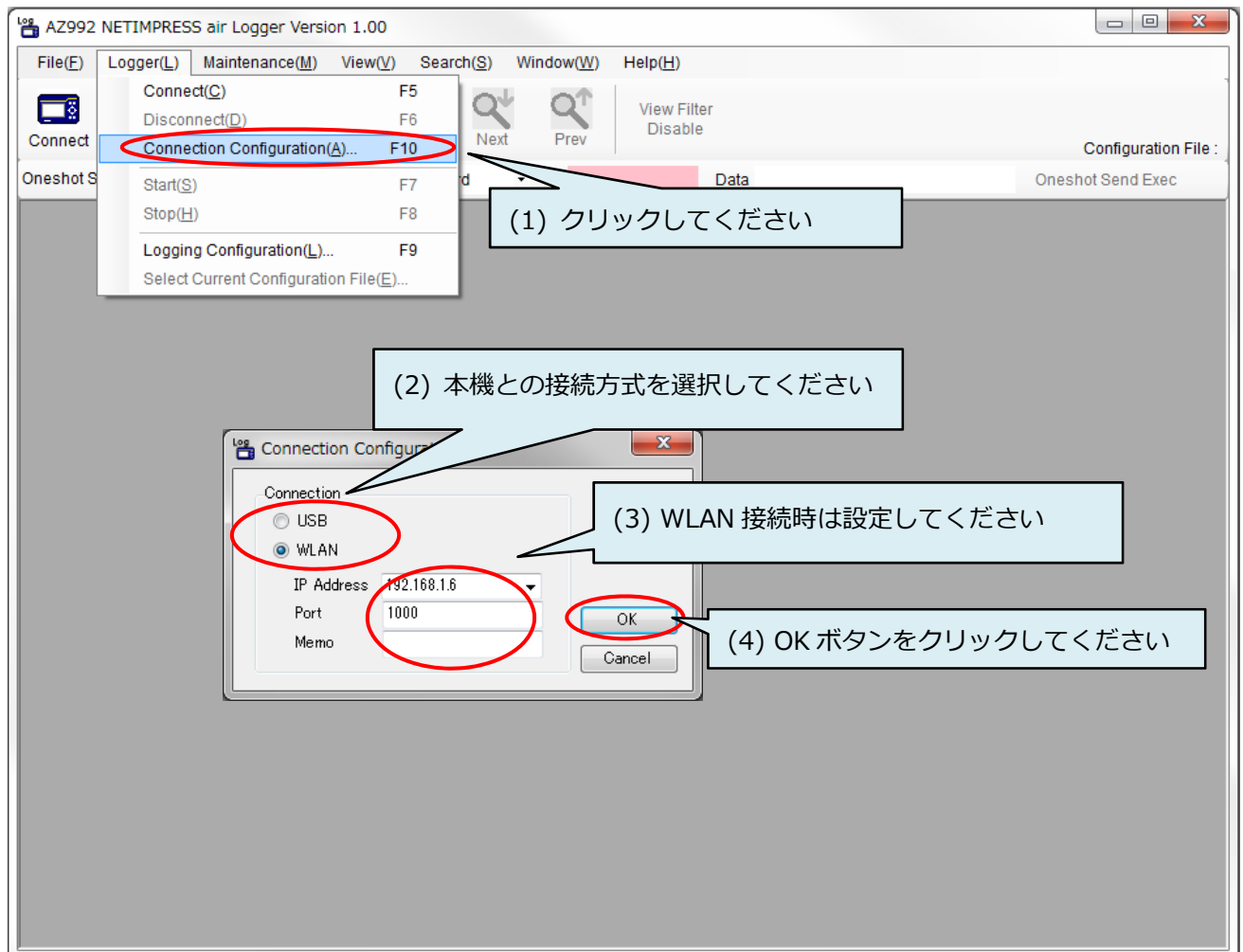
## 6.2. 操作方法

### 6.2.1. 本機との接続設定

本機との接続方式を設定します。

“Logger(L)”メニューの“Connection Configuration(A)”をクリックします。

Connection Configuration 画面が表示されますので、本機との接続方式を選択します。本機との接続方式として WLAN を選択した場合、本機の IP アドレス、ポート番号も設定する必要があります。設定完了後、“OK”ボタンをクリックします。



各項目の説明は次のとおりです。

項目	説明
USB	本機と USB で接続します。
WLAN	本機と Wireless LAN で接続します。
IP Address	本機の IP アドレスを入力します。
Port	本機のポート番号を入力します。
Memo	メモを入力します。メモは IP アドレスに紐付いて保存されます。また、IP アドレス入力時に、入力された IP アドレスに紐付いたメモが表示されます。



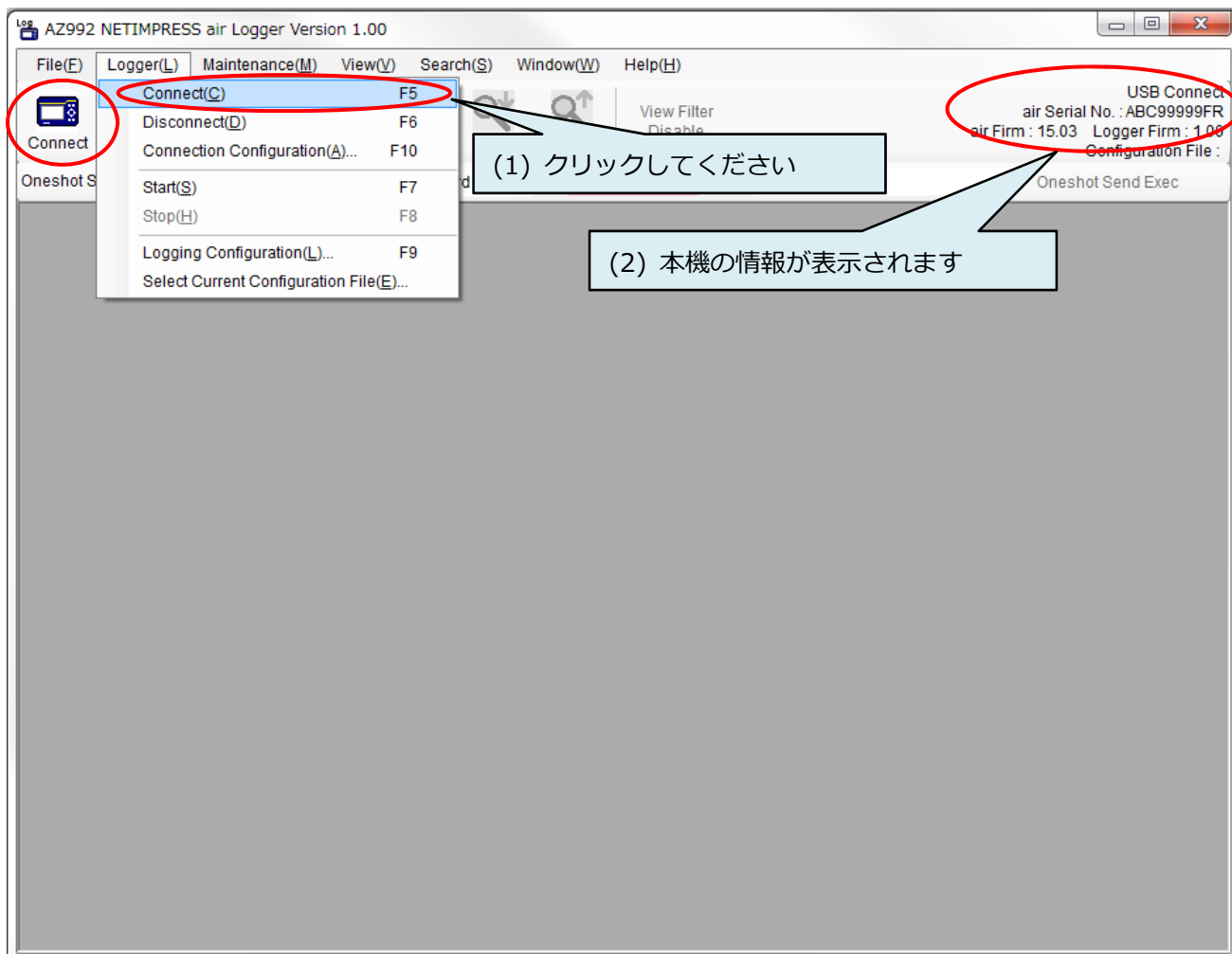
AZ992 画面でキーボードの F10 キーを押すことでも、Connection Configuration 画面を表示することが可能です。

## 6.2.2. 本機と接続

事前に設定された接続方式で本機と接続します。

“Logger(L)”メニューの“Connect(C)”をクリックします。もしくは、画面上の“Connect”ボタンをクリックします。

本機との接続に成功すると、画面右上に本機の情報が表示されます。



画面右上に表示される情報の説明は次のとおりです。

画面右上の情報表示	説明
1 行目	接続状態を表示します。 USB Connect : USB で接続中 WLAN Connect : Wireless LAN で接続中
2 行目	本機のシリアル番号を表示します。
3 行目	本機のファームバージョンおよびロガーファームバージョンを表示します。



AZ992 画面でキーボードの F5 キーを押すことでも、本機と接続することが可能です。

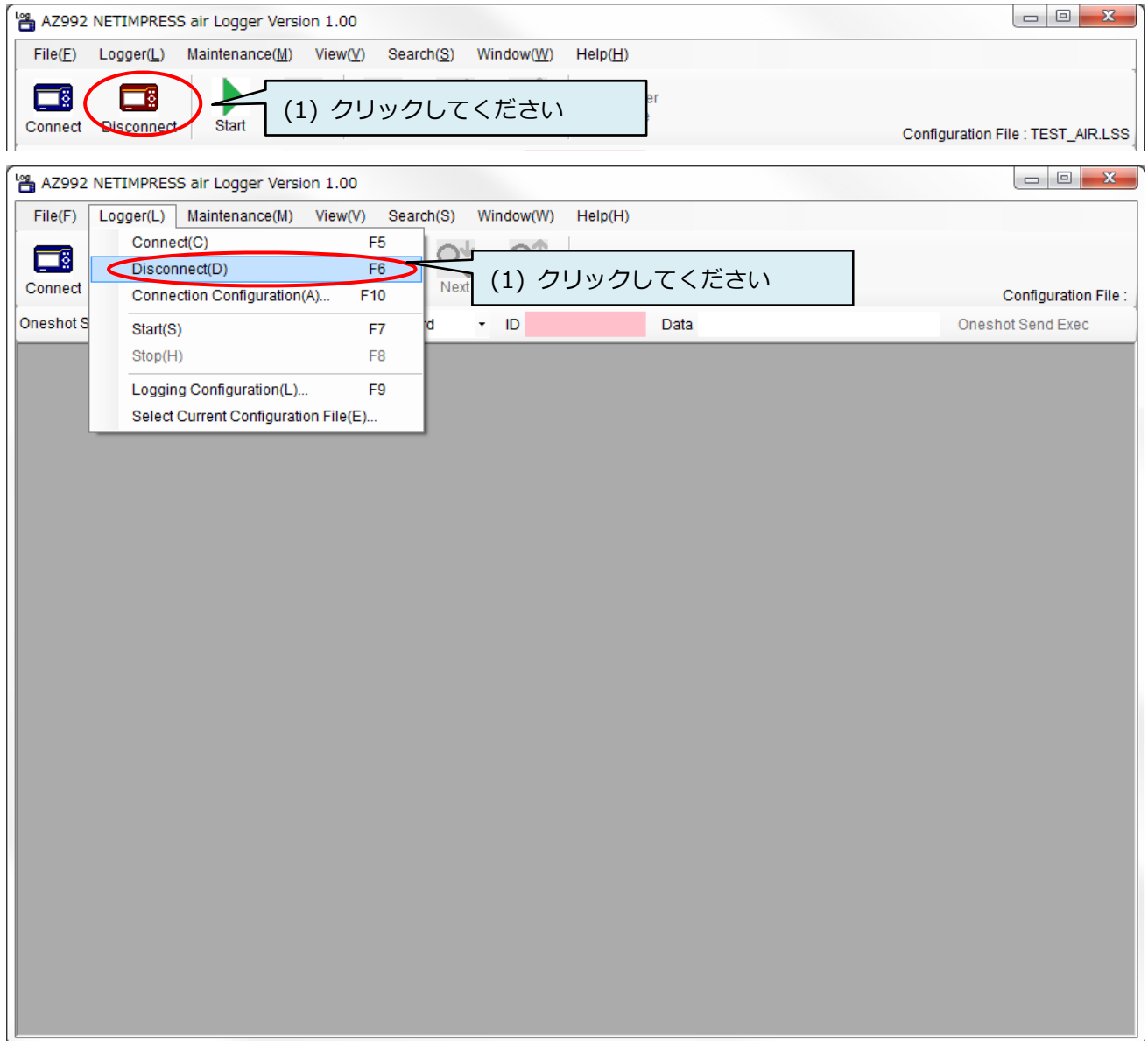
### 6.2.3. 本機から切断

本機との接続を切断します。

“Logger(L)”メニューの“Disconnect(D)”をクリックします。もしくは、画面上の“Disconnect”ボタンをクリックします。

なお、本機と切断すると、画面右上に表示されている本機の情報が表示されなくなります。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。



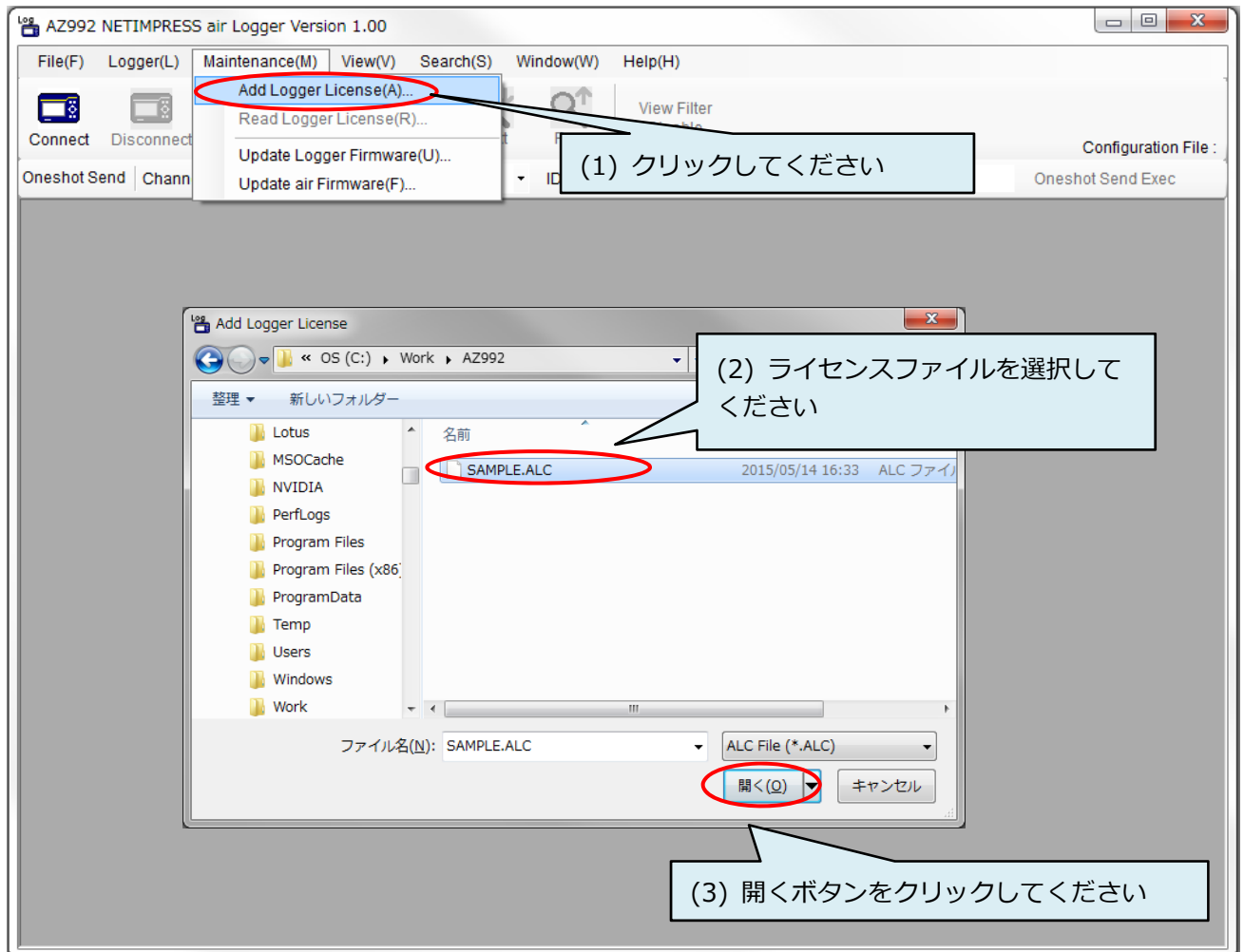
AZ992 画面でキーボードの F6 キーを押すことでも、本機との接続を切断することが可能です。

## 6.2.4. ロガーライセンス追加

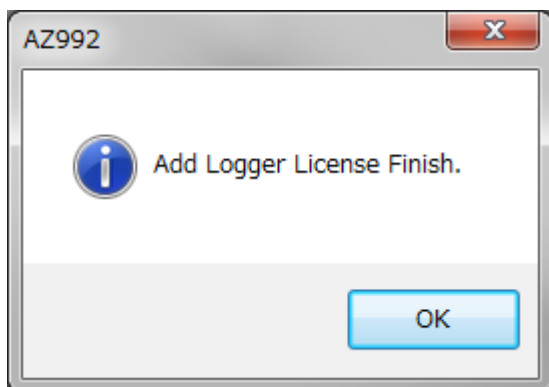
本機にロガーライセンス情報を追加します。

“Maintenance(M)”メニューの“Add Logger License(A)”をクリックします。

ファイルオープンダイアログが表示されますので、追加したいライセンスファイル(\*.ALC)を選択後、“開く”ボタンをクリックします。ロガーライセンス追加を中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。



ロガーライセンス追加に成功すると、以下のメッセージが表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。



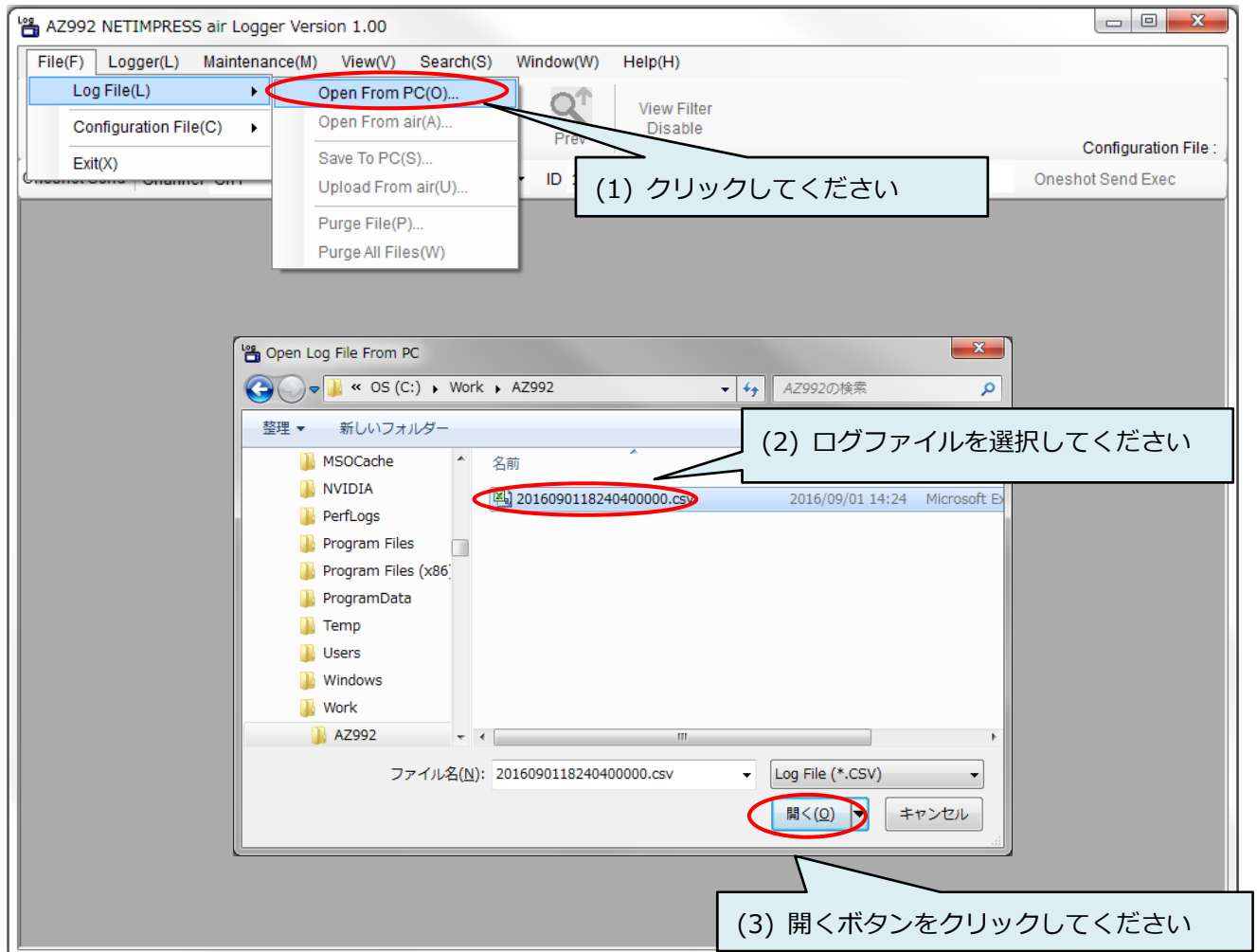


## 6.2.5. PC上のログファイルを読み込み

PC上のログファイル(\*.CSV)を読み込み、AZ992上に表示します。

“File(F)”メニューの“Log File(L)”-“Open From PC(O)”をクリックします。

ファイルオープンダイアログが表示されますので、読み込みたいログファイルを選択後、“開く”ボタンをクリックします。ログファイルの読み込みを中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。



## 6.2.6. 専用 SD カード内のログファイルを読み込み

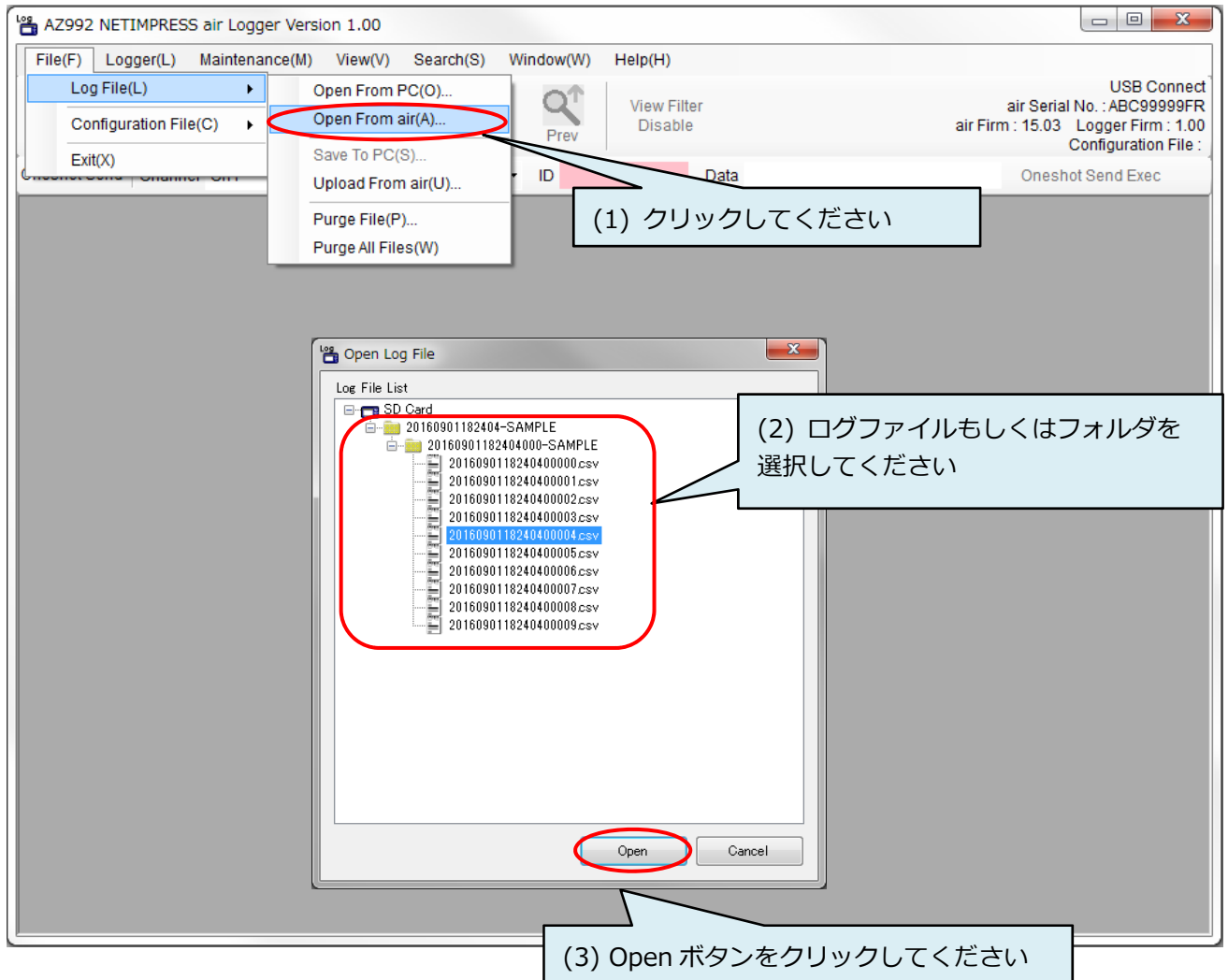
専用 SD カード内のログファイル(\*.CSV)を読み込み、AZ992 上に表示します。

“File(F)”メニューの“Log File(L)”-“Open From air(A)”をクリックします。

Open Log File 画面に、専用 SD カード内のログファイル一覧が表示されますので、読み込みたいログファイルもしくはフォルダを選択後、“Open”ボタンをクリックします。ログファイルを選択した場合、ファイルを 1 つだけ読み込みます。フォルダを選択した場合、フォルダ内のファイルを結合して読み込みます。

ログファイルの読み込みを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。



## 6.2.7. ログデータを PC 上に保存

AZ992 上のログデータを、ログファイル(\*.CSV)として PC 上に保存します。

“File(F)”メニューの“Log File(L)”-“Save To PC(S)”をクリックします。

ファイルセーブダイアログが表示されますので、ログファイルの保存先を設定後、“保存”ボタンをクリックします。ログファイルの保存を中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。

この操作は、AZ992 上にログデータを表示したウィンドウが存在する場合のみ実行可能です。

The screenshot shows the AZ992 NETIMPRESS air Logger Version 1.00 interface. The 'File(F)' menu is open, and 'Log File(L)' is selected. The 'Save To PC(S)...' option is highlighted with a red circle and a callout box: (1) クリックしてください. The 'Save Log File To PC' dialog box is open, showing the file name 'Save\_Log.CSV' highlighted with a red circle and a callout box: (2) ログファイル名を設定してください. The 'Save(S)' button is highlighted with a red circle and a callout box: (3) 保存ボタンをクリックしてください. The background shows a data table with columns: Time, ch, Type, ID, T/R, DLC, D[0], D[1], D[2], D[3], D[4], D[5], D[6], D[7], st.

Time	ch	Type	ID	T/R	DLC	D[0]	D[1]	D[2]	D[3]	D[4]	D[5]	D[6]	D[7]	st
000000000188DA54	1	S	000003BC	R	08	00	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DA80	2	S	000003BC	R	08	00	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DB15	1	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DB41	2	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DC1D	1	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DC49	2	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DD27	1	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DD53	2	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DE60	1	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DE8C	2	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DF46	1	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DF72	2	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E031	1	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E074	2	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E136	1	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E162	2	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E24D	1	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E279	2	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E338	1	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E37C	2	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E43C	1	S	000003C6	R	08	0A	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E469	2	S	000003C6	R	08	0A	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E547	1	S	000003C7	R	08	0B	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E574	2	S	000003C7	R	08	0B	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E65D	1	S	000003C8	R	08	0C	00	00	00	00	00	00	00	

## 6.2.8. 専用 SD カード内のログファイルを PC 上にアップロード

専用 SD カード内のログファイル(\*.CSV)を PC 上にアップロードします。

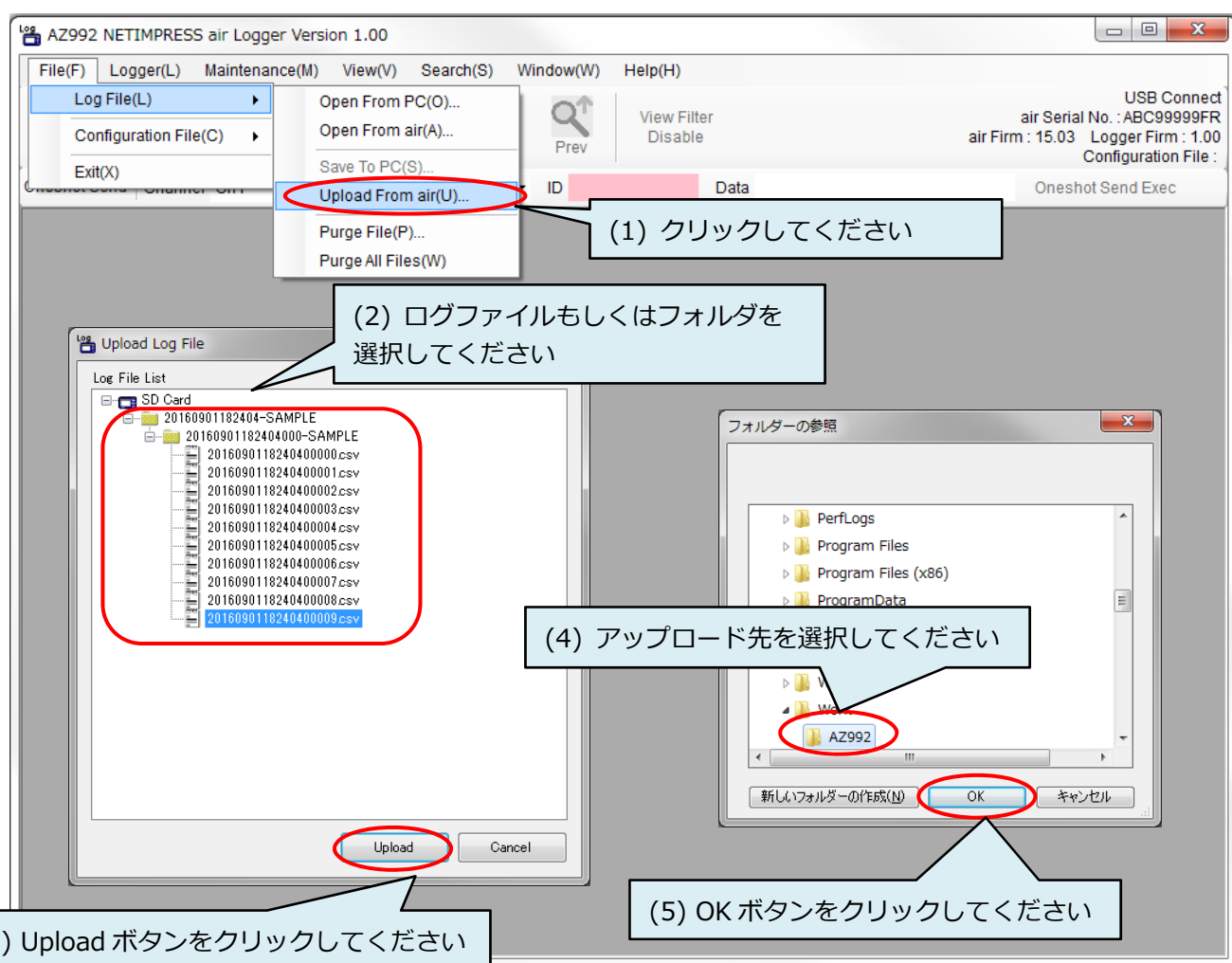
“File(F)”メニューの“Log File(L)”-“Upload From air(U)”をクリックします。

Upload Log File 画面に、専用 SD カード内のログファイル一覧が表示されますので、アップロードしたいログファイルもしくはフォルダを選択後、“Upload”ボタンをクリックします。“Upload”ボタンクリック後、アップロード先選択画面が表示されますので、アップロード先を選択後、“OK”ボタンをクリックします。

ログファイルを選択した場合、ファイルを 1 つだけアップロードします。フォルダを選択した場合、フォルダ内のファイルを結合してアップロードします。

ログファイルのアップロードを中止したい場合は、Upload Log File 画面で“Cancel”ボタンをクリックするか、アップロード先選択画面で“キャンセル”ボタンをクリックします。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。



## 6.2.9. 専用 SD カード内のログファイルを削除

専用 SD カード内のログファイル(\*.CSV)を削除します。

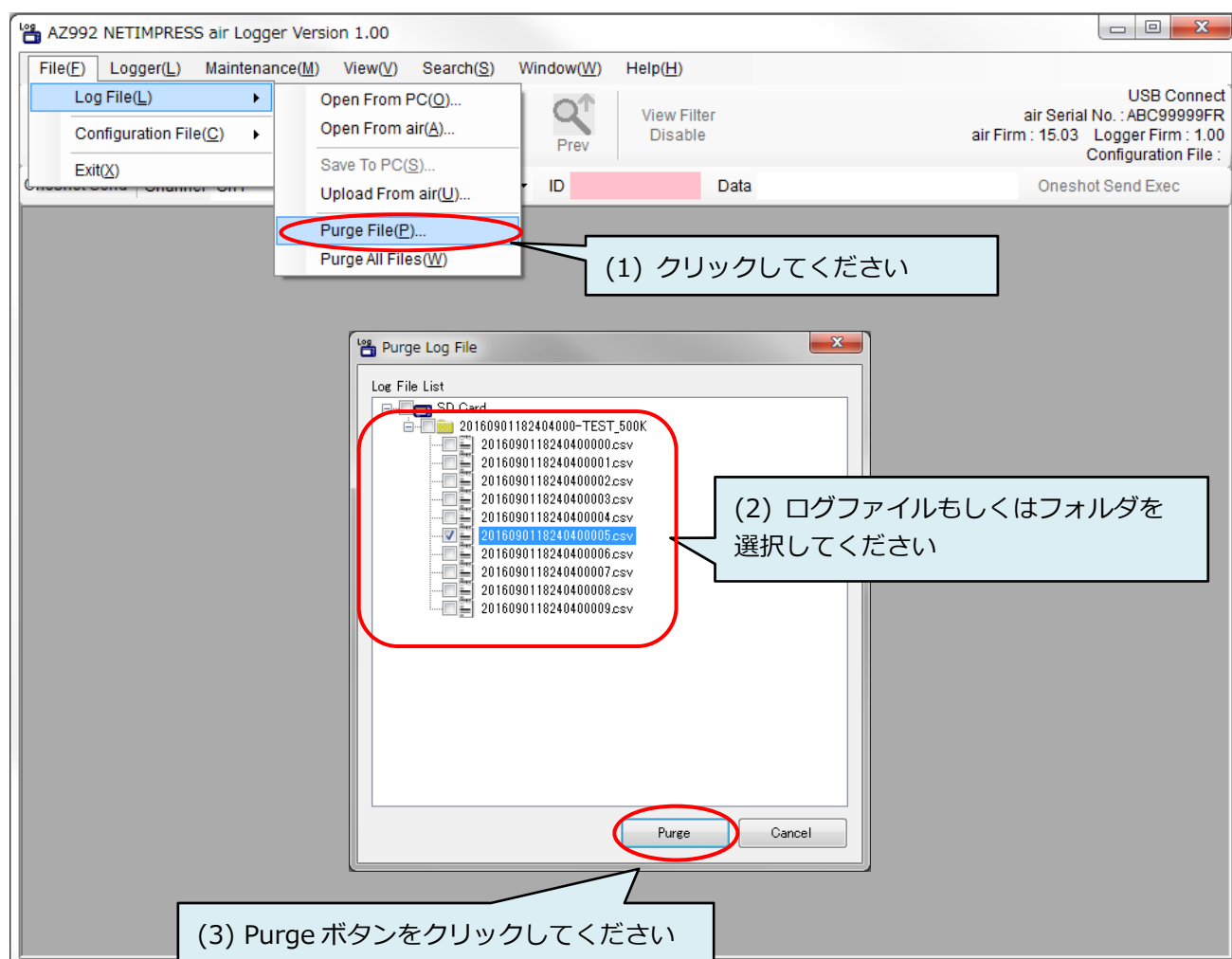
“File(F)”メニューの“Log File(L)”-“Purge File(P)”をクリックします。

Purge Log File 画面に、専用 SD カード内のログファイル一覧が表示されますので、削除したいログファイルもしくはフォルダの横にあるチェックボックスにチェック後、“Purge”ボタンをクリックします。

チェックしたファイルもしくはフォルダが削除されます。フォルダを選択した場合、フォルダ内のファイルが全て削除されます。

ログファイルの削除を終了したい場合は、“Cancel”ボタンをクリックします。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。



### 6.2.10. 専用 SD カード内のログファイルをすべて削除

専用 SD カード内のログファイル(\*.CSV)をすべて削除します。

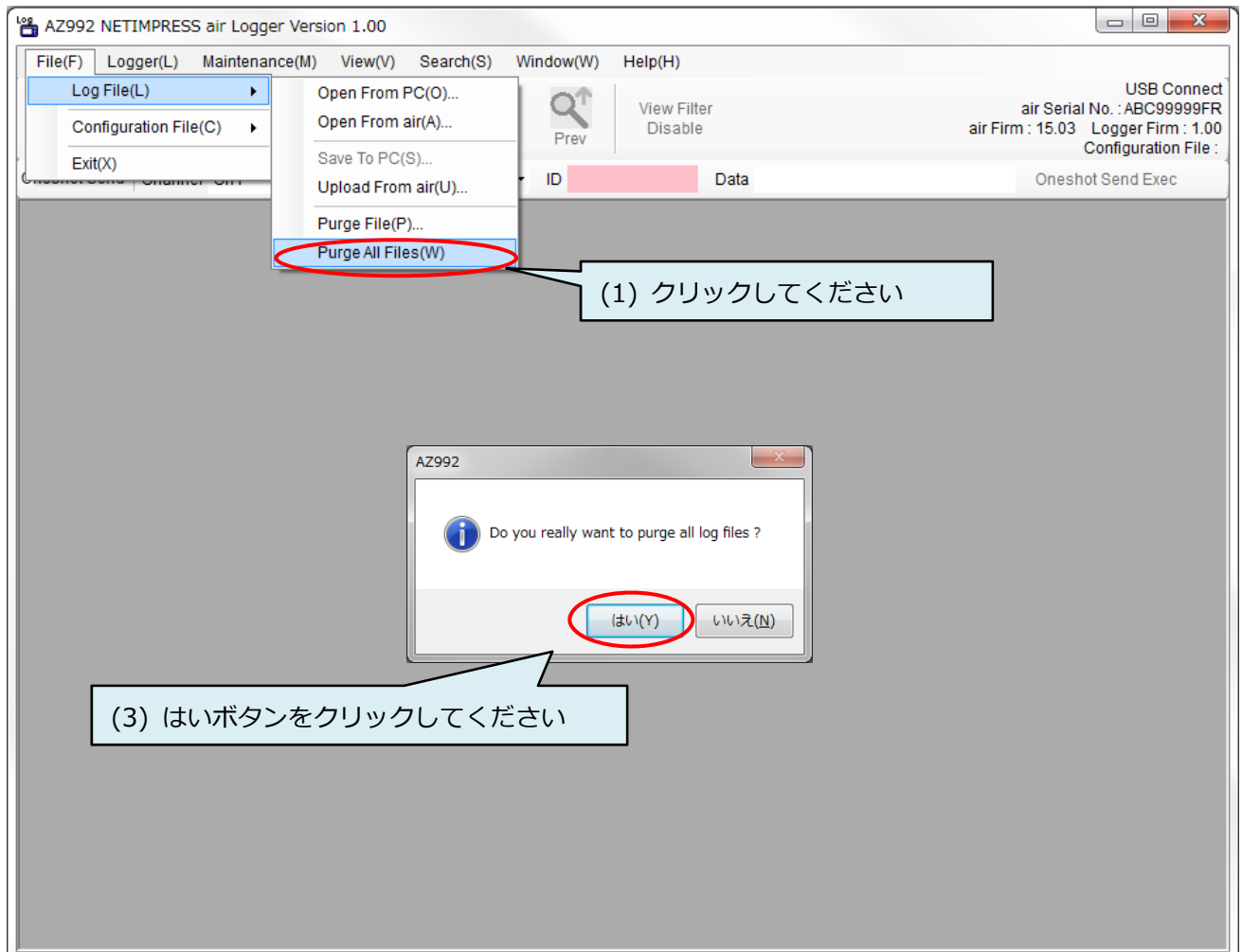
“File(F)”メニューの“Log File(L)”-“Purge All Files(W)”をクリックします。

確認画面が表示されますので、“はい”ボタンをクリックします。

専用 SD カード内のログファイルがすべて削除されます。

ログファイルの削除を中止したい場合は、“いいえ”ボタンをクリックします。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。



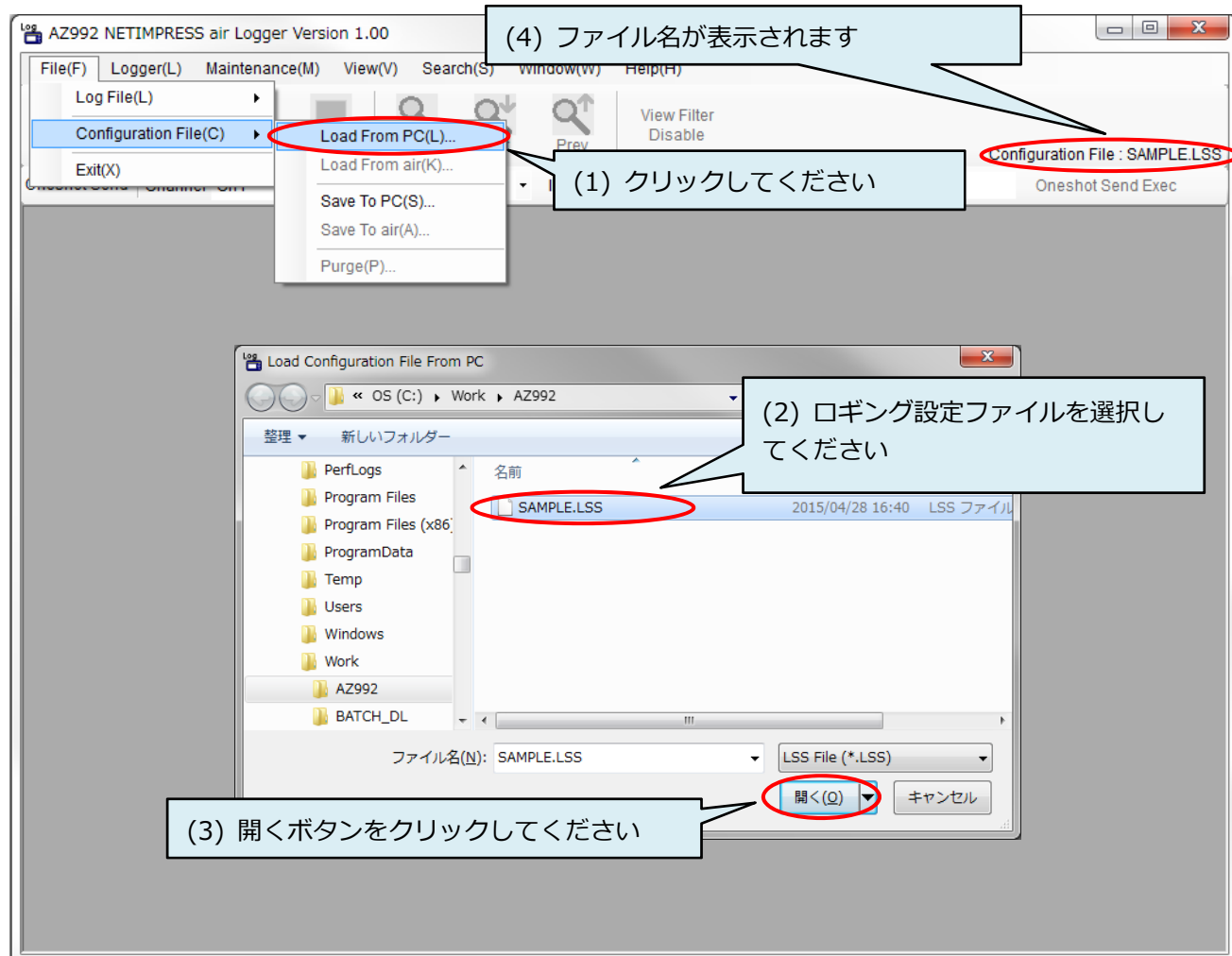
### 6.2.11. PC 上のロギング設定ファイルを読み込み

PC 上のロギング設定ファイル(\*.LSS)を読み込みます。

“File(F)”メニューの“Configuration File(C)”-“Load From PC(L)”をクリックします。

ファイルオープンダイアログが表示されますので、読み込みたいロギング設定ファイルを選択後、“開く”ボタンをクリックします。ロギング設定ファイルの読み込みを中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。

ロギング設定ファイル読み込み後、読み込んだロギング設定ファイル名が画面右上に表示されます。



## 6.2.12. 専用 SD カード内のロギング設定ファイルを読み込み

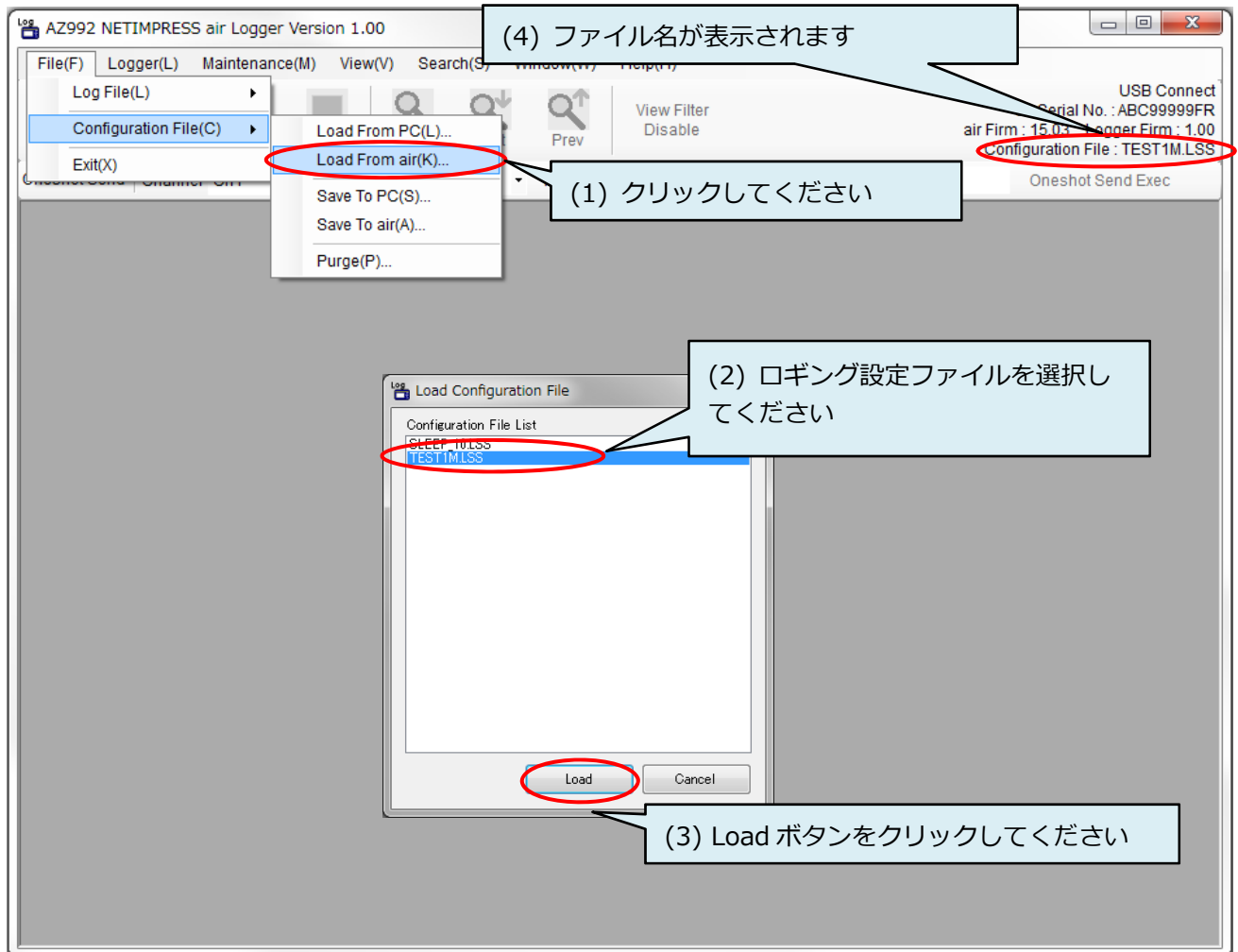
専用 SD カード内のロギング設定ファイル(\*.LSS)を読み込みます。

“File(F)”メニューの“Configuration File(C)”-“Load From air(K)”をクリックします。

Load Configuration File 画面に、専用 SD カード内のロギング設定ファイル一覧が表示されますので、読み込みたいロギング設定ファイルを選択後、“Load”ボタンをクリックします。ロギング設定ファイルの読み込みを中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

ロギング設定ファイル読み込み後、読み込んだロギング設定ファイル名が画面右上に表示されます。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。





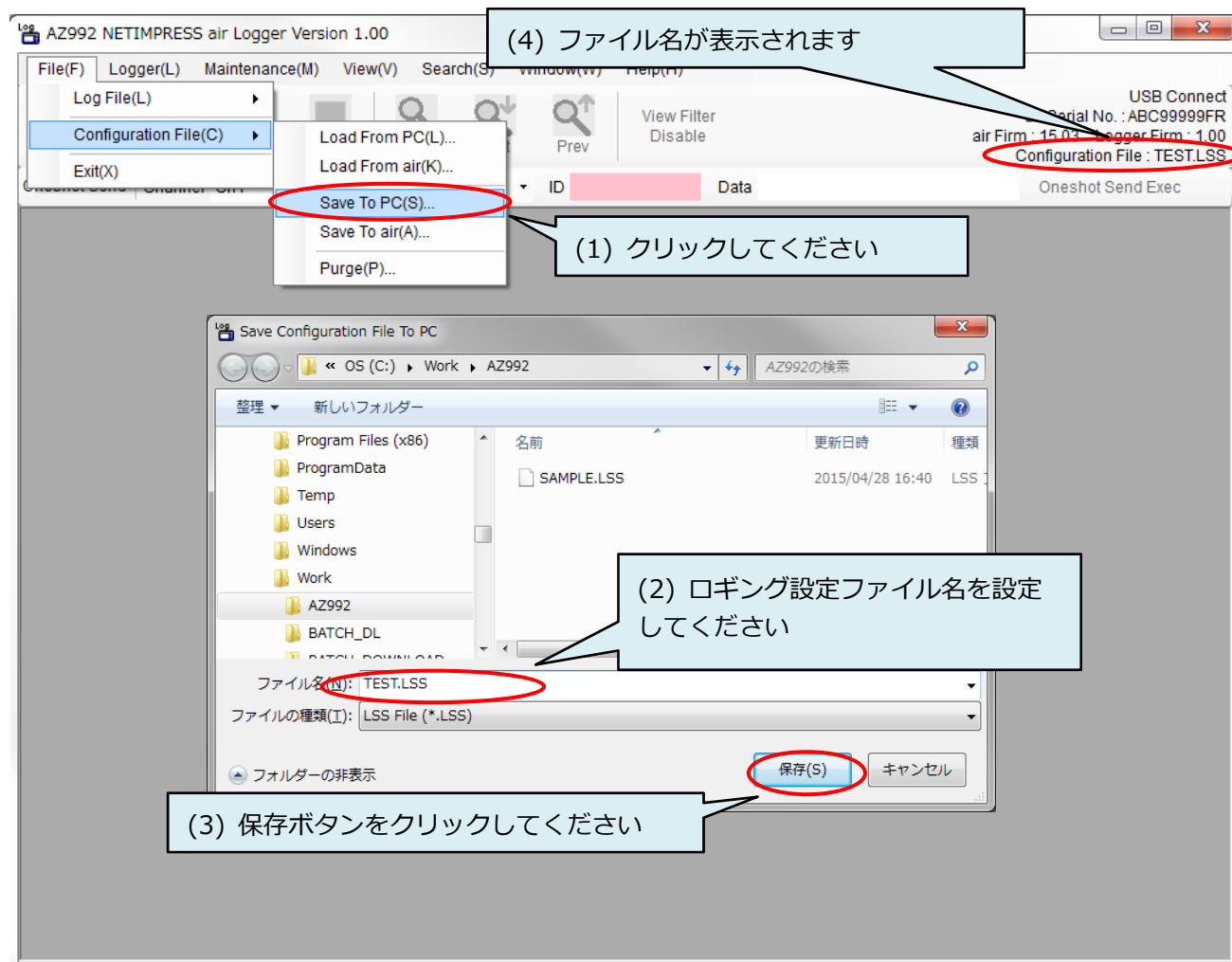
### 6.2.13. AZ992 のロギング設定を PC 上に保存

AZ992 のロギング設定をロギング設定ファイル(\*.LSS)として PC 上に保存します。

“File(F)”メニューの“Configuration File(C)”-“Save To PC(S)”をクリックします。

ファイルセーブダイアログが表示されますので、ロギング設定ファイルの保存先を設定後、“保存”ボタンをクリックします。ロギング設定ファイルの保存を中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。

ロギング設定ファイル保存後、保存したロギング設定ファイル名が画面右上に表示されます。



## 6.2.14. AZ992 のロギング設定を専用 SD カード内に保存

AZ992 のロギング設定をロギング設定ファイル(\*.LSS)として専用 SD カード内に保存します。

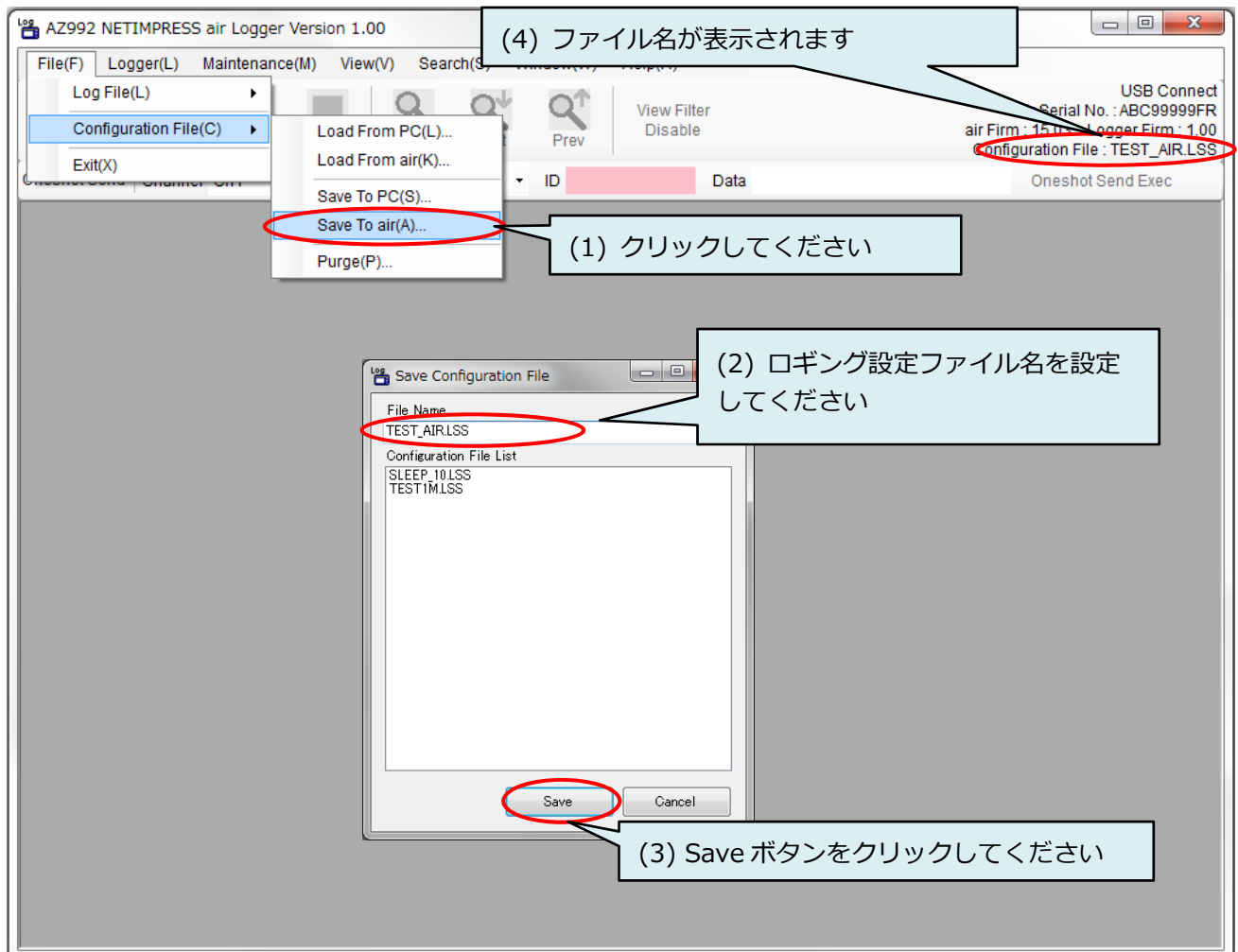
“File(F)”メニューの“Configuration File(C)”-“Save To air(A)”をクリックします。

Save Configuration File 画面が表示されますので、ロギング設定ファイル名を設定後、“Save”ボタンをクリックします。ロギング設定ファイルの保存を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

Save Configuration 画面下側には、専用 SD カード内のロギング設定ファイル一覧が表示されます。ロギング設定ファイル一覧にあるファイル名と同名のファイル名で保存しようとする、上書き確認画面が表示されます。上書きする場合は“はい”ボタンをクリックします。

ロギング設定ファイル保存後、保存したロギング設定ファイル名が画面右上に表示されます。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。



## 6.2.15. 専用 SD カード内のロギング設定ファイルを削除

専用 SD カード内のロギング設定ファイル(\*.LSS)を削除します。

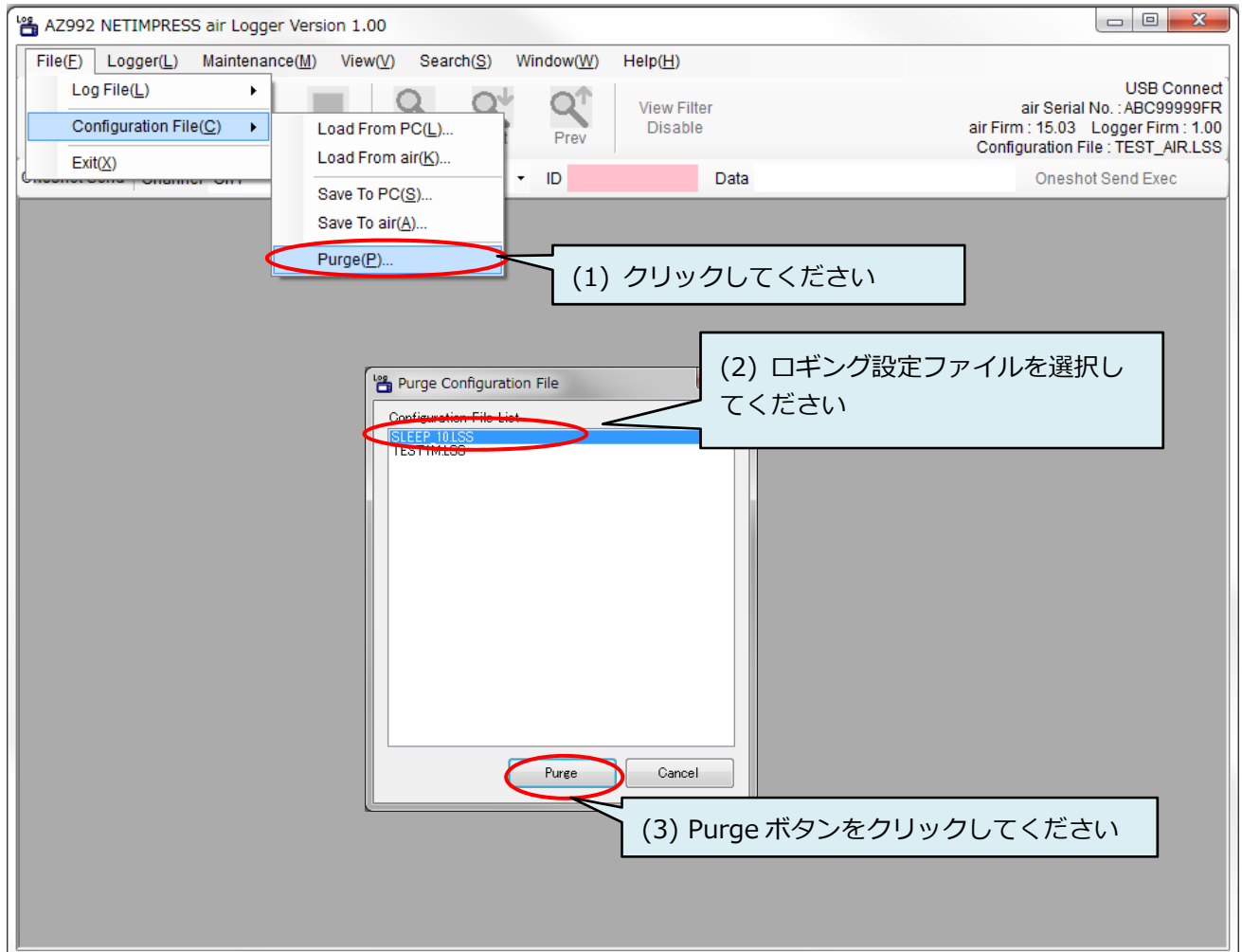
“File(F)”メニューの“Configuration File(C)”-“Purge(P)”をクリックします。

Purge Configuration File 画面に、専用 SD カード内のロギング設定ファイル一覧が表示されますので、削除したいロギング設定ファイルを選択後、“Purge”ボタンをクリックします。

ロギング設定ファイルは一度に複数選択可能です。

ロギング設定ファイルの削除を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。



## 6.2.16. PC 上のファイルを専用 SD カードにコピーする

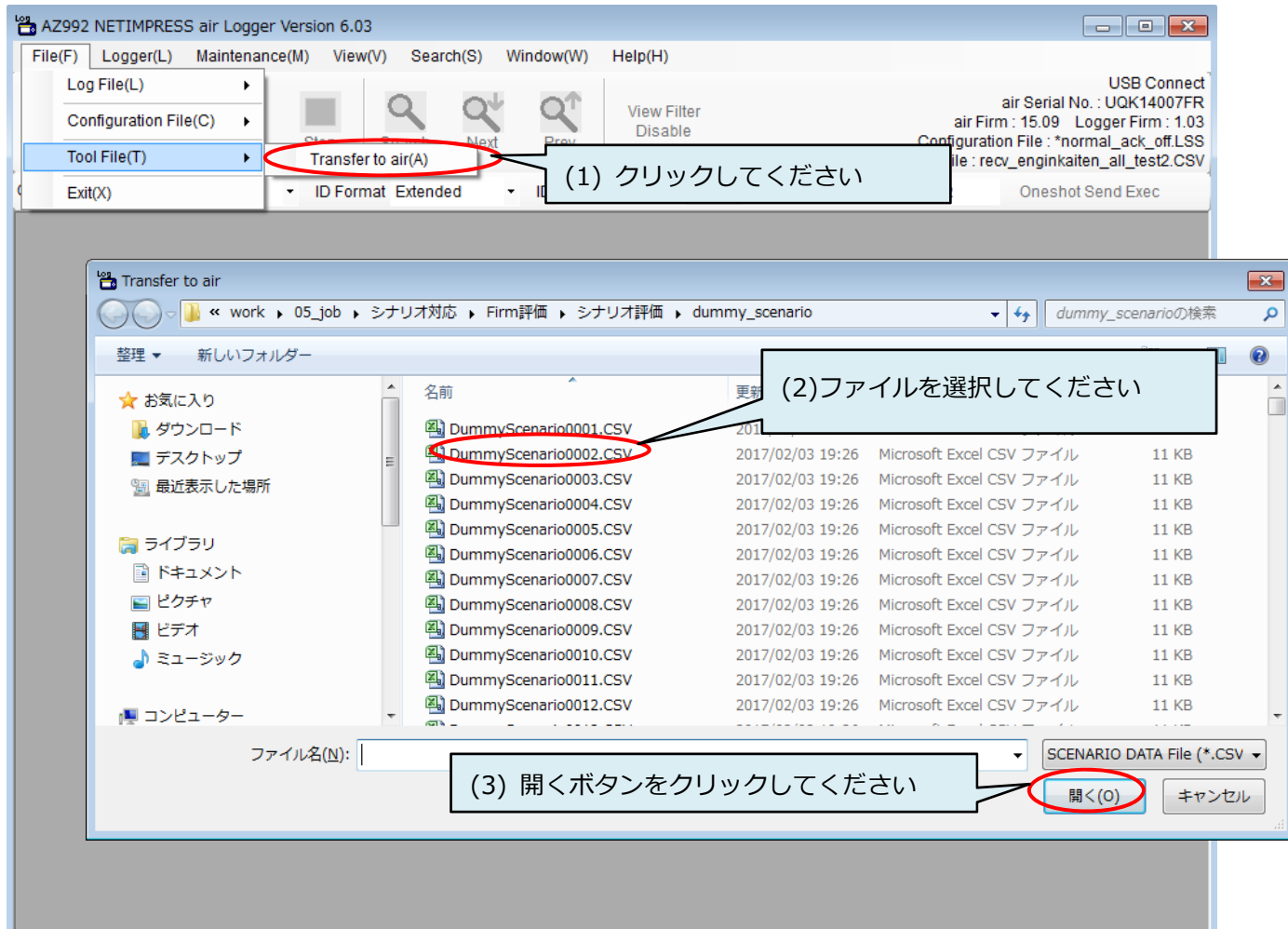
PC 上のファイルを専用 SD カードのルートディレクトリにコピーします。

“File(F)”メニューの“Tool File(T)”-“Transfer to air(A)”をクリックします。

Transfer to air 画面に、PC 上のファイル一覧が表示されますので、ファイルを選択後、“開く”ボタンをクリックします。

ファイルの選択を中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。

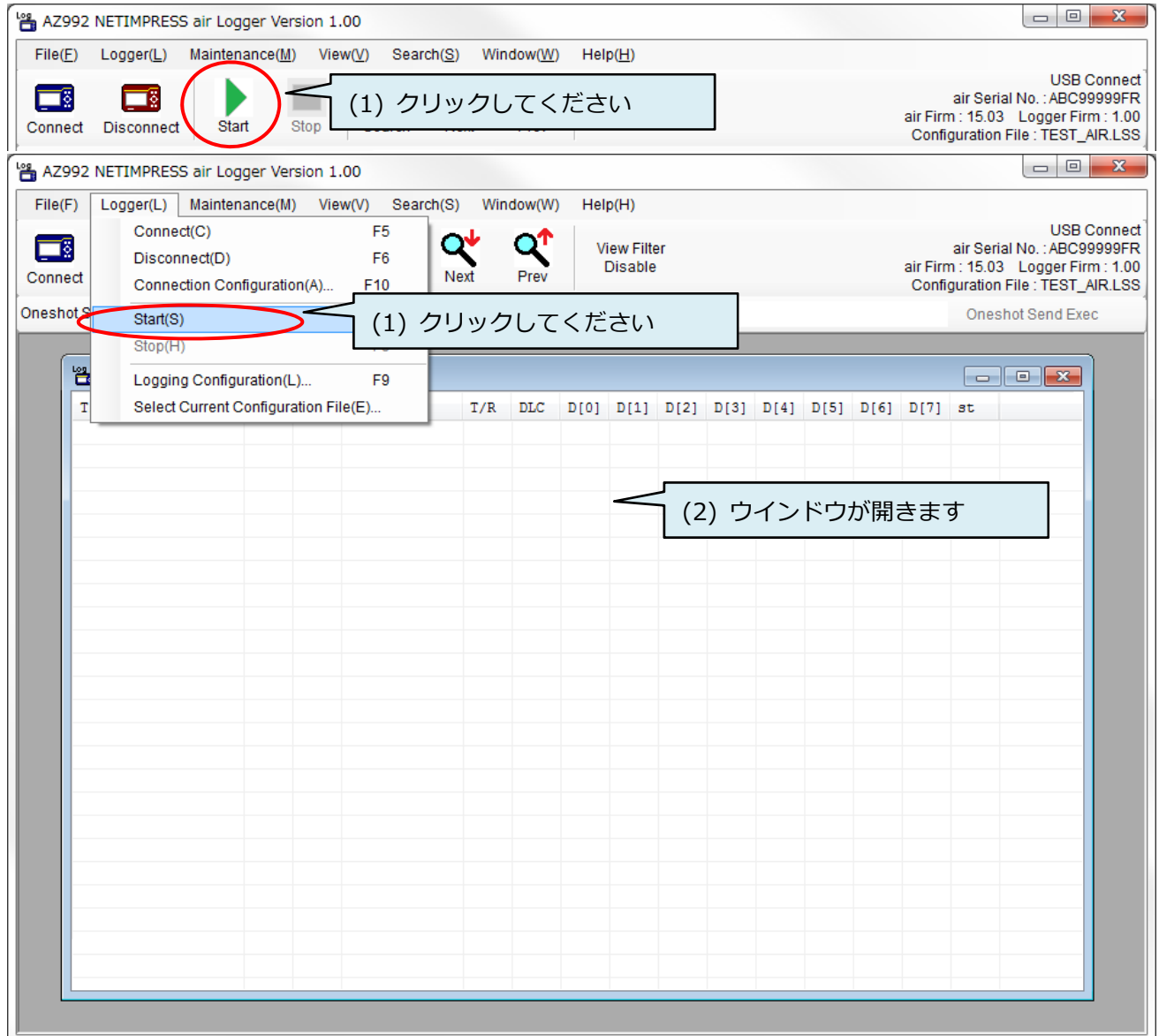


## 6.2.17. モニタモードでのロギングを開始

本機のロガー動作を開始し、モニタモードでのロギングを開始します。

“Logger(L)”メニューの“Start(S)”をクリックします。もしくは、画面上の“Start”ボタンをクリックします。モニタモードでのロギング開始に成功すると、ロギングしたデータを表示するためのウィンドウが1つ開きます。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。



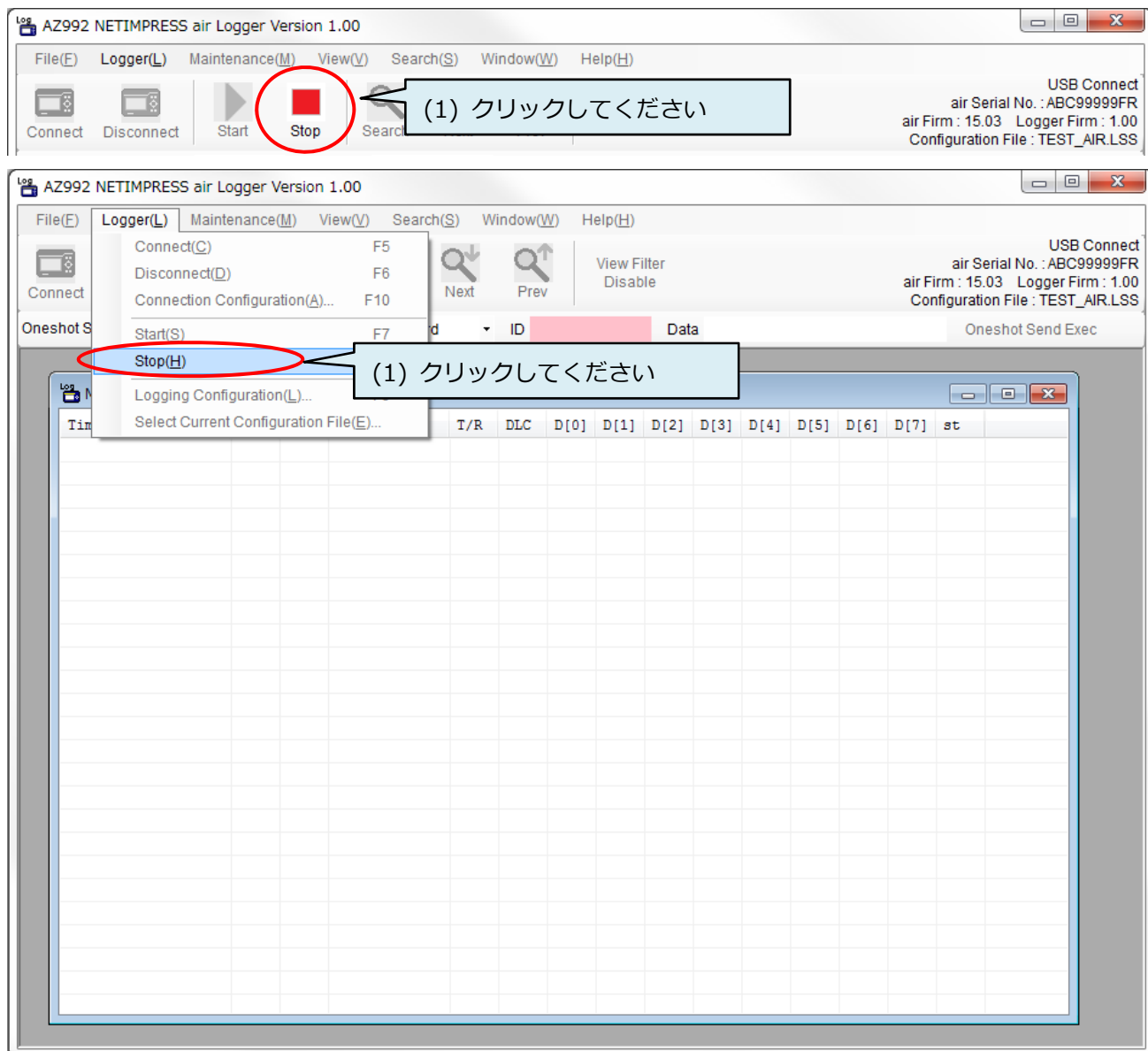
- ! モニタモードでロギング中は、モニタモードでのロギングを終了する操作のみ実行可能です。それ以外の操作は実行できません。
- ✓ AZ992 画面でキーボードの F7 キーを押すことでも、モニタモードでのロギングを開始可能です。
- ✓ カレントシナリオファイルが設定されている場合は、ロギング開始に合わせてシナリオを実行します。

## 6.2.18. モニタモードでのロギングを終了

モニタモードでのロギングを終了します。

“Logger(L)”メニューの“Stop(H)”をクリックします。もしくは、画面上の“Stop”ボタンをクリックします。

この操作は、モニタモードでロギング中のみ実行可能です。



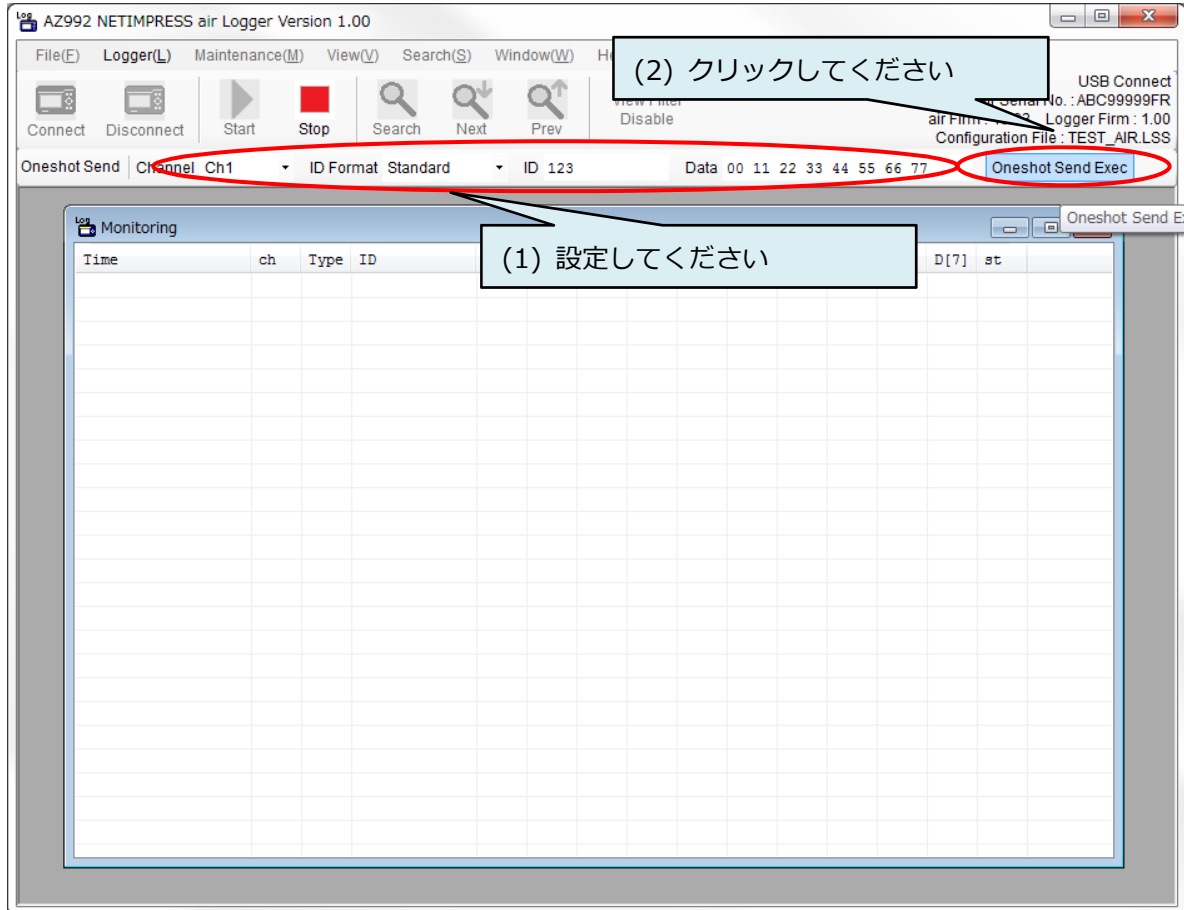
- ✓ AZ992 画面でキーボードの F8 キーを押すことでも、モニタモードでのロギングを終了可能です。

## 6.2.19. ワンショット送信

本機から CAN バスに対してメッセージを単発送信します。

画面上の“Oneshot Send”の各項目を設定後、“Oneshot Send Exec”ボタンをクリックします。

この操作は、モニタモードでロギング中のみ実行可能です。



“Oneshot Send”の項目は次のとおりです。

項目	説明
Channel	ワンショット送信を行うチャンネルを選択します。 Ch1 : チャンネル 1 から送信 Ch2 : チャンネル 2 から送信
ID Format	ワンショット送信メッセージの ID フォーマットを選択します。 Standard : 標準 ID Extended : 拡張 ID
ID	ワンショット送信メッセージの ID を入力します。
Data	ワンショット送信データを入力します。 データはスペースで区切って入力します。

**!** 次のいずれかに該当するチャンネルからワンショット送信を行うことはできません。

- ・ロギング無効に設定されたチャンネル
- ・メッセージ受信時の ACK 応答無効に設定されたチャンネル
- ・定周期送信メッセージが 8 個設定されたチャンネル

該当するチャンネルを選択すると、Channel 項目の背景色がピンク色に変化します。

**!** ID 項目に、ID Format 項目で選択された ID フォーマットの範囲外の数値を入力した状態でワンショット送信を行うことはできません。

ID 項目に範囲外の数値が入力されている場合、ID 項目の背景色がピンク色に変化します。

**!** Data 項目に入力されたデータが次のいずれかに該当する場合、ワンショット送信を行うことはできません。

- ・3 桁以上の数値が入力されている
- ・スペースで区切られたデータが 9 個以上入力されている
- ・16 進数以外の値が入力されている

上記に該当している場合、Data 項目の背景色がピンク色に変化します。



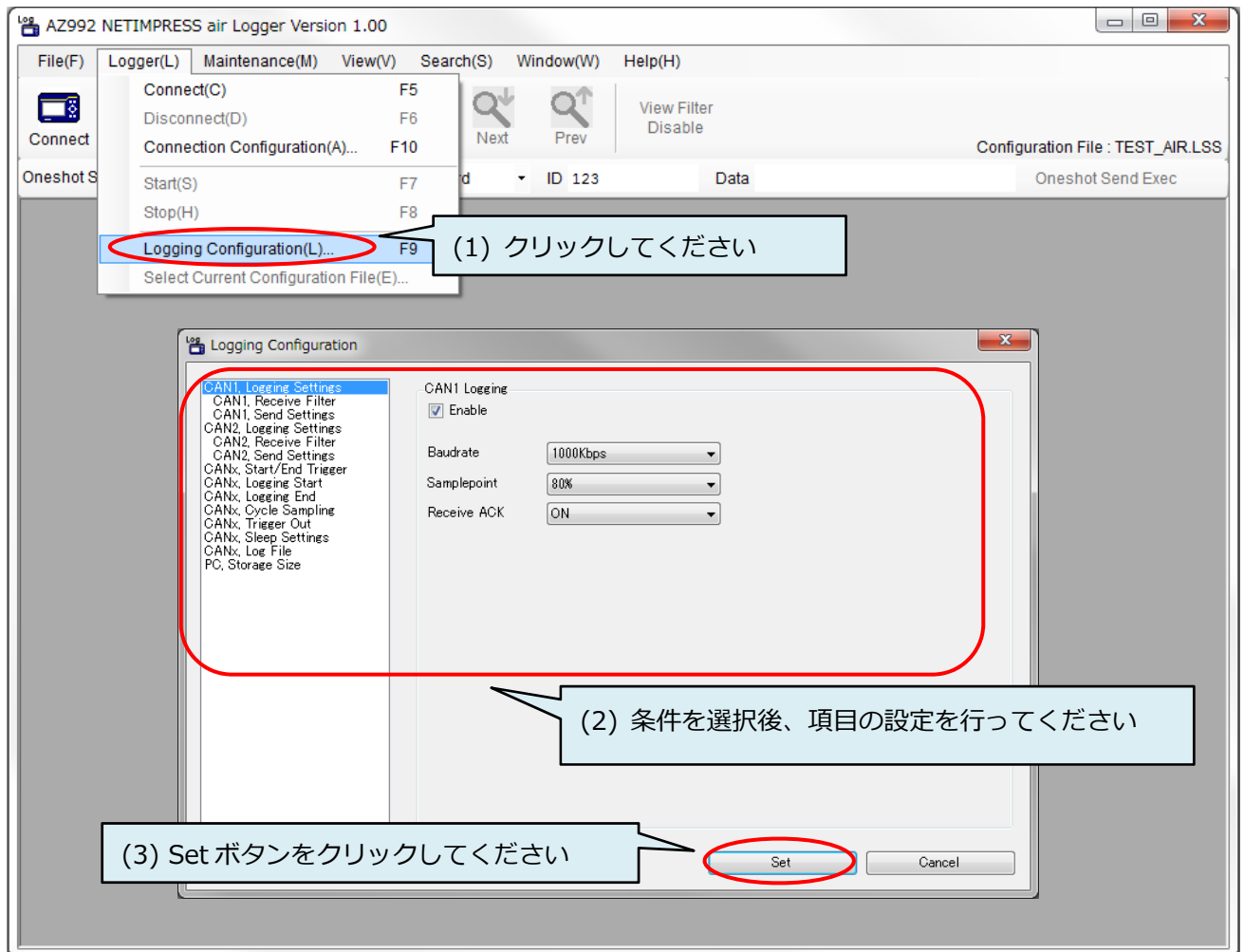
## 6.2.20. ロギング設定

AZ992 のロギング条件の設定を行います。

“Logger(L)”メニューの“Logging Configuration(L)”をクリックします。

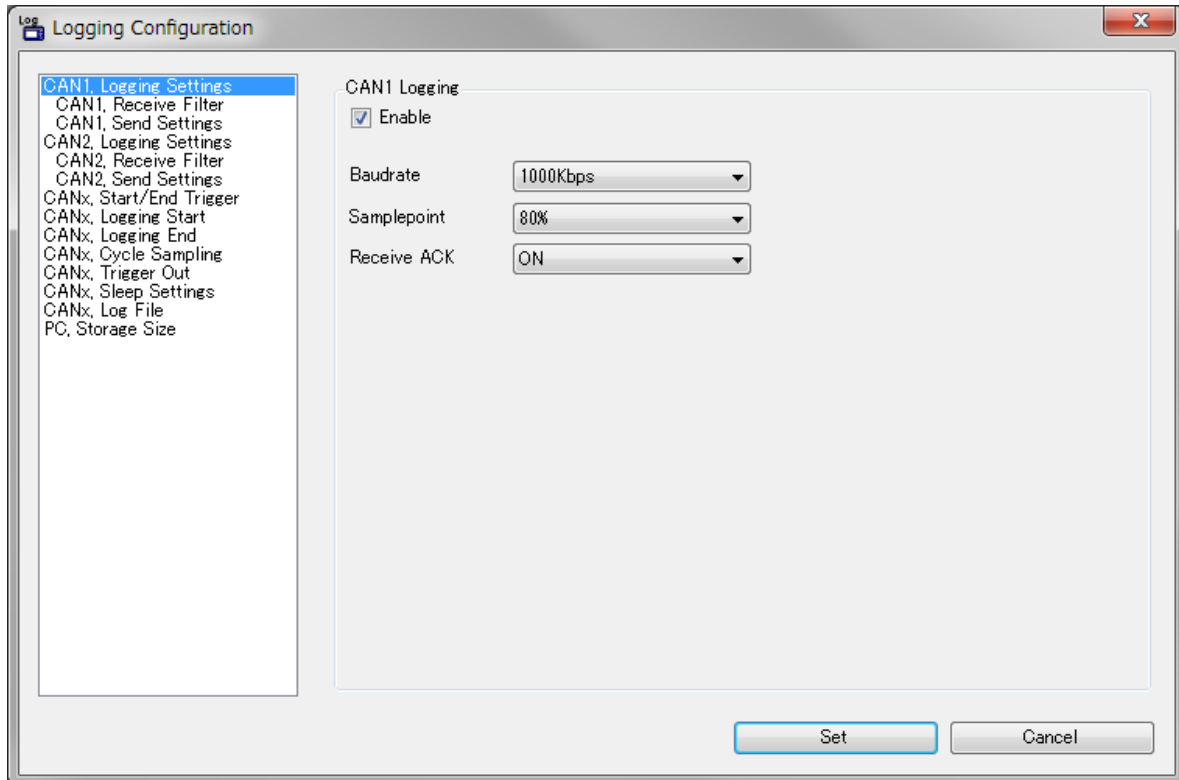
Logging Configuration 画面が表示されます。Logging Configuration 画面左側にあるメニューで設定したい条件を選択すると、画面右側に設定項目が表示されます。

設定完了後、“Set”ボタンをクリックし、変更した設定を AZ992 に反映します。変更した設定を元に戻したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。



- ✓ AZ992 画面でキーボードの F9 キーを押すことでも、Logging Configuration 画面を表示することが可能です。

画面左側の CAN1, Logging Settings(CAN チャンネル 1 の基本設定)および CAN2, Logging Settings(CAN チャンネル 2 の基本設定) を選択した場合、Logging Configuration 画面は以下のようになります。



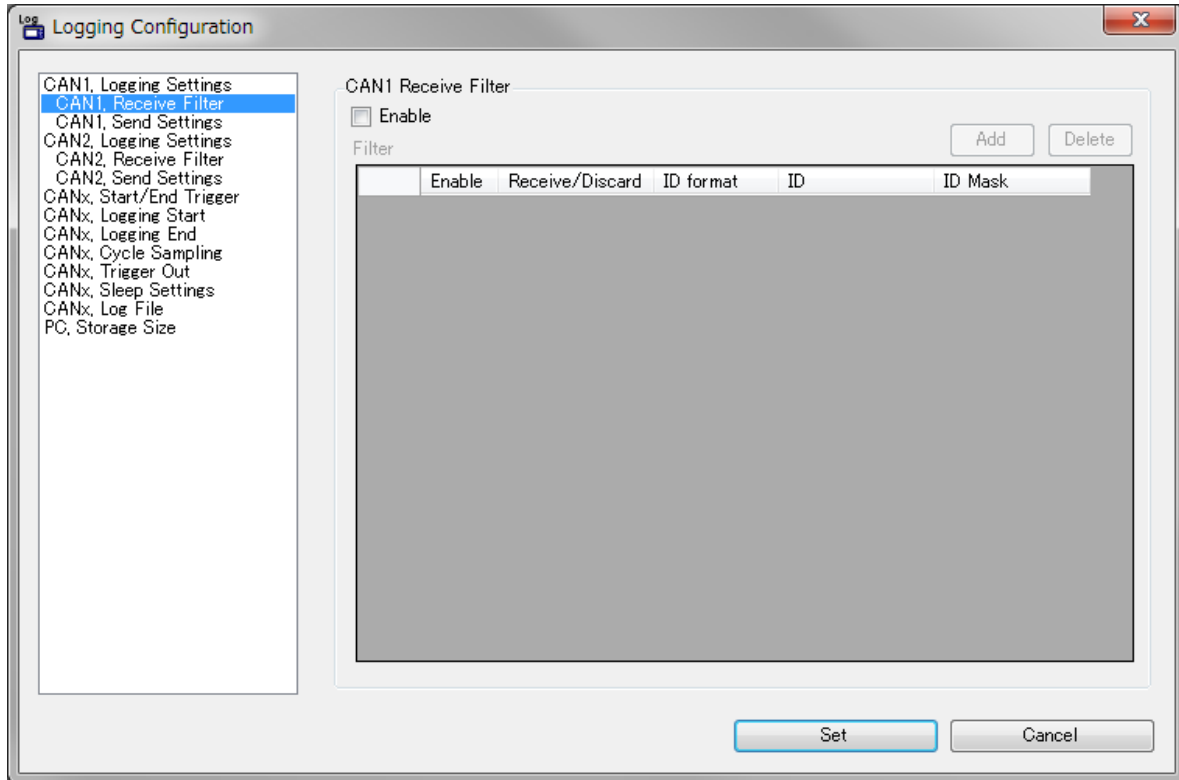
画面は CAN1, Logging Settings のものですが、CAN2, Logging Settings 画面も同様の外観です。設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
Enable	チャンネルの有効/無効を設定します。 チェックするとチャンネルが有効になります。
Baudrate	CAN ボーレートを選択します。 1000Kbps/500Kbps/250Kbps/125Kbps から選択します。
Samplepoint	CAN サンプルポイントを選択します。 60%/65%/70%/75%/80%/85%から選択します。
Receive ACK	CAN メッセージ受信時に CAN の ACK を出力する場合は ON を、出力しない場合は OFF を選択します。

画面左側の CAN1, Receive Filter(CAN チャンネル 1 の受信フィルタ設定)および CAN2, Receive Filter(CAN チャンネル 2 の受信フィルタ設定)を選択した場合、Logging Configuration 画面は以下のようになります。

“Add”ボタンをクリックすると、受信フィルタを 1 つ追加することができます。(最大 16 個)

“Delete”ボタンをクリックすると、選択中の受信フィルタを 1 つ削除することができます。



画面は CAN1, Receive Filter のものですが、CAN2, Receive Filter 画面も同様の外観です。

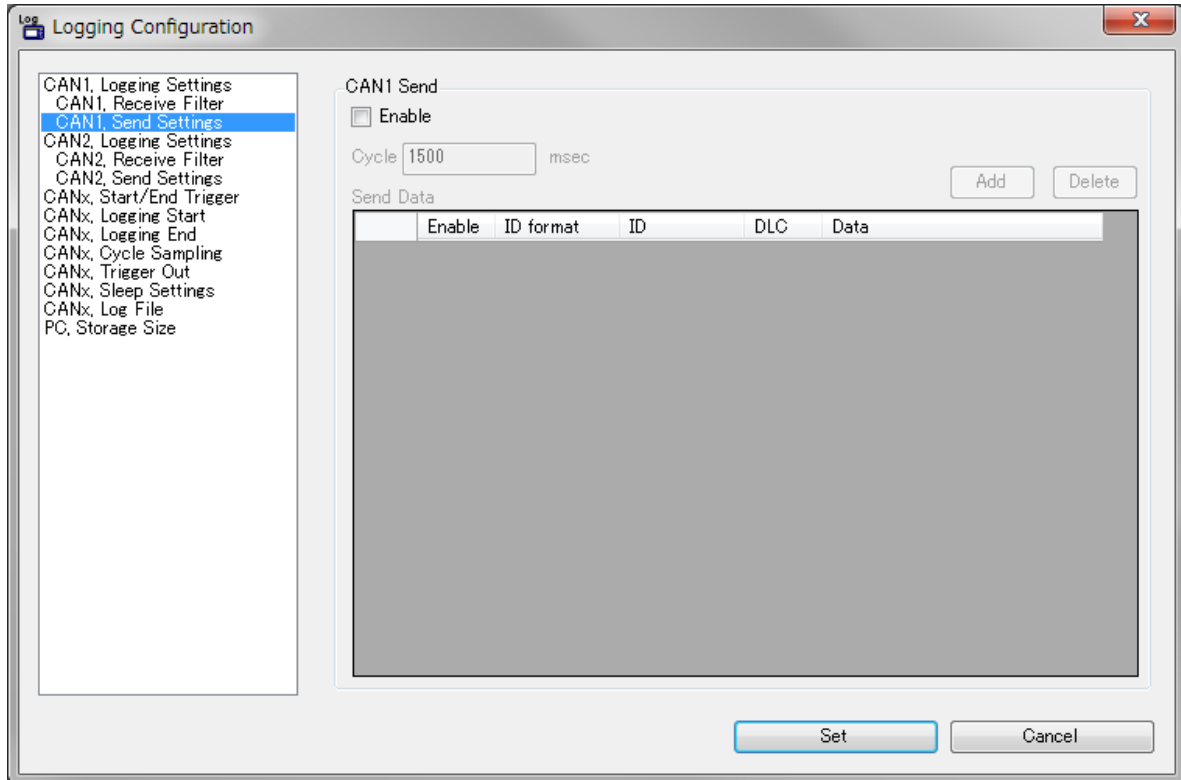
設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
Enable	受信フィルタの有効/無効を設定します。 チェックすると受信フィルタが有効になります。
Enable(リスト内)	受信フィルタ 1 つごとの有効/無効を設定します。 チェックすると有効になります。
Receive/Discard	フィルタに一致したメッセージを受信する場合は Receive を、破棄する場合は Discard を選択します。
ID Format	フィルタ条件とする CAN ID のフォーマットを標準 ID にする場合は Standard を、拡張 ID にする場合は Extended を選択します。
ID	フィルタ条件とする CAN ID を 16 進数で入力します。
ID Mask	フィルタ条件とする CAN ID のうち、一致確認を行うビットを 0、一致確認を行わないビットを 1 として、16 進数で入力します。

画面左側の CAN1, Send Settings(CAN チャネル 1 の定周期送信設定)および CAN2, Send Settings(CAN チャネル 2 の定周期送信設定) を選択した場合、Logging Configuration 画面は以下のようになります。

“Add”ボタンをクリックすると、定周期送信設定を 1 つ追加することができます。(最大 8 個)

“Delete”ボタンをクリックすると、選択中の定周期送信設定を 1 つ削除することができます。

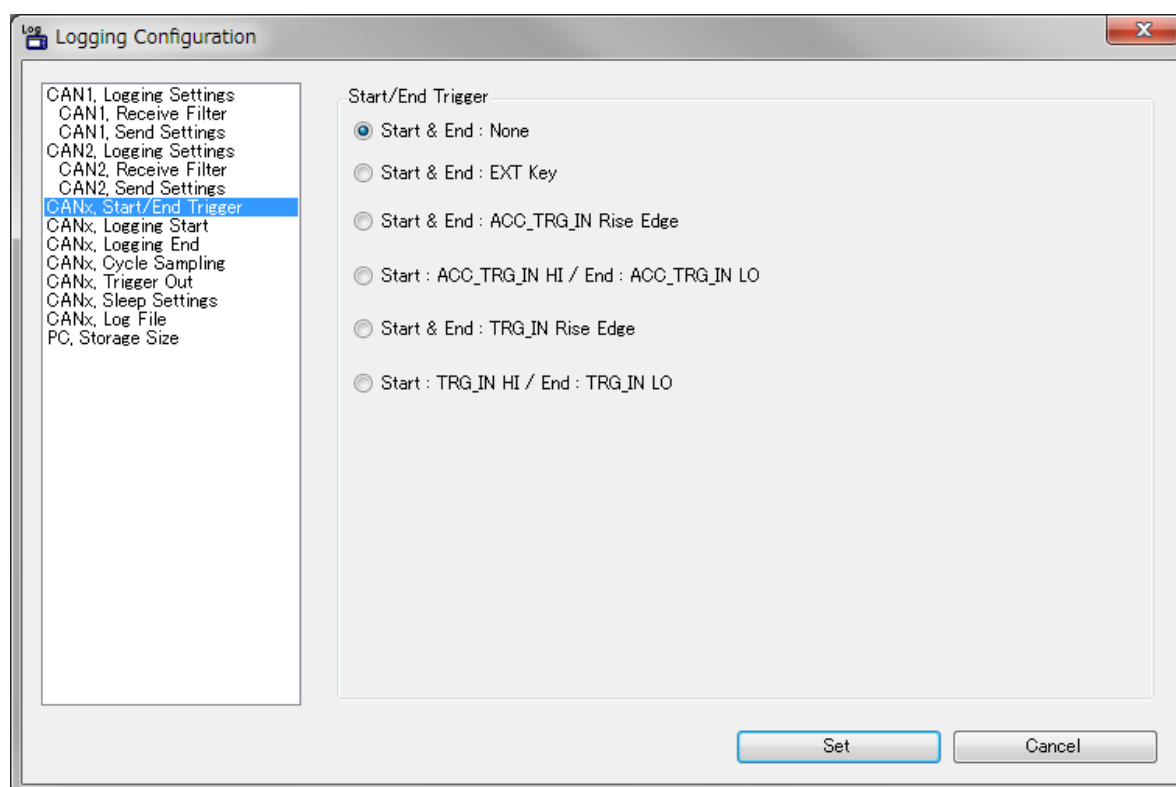


画面は CAN1, Send Settings のものですが、CAN2, Send Settings 画面も同様の外観です。

設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
Enable	定周期送信設定の有効/無効を設定します。 チェックすると定周期送信が有効になります。
Cycle	定周期送信の送信間隔を入力します。 送信間隔は 1~5000 の範囲で入力します。
Enable(リスト内)	定周期送信設定 1 つごとの有効/無効を設定します。 チェックすると有効になります。
ID Format	送信するメッセージの CAN ID のフォーマットを標準 ID にする場合は Standard を、拡張 ID にする場合は Extended を選択します。
ID	送信するメッセージの CAN ID を 16 進数で入力します。
DLC	送信するメッセージのデータサイズを 0~8 から選択します。
Data	送信するメッセージのデータをスペース区切りで入力します。

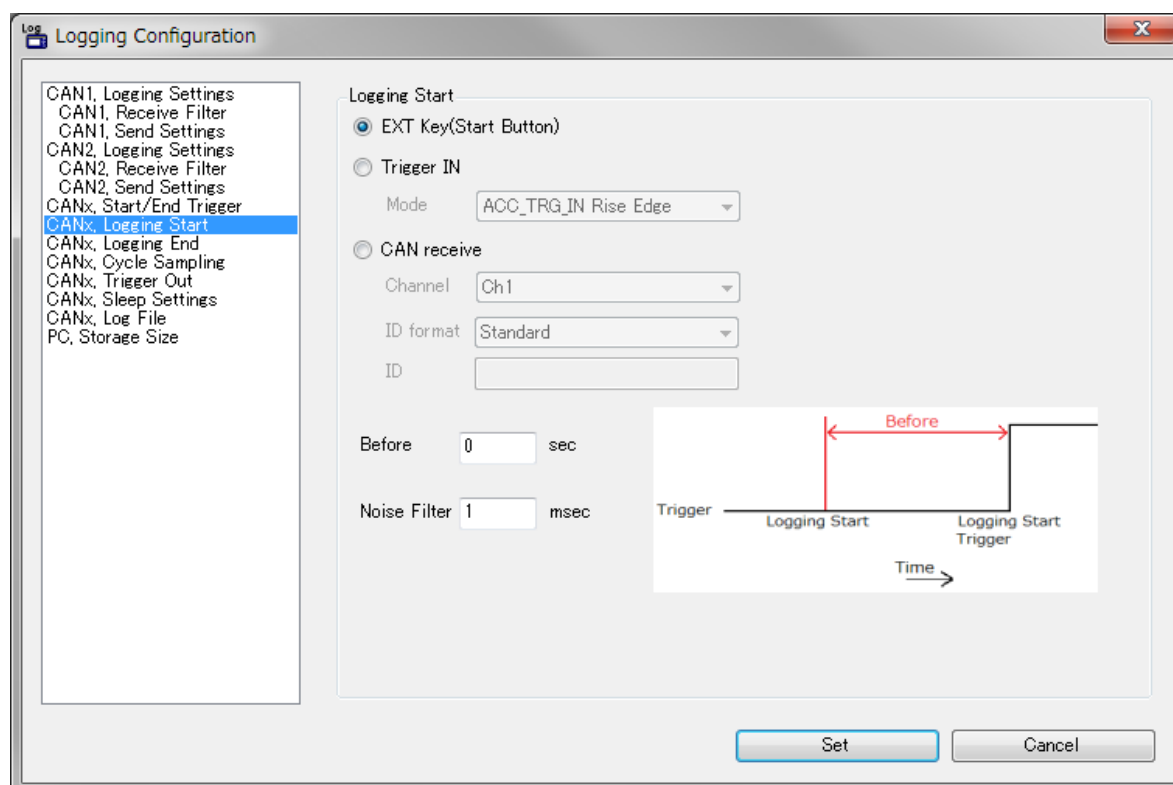
画面左側の CANx, Start/End Trigger(CAN バスのモニタ開始/終了条件設定)を選択した場合、Logging Configuration 画面は以下のようになります。



設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
Start/End Trigger	バスのモニタ開始/終了条件を設定します。
	Start & End : ACC_TRG_IN Rise Edge 本機の ACC トリガ入力に立ち上がりエッジ入力 でモニタ開始/終了します。
	Start & End : None 無条件にモニタ開始します。
	Start & End : EXT Key 本機の EXT キー押下でモニタ開始/終了 します。
	Start : ACC_TRG_IN HI / End : ACC_TRG_IN LO 本機の ACC トリガ入力に H レベル入力 でモニタ開始し、L レベル入力 でモニタ終了します。
	Start & End : TRG_IN Rise Edge 本機のトリガ入力に立ち上がりエッジ 入力 でモニタ開始/終了します。
	Start : TRG_IN HI / End : TRG_IN LO 本機のトリガ入力に H レベル入力 でモニタ開始し、L レベル 入力 でモニタ終了します。

画面左側の CANx, Logging Start(CAN メッセージのロギング開始条件設定)を選択した場合、Logging Configuration 画面は以下ようになります。

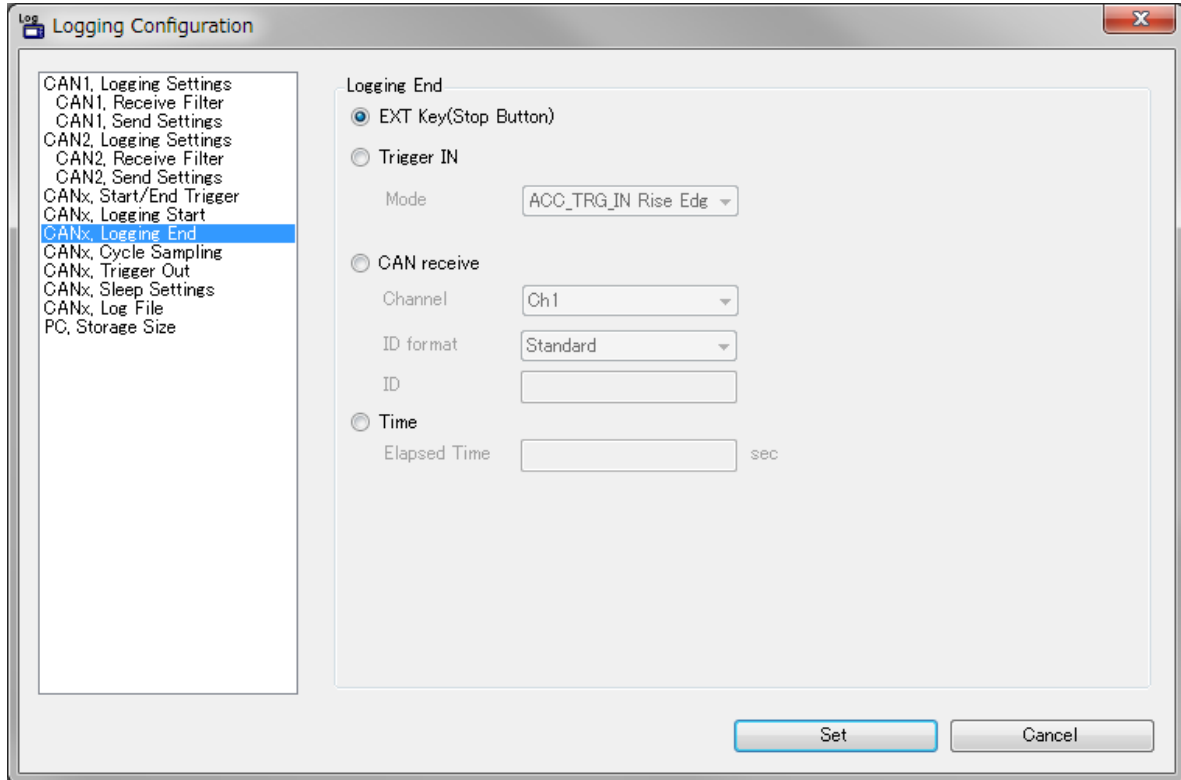


設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
Logging Start	CAN メッセージのロギング開始条件を設定します。
	EXT Key(Start Button) ストレージモードの場合、本機の EXT キー押下後、CAN メッセージのロギングを開始します。モニターモードの場合、無条件に CAN メッセージのロギングを開始します。
	Trigger IN トリガ入力検出後、CAN メッセージのロギングを開始します。 本機の ACC トリガ入力の立ち上がりトリガとする場合は ACC_TRG_IN Rise Edge を選択します。 本機の ACC トリガ入力の H レベルをトリガとする場合は ACC_TRG_IN High Level を選択します。 本機のトリガ入力の立ち上がりトリガとする場合は TRG_IN Rise Edge を選択します 本機のトリガ入力の H レベルをトリガとする場合は TRG_IN High Level を選択します。
	CAN receive 特定の CAN メッセージ受信後、CAN メッセージの

	<p>ロギングを開始します。</p> <p>CANメッセージを受信するチャンネルをCh1/Ch2から選択します。</p> <p>CANメッセージのCAN ID フォーマットをStandard/Extendedから選択します。</p> <p>CANメッセージのCAN IDを入力します。</p>
Before	<p>CANメッセージのロギング開始条件を満たす前に受信したCANメッセージをさかのぼってロギングする時間を入力します。</p> <p>単位は秒です。0~5秒の数値を入力します。</p>
Noise Filter	<p>トリガ入力のフィルタ時間を入力します。</p> <p>単位はミリ秒です。1~200ミリ秒の数値を入力します。</p>

画面左側の CANx, Logging End(CAN メッセージのロギング終了条件設定)を選択した場合、Logging Configuration 画面は以下のようになります。



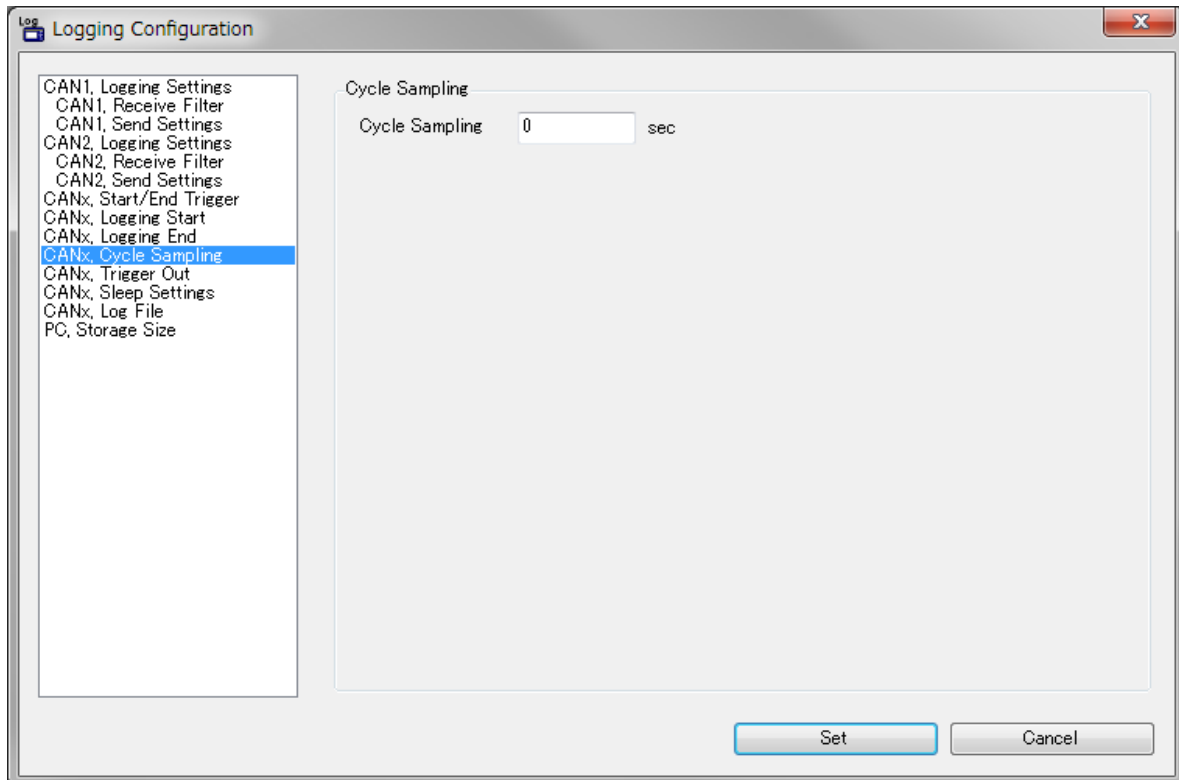
設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
Logging End	CAN メッセージのロギング終了条件を設定します。
	<p><b>EXT Key(Stop Button)</b></p> <p>ストレージモードの場合、本機の EXT キー押下により、CAN メッセージのロギングを終了します。モニタモードの場合、AZ992 からロギング終了を指示することにより、CAN メッセージのロギングを終了します。</p>
	<p><b>Trigger IN</b></p> <p>トリガ入力検出により、CAN メッセージのロギングを終了します。</p> <p>本機の ACC トリガ入力の立ち上がりトリガとする場合は ACC_TRG_IN Rise Edge を選択します。</p> <p>本機の ACC トリガ入力の L レベルトリガとする場合は ACC_TRG_IN Low Level を選択します。</p> <p>本機のトリガ入力の立ち上がりトリガとする場合は TRG_IN Rise Edge を選択します。</p> <p>本機のトリガ入力の L レベルトリガとする場合は TRG_IN Low Level を選択します。</p>



	<p>CAN receive</p> <p>特定の CAN メッセージ受信により、CAN メッセージのロギングを終了します。</p> <p>CAN メッセージを受信するチャンネルを Ch1/Ch2 から選択します。</p> <p>CAN メッセージの CAN ID フォーマットを Standard/Extended から選択します。</p> <p>CAN メッセージの CAN ID を入力します。</p>
	<p>Time</p> <p>一定時間経過により、CAN メッセージのロギングを終了します。</p> <p>CAN メッセージのロギング終了までの時間を入力します。</p> <p>単位は秒です。1~3600 秒の数値を入力します。</p>

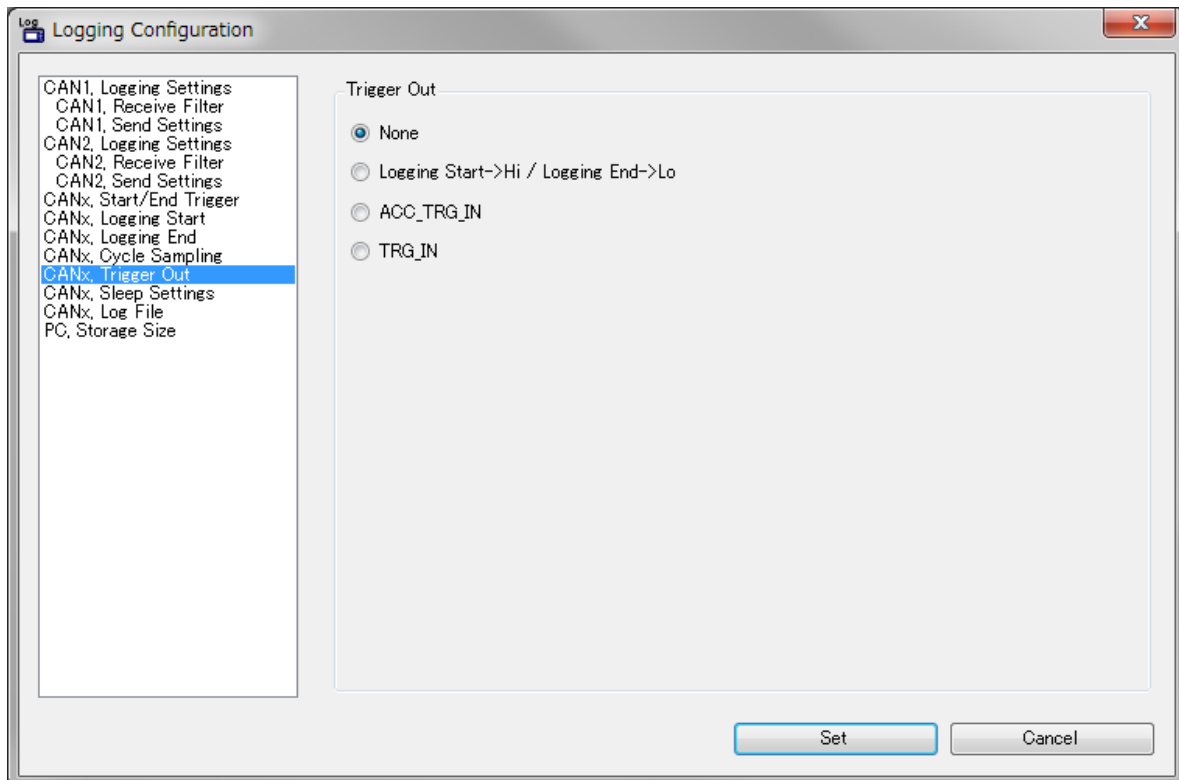
画面左側の CANx, Cycle Sampling(サンプリング周期設定)を選択した場合、Logging Configuration 画面は以下のようになります。



設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
Cycle Sampling	サンプリング受信の周期を入力します。 単位は秒です。0~5 秒を入力します。 0 秒を入力した場合、サンプリング受信は無効となります。

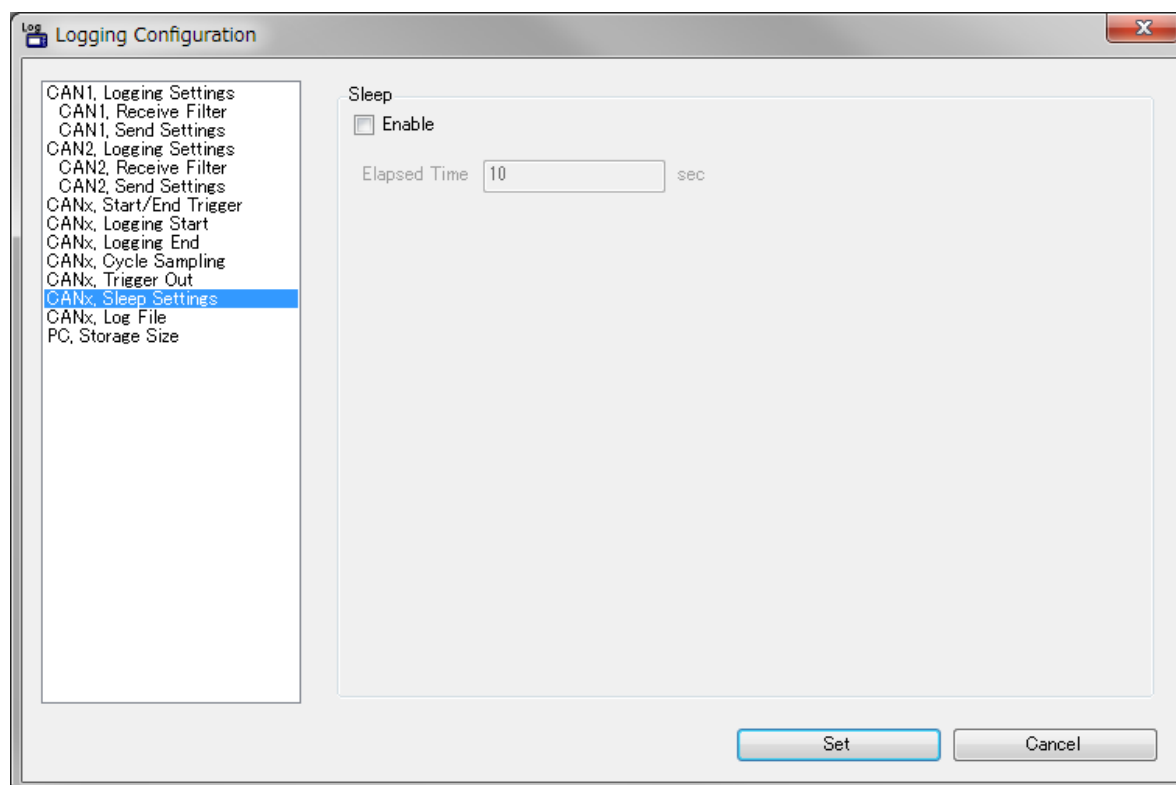
画面左側の CANx, Trigger Out(本機からのトリガ出力設定)を選択した場合、Logging Configuration 画面は以下のようになります。



設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
Trigger Out	本機からのトリガ出力を設定します。
	None トリガ出力を行いません。
	Logging Start->Hi / Logging End->Lo CAN メッセージのロギング開始時に H レベルを出力し、ロギング終了時に L レベルを出力します。
	ACC_TRG_IN 本機の ACC トリガ入力端子の状態を出力します。
	TRG_IN 本機のトリガ入力端子の状態を出力します。

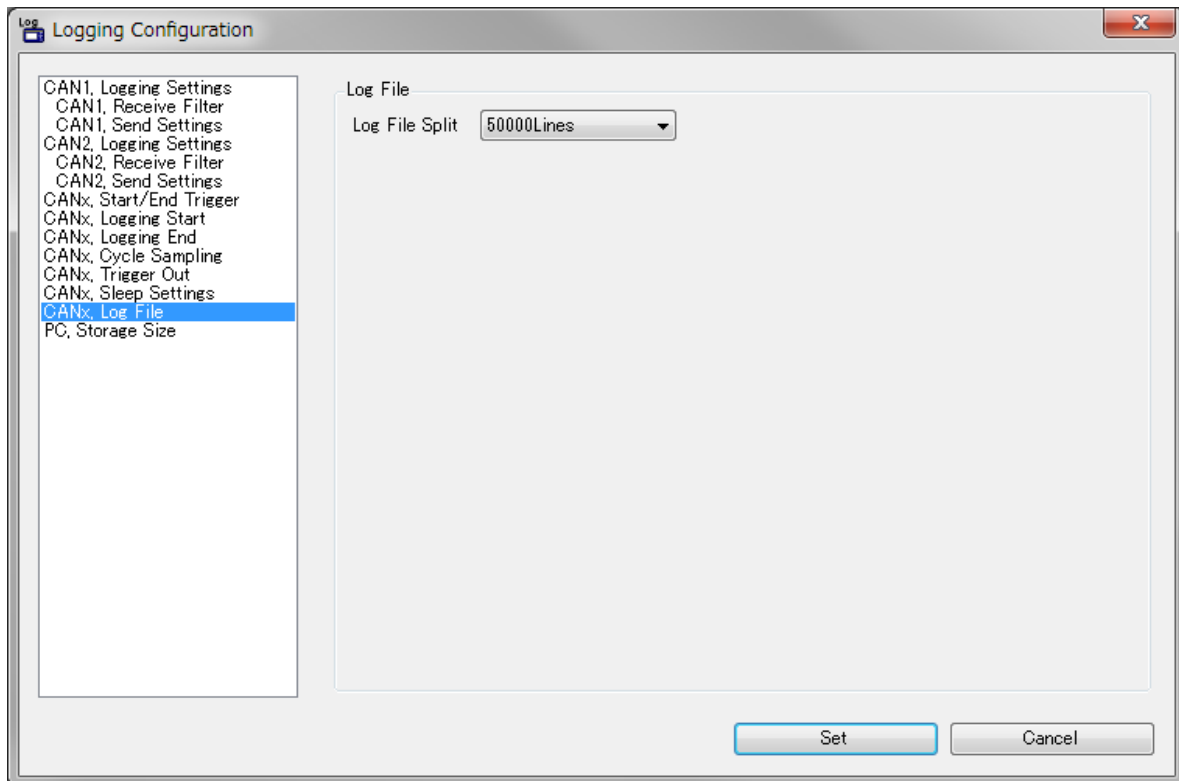
画面左側の CANx, Sleep Settings(本機のスリープ設定)を選択した場合、Logging Configuration 画面は以下ようになります。



設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
Enable	CAN メッセージのロギング開始待ち状態が一定時間続いた場合の、本機のスリープ有効/無効を設定します。 チェックするとスリープが有効になります。
Elapsed Time	スリープまでの時間を入力します。 単位は秒です。10~3600 秒の範囲で入力します。

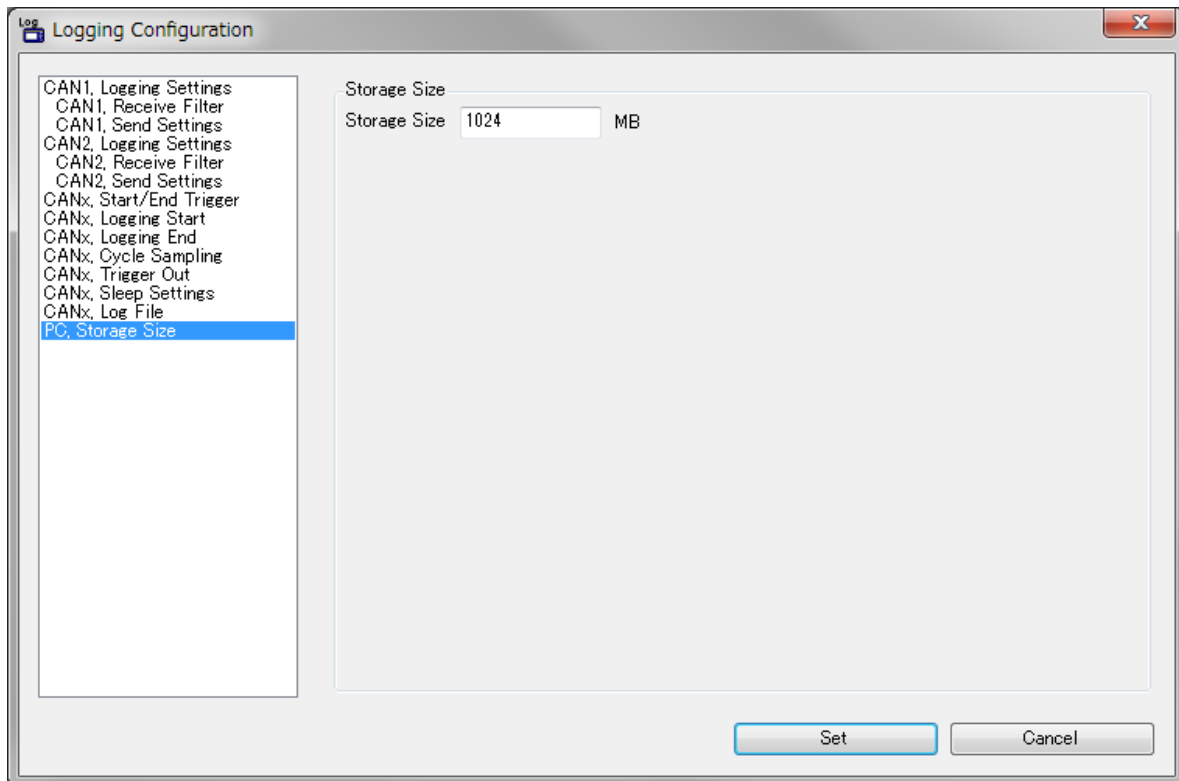
画面左側の CANx, Log File(ストレージモード時のログファイル出力設定)を選択した場合、Logging Configuration 画面は以下のようになります。



設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
Log File Split	<p>ストレージモードでロギング時のログファイル分割設定を選択します。</p> <p>256KByte : 256 キロバイトごとにログファイルを分割します。</p> <p>512KByte : 512 キロバイトごとにログファイルを分割します。</p> <p>1MByte : 1 メガバイトごとにログファイルを分割します。</p> <p>2MByte : 2 メガバイトごとにログファイルを分割します。</p> <p>10000Lines : 10000 行ごとにログファイルを分割します。</p> <p>30000Lines : 30000 行ごとにログファイルを分割します。</p> <p>50000Lines : 50000 行ごとにログファイルを分割します。</p>

画面左側の PC, Storage Size(モニタモード時のロギング容量設定)を選択した場合、Logging Configuration 画面は以下のようになります。



設定項目は次のとおりです。

設定項目	説明
Storage Size	モニタモード時の PC 側容量を入力します。 単位はメガバイトです。 1~999999 メガバイトの範囲で入力します。

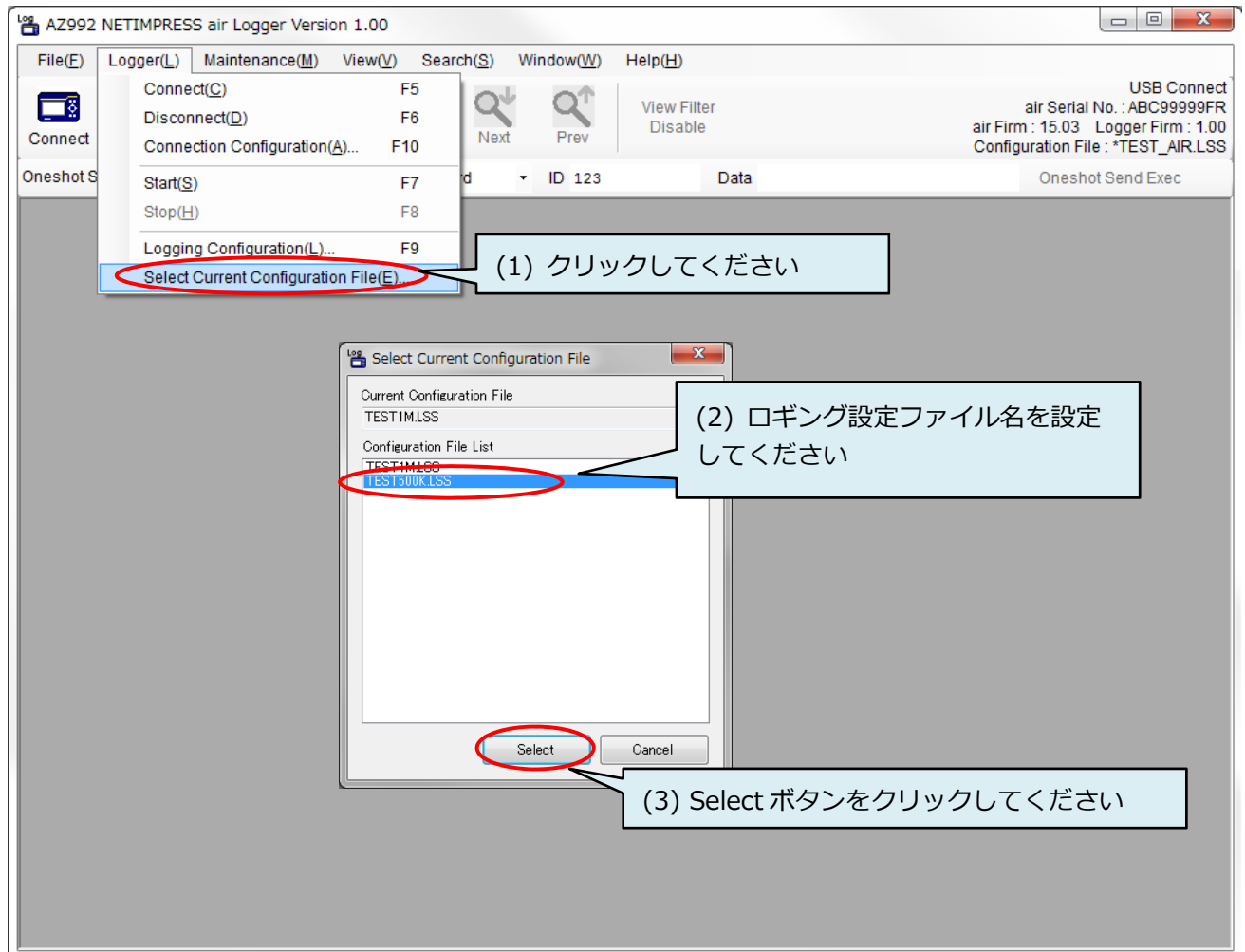
### 6.2.21. 本機のカレントロギング設定ファイルを選択

本機をストレージモードで動作させた際に使用するロギング設定ファイル(\*.LSS)を選択します。

“Logger(L)”メニューの“Select Current Configuration File(L)”をクリックします。

Select Current Configuration File 画面に、現在のカレントロギング設定ファイル名および専用 SD カード内のロギング設定ファイル一覧が表示されますので、カレントに設定したいロギング設定ファイルをロギング設定ファイル一覧から選択後、“Select”ボタンをクリックします。カレントロギング設定ファイルの選択を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。



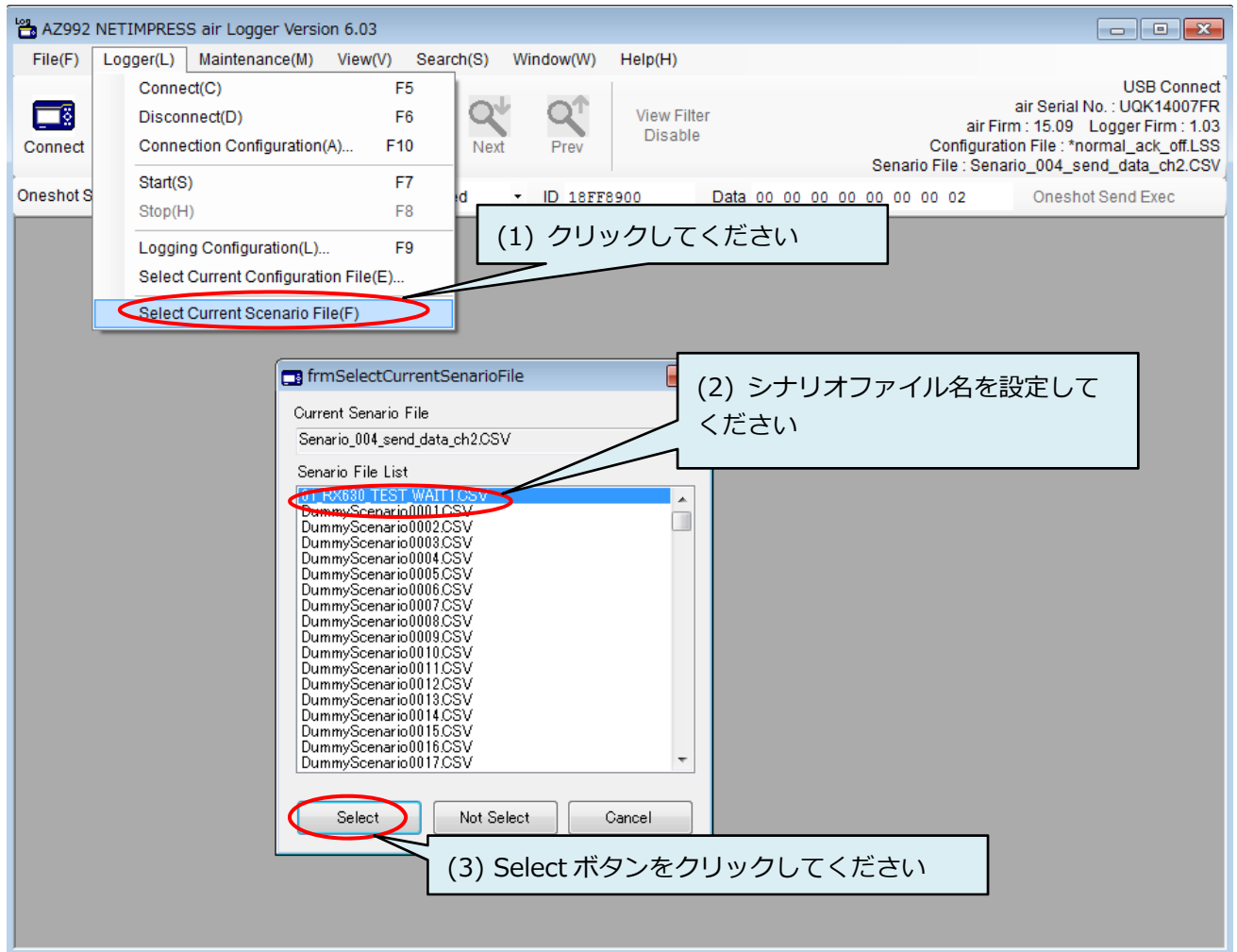
## 6.2.22. 本機のカレントシナリオファイルを選択

シナリオファイル(\*.CSV)を選択します。

“Logger(L)”メニューの“Select Current Scenario File(L)”をクリックします。

Select Current Scenario File 画面に、現在のカレントシナリオファイル名および専用 SD カード内のシナリオファイル一覧が表示されますので、カレントに設定したいシナリオファイルをファイル一覧から選択後、“Select”ボタンをクリックします。カレントシナリオファイルを解除する場合は、“Not Select”ボタンをクリックします。カレントシナリオファイルの選択を中止したい場合は“Cancel”ボタンをクリックします。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。





### 6.2.23. ロガーライセンスの読み出し

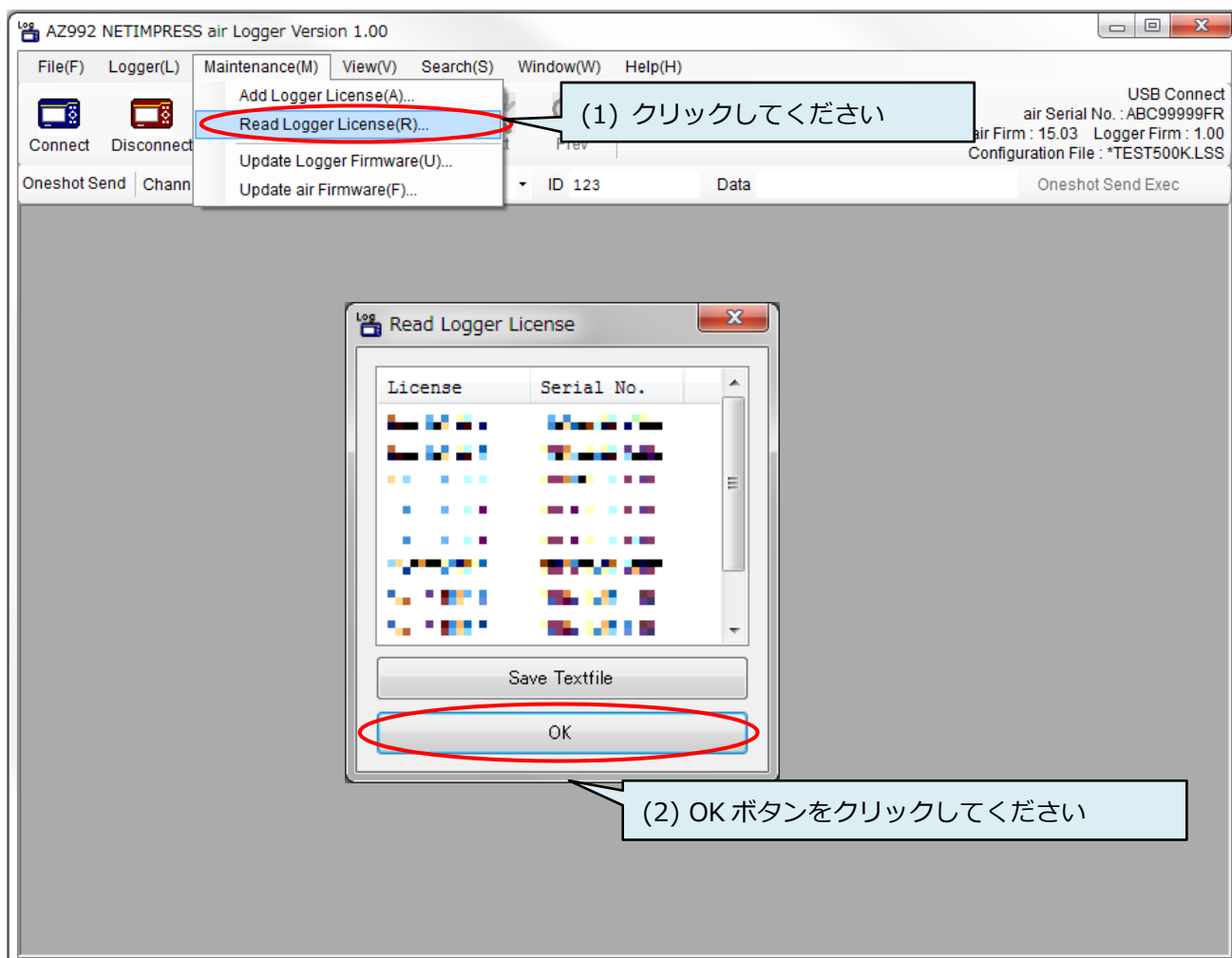
本機に追加済みのロガーライセンスを表示します。

“Maintenance(M)”メニューの“Read Logger License(R)”をクリックします。

Read Logger License 画面に、本機に追加済みのロガーライセンス一覧が表示されます。

ロガーライセンスを確認後、“OK”ボタンをクリックします。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。



## 6.2.24. ロガーライセンスのテキスト保存

本機に追加済みのロガーライセンスをテキストファイルに保存します。

“Maintenance(M)”メニューの“Read Logger License(R)”をクリックします。

Read Logger License 画面に、本機に追加済みのロガーライセンス一覧が表示されます。

“Save Textfile”ボタンをクリックすると、ファイルセーブダイアログが表示されますので、保存先設定後、“保存”ボタンをクリックしてください。

テキスト保存を中止したい場合は、“Cancel”ボタンをクリックしてください。

この操作は、本機と接続した状態でのみ実行可能です。

The screenshot displays the AZ992 NETIMPRESS air Logger Version 1.00 software interface. The 'Maintenance(M)' menu is open, and the 'Read Logger License(R)...' option is highlighted with a red circle and a callout box stating '(1) クリックしてください'. Below this, the 'Read Logger License' dialog box is shown with a table of licenses and a 'Save Textfile' button circled in red. A callout box points to this button with the text '(2) Save Textfile ボタンをクリックしてください'. To the right, the 'Save Textfile' dialog box is open, showing the file name 'LicenseList.txt' circled in red with a callout box '(3) ファイル名を設定してください'. The '保存(S)' button is also circled in red with a callout box '(4) 保存ボタンをクリックしてください'.

File(F) Logger(L) Maintenance(M) View(V) Search(S) Window(W) Help(H)

Connect Disconnect Oneshot Send Channel

Add Logger License(A)...  
Read Logger License(R)...  
Update Logger Firmware(U)...  
Update air Firmware(F)...

USB Connect  
air Serial No. : ABC99999FR  
air Firm : 15.03 Logger Firm : 1.00  
Configuration File : \*TEST500K.LSS

ID 123 Data Oneshot Send Exec

License Serial No.

Save Textfile

OS (C:) > Work > AZ992

AZ992の検索

新しいフォルダー

Program Files  
Program Files (x86)  
ProgramData  
Temp  
Users  
Windows  
Work  
AZ992

ファイル名(N): LicenseList.txt  
ファイルの種類(T): Text file (\*.txt)

保存(S) キャンセル

(1) クリックしてください

(2) Save Textfile ボタンをクリックしてください

(3) ファイル名を設定してください

(4) 保存ボタンをクリックしてください

テキストファイルは次のフォーマットで保存されます。

NETIMPRESS air Serial No.:XXXXXXXXXX

Date:yyyy/mm/dd HH:MM:SS

License:

ライセンス型名,ライセンスシリアル番号

ライセンス型名,ライセンスシリアル番号

:

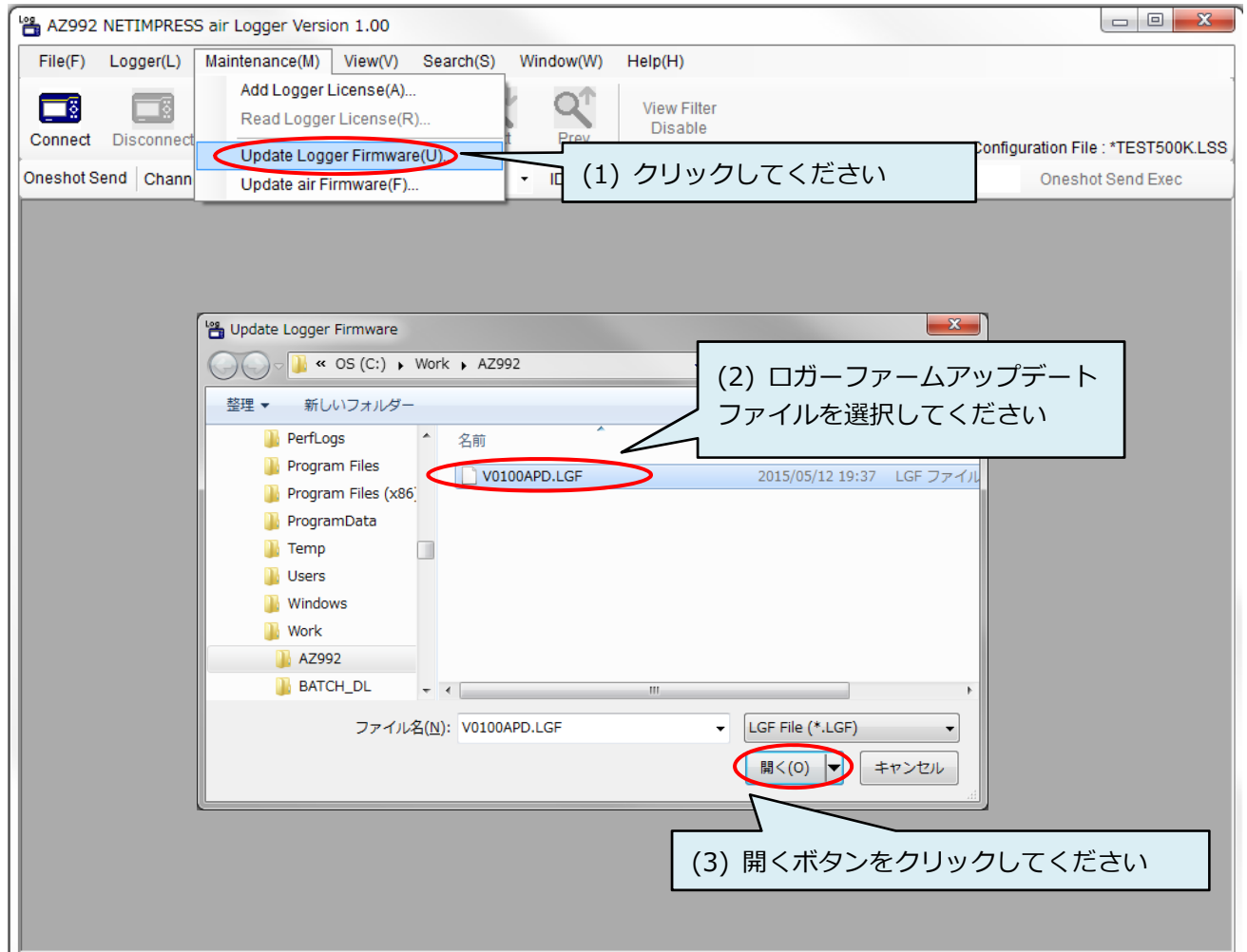
項目	説明
NETIMPRESS air Serial No.:XXXXXXXXXX	本機のシリアル番号です。
Date:yyyy/mm/dd HH:MM:SS	テキストファイル保存日時です。
License:	次の行からロガーライセンスが保存されています。
ライセンス型名,ライセンスシリアル番号	ライセンス型名とライセンスシリアル番号が 1 行に 1 ライセンスずつ保存されています。

## 6.2.25. ロガーファームのアップデート

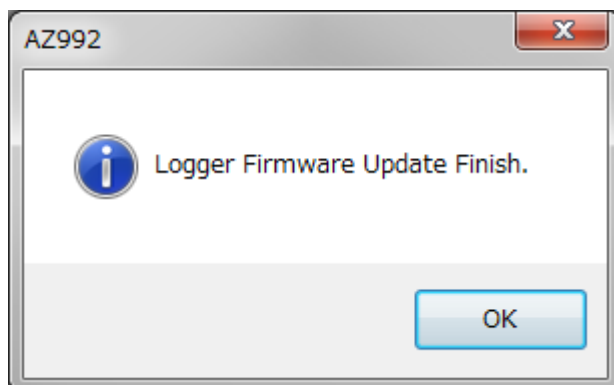
本機のロガーファームをアップデートします。

“Maintenance(M)”メニューの“Update Logger Firmware(U)”をクリックします。

ファイルオープンダイアログが表示されますので、ロガーファームアップデートファイル(\*.LGF)を選択後、“開く”ボタンをクリックします。ロガーファームアップデートを中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。



ロガーファームアップデートに成功すると、以下のメッセージが表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。





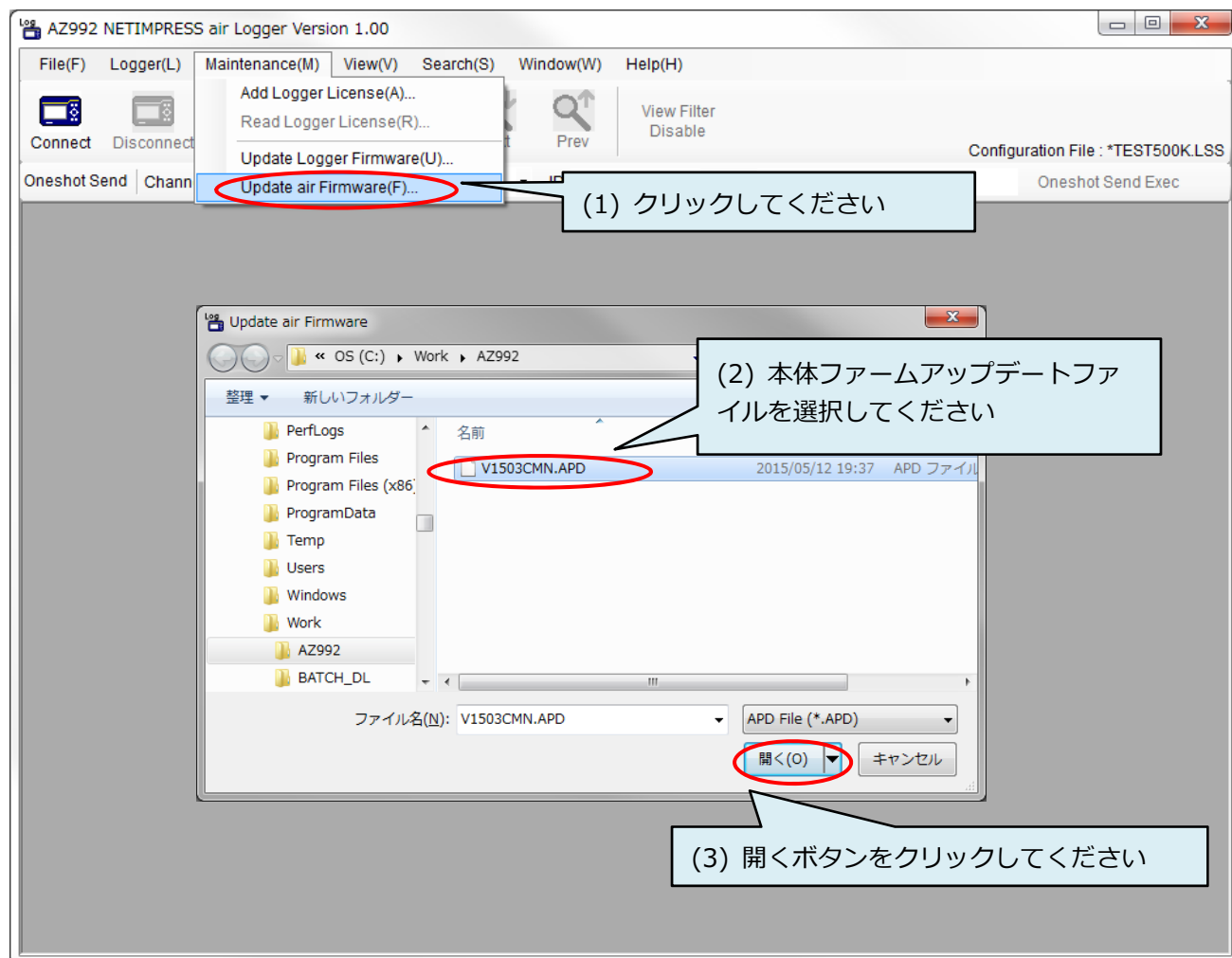
ロガーファームアップデートには数十秒の時間がかかり、その間本機および AZ992 は操作できません。  
ロガーファームアップデート中に本機の電源を切ったり、本機の実行を行ったりしないでください。  
本機の故障の原因となります。

## 6.2.26. 本体ファームのアップデート

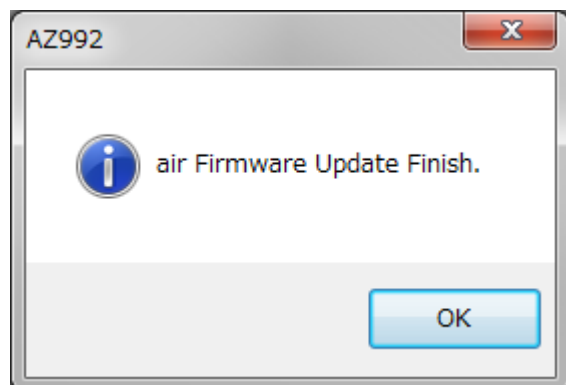
本機の本体ファームをアップデートします。

“Maintenance(M)”メニューの“Update air Firmware(F)”をクリックします。

ファイルオープンダイアログが表示されますので、本体ファームアップデートファイル(\*.APD)を選択後、“開く”ボタンをクリックします。本体ファームアップデートを中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。



本体ファームアップデートに成功すると、以下のメッセージが表示されますので、“OK”ボタンをクリックします。





本体ファームアップデートには数十秒の時間がかかり、その間本機および AZ992 は操作できません。  
本体ファームアップデート中に本機の電源を切ったり、本機の操作を行ったりしないでください。  
本機の故障の原因となります。

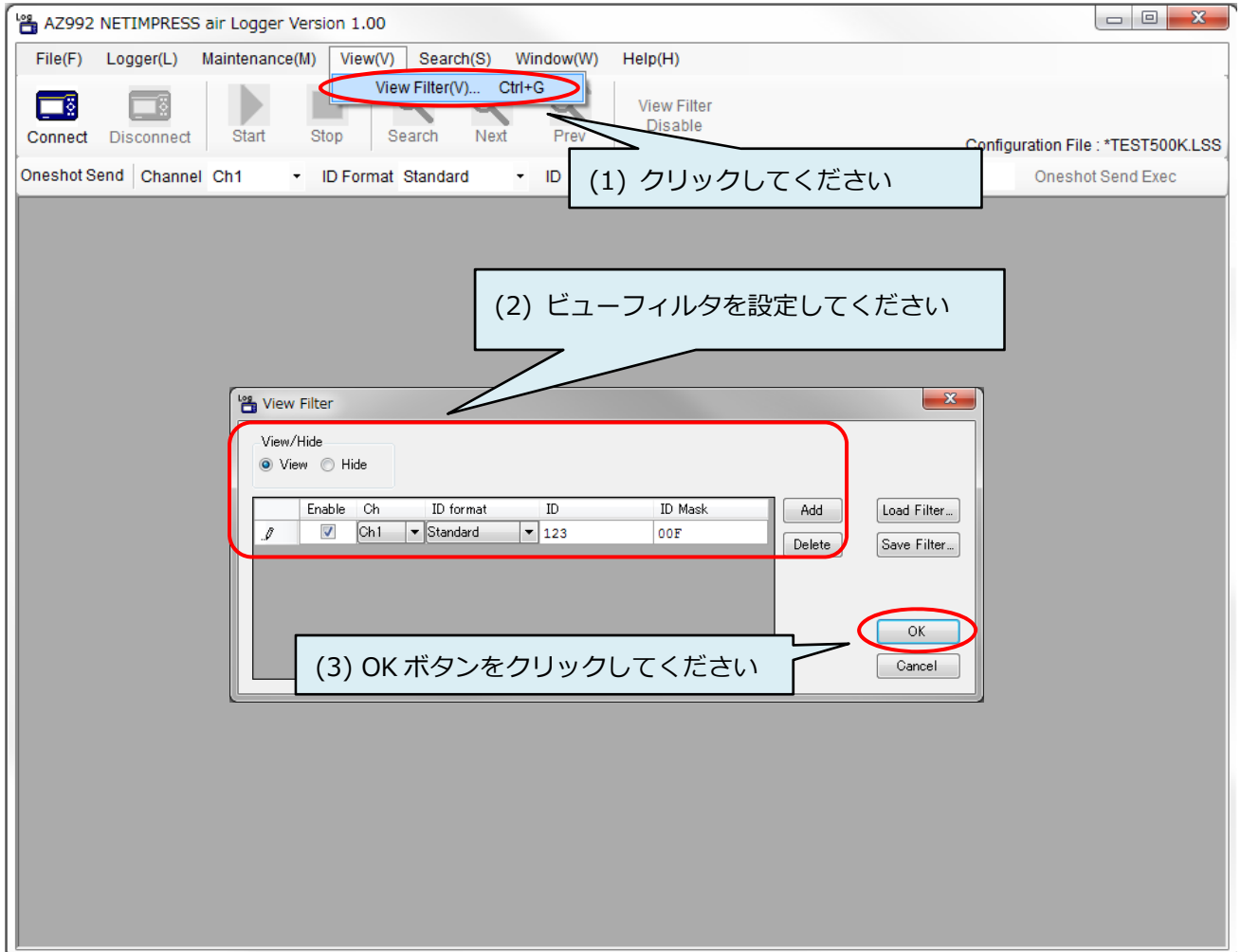
## 6.2.27. ビューフィルタの設定

ログデータのビューフィルタ設定を行います。

“View(V)”メニューの“View Filter(V)”をクリックします。

View Filter 画面が表示されますので、ビューフィルタを設定します。

設定完了後、“OK”ボタンをクリックします。





“Add”ボタンをクリックすると、ビューフィルタを1つ追加することができます。

“Delete”ボタンをクリックすると、選択中のビューフィルタを1つ削除することができます。

各項目の説明は次のとおりです。

項目	説明
View/Hide	ビューフィルタの動作を選択します。 View : フィルタに一致したログデータを表示します。 Hide : フィルタに一致したログデータを隠します。
Enable	ビューフィルタ1つごとの有効/無効を選択します。 チェックするとビューフィルタが有効になります。
Ch	フィルタ条件とする CAN チャネルを選択します。 Ch1/Ch2 から選択します。
ID Format	フィルタ条件とする CAN ID のフォーマットを標準 ID にする場合は Standard を、拡張 ID にする場合は Extended を選択します。
ID	フィルタ条件とする CAN ID を 16 進数で入力します。
ID Mask	フィルタ条件とする CAN ID のうち、一致確認を行うビットを 0、一致確認を行わないビットを 1 として、16 進数で入力します。



AZ992 画面でキーボードの Ctrl+G キーを押すことでも、View Filter 画面を表示することが可能です。

## 6.2.28. ビューフィルタの読み込み

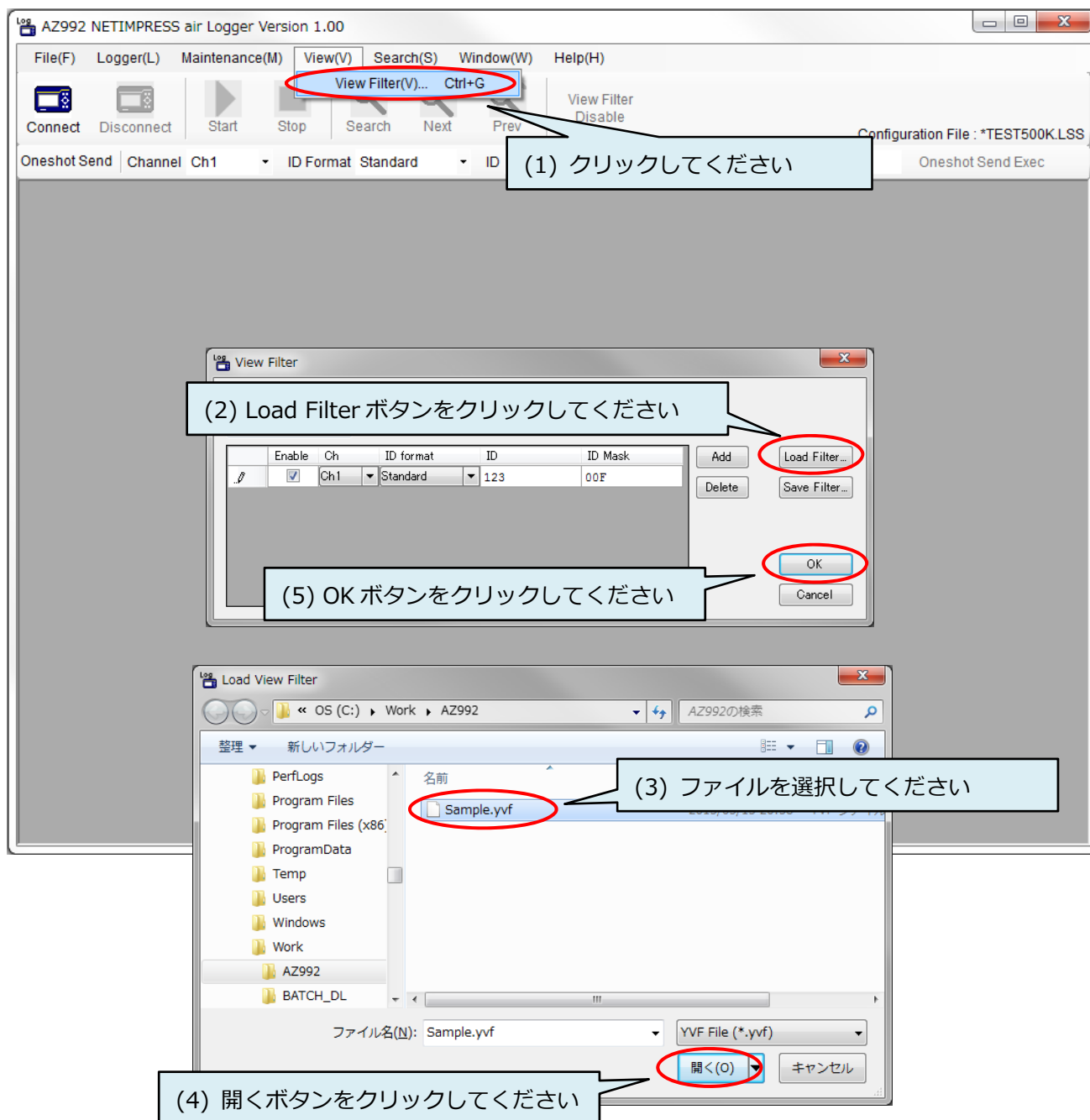
ビューフィルタファイル(\*.YVF)を読み込みます。

“View(V)”メニューの“View Filter(V)”をクリックします。

View Filter 画面が表示されますので、“Load Filter”ボタンをクリックします。

ファイルオープンダイアログが表示されますので、読み込みたいビューフィルタファイルを選択後、“開く”ボタンをクリックします。ビューフィルタファイルの読み込みを中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。

ビューフィルタファイル読み込み完了後、“OK”ボタンをクリックします。



## 6.2.29. ビューフィルタの保存

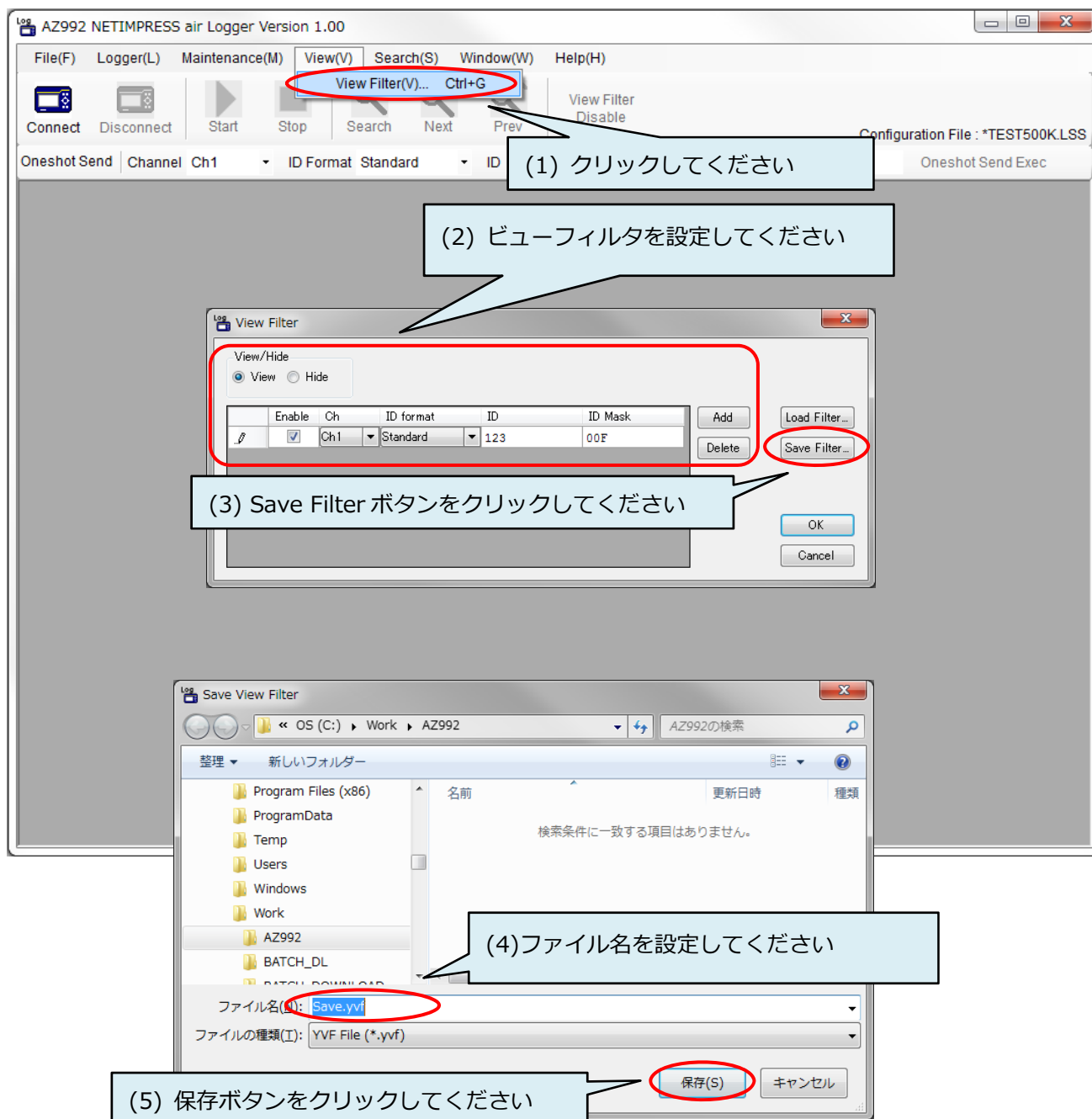
ビューフィルタ設定をビューフィルタファイル(\*.YVF)に保存します。

“View(V)”メニューの“View Filter(V)”をクリックします。

View Filter 画面が表示されますので、ビューフィルタを設定します。

設定完了後、“Save Filter”ボタンをクリックします。

ファイルセーブダイアログが表示されますので、ビューフィルタファイルの保存先を設定後、“保存”ボタンをクリックします。ビューフィルタファイルの保存を中止したい場合は“キャンセル”ボタンをクリックします。

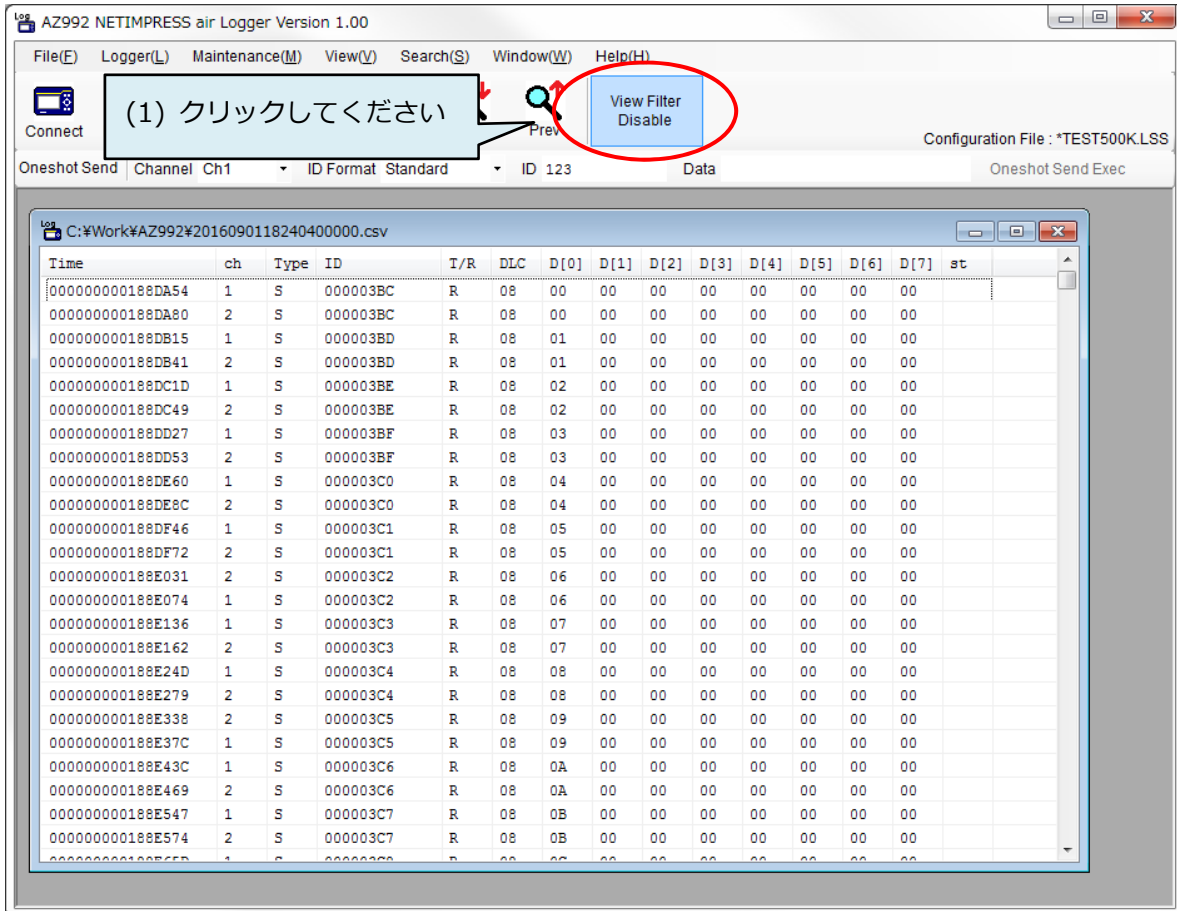


## 6.2.30. ビューフィルタの有効／無効切り替え

ログデータに対するビューフィルタの有効／無効を切り替えます。

ビューフィルタの有効／無効を切り替えたいログデータウインドウを選択後、“View Filter Enable/Disable” ボタンをクリックします。

ビューフィルタの有効／無効が切り替わり、ログデータの表示が更新されます。



### 6.2.31. ログデータの検索

ログデータの中から、指定した条件に該当するデータを探します。

“Search(S)”メニューの“Search(F)”をクリックします。もしくは、画面上の“Search”ボタンをクリックします。

Search 画面が表示されますので、検索条件を設定します。設定完了後、“Search(Next)”ボタンもしくは“Search(Prev)”ボタンをクリックします。

“Search(Next)”ボタンをクリックした場合、現在選択中のログデータ位置から後ろ方向に検索します。

“Search(Prev)”ボタンをクリックした場合、現在選択中のログデータ位置から手前方向に検索します。

指定した条件に一致するログデータが見つかった場合、そのログデータの行が選択状態になります。

この操作は、AZ992 上にログデータウィンドウが存在する場合のみ実行可能です。

The screenshot shows the AZ992 NETIMPRESS air Logger Version 1.00 interface. The menu bar includes File(E), Logger(L), Maintenance(M), View(V), Search(S), Window(W), and Help(H). The toolbar contains Connect, Disconnect, Start, Stop, Search, and Next buttons. A callout box labeled "(1) クリックしてください" points to the Search button. The Search menu is open, showing Search(E)... Ctrl+F, Next(N) F3, and Prev(P) F4. A callout box labeled "(1) クリックしてください" points to the Search(E)... option. The search dialog box is open, showing search criteria: Channel (Ch1), ID format (Standard), ID (345), ID Mask (000), Tx/Rx (Any), Type (Any), Data (00 00 00 00 00 00 00 00), and Data Mask (FF FF FF FF 00 00 00 00). A callout box labeled "(2) 検索条件を設定してください" points to the search criteria fields. The dialog box has Search(Next), Search(Prev), and Cancel buttons. A callout box labeled "(3) クリックしてください" points to the Search(Next) button. The background shows a log table with columns for ID, Tx/Rx, Type, and Data.

ID	Tx/Rx	Type	D[0]	D[1]	D[2]	D[3]	D[4]	D[5]	D[6]	D[7]	st
000000000188DA54	1	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188DA80	2	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188DB15	1	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188DB41	2	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188DC1D	1	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188DC49	2	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188DD27	1	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188DD53	2	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188DE60	1	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188DE8C	2	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188DF46	1	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188DF72	2	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188E031	2	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188E074	1	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188E136	1	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188E162	2	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188E24D	1	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188E279	2	S	R	08	00	00	00	00	00	00	
000000000188E338	2	S	R	08	09	00	00	00	00	00	
000000000188E37C	1	S	R	08	09	00	00	00	00	00	
000000000188E43C	1	S	R	08	0A	00	00	00	00	00	
000000000188E469	2	S	R	08	0A	00	00	00	00	00	
000000000188E547	1	S	R	08	0B	00	00	00	00	00	
000000000188E574	2	S	R	08	0B	00	00	00	00	00	

各項目の説明は次のとおりです。

項目	説明
Channel	<p>検索対象とする CAN チャンネルを選択します。</p> <p>Ch1 : チャンネル 1 のログデータを検索対象とします。</p> <p>Ch2 : チャンネル 2 のログデータを検索対象とします。</p> <p>Any : いずれのチャンネルのログデータも検索対象とします。</p>
ID Format	<p>検索対象とする CAN ID のフォーマットを選択します。</p> <p>Standard : 標準 ID のログデータを検索対象とします。</p> <p>Extended : 拡張 ID のログデータを検索対象とします。</p> <p>Any:いずれの ID フォーマットのログデータも検索対象とします。</p>
ID	検索対象とする CAN ID を 16 進数で入力します。
ID Mask	検索対象とする CAN ID のうち、一致確認を行うビットを 0、一致確認を行わないビットを 1 として、16 進数で入力します。
Tx/Rx	<p>検索対象とするログデータの送受信種別を選択します。</p> <p>Rx : 本機が受信したログデータを検索対象とします。</p> <p>Tx : 本機が送信したログデータを検索対象とします。</p> <p>Any:いずれの送受信種別のログデータも検索対象とします。</p>
Type	<p>検索対象とするログデータのフレームタイプを選択します。</p> <p>Data Frame : データフレームを検索対象とします。</p> <p>Remote Frame : リモートフレームを検索対象とします。</p> <p>Error Frame : エラーフレームを検索対象とします。</p> <p>Any : いずれのフレームタイプも検索対象とします。</p>
Data	検索対象とするデータをスペース区切りで入力します。
Data Mask	検索対象とするデータのうち、一致確認を行うビットを 0、一致確認を行わないビットを 1 として、16 進数で入力します。



AZ992 画面でキーボードの Ctrl+F キーを押すことでも、Search 画面を表示することが可能です。

## 6.2.32. 次のログデータを検索

ログデータの中から、指定した条件に該当するデータを探します。

“Search(S)”メニューの“Next(N)”をクリックします。もしくは、画面上の“Next”ボタンをクリックします。

現在選択中のログデータの次の行から後ろ方向に検索します。

指定した条件に一致するログデータが見つかった場合、そのログデータの行が選択状態になります。

この操作は、AZ992 上にログデータウィンドウが存在する場合のみ実行可能です。

The screenshot shows the AZ992 NETIMPRESS air Logger Version 1.00 interface. The first part shows the toolbar with the 'Next' button circled in red and a callout box saying '(1) クリックしてください'. The second part shows the 'Search(S)' menu with 'Next(N) F3' circled in red and a callout box saying '(1) クリックしてください'. The third part shows a log data table with the following columns: Time, ch, Type, ID, T/R, DLC, D[0], D[1], D[2], D[3], D[4], D[5], D[6], D[7], st. The table contains 25 rows of data, with the first row highlighted in blue.

Time	ch	Type	ID	T/R	DLC	D[0]	D[1]	D[2]	D[3]	D[4]	D[5]	D[6]	D[7]	st
000000000188DA54	1	S	000003BC	R	08	00	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DA80	2	S	000003BC	R	08	00	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DB15	1	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DB41	2	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DC1D	1	S	000003BE	R	08	02	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DC49	2	S	000003BE	R	08	02	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DD27	1	S	000003BF	R	08	03	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DD53	2	S	000003BF	R	08	03	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DE60	1	S	000003C0	R	08	04	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DE8C	2	S	000003C0	R	08	04	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DF46	1	S	000003C1	R	08	05	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DF72	2	S	000003C1	R	08	05	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E031	2	S	000003C2	R	08	06	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E074	1	S	000003C2	R	08	06	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E136	1	S	000003C3	R	08	07	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E162	2	S	000003C3	R	08	07	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E24D	1	S	000003C4	R	08	08	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E279	2	S	000003C4	R	08	08	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E338	2	S	000003C5	R	08	09	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E37C	1	S	000003C5	R	08	09	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E43C	1	S	000003C6	R	08	0A	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E469	2	S	000003C6	R	08	0A	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E547	1	S	000003C7	R	08	0B	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E574	2	S	000003C7	R	08	0B	00	00	00	00	00	00	00	



AZ992 画面でキーボードの F3 キーを押すことでも、次のログデータを検索することが可能です。



### 6.2.33. 前のログデータを検索

ログデータの中から、指定した条件に該当するデータを探します。

“Search(S)”メニューの“Prev(P)”をクリックします。もしくは、画面上の“Prev”ボタンをクリックします。

現在選択中のログデータの手前の行から手前方向に検索します。

指定した条件に一致するログデータが見つかった場合、そのログデータの行が選択状態になります。

この操作は、AZ992 上にログデータウィンドウが存在する場合のみ実行可能です。

The screenshot shows the AZ992 NETIMPRESS air Logger Version 1.00 interface. The first part shows the toolbar with the 'Prev' button circled in red and a callout box saying "(1) クリックしてください". The second part shows the 'Search(S)' menu with 'Prev(P)' circled in red and a callout box saying "(1) クリックしてください". The third part shows a data table with the first row highlighted.

Time	ch	Type	ID	I/R	DLC	D[0]	D[1]	D[2]	D[3]	D[4]	D[5]	D[6]	D[7]	st
000000000188DA54	1	S	000003BC	R	08	00	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DA80	2	S	000003BC	R	08	00	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DB15	1	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DB41	2	S	000003BD	R	08	01	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DC1D	1	S	000003BE	R	08	02	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DC49	2	S	000003BE	R	08	02	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DD27	1	S	000003BF	R	08	03	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DD53	2	S	000003BF	R	08	03	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DE60	1	S	000003C0	R	08	04	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DE8C	2	S	000003C0	R	08	04	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DF46	1	S	000003C1	R	08	05	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188DF72	2	S	000003C1	R	08	05	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E031	2	S	000003C2	R	08	06	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E074	1	S	000003C2	R	08	06	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E136	1	S	000003C3	R	08	07	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E162	2	S	000003C3	R	08	07	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E24D	1	S	000003C4	R	08	08	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E279	2	S	000003C4	R	08	08	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E338	2	S	000003C5	R	08	09	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E37C	1	S	000003C5	R	08	09	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E43C	1	S	000003C6	R	08	0A	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E469	2	S	000003C6	R	08	0A	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E547	1	S	000003C7	R	08	0B	00	00	00	00	00	00	00	
000000000188E574	2	S	000003C7	R	08	0B	00	00	00	00	00	00	00	



AZ992 画面でキーボードの F4 キーを押すことでも、次のログデータを検索することが可能です。

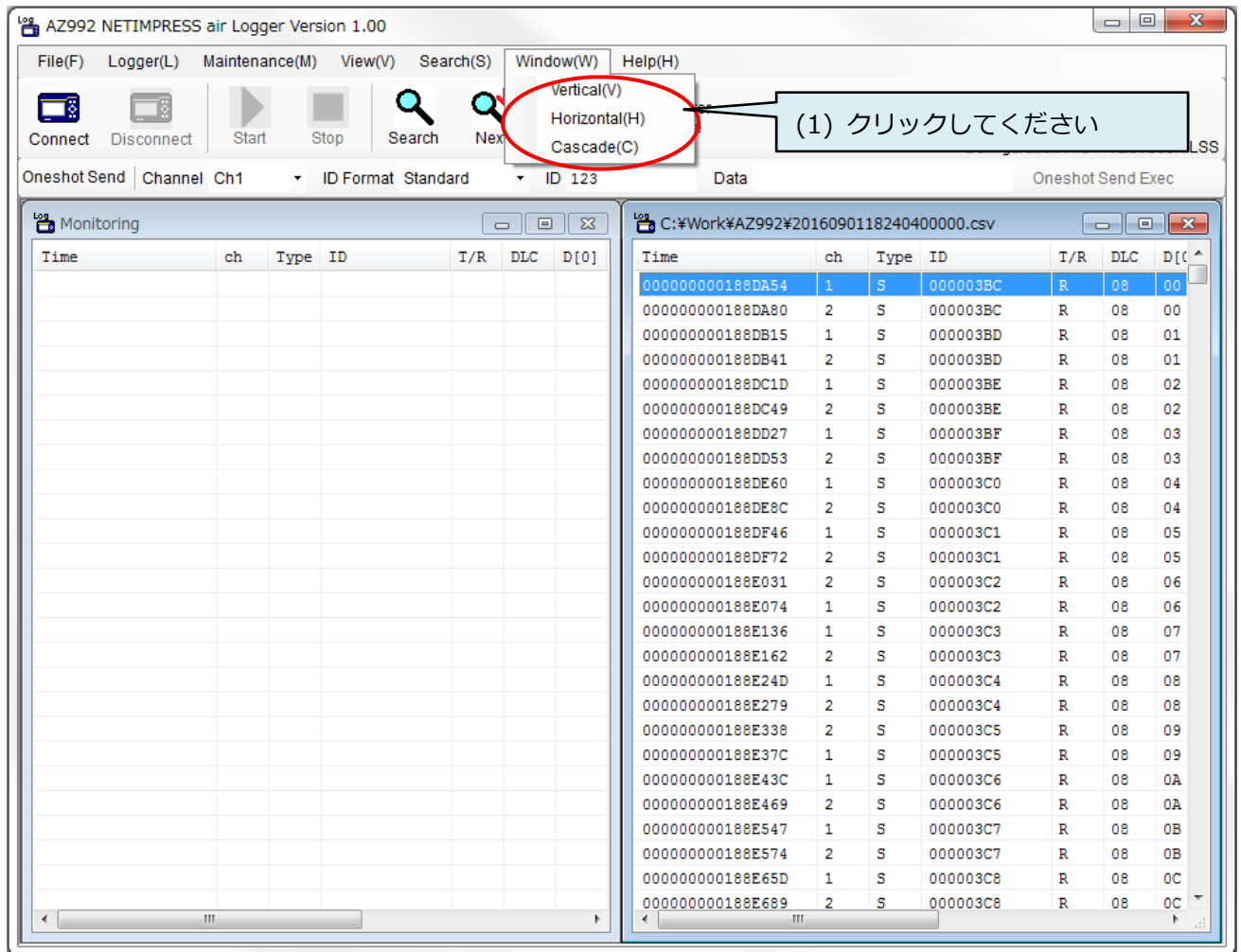
## 6.2.34. ウィンドウの整列

ログデータウィンドウを整列します。

“Window(W)”メニューの“Vertical(V)”をクリックすると、ログデータウィンドウが垂直に区切られて整列します。

“Window(W)”メニューの“Horizontal(H)”をクリックすると、ログデータウィンドウが水平に区切られて整列します。

“Window(W)”メニューの“Cascade (C)”をクリックすると、ログデータウィンドウが重なって整列します。

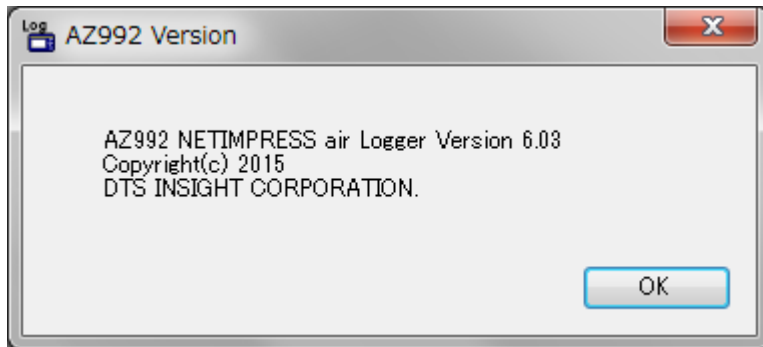


### 6.2.35. バージョン情報の表示

AZ992 のバージョン情報を表示します。

“Help(H)”メニューの“Version(V)”をクリックすると、バージョン情報画面が表示されます。

バージョン確認後、“OK”ボタンをクリックし、バージョン情報画面を閉じます。



### 6.2.36. Web ページの表示

弊社サポートページを Web ブラウザで表示します。

“Help(H)”メニューの“Web Page(W)”をクリックすると、通常使用する Web ブラウザが起動し、弊社サポートページ([https://www.dts-insight.co.jp/support/support\\_netimpress\\_air/](https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air/))を表示します。

### 6.2.37. AZ992 の終了

AZ992 を終了します。

ウインドウ右上の×ボタンをクリックします。

もしくは、“File(F)”メニューの“Exit(X)”をクリックします。

## 7. スタンドアロンで使用する

この章では、スタンドアロン（PC レス）での本機の操作について説明します。



スタンドアロンで使用する場合、本機に専用 SD カードが挿入されている必要があります。

スタンドアロンで CAN データロガーを機能を使用する場合は、本体 MENU 操作でロガーモードに設定する必要があります。『7.4.14 オプションモードを使用する』の設定手順に従い、“CAN BUS LOGGER”を選択してください。

スタンドアロンでは、専用 SD カードに保存されているロガー設定ファイル読み込んで実行します。スタンドアロンで使用する場合は、あらかじめロガー環境のセットアップを完了しておく必要があります。



ロガー環境のセットアップには、AZ992 を使用して LSS ファイルの作成が必要になります。



ロギング：

本機の CAN(2 チャンネル)をターゲットシステムに接続して、CAN 通信データの監視を行います。以下、ロギングと記述します。



ロガー設定ファイル：

拡張子が LSS ファイルになります。LSS ファイルは、使用する CAN の通信設定、受信 ID のフィルタ設定、送信設定、ロギングを実行する時の開始、終了の条件等を本機に設定する時に使用します。

LSS ファイルは専用 SD カードのルートディレクトリに保存して使用します。LSS ファイルは専用 SD カードに複数保存することができ、MENU 操作により設定条件を切り替えで使用することができます。

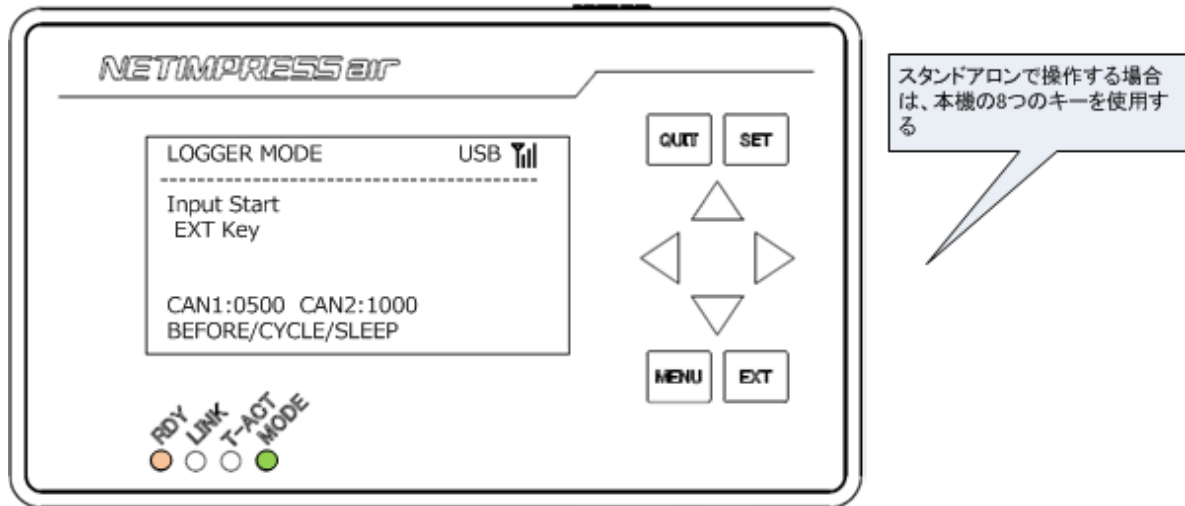
スタンドアロンでロギングを実行する時には、必ず必要となります。スタンドアロンで使用する時は LSS ファイルをご用意してから実行してください。

## 7.1. 操作

ロガー機能をスタンドアロンで使用する時のキーの役割について説明します。

スタンドアロンで操作する場合、本機の8つのキーを使用します。

各キーの役割と、主な動作については以下の通りとなります。



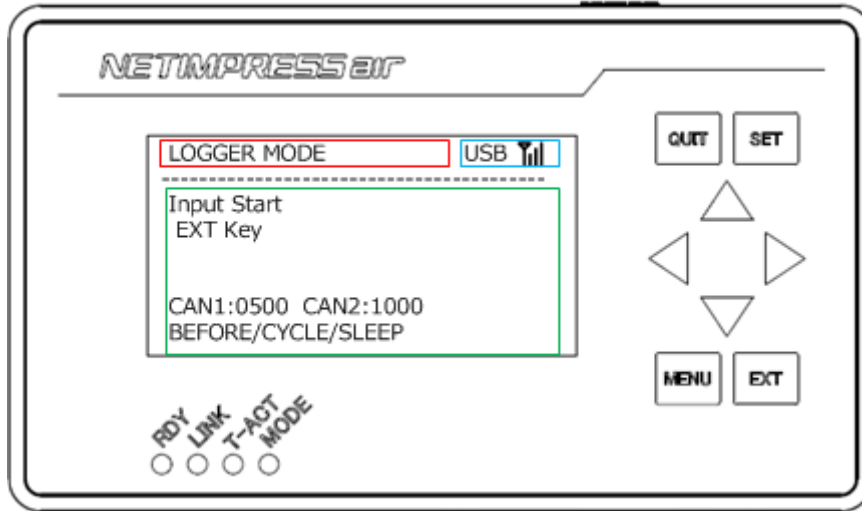
### ● スタンドアロンでの各キーの動きについて

QUIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各操作及び実行状態のからのキャンセル操作に使用します。</li> <li>● キャンセル後はメイン画面に戻ります。</li> </ul>
SET	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 項目選択の決定操作に使用します。</li> </ul>
MENU	<ul style="list-style-type: none"> <li>● メイン画面から本体設定画面(MENU 項目 TOP 画面)に遷移するのに使用します。</li> </ul>
EXT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロギングの開始/終了を制御する時に使用します。</li> </ul>
▲ (上キー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MENU 項目等の選択時に使用します。</li> </ul>
▼ (下キー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MENU 項目等の選択時に使用します。</li> </ul>
◀ (左キー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MENU 項目等の選択時に使用します。</li> </ul>
▶ (右キー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MENU 項目等の選択時に使用します。</li> </ul>

## 7.2. 画面説明

本機の画面表示について説明します。

本機の LCD は、縦 8 行、横 21 文字での表示方式となっています。



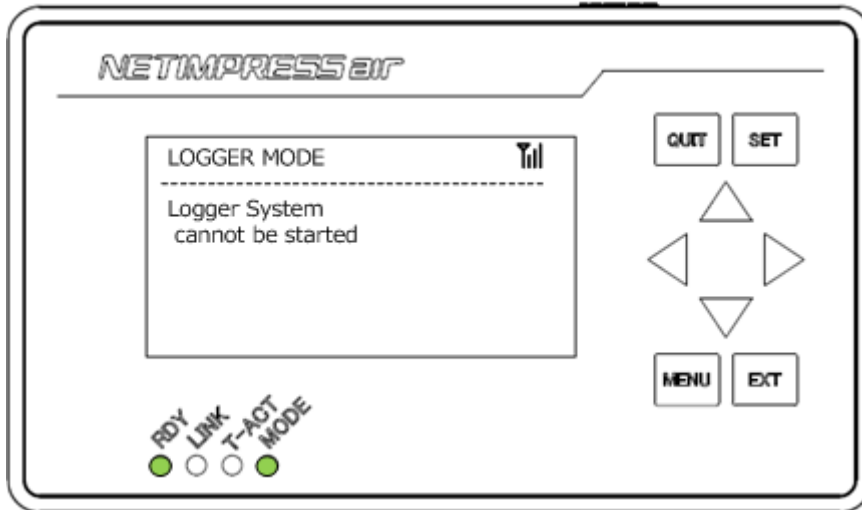
1 行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機で現在実行している処理の内容について表示します。</li> <li>● メイン画面表示中は、通信 I/F(USB 及び Wireless LAN)の接続状態の表示をします。</li> <li>● USB 表示は、PC と USB 接続が正常に行えた場合に出力します。</li> <li>● Wireless LAN の通信状態表示は、接続先との電波強度を示します。</li> </ul> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">▮▮▮</td> <td>通信状態：良好</td> <td>無線強度 100%～60%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▮▮</td> <td>通信状態：普通</td> <td>無線強度 59%～40%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▮</td> <td>通信状態：悪い</td> <td>無線強度 39%～20%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▮</td> <td>通信状態：かなり悪い</td> <td>無線強度 19%～1%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▮—</td> <td colspan="2">通信する相手がない場合、未接続</td> </tr> </table>	▮▮▮	通信状態：良好	無線強度 100%～60%	▮▮	通信状態：普通	無線強度 59%～40%	▮	通信状態：悪い	無線強度 39%～20%	▮	通信状態：かなり悪い	無線強度 19%～1%	▮—	通信する相手がない場合、未接続	
▮▮▮	通信状態：良好	無線強度 100%～60%														
▮▮	通信状態：普通	無線強度 59%～40%														
▮	通信状態：悪い	無線強度 39%～20%														
▮	通信状態：かなり悪い	無線強度 19%～1%														
▮—	通信する相手がない場合、未接続															
2 行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 表示の区切りに使用します(固定)</li> </ul>															
3～8 行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実行中処理のサブ表示画面になります。表示内容は実行中の処理に従い切り替わります。</li> </ul>															

主な本機の状態での、LCD の表示については次章より説明します。

### 7.2.1. ロガー実行不可の表示

ロガー機能を使用するためのライセンスが登録されていない、またはロガー専用ファームウェアが本機にダウンロードされていない場合に、本機がロガーモードに設定されていると実行不可であることを通知するため、以下のメッセージをLCDに表示します。

**!** 上記メッセージが表示された場合、ロガー機能は使用できません。ロガーライセンスの追加及び、ロガー専用ファームウェアのダウンロードを行ってください。



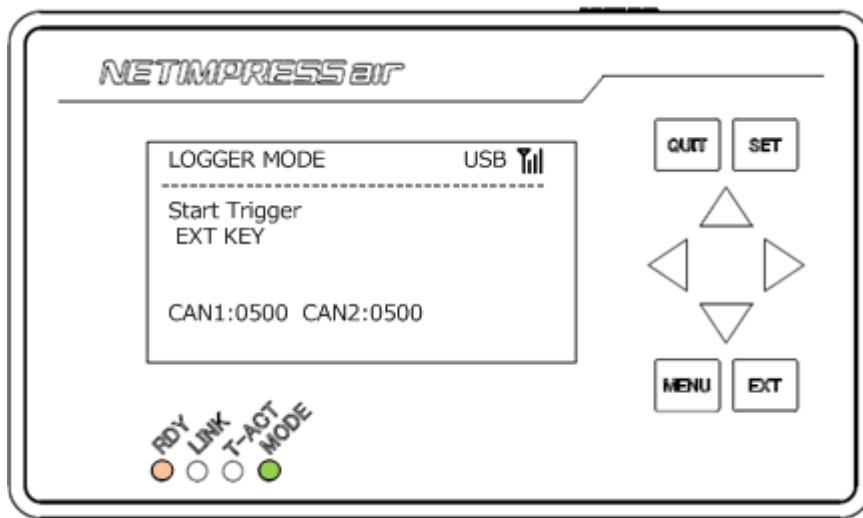


### 7.2.2. ロガー設定ファイルが選択されている場合の表示

専用 SD カードにあるロガー設定ファイルの内、何れか一つをカレント設定として登録してある場合、本機の起動時に、カレントに登録されている設定ファイルを読み込んで、ロギング実行可能な状態となります。

ロギング実行可能状態の場合、LCD に以下のメッセージを表示します。

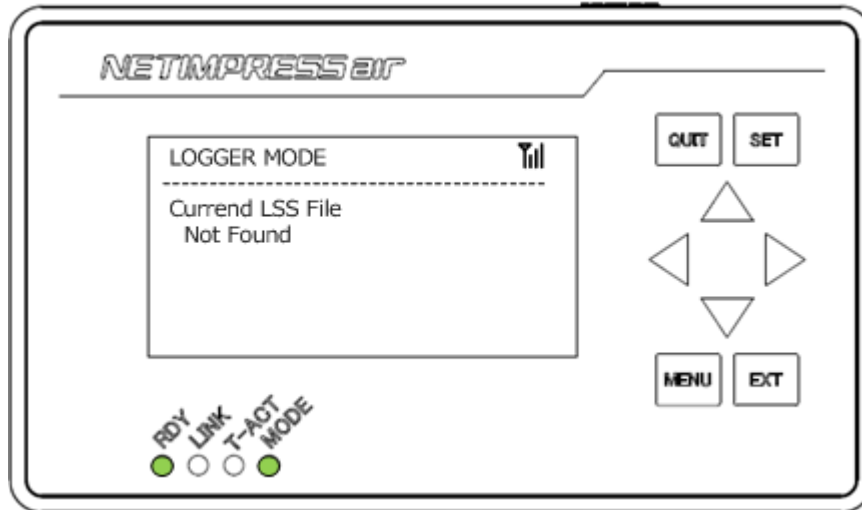
**!** メッセージ表示は、ロギング設定ファイルの内容により表示が異なります。以下表示は CAN チャンネル 1, 2 共に 500kbps、開始/終了設定なし、ロギング開始トリガを EXT キーに設定した場合の EXT キー入力待ちの表示になります。



## 7.2.3. ロガー設定ファイルが選択されていない場合の表示

カレントのロガー設定ファイルが選択されていない場合、以下メッセージが LCD に表示されます。本メッセージが表示されている時は、ロガー機能は OFF(CAN 通信はしない)状態となります。

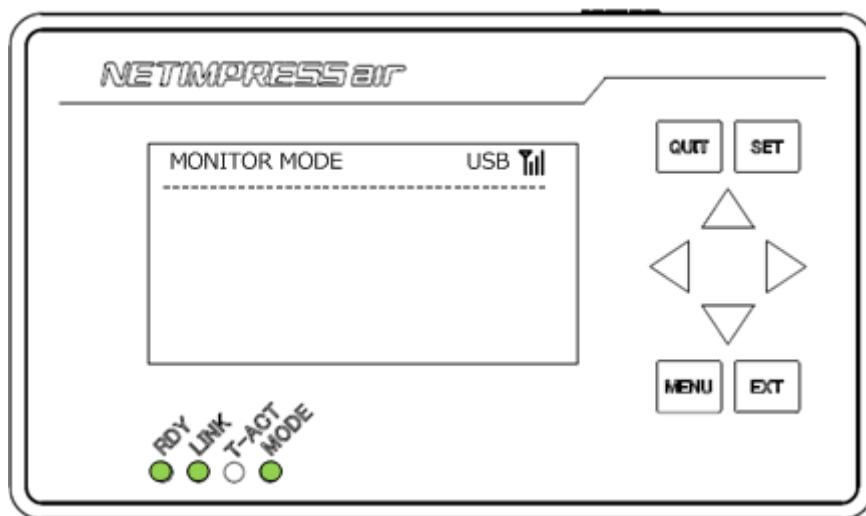
**!** 専用 SD カードを挿入しないで、本機を起動した場合も同様のメッセージが LCD に表示されます。本メッセージ表示中に AZ992 または MENU 操作は可能です。



#### 7.2.4. AZ992 と接続して操作中の表示

本機を AZ992 と接続して操作を行う場合、AZ992 からの実行状態を示す内容が LCD に表示されます。

AZ992 と USB で接続をした場合、正常に接続が完了すると 1 行目に『MONITOR MODE』と表示されます。



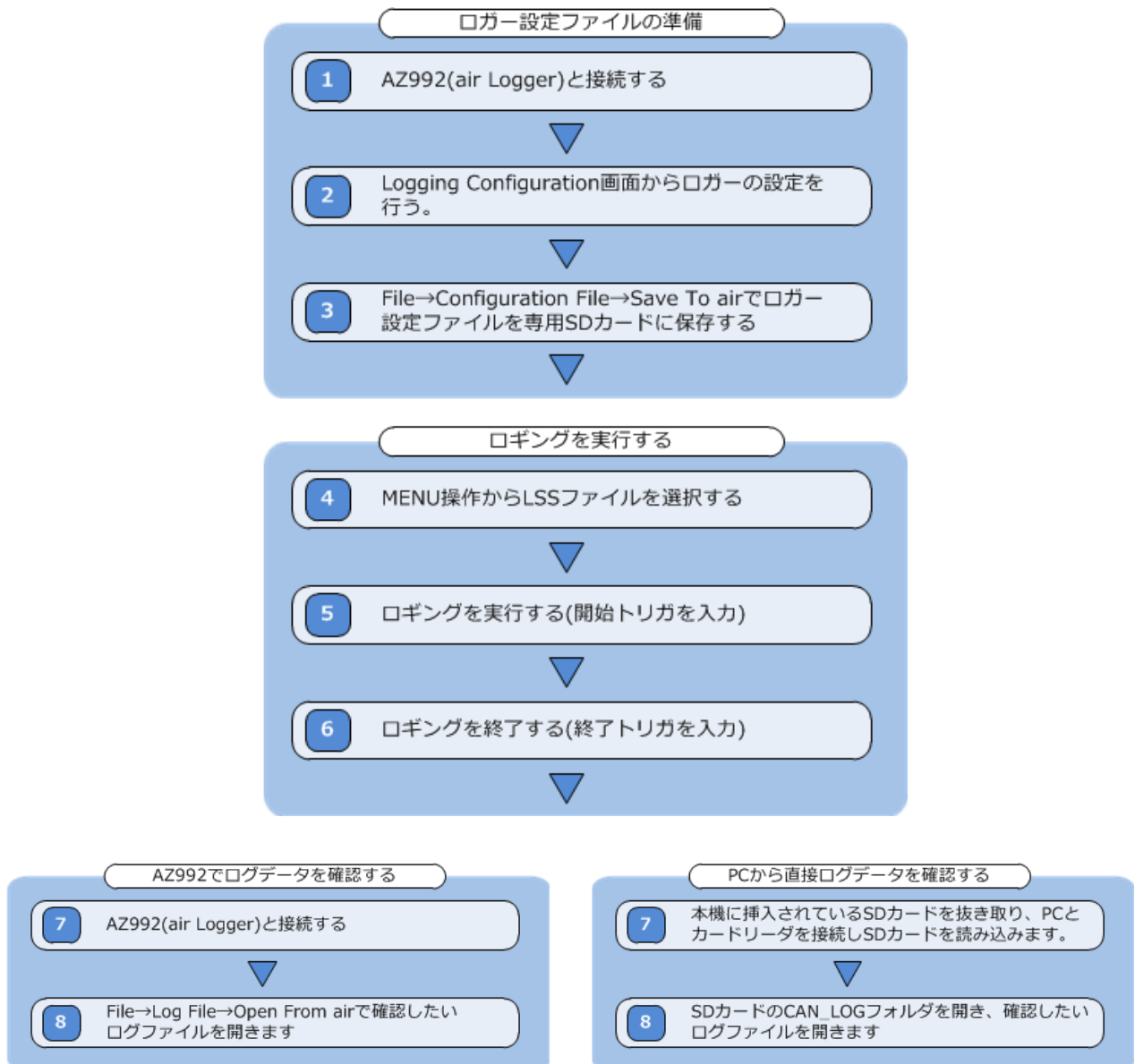
## 7.3. ロギングを実行する

スタンドアロンでのロギング実行方法について説明します。



以下操作を実行するには、AZ992のセットアップと通信環境のセットアップが必要になります。

スタンドアロンでCANデータロガーを機能を使用する場合は、本体MENU操作でロガーモードに設定する必要があります。『7.4.14 オプションモードを使用する』の設定手順に従い、“CAN BUS LOGGER”を選択してください。



### 7.3.1. 手順 1～3 : ロガー設定ファイルの準備

スタンドアロンでロギングを行うために、ロガー設定ファイルを作成する必要があります。

既に LSS ファイルを作成し、専用 SD カードに保存済みである場合は手順 4 に進みます。

AZ992 と接続して、AZ992 の Logger→Logging Configuration 画面から設定を実行します。設定については『』をご確認ください。本章の説明では、例として以下の設定を行った時の動作について説明します。

以下設定を Logging Configuration 画面で設定を行い、File→Configuration File→Save to air を選択しロガー設定ファイルを本機の専用 SD カードに保存します。

本章では、例として保存名を SAMPLE001.LSS とします。

#### ● CAN1/CAN2 の設定

設定項目	各設定	設定値
CAN1 Logging Settings	Enable	ON
	Baudrate	500kbps
	Samplepoint	75%
	Receive ACK	OFF
CAN1 Receive Filter	Enable	ON
Filter1	Enable	ON
	Receive/Discard	Receive
	ID format	Standard
	ID	0x100
	ID Mask	0xFF
CAN1 Send Setting	Enable	OFF
CAN2 Logging Settings	Enable	ON
	Baudrate	500kbps
	Samplepoint	75%
	Receive ACK	OFF
CAN2 Receive Filter	Enable	ON
Filter1	Enable	ON
	Receive/Discard	Receive
	ID format	Standard
	ID	0x200
	ID Mask	0xFF
CAN2 Send Setting	Enable	OFF

## ● トリガ設定/Cycle/Sleep/Log

CAN Start/End Trigger	-	Start:ACC_TRG_HI / End:ACC_TRG_LO
CAN logging Start	Logging Start	CAN receive
	Channel	1
	ID format	Standard
	ID	0x100
CAN logging End	Logging End	CAN receive
	Channel	2
	ID format	Standard
	ID	0x2FF
CAN Cycle Sampling	Cycle Sampling	0[s]:なし
CAN Trigger Out	Trigger Out	None
CAN Sleep Settings	Enable	OFF
CAN Log File	Log File Split	50000Lines

上記設定について：

CAN1：ボーレート 500kbps, サンプリング 75%, ACK 応答 OFF

フィルタ設定 ID 0x100~0x1FF を受信

CAN2：ボーレート 500kbps, サンプリング 75%, ACK 応答 OFF

フィルタ設定 ID 0x200~0x2FF を受信

開始条件：ACC トリガに Hi 入力

ロギング開始：CAN1 に ID 0x100 のデータを受信したらロギング開始

ロギング終了：CAN2 に ID 0x2FF のデータを受信したらロギング終了

終了条件：ACC トリガに Lo 入力

周期ロギング設定：なし

トリガアウト：なし

スリープ設定：なし

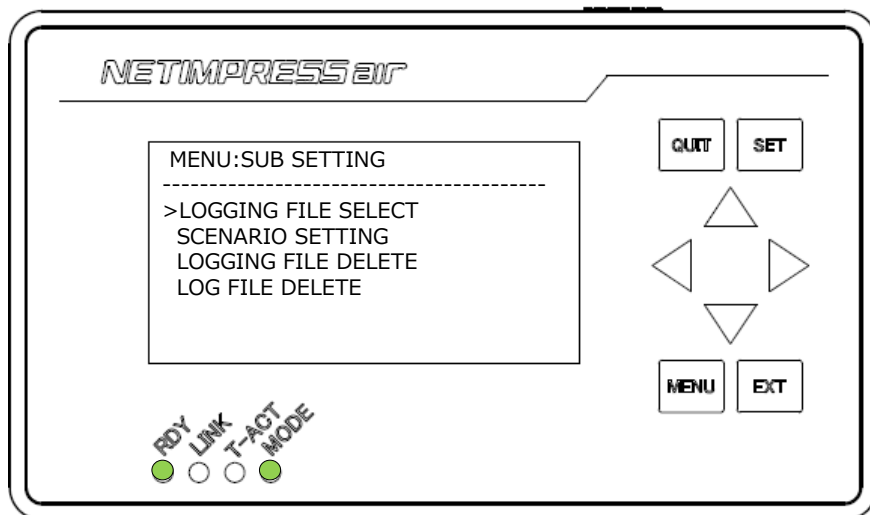
ログ分割：ログデータが 50000 行を超えたらファイルを分割

### 7.3.2. 手順 4 : ロガー設定ファイルを選択する

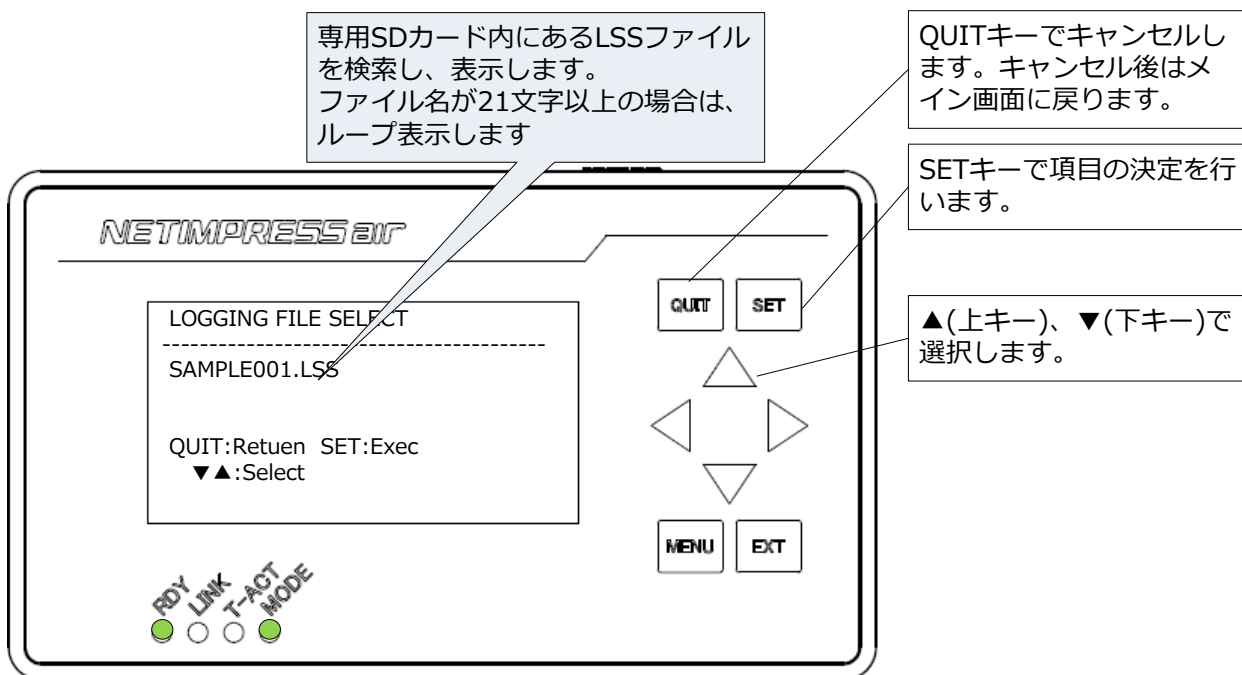
スタンダアロン操作の MENU 項目から LOGGING FILE SETTING を選択し、LCD に表示されるファイルを選択します。

本章では、例として SAMPLE001.LSS を選択します。

- ① MENU ボタンを押します。
- ② MENU: SUB MENU のグループを表示し、"LOGGING FILE SETTING に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



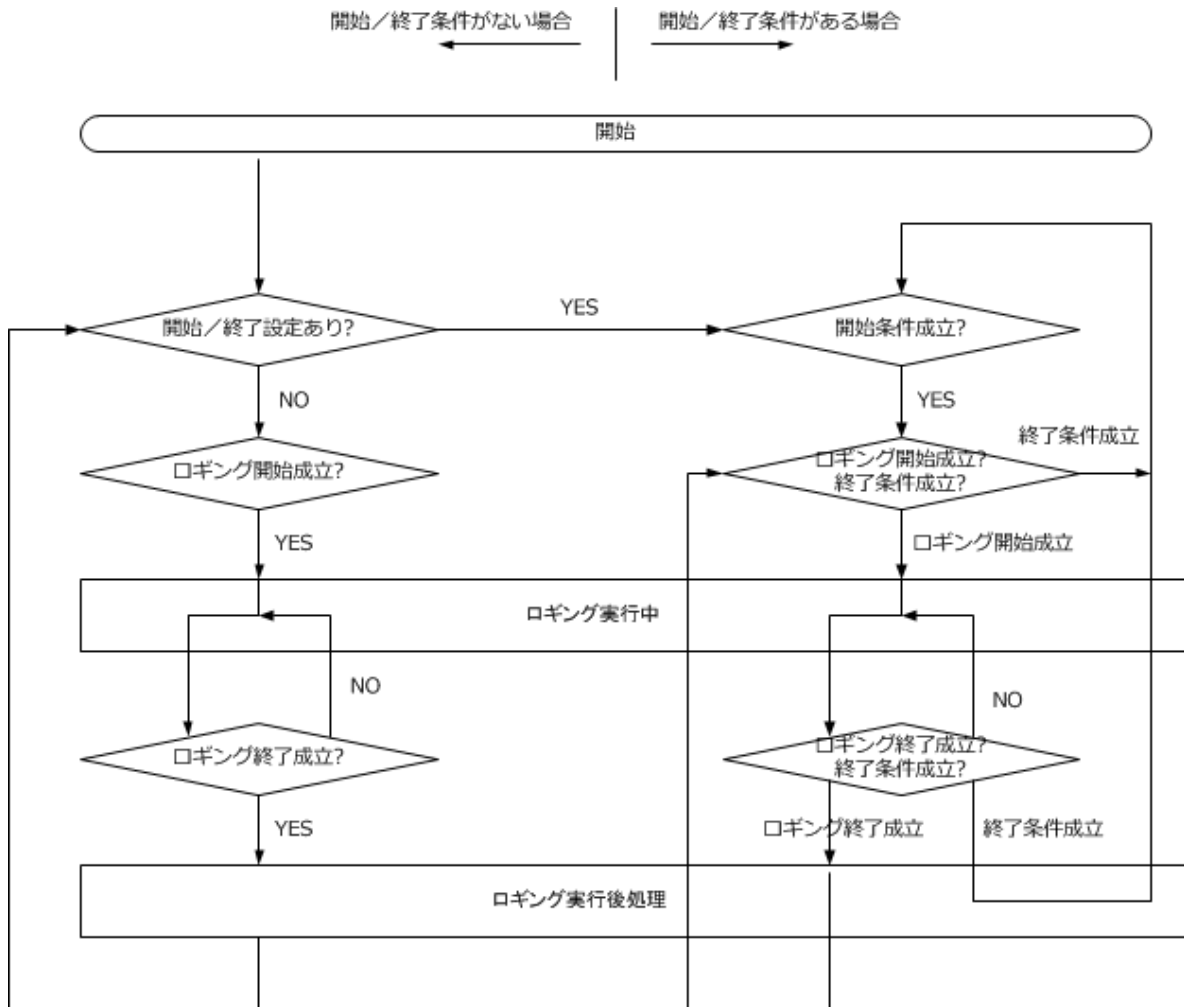
- ③ ▲(上キー)、▼(下キー)で選択し、SET キーで決定します。



## 7.3.3. 手順 5:ロギングを実行する(開始待ち)

手順 4 で LSS ファイルの選択が完了すると、設定条件の内容に従い開始待ちまたは、ロギング開始待ちの状態になります。

開始/終了条件 (CAN Start/End Trigger の設定)、ロギングの開始 (CAN logging Start)、ロギングの終了 (CAN logging End) の指定により、以下のフローで動作します。



開始/終了条件とロギングの開始条件が同じ設定の場合、ロギング開始と同時に終了条件成立するためロギングが実行されません。

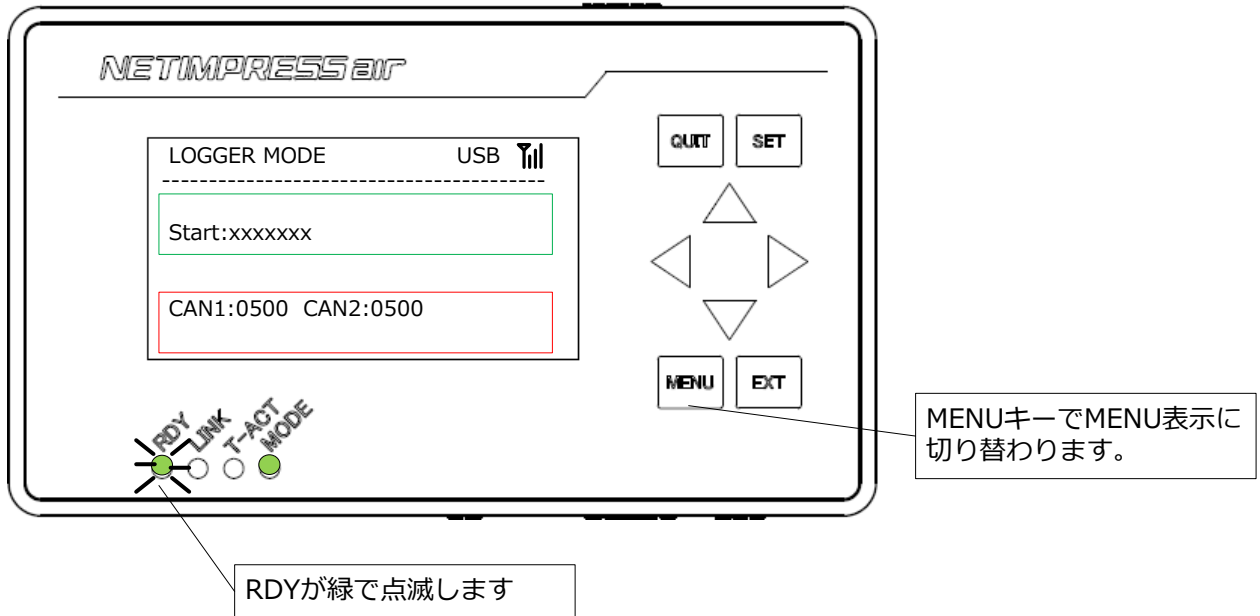


- 開始条件待ち :

開始/終了条件が指定されている場合、本表示となり開始待ち状態となります。開始/終了条件の指定が None の場合は、本表示は行わず次のロギング開始待ちの状態になります。

以下表示は本章の例で指定した設定条件での LCD 表示になります。

(本章の例では、開始条件に ACC トリガの Hi を待つ設定となります)



開始待ちの条件により、LCD の 4 行目の表示は以下のようになります。

CAN Start/End Trigger 設定条件	LCD4 行目の表示
EXT Key	EXT Key
ACC TRG IN Rise Edge	ACC TRG Edge
Start:ACC TRG IN Hi / End ACC TRG IN Lo	ACC TRG Hi
TRG IN Rise Edge	TRG IN Edge
Start:TRG IN Hi / End TRG IN Lo	TRG IN Hi

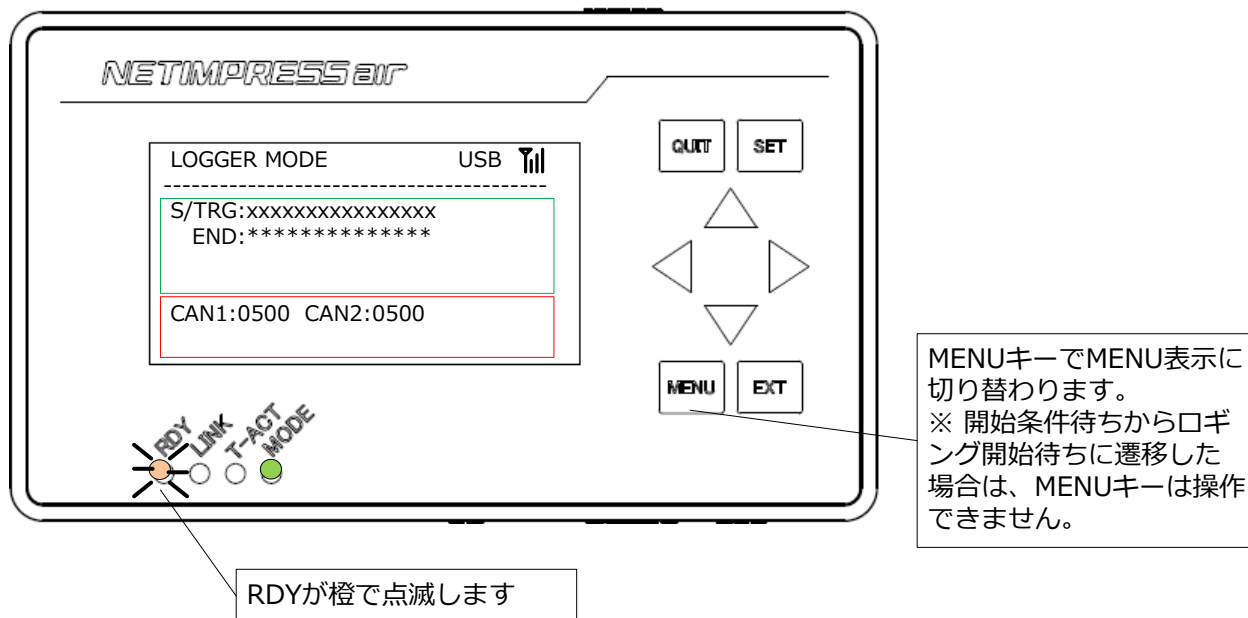
LCD の 7 行目と 8 行目は CAN のボーレートとロギング実行のオプション(Cycle, Sleep, Before)の指定が表示されます。

● ログイン開始待ち

開始条件が成立した場合、ログイン開始待ちの状態となります。

以下表示は本章の例で指定した設定条件での LCD 表示になります。

(本章の例では、ログイン開始条件に CAN1 の ID:0x100 の入力を待つ設定となります)



ログイン開始待ちの条件により、LCD の 3 行目の表示は以下のようになります。

CAN logging Start 設定条件	LCD3 行目の表示
EXT Key	EXT Key
ACC TRG IN Rise Edge	ACC TRG Edge
ACC TRG IN Hi	ACC TRG Hi
TRG IN Rise Edge	TRG IN Edge
TRG IN Hi	TRG IN Hi
CAN receive	CANx input

終了待ちの条件により、LCD の 4 行目の表示は以下のようになります。

CAN Start/End Trigger 設定条件	LCD4 行目の表示
EXT Key	EXT Key
ACC TRG IN Rise Edge	ACC TRG Edge
Start:ACC TRG IN Hi / End ACC TRG IN Lo	ACC TRG Lo
TRG IN Rise Edge	TRG IN Edge
Start:TRG IN Hi / End TRG IN Lo	TRG IN Lo

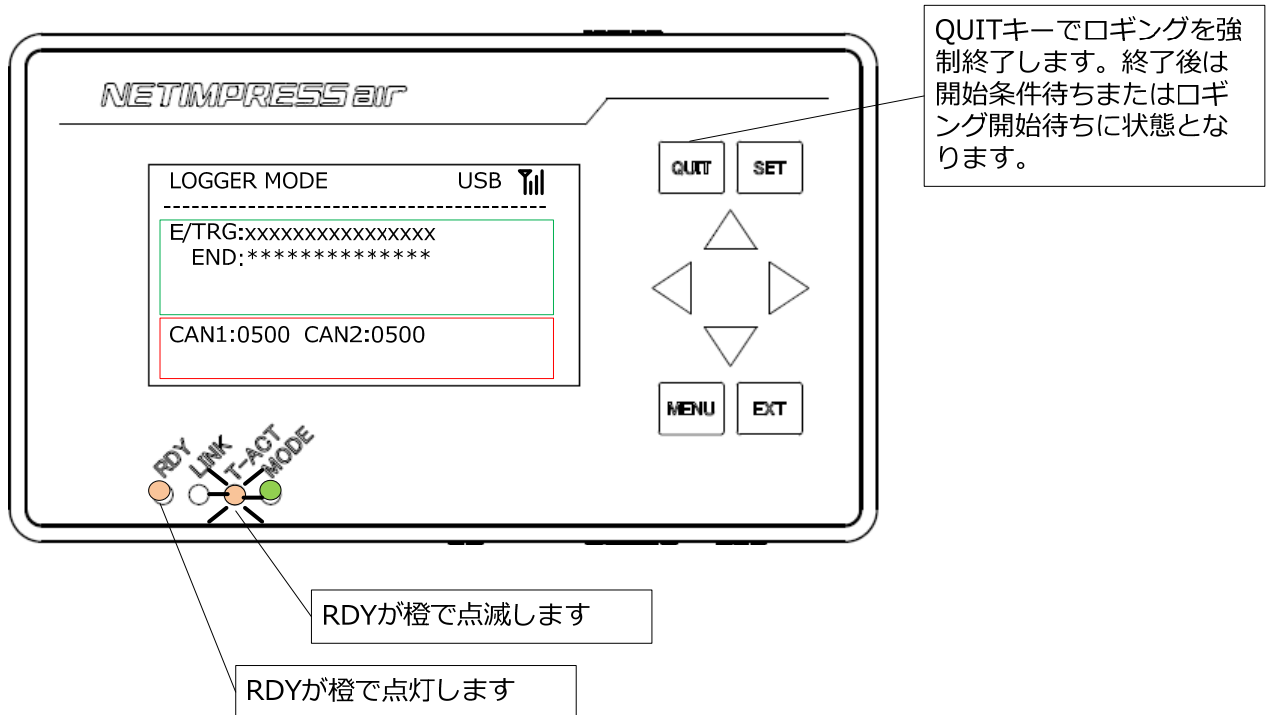
## 7.3.4. 手順 6:ロギングを終了する(終了待ち)

手順 5 でロギングが開始されると、ロギング実行中の LCD 表示になります。

**!** ロギング実行中は、AZ992 との接続は不可の状態になります。AZ992 と接続する場合は、一度ロギングを終了させて、開始待ちまたはロギング開始待ちの状態となってから行ってください。

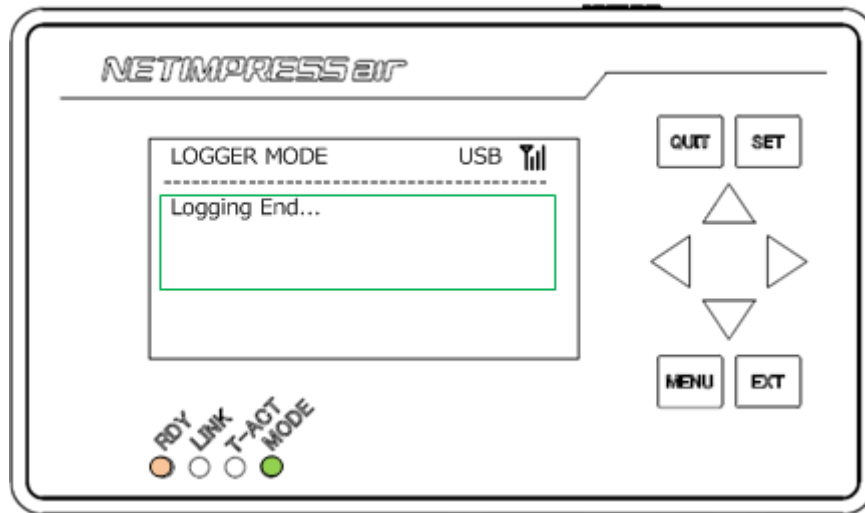
以下表示は本章の例で指定した設定条件での LCD 表示になります。

(本章の例では、ロギング開始条件に CAN2 の ID:0x2FF の入力を待つ設定となります)



終了条件が成立すると以下の表示を出力し、バッファにたまっているログデータを全て専用 SD カードへ保存してロギングを終了します。バッファにたまっているデータ量により、ロギングの終了処理時間が変わります。

**!** 以下、メッセージ表示中は専用 SD カードの抜き差しは行わないでください。カードを抜いた場合書き込みを行っておりログファイルが破損する可能性があります。



### 7.3.5. 手順 7~8 : ログデータを確認する

専用 SD カードに出力されたログデータを確認するには、AZ992 経由でログファイルを読み出すか、本機に挿入されている SD カードを PC に挿入して直接カードリーダーから読み出す方法があります。

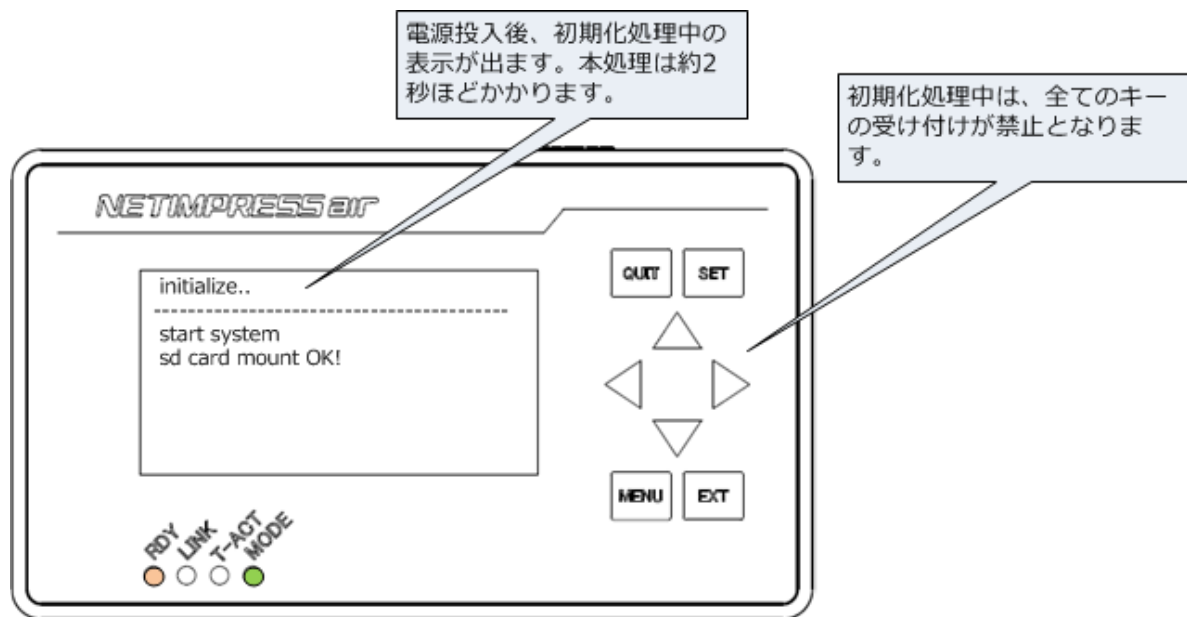
## 7.4. MENU 操作を行う

本機で実行できる各 MENU 項目の設定内容と、操作方法について説明します。

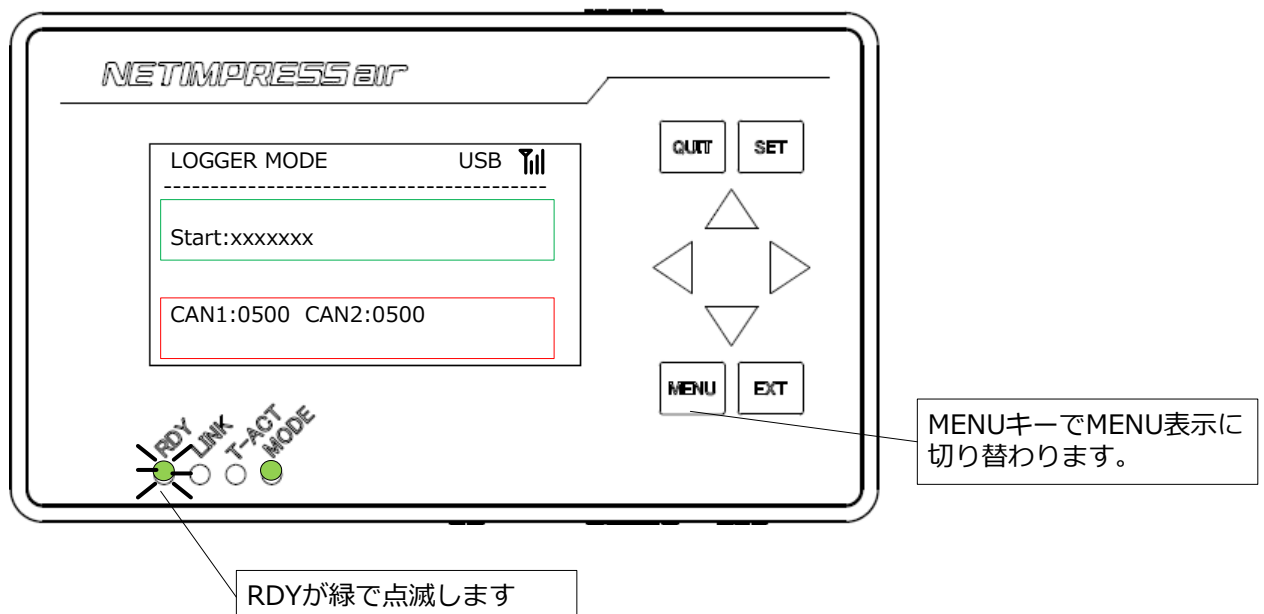
### 7.4.1. MENU 項目選択

本機での MENU 項目選択の操作方法について説明します。

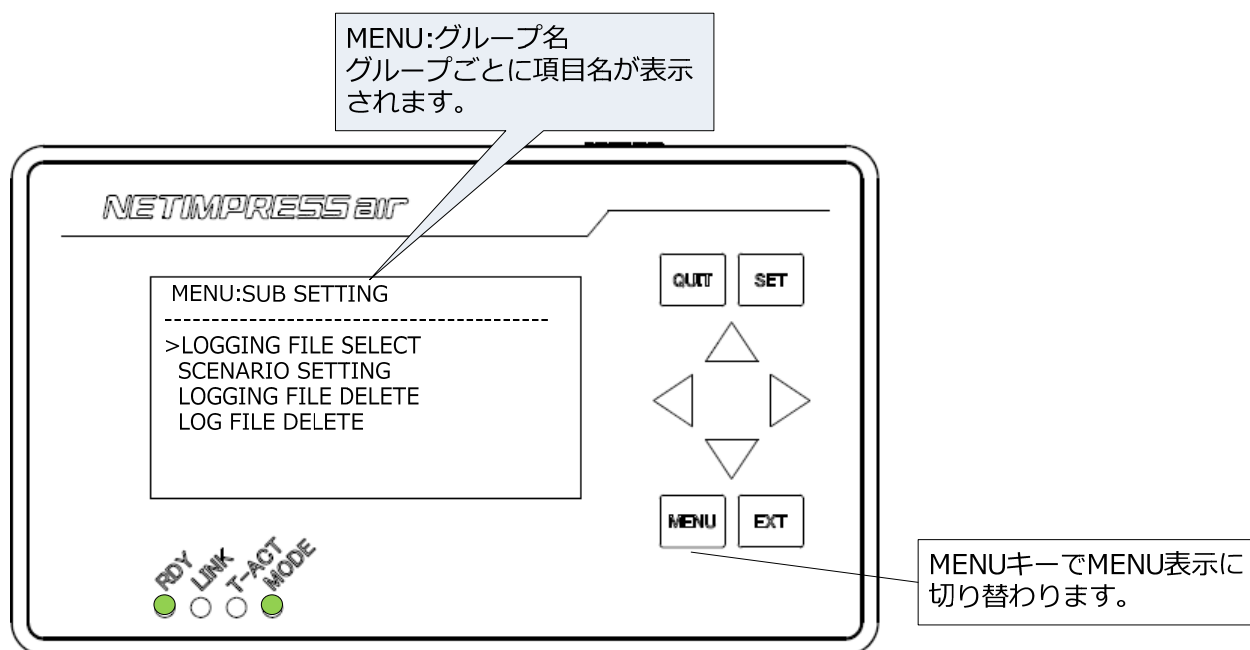
- ① 本機に電源を投入し、メイン画面を表示します。



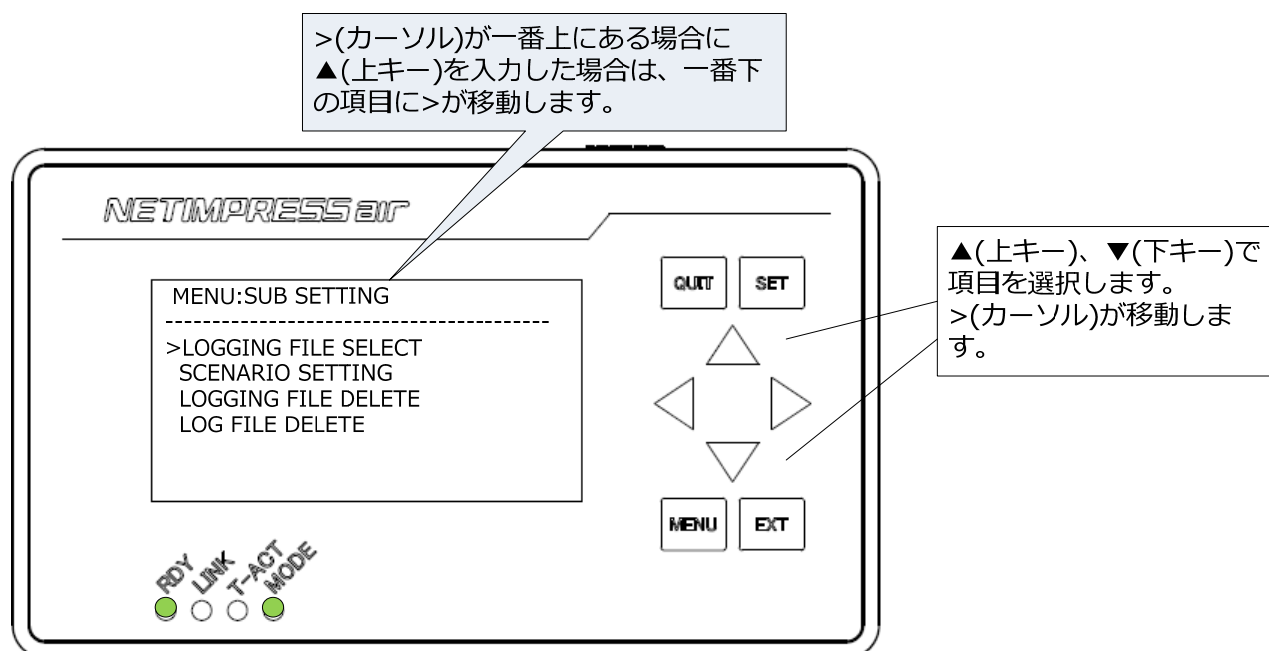
- !** Initialize..表示中は全てのキー入力を受付不可としています。(入力しても無効となります)



② MENU ボタンを押します。

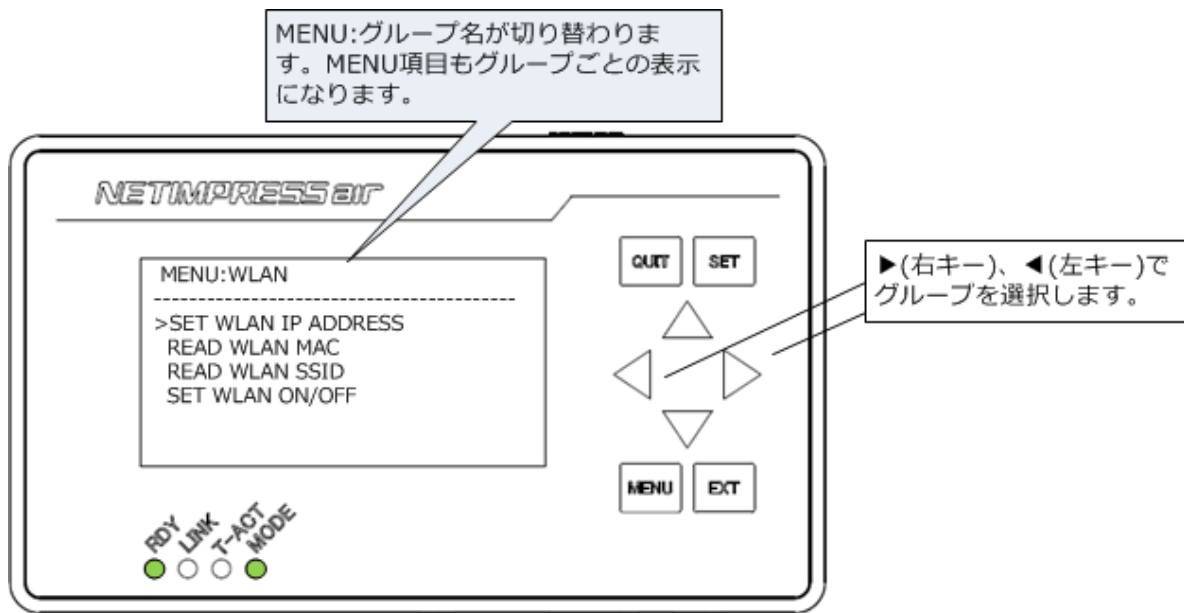


③ ▲(上キー)、▼(下キー)でグループ内の項目を選択します。



**!** MENU 項目選択中は、QUIT キー、SET キー、▲(上キー)、▼(下キー)、▶(右キー)、◀(左キー)の入力が可能です。それ以外は無効になります。

- ④ ◀(左キー)、▶(右キー)でグループの変更を行います。



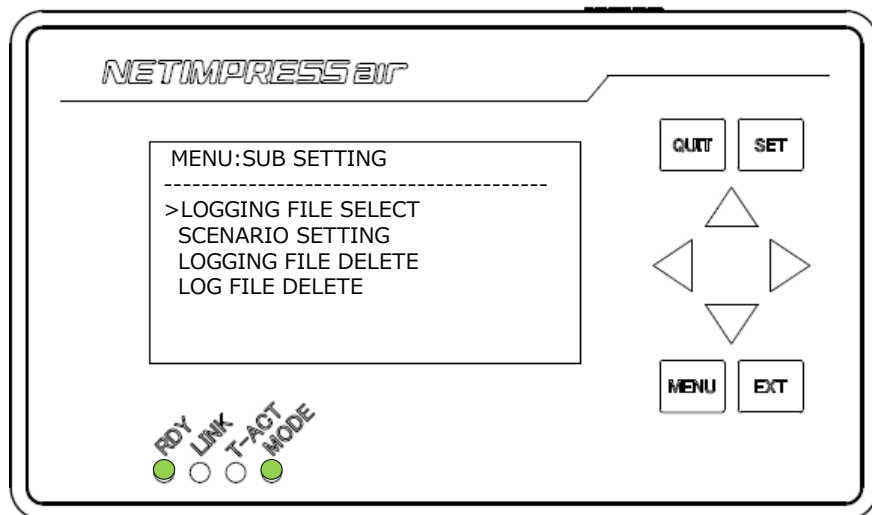
- !** MENU 項目選択中は、QUIT キー、SET キー、▲(上キー)、▼(下キー)、▶(右キー)、◀(左キー)の入力が可能です。それ以外は無効になります。

- ⑤ SET ボタンで、>で選択されている項目を決定します。(以降操作は、各 MENU 項目の章で説明します)

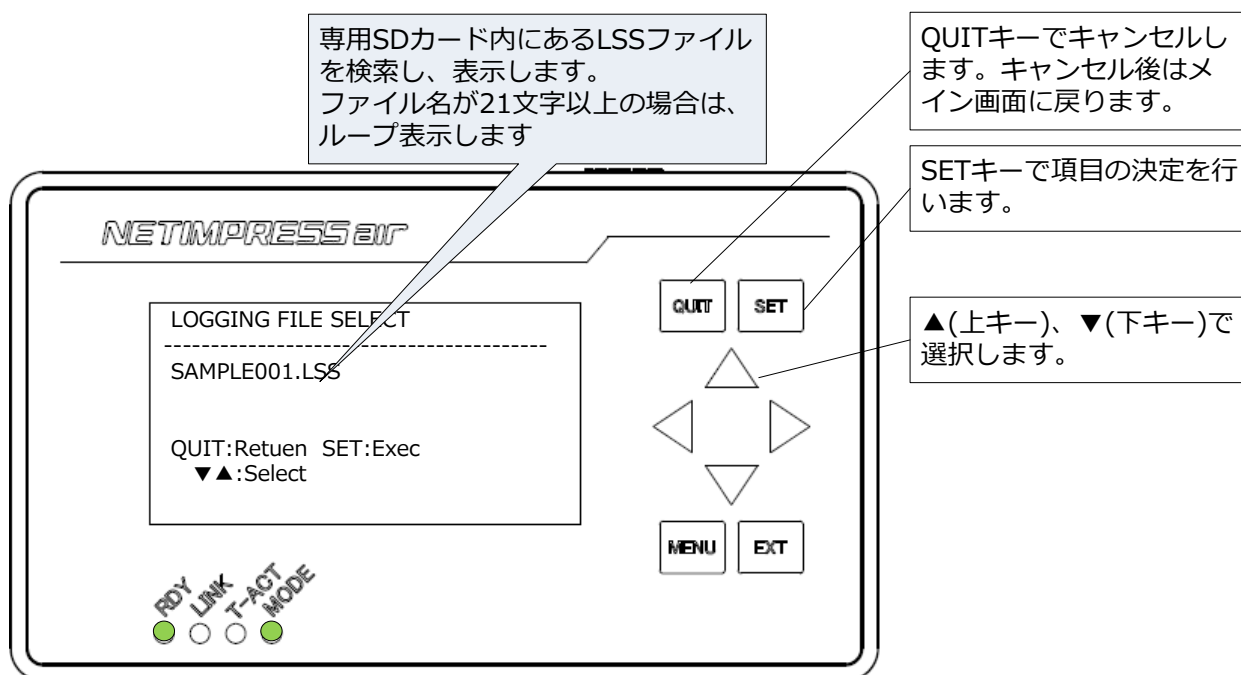
## 7.4.2. ログイン設定ファイルを選択する

ログイン設定ファイルを選択して、カレントに登録します。

- ① MENU: SUB SETTING のグループを表示し、”LSS FILE SETTING に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で選択し、SET キーで決定します。

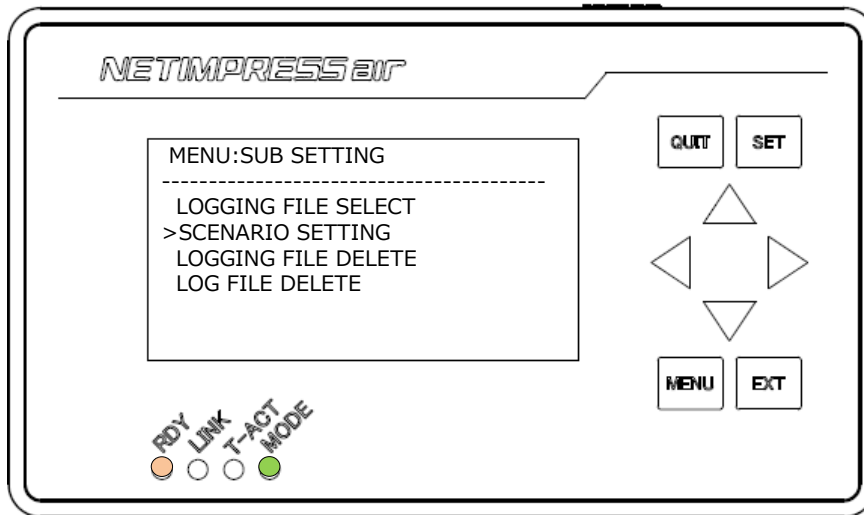




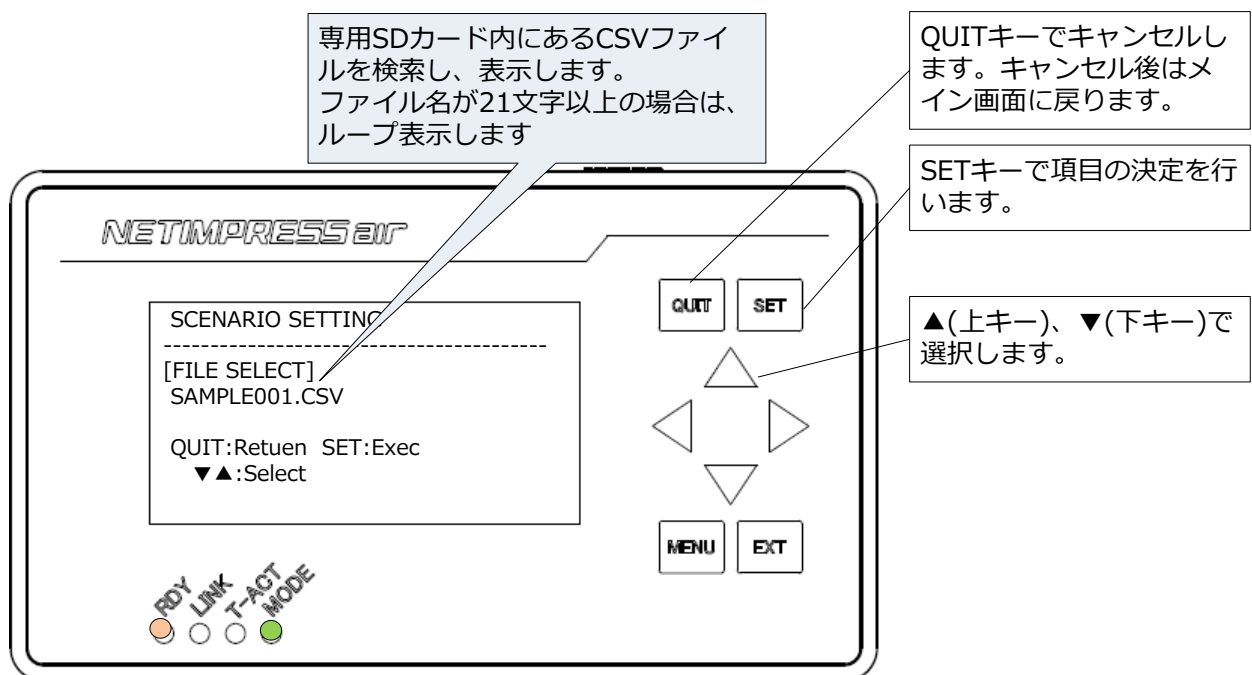
### 7.4.3. シナリオファイルを選択する

シナリオファイルを選択して、カレントに登録します。

- ① MENU: SUB SETTING のグループを表示し、”SCENARIO SETTING に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。

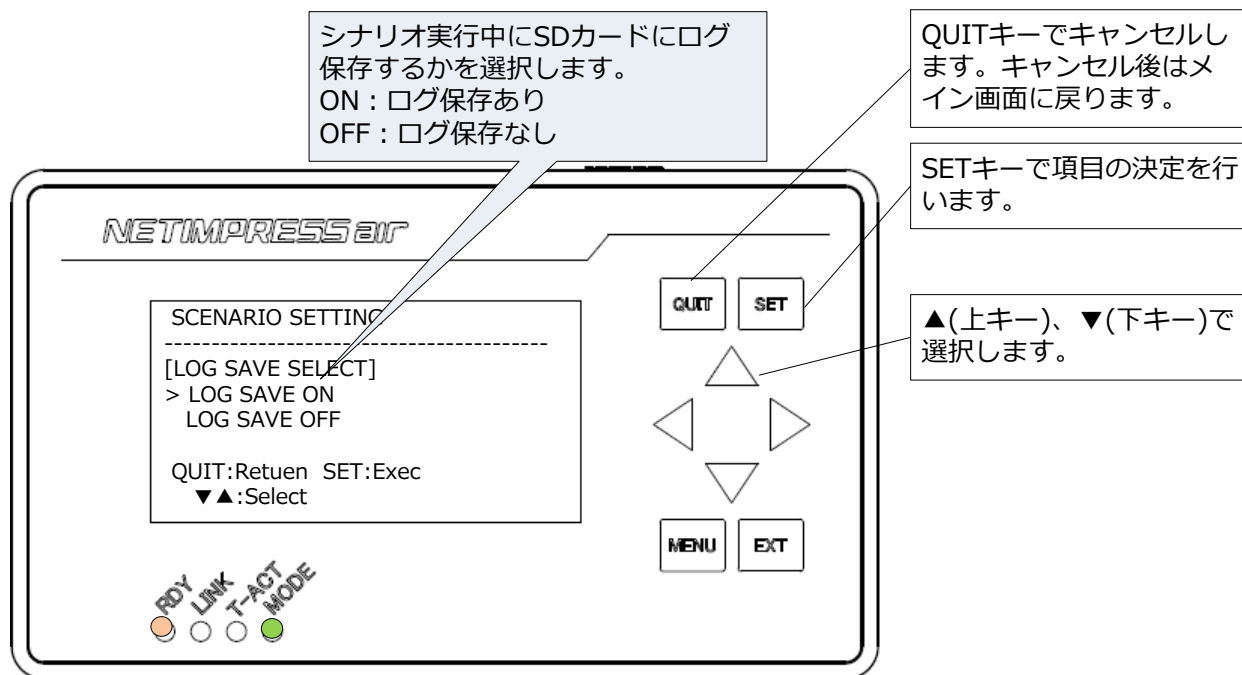


- ② 実行するシナリオファイルを▲(上キー)、▼(下キー)で選択し、SET キーで決定します。



**!** ファイル選択で“NOT SELECT”を選択し、SET キーで決定をした場合は③の処理は省略されます。  
 また、NOT SELECT の実行でカレントシナリオファイルの解除が行えます

③ 専用 SD カードにログファイルを保存する、しないを▲(上キー)、▼(下キー)で選択し、SET キーで決定します。

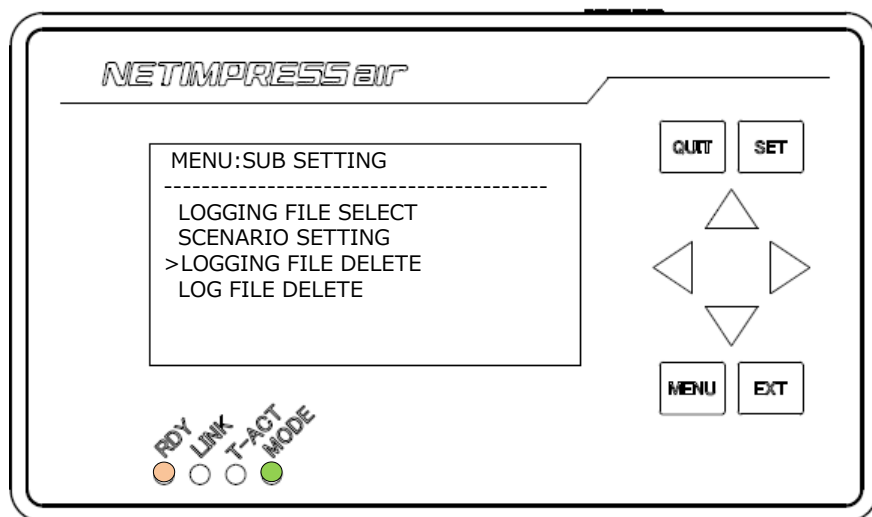


LOG SAVE ON	シナリオを実行しながら専用 SD カードにログを保存します 本モードでシナリオ実行する場合は、使用可能なシナリオファイルに制限があります (4096 行以上のシナリオファイルは実行不可)
LOG SAVE OFF	シナリオの実行のみ行います。(ログの保存は実行しません) 本モードでシナリオを実行する場合は、シナリオファイルの制限はありません

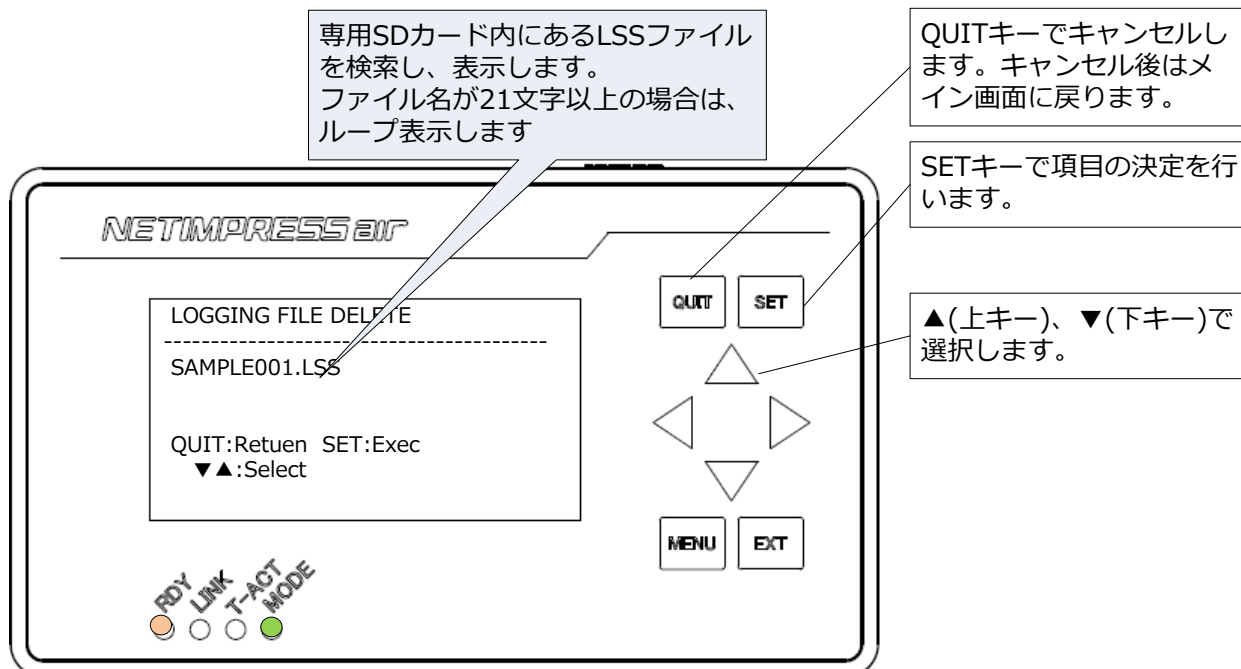
## 7.4.4. ロギング設定ファイルを削除する

専用 SD カードのルートディレクトリにあり、ロギング設定ファイルを選択して消去します。

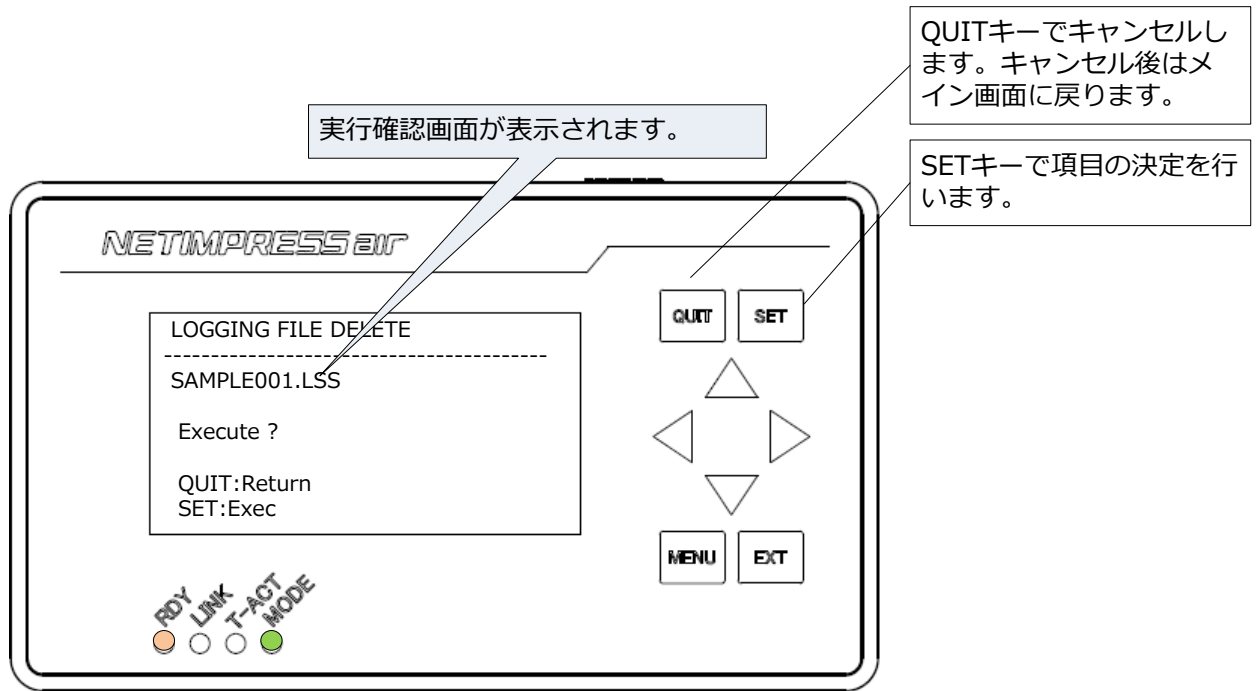
- ① MENU: SUB SETTING のグループを表示し、”LOGGING FILE DELETE に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で選択し、SET キーで決定します。



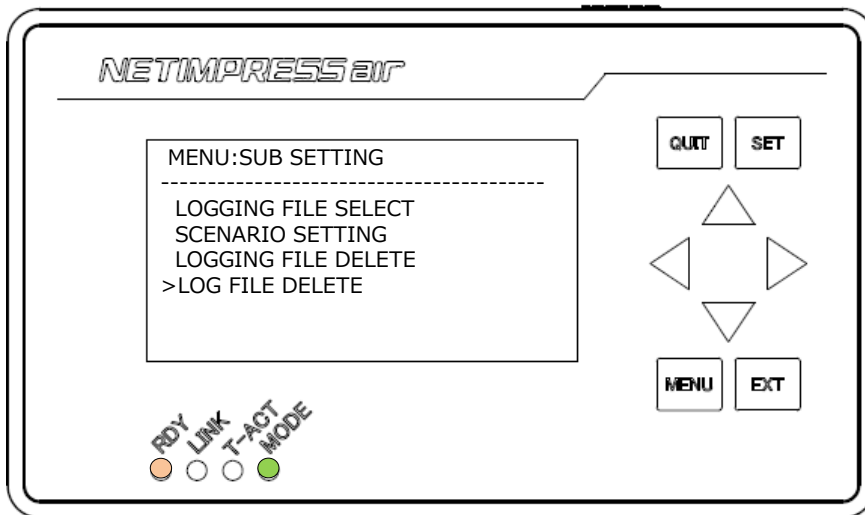
③ 確認画面が表示されるので SET キーで実行する。



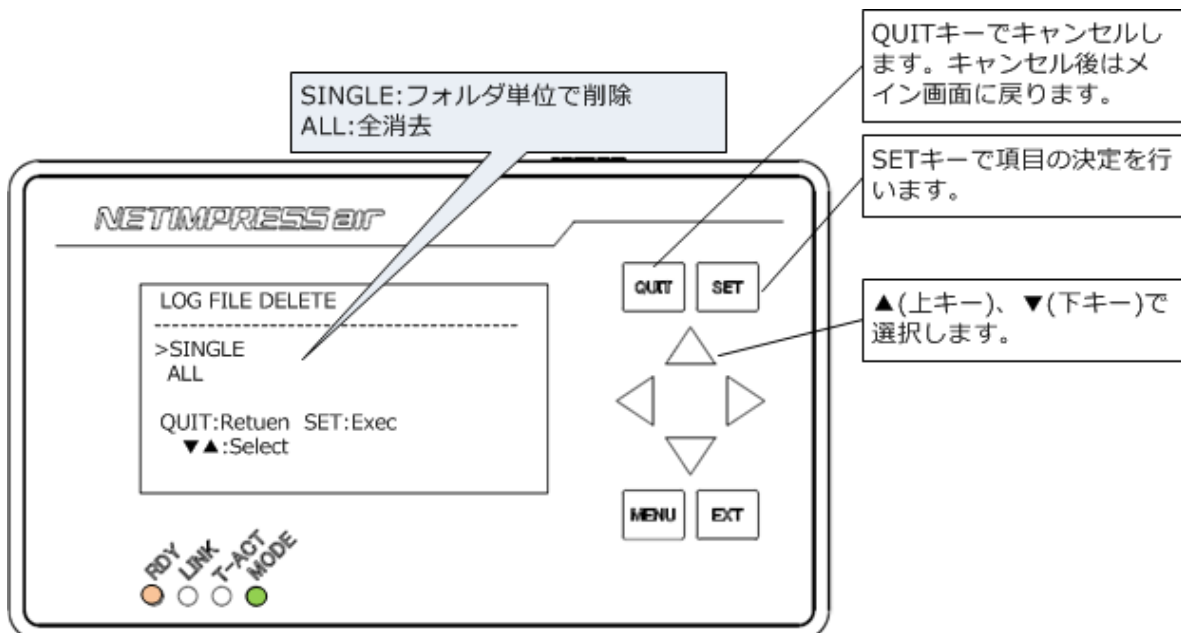
### 7.4.5. ログファイルを消去する

専用 SD カードに保存されている、ログファイルを消去します。

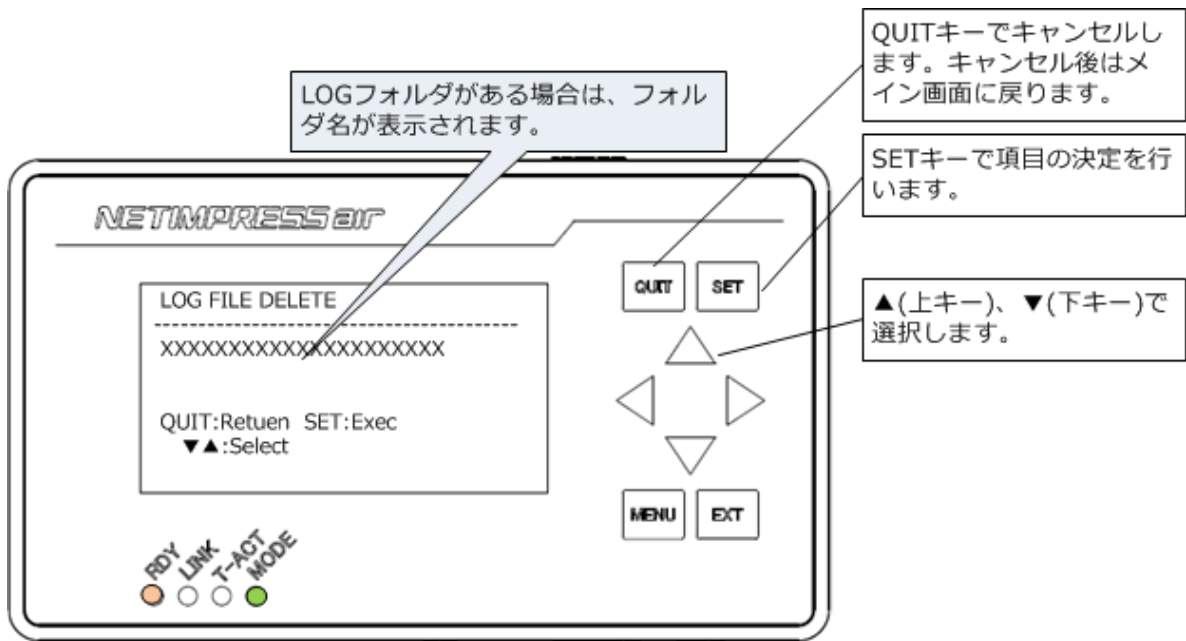
- ① MENU: SUB SETTING のグループを表示し、"LOG FILE DELETE に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



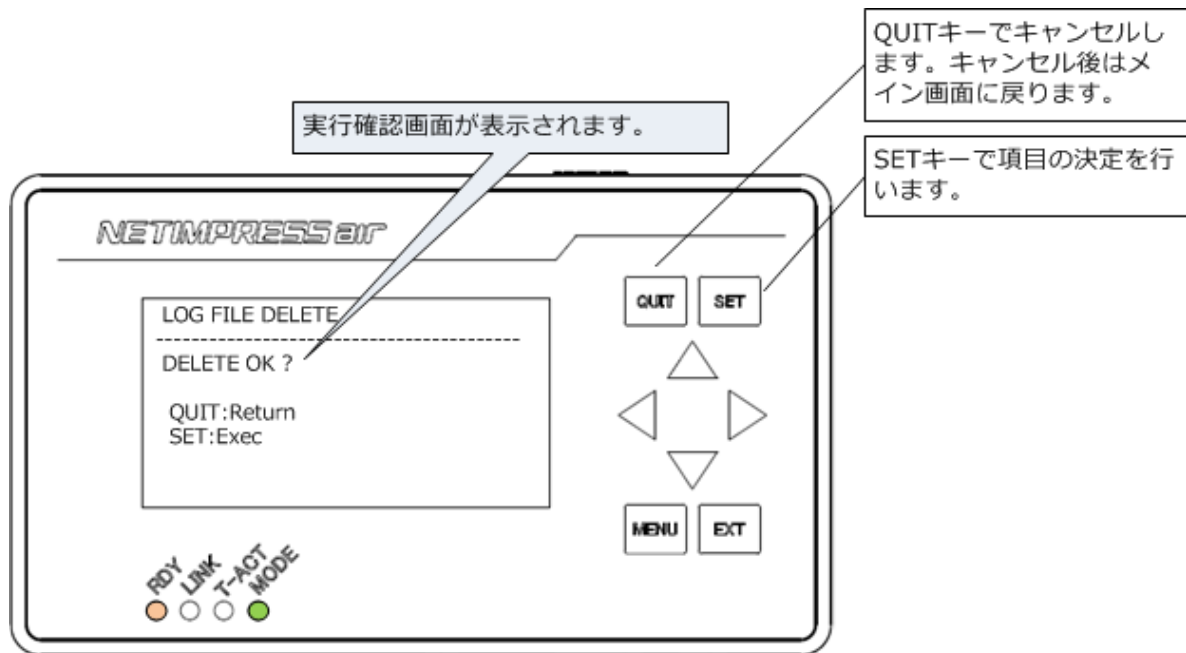
- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で選択し SINGLE または ALL を選択し、SET キーで決定します。  
ALL の場合④に進みます。



- ③ ▲(上キー)、▼(下キー)で選択し、SET キーで決定します。



- ④ 確認画面が表示されるので SET キーで実行する。



### 7.4.6. ライセンスを追加する

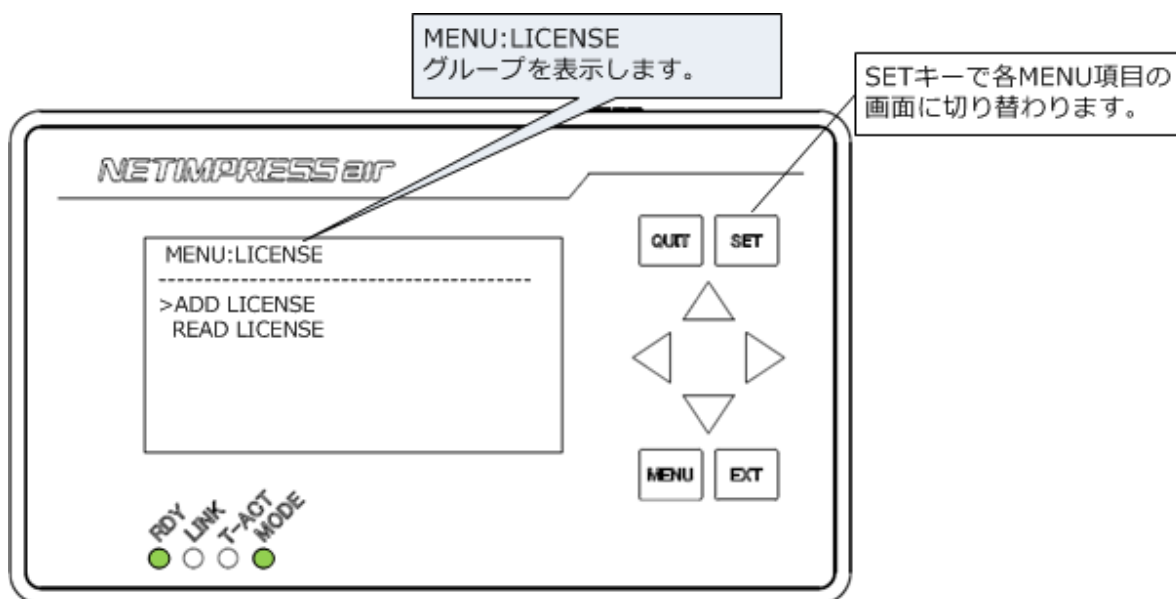
拡張子 (.ALC)ファイルを専用 SD カードのルートディレクトリに置いて、本操作を実行するとライセンスの追加登録が行えます。

ALC ファイルが複数置いてある場合、本操作を一度実行することで置いてあるファイル全てのライセンス登録が実行できます。また、本操作は専用 SD カードへのライセンス登録、本体へのライセンス登録共通の操作となります。

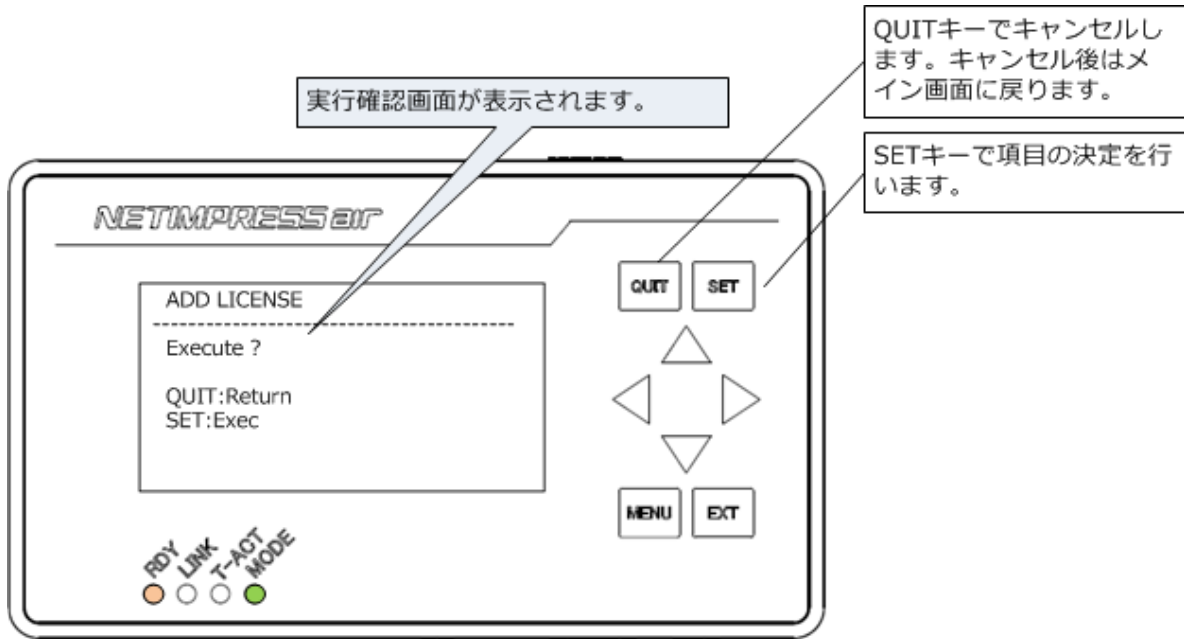


ALC ファイルを複数置いて、本操作を実行して途中でエラーとなった場合、エラーとなる直前までのライセンスは登録ができています。

- ① MENU: LICENSE のグループを表示し、”ADD LICENSE に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



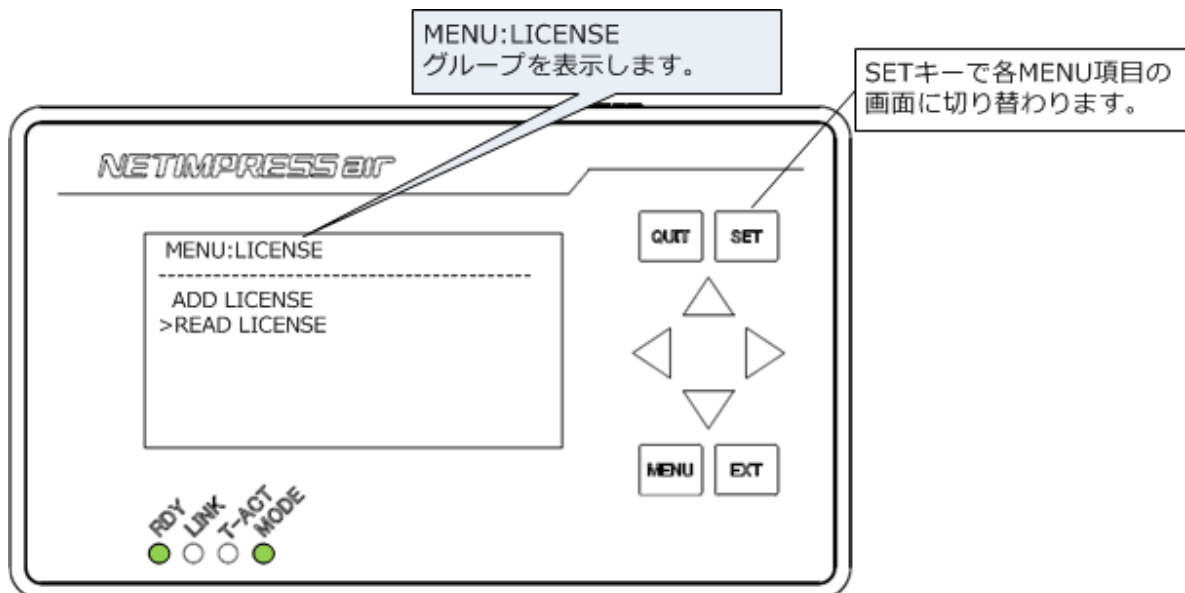
- ② SET キーで実行する。



## 7.4.7. 登録されているライセンス情報を確認する

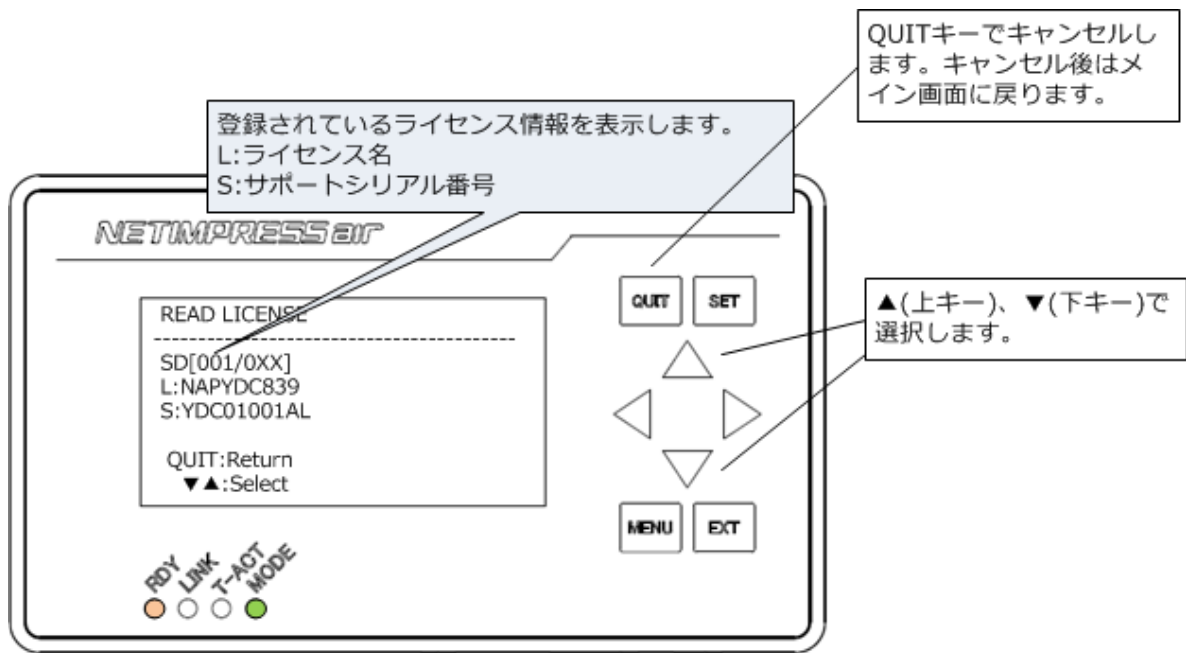
専用 SD カード、本体へ登録されているライセンス情報の確認が行えます。専用 SD カード→本体の順でライセンス情報を表示します。

- ① MENU: LICENSE のグループを表示し、"LICENSE"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。





② 複数ライセンスが登録されている場合は、▲(上キー)、▼(下キー)でライセンス情報をご確認いただけます。

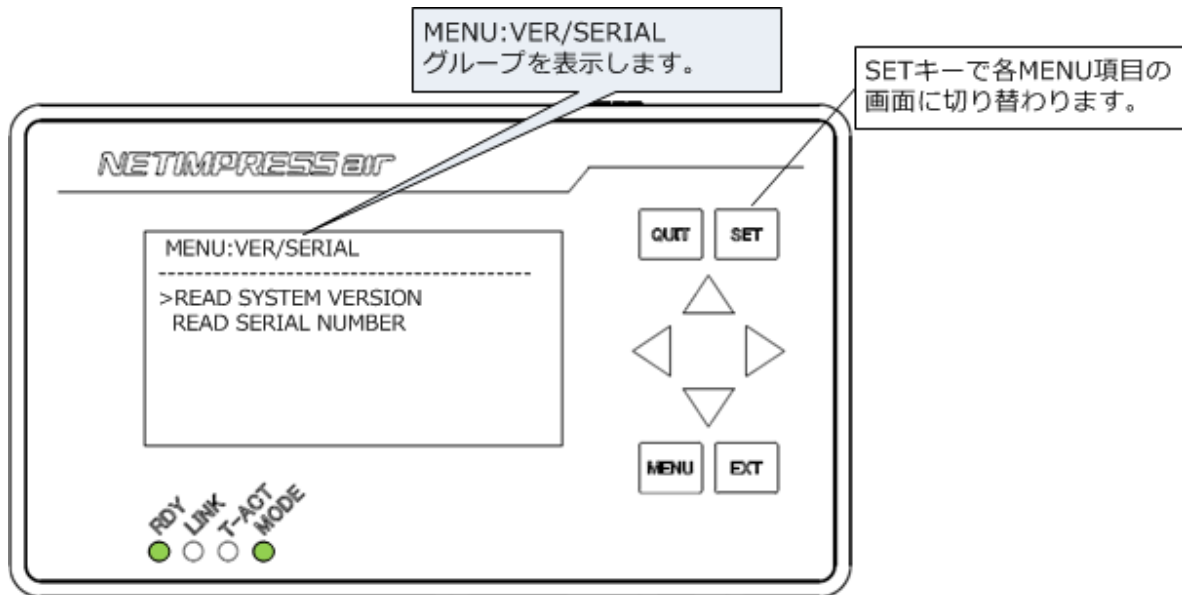


LCD:3行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SD[YYY/XXX] : 専用 SD カードのライセンス情報を表示していることを示します。XXX はトータル数、YYY は登録番号になります。</li> <li>● HD[YYY/XXX] : 本機に登録されているライセンス情報を表示していることを示します。</li> </ul> <p>※ YYY の登録番号は、専用 SD カードまたは本機に登録された順番を示す番号であるため、ライセンス情報には特に関係はありません。</p>
LCD:4行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ライセンス名を表示します。</li> </ul>
LCD:5行目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4行目のライセンス情報に対応するサポートシリアルの情報を表示します</li> </ul>

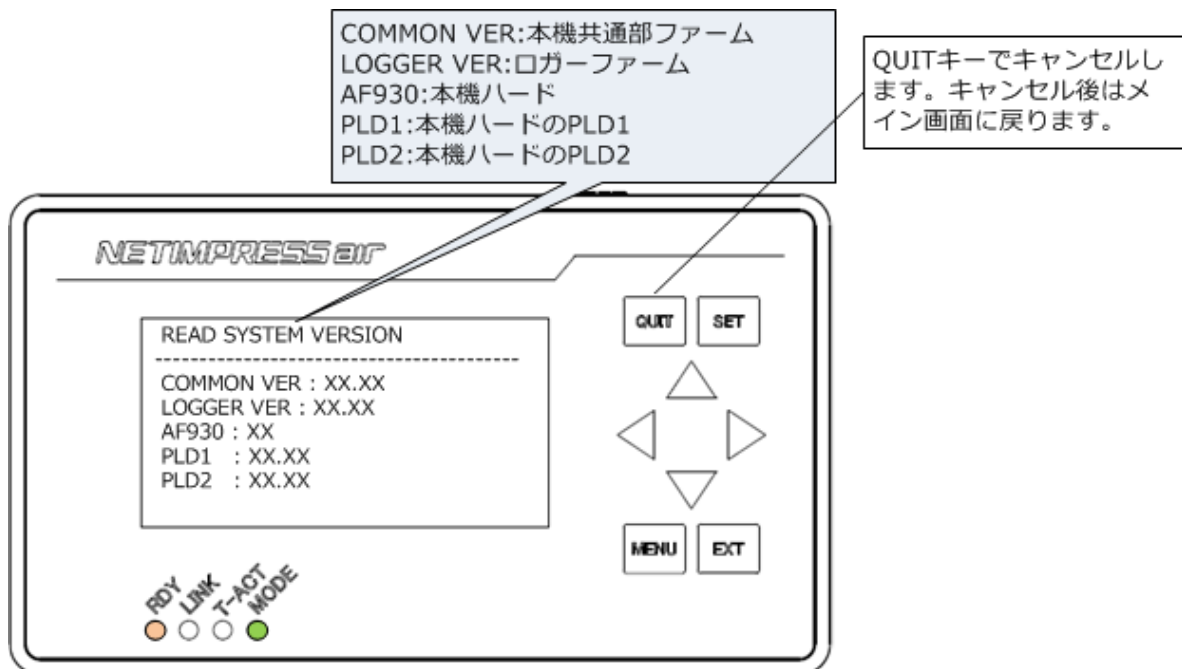
## 7.4.8. システムバージョンを確認する

本機のハードウェア、ファームウェアのバージョンを LCD に表示します。

- ① MENU: VER/SERIAL のグループを表示し、"READ SYSTEM VERSION"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② バージョン情報が LCD に表示されます。

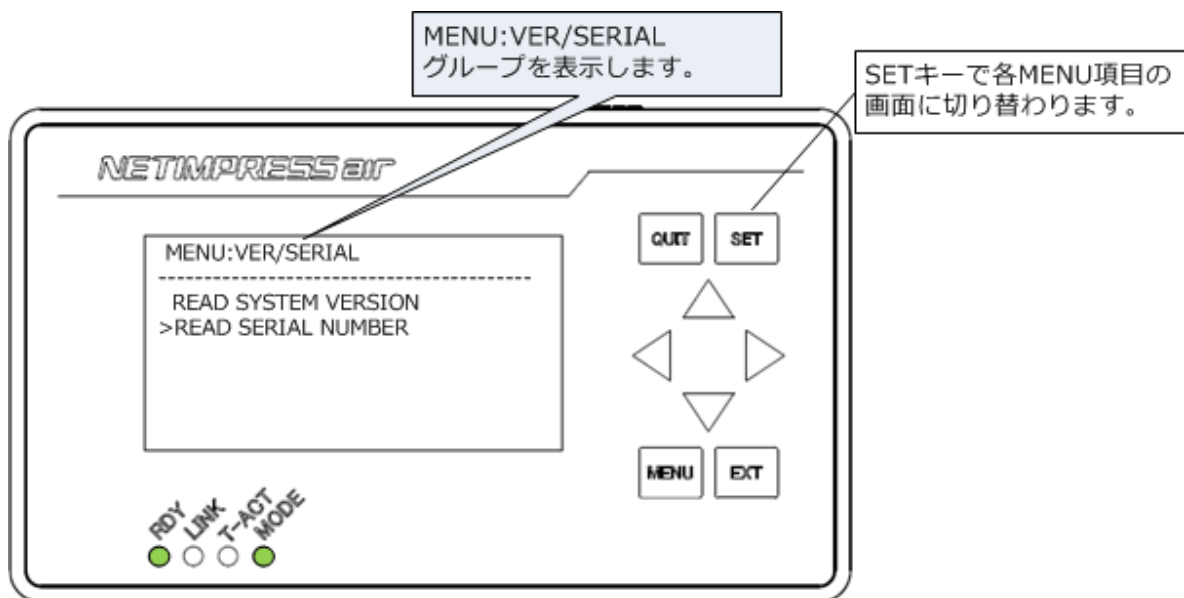


AF930	● 本機のハードウェア Rev を表示します
PLD1	● 本機のハードウェアに実装されている、PLD1 のバージョンを表示します
PLD2	● 本機のハードウェアに実装されている、PLD2 のバージョンを表示します
COMMON VER	● 本機の共通部ファームウェアのバージョンを表示します
LOGGER VER	● オプションのロガー機能が設定されている場合、ロガー用ファームウェアのバージョンを表示します。(設定がない場合は、空欄になります)

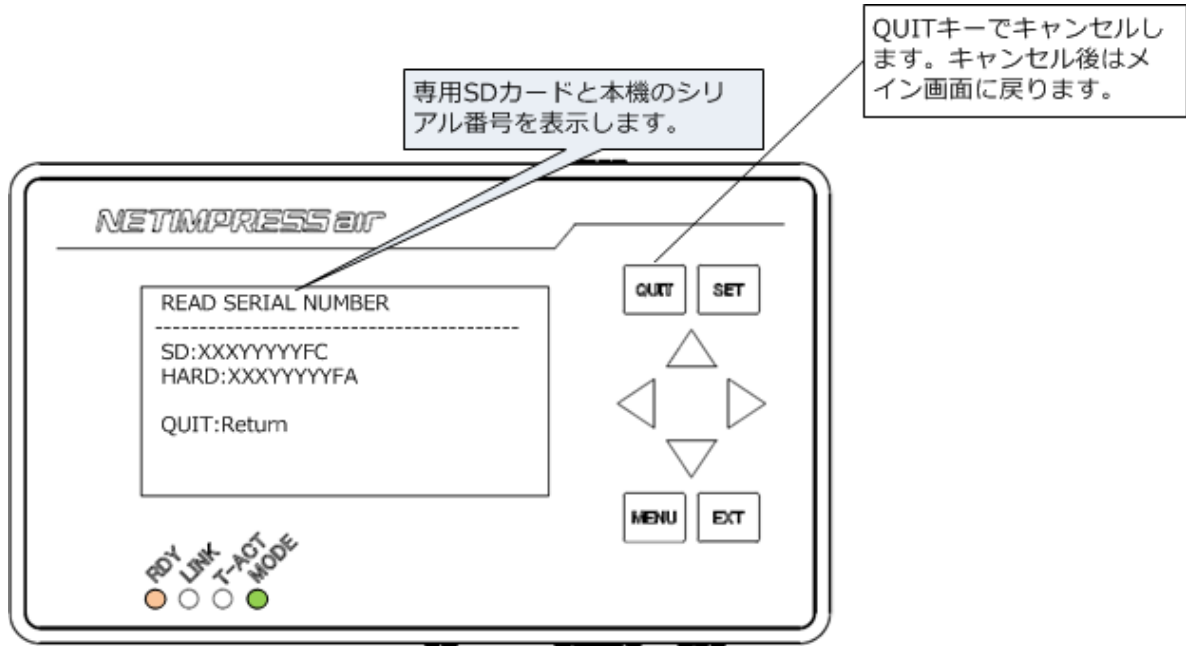
## 7.4.9. 専用 SD カード／本体のシリアル番号を表示する

専用 SD カード及び本体に登録されている、シリアル番号を表示します。ライセンス登録時、または弊社への問い合わせ時にご確認ください。

- ① MENU: VER/SERIAL のグループを表示し、” READ SERIAL NUMBER”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② 専用 SD カード及び本機に登録されているシリアル番号を表示します。



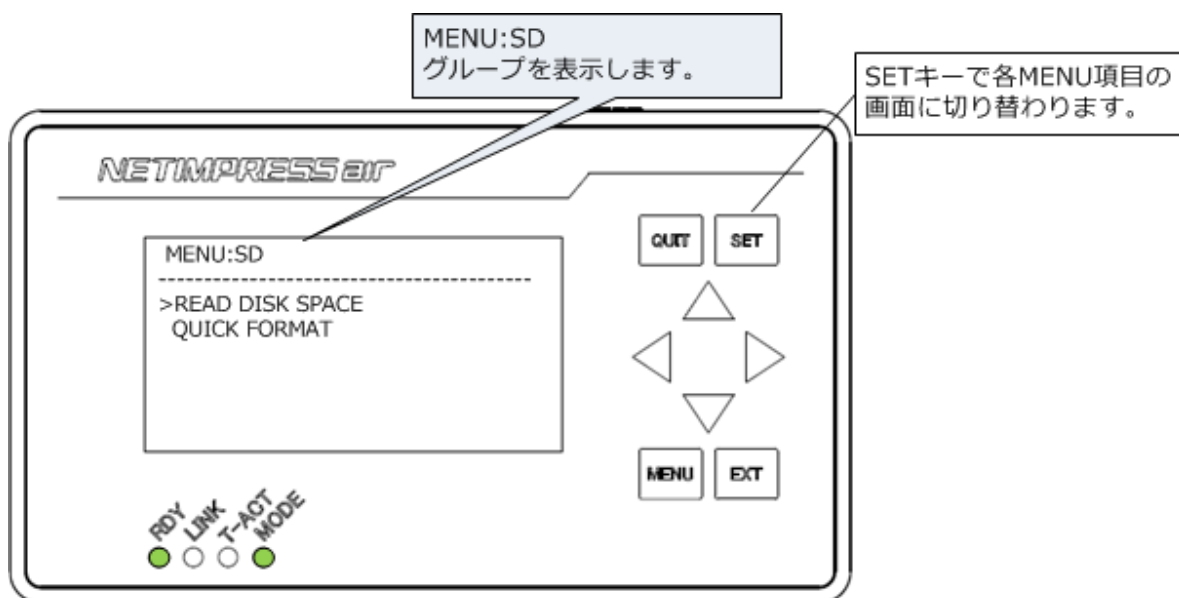
SD:	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 専用 SD カードに登録されているシリアル番号を表示します</li> </ul>
HARD:	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機に登録されているシリアル番号表示します。</li> </ul>

## 7.4.10. 専用 SD カードの空き容量を確認する

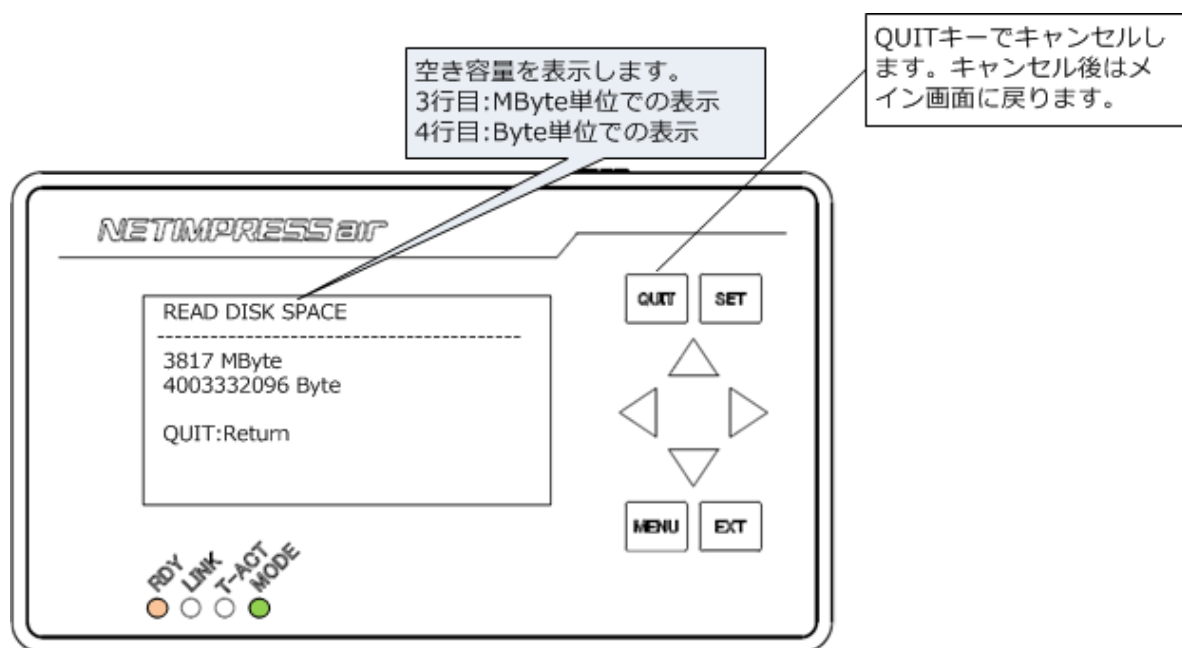
専用 SD カードの空き容量を確認し、LCD に表示します。

**!** PC 上で SD の空き容量を確認してから、本機に専用 SD カードを挿入して本操作を行った場合空き容量が一致しない場合があります。(本機で実行ログの設定が ON になっている場合など、挿入時にファイルの操作が行われる場合があるため、空き容量が増減する場合があります)

- ① MENU:SD のグループを表示し、” READ DISK SPACE”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② 専用 SD カードの空き容量を計算して、LCD に表示します。



## 7.4.11. 専用 SD カードをクイックフォーマットする

本機に挿入されている専用 SD カードをクイックフォーマットします。

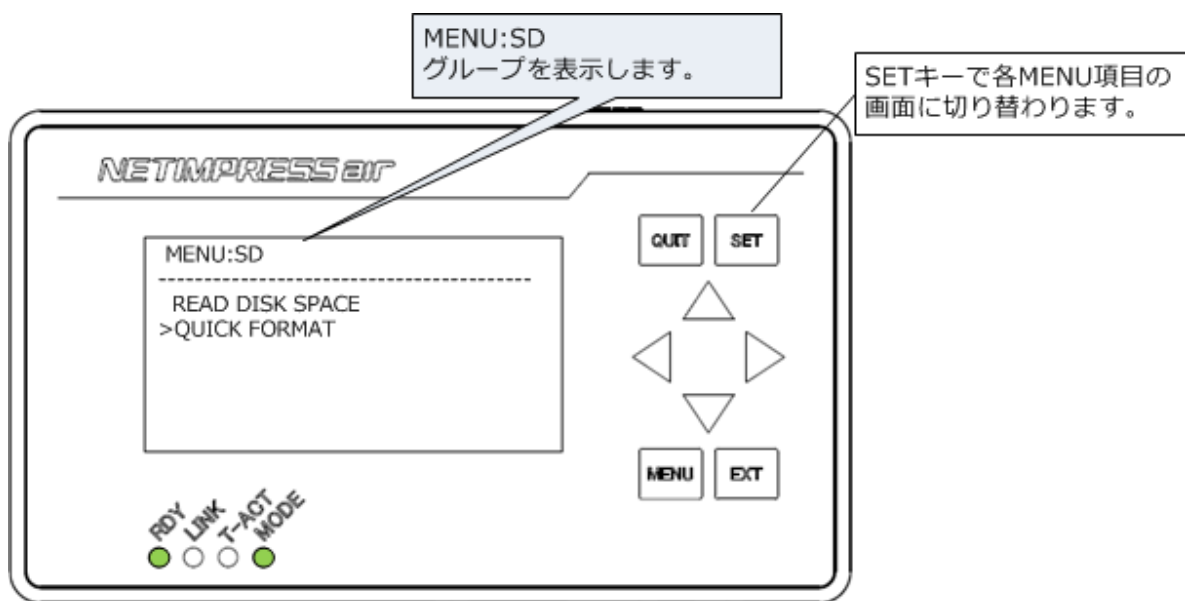


フォーマットを実行すると全てのフォルダ、ファイルが専用 SD カードから消去されます。復元はできませんので、ご注意ください。

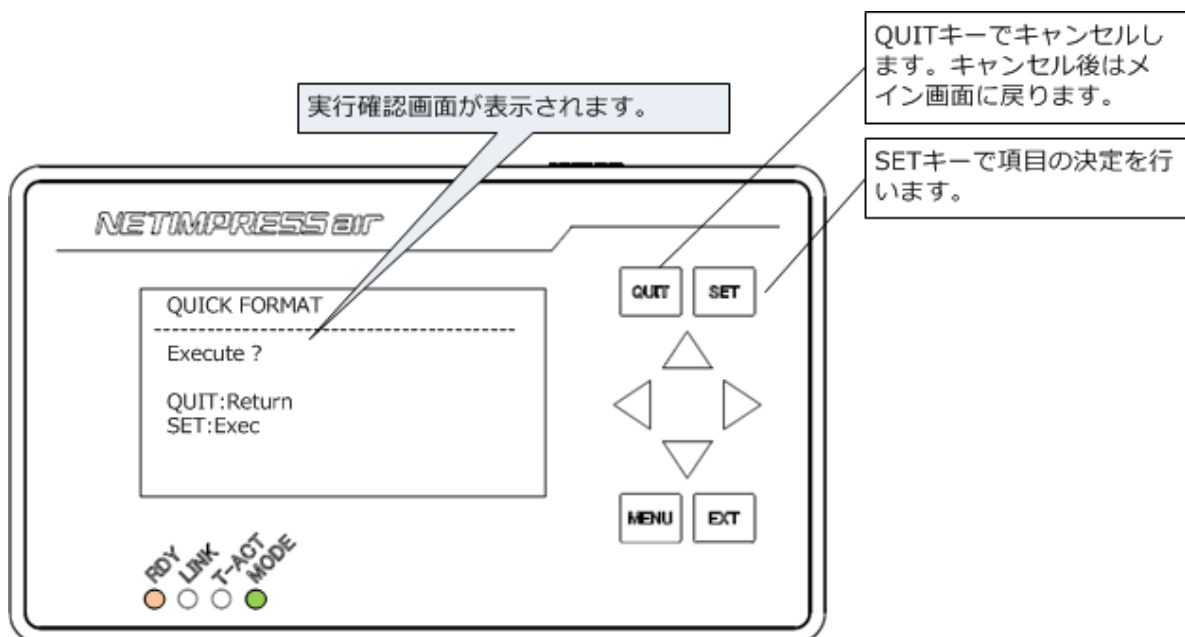
フォーマット形式を選択することはできません。

実行ログ設定が ON になっている場合は、クイックフォーマット後に新規で LOG フォルダが作成されます。

- ① MENU:SD のグループを表示し、" QUICK FORMAT"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② SET キーでクイックフォーマットを実行します。



## 7.4.12. ロガー用ファームウェアのアップデートを行う

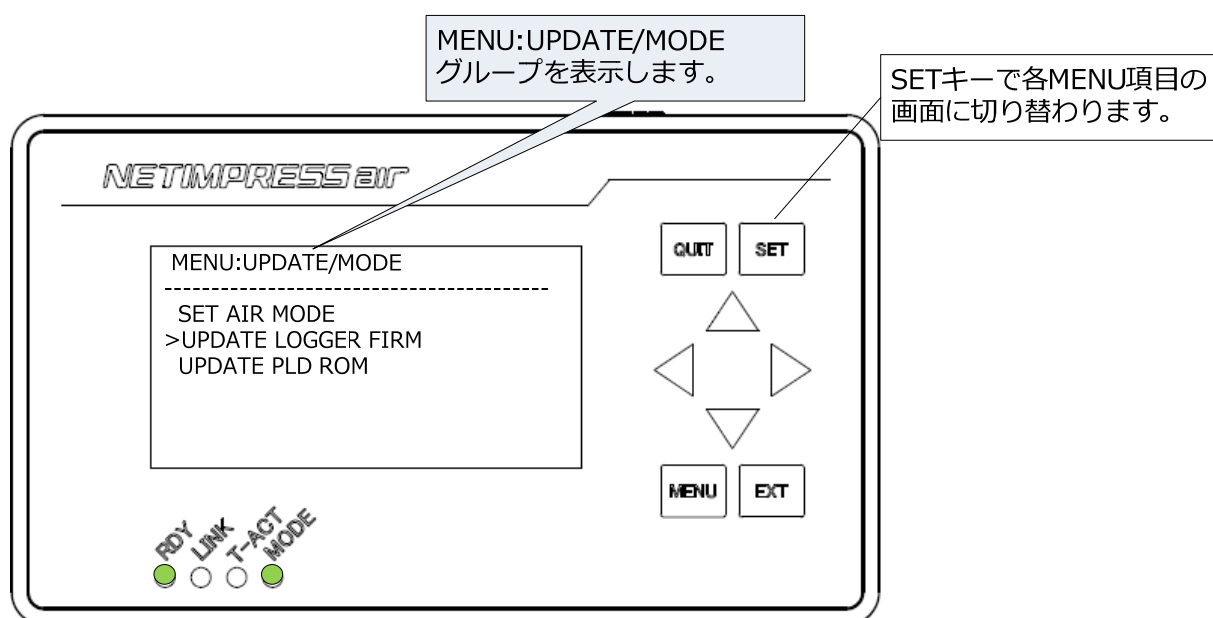
本操作は、オプションのロガー機能を使用する場合に行います。ロガー機能を初めて使用する時、またはロガーファームウェアがアップデートされた場合に、本操作からファームウェアのアップデートを実行します。

**!** 本操作を行う場合、対応するライセンスが本機に登録されている必要があります。ライセンス未登録時はアップデート実行がエラーとなります。

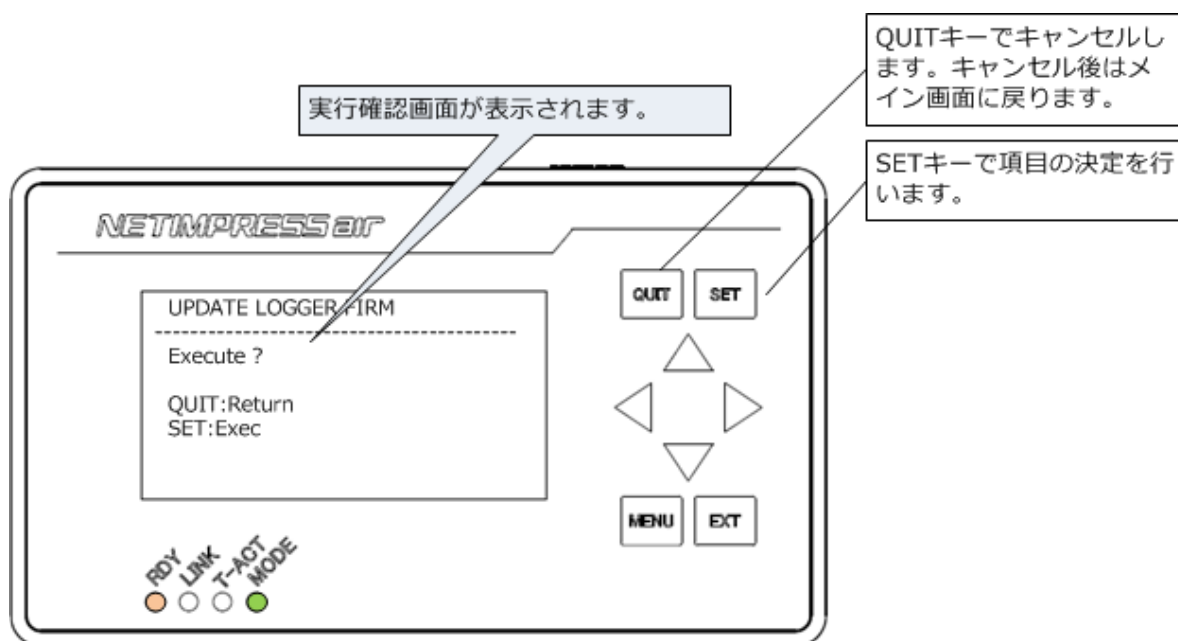
スタンドアロンでアップデートを行う場合、必ず専用 SD カードが必要になります。専用 SD カードとアップデートファイルをご用意いただき、本操作を行うようにしてください。

本操作を実行する時は、本機への電源供給が十分であることをご確認ください。

① MENU: UPDATE/MODE のグループを表示し、” UPDATE LOGGER FIRM”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② SET キーでファームウェアのアップデートを実行します。



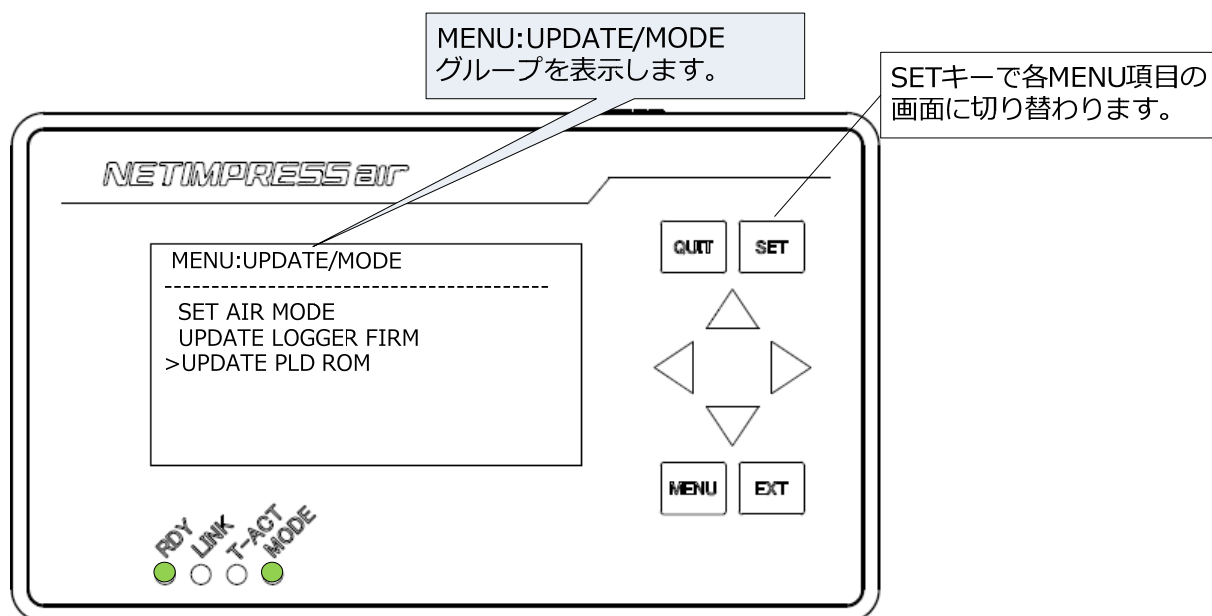
### 7.4.13. PLD のアップデートを行う

本機の PLD のバージョンアップ操作を行います。

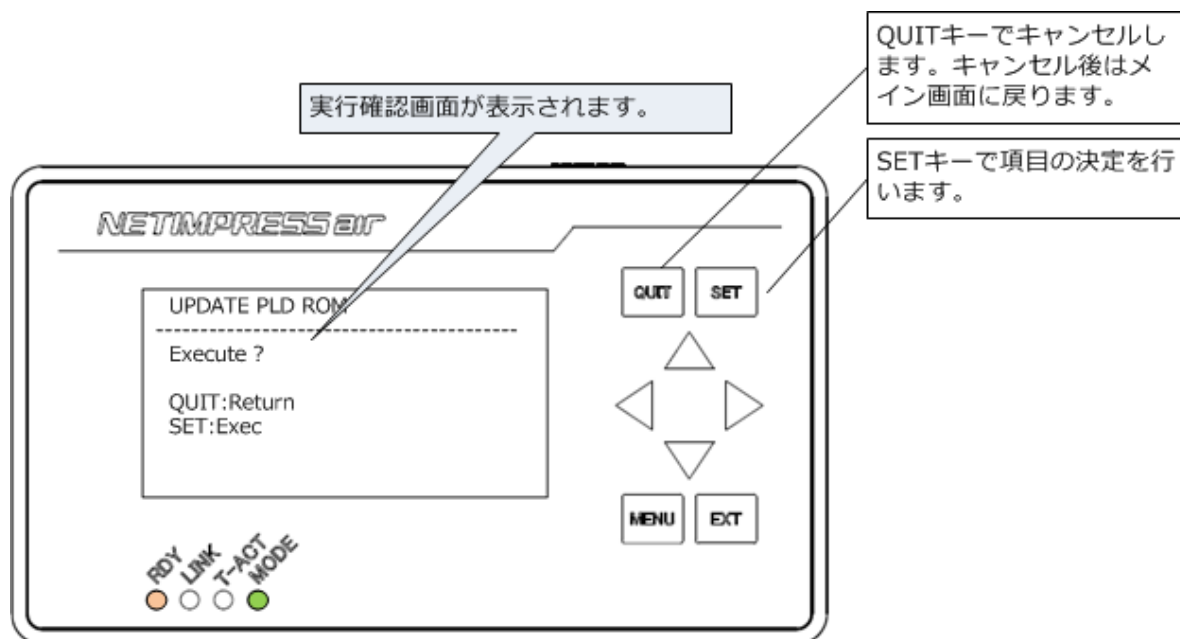
**!** スタンドアロンでアップデートを行う場合、必ず専用 SD カードが必要になります。専用 SD カードとアップデートファイルをご用意いただき、本操作を行うようにしてください。

本操作を実行する時は、本機への電源供給が十分であることをご確認ください。

① MENU: UPDATE/MODE のグループを表示し、” UPDATE PLD ROM”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



② SET キーで PLD のアップデートを実行します。



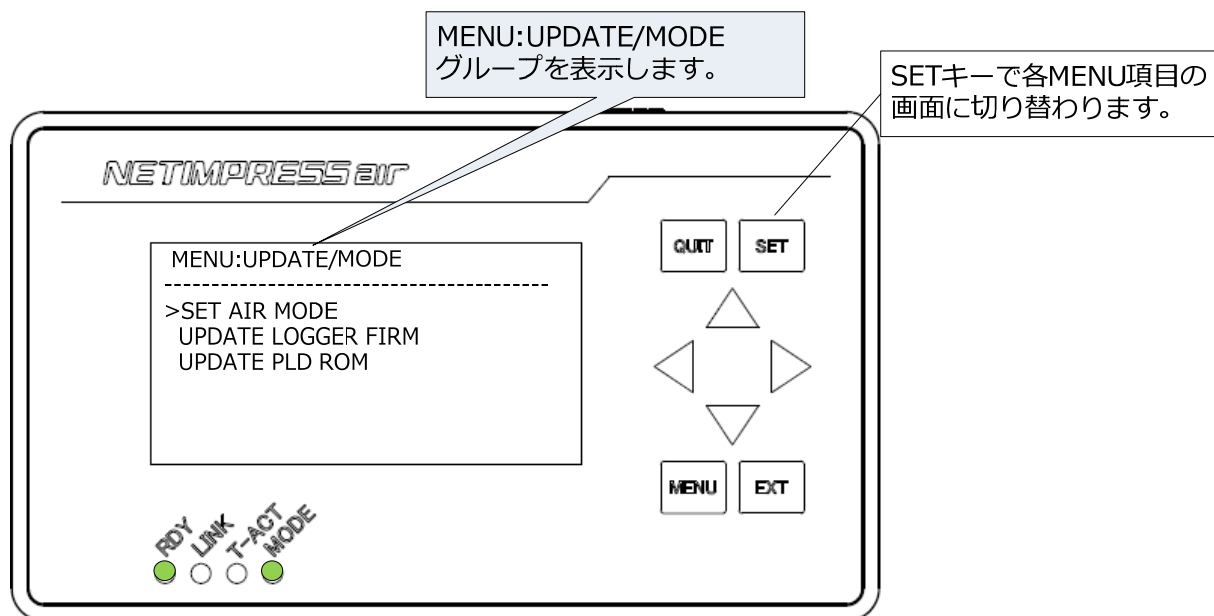


## 7.4.14. オプションモードを使用する

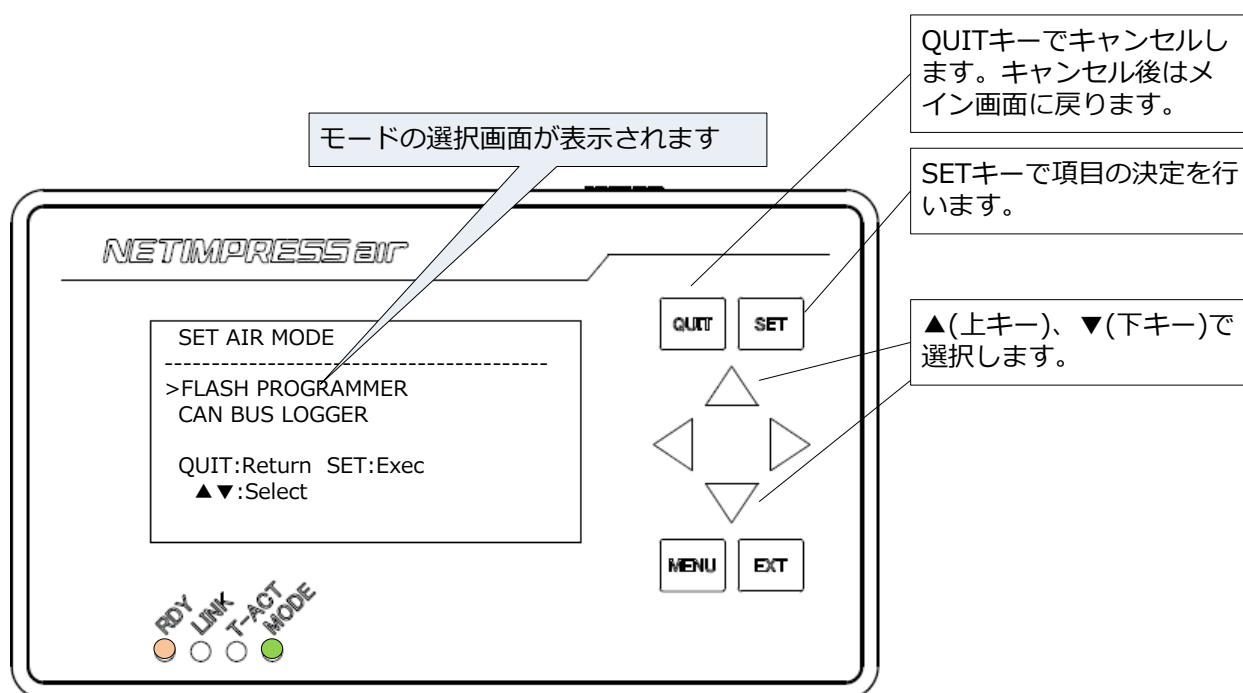
本機は、ターゲットシステムへのプログラミング機能の他に、オプションで CAN ロガーの機能を付加することができます。

本設定は、スタンドアロン動作させる時に、プログラミングモードとロガーモードを切り替えるために使用します。(PC ソフトと接続して動作させる時は、内部動作モードは自動的に切り替わります)

- ① MENU: UPDATE/MODE のグループを表示し、” SET AIR MODE”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で設定するモードを選択し、SET キーで決定します。

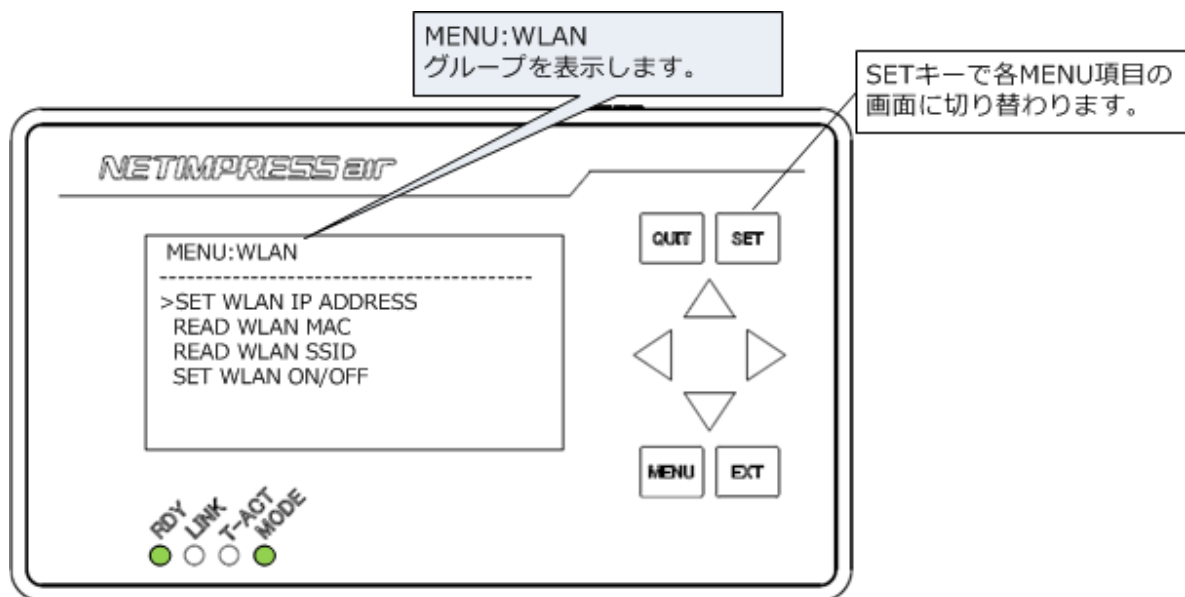


FLASH PROGRAMMER	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スタンドアロンでプログラマとして使用する場合に本モードに設定します</li> <li>● プログラマモードで本機を起動した場合、本操作マニュアルに記載されているスタンドアロンでの操作が可能です。</li> </ul>
CAN BUS LOGGER	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スタンドアロンでロガーとして使用する場合に本モードに設定します。</li> <li>● ロガーモードで本機を起動した場合、ロガー用操作マニュアルに記載されている操作が可能になります。</li> </ul>

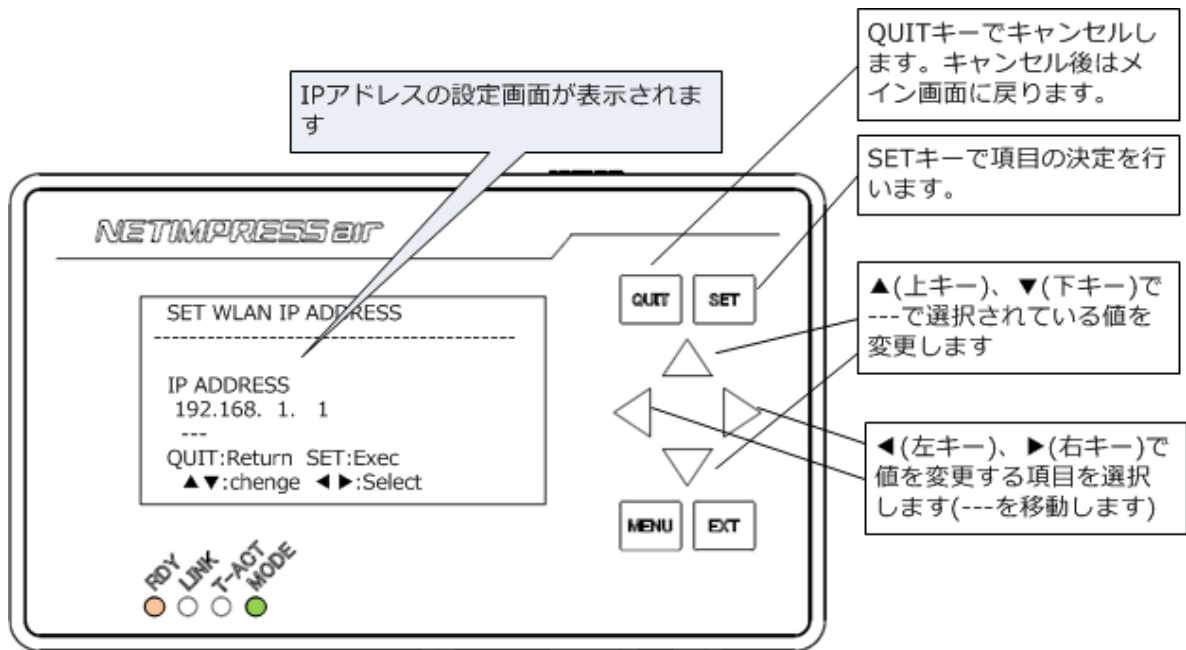
## 7.4.15. Wireless LAN の IP アドレスを設定する

Wireless LAN が搭載されているモデルを使用している時に、有効なモードになります。本操作では、Wireless LAN の IP アドレス、サブネット、デフォルトゲートウェイ、本機側ポート番号の設定変更が可能です。

- ① MENU: WLAN のグループを表示し、” SET WLAN IP ADDRESS”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で---で選択されている値を変更します。◀(左キー)、▶(右キー)で---の選択ポイントを移動します。◀(左キー)、▶(右キー)を押し続けると、IP ADDRESS ⇄ SUBNET MASK ⇄ GATE WAY ⇄ PORT と選択項目が移動します。

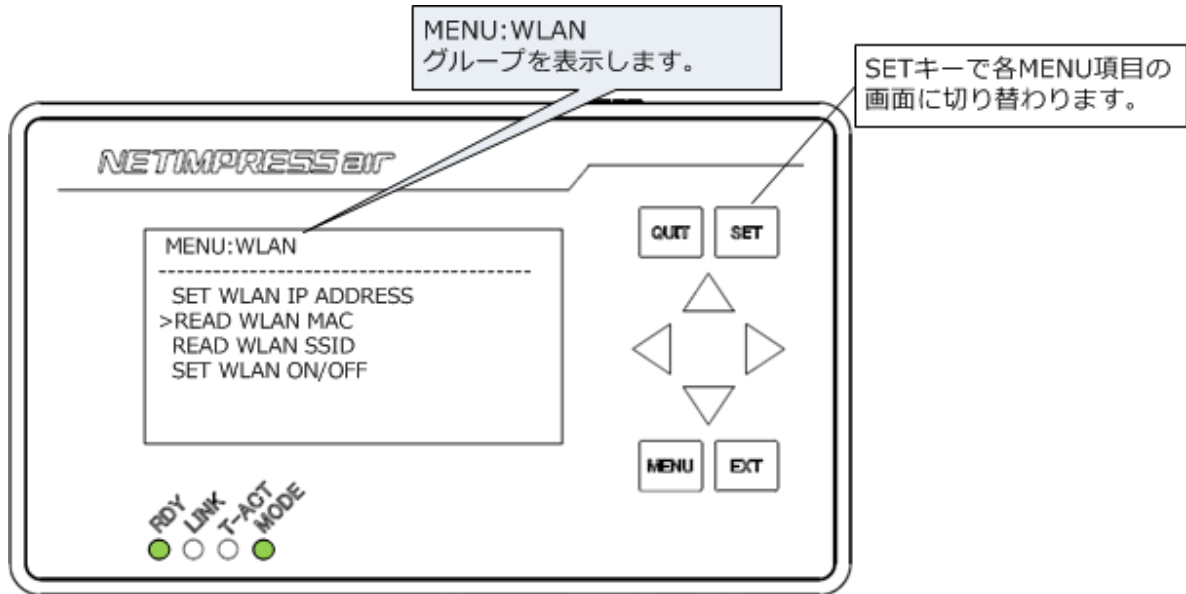


- ✓ Wireless LAN の SSID, セキュリティ等の設定、IP アドレスの設定を本機の起動時に設定ファイルを読み込んで変更する方法もあります。

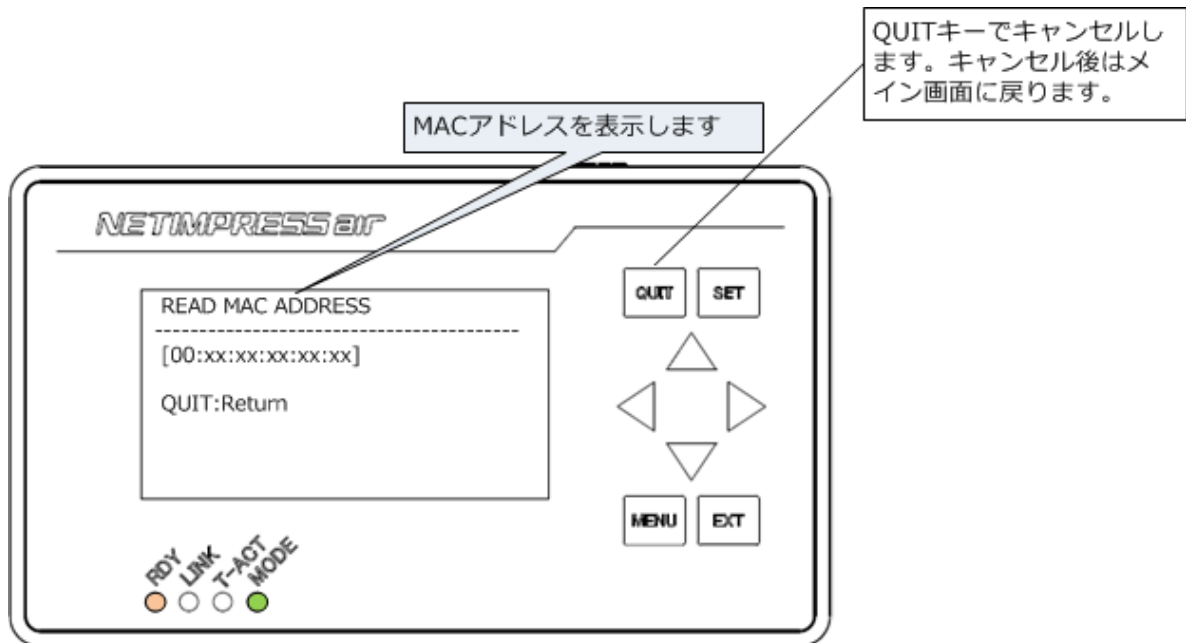
## 7.4.16. Wireless LAN の MAC アドレスを確認する

Wireless LAN が搭載されているモデルを使用している時に、有効なモードになります。本操作では、Wireless LAN の MAC アドレスを取得することが可能です。

- ① MENU: WLAN のグループを表示し、” READ WLAN MAC”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



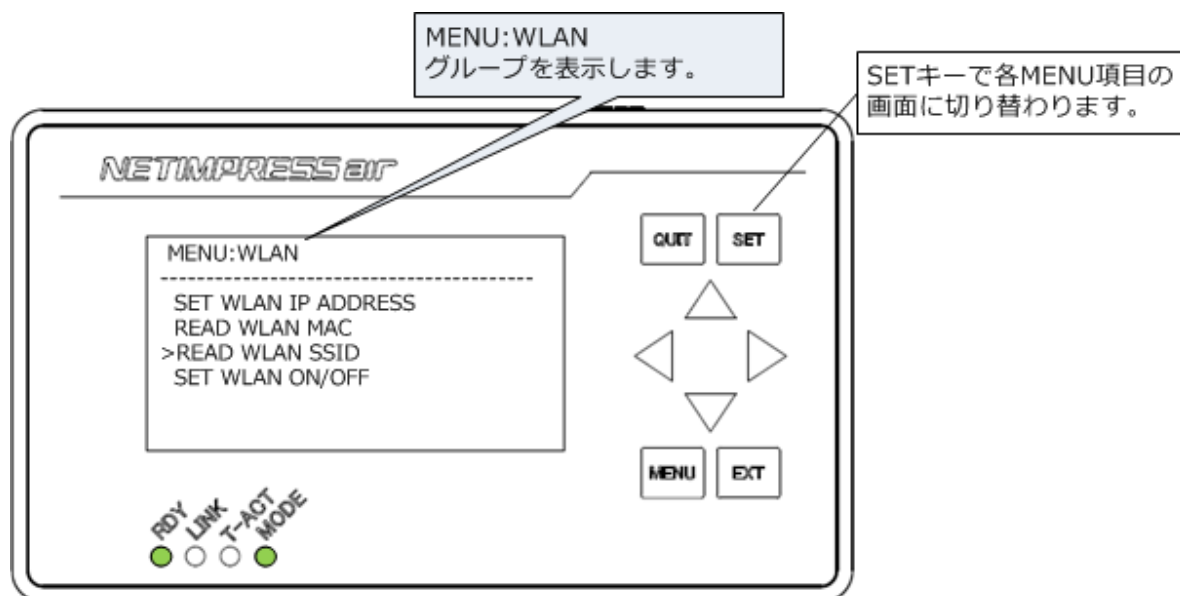
- ② MAC アドレスが LCD に表示されます。



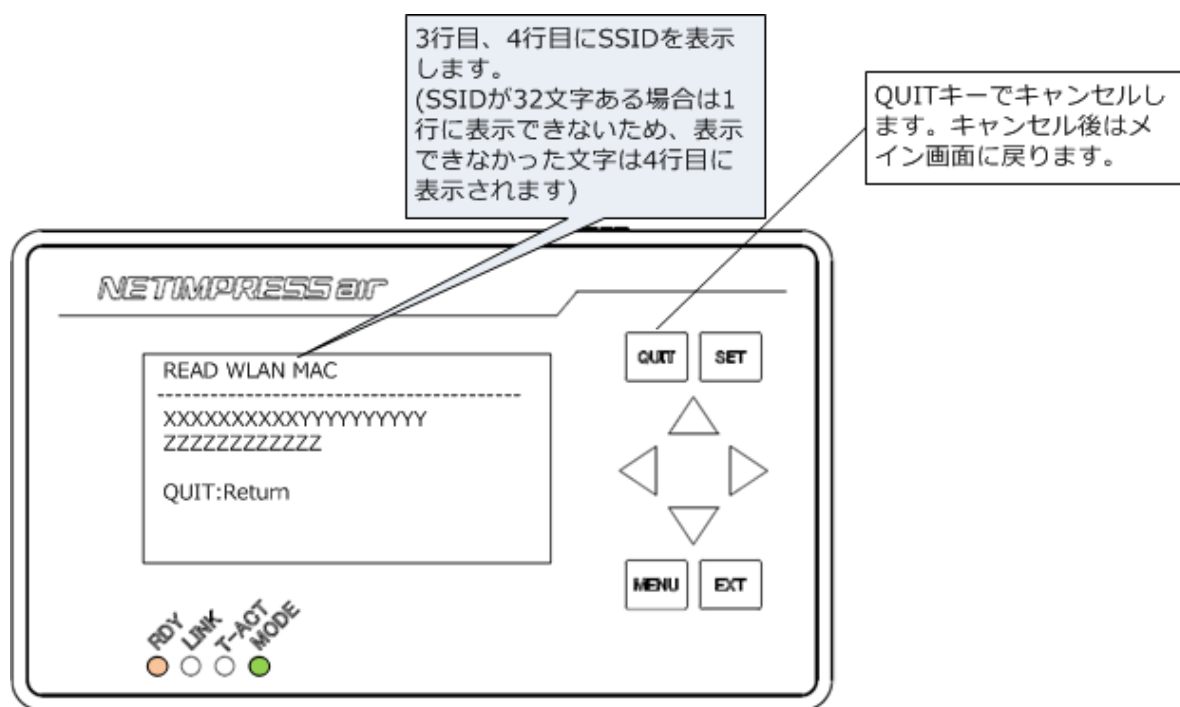
## 7.4.17. Wireless LAN の SSID を確認する

Wireless LAN が搭載されているモデルを使用している時に、有効なモードになります。本操作では、Wireless LAN の SSID を知ることができます。アドホックモードで接続する時など、本機の SSID を確認したい場合にご確認ください。

- ① MENU: WLAN のグループを表示し、" READ WLAN SSID"に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



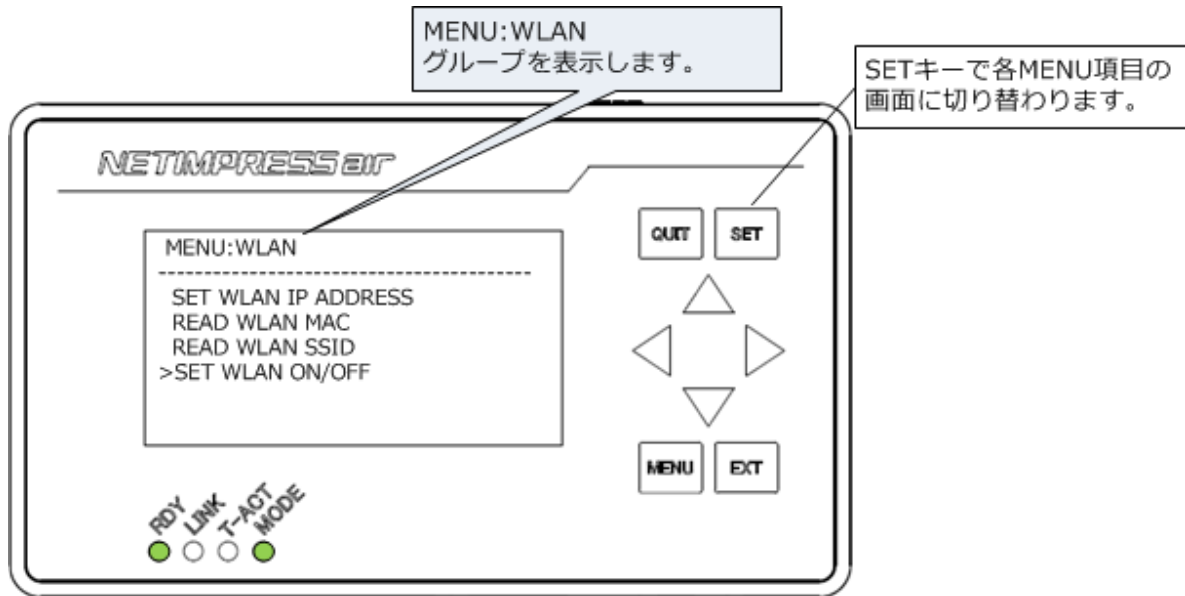
- ② SSID が LCD に表示されます。



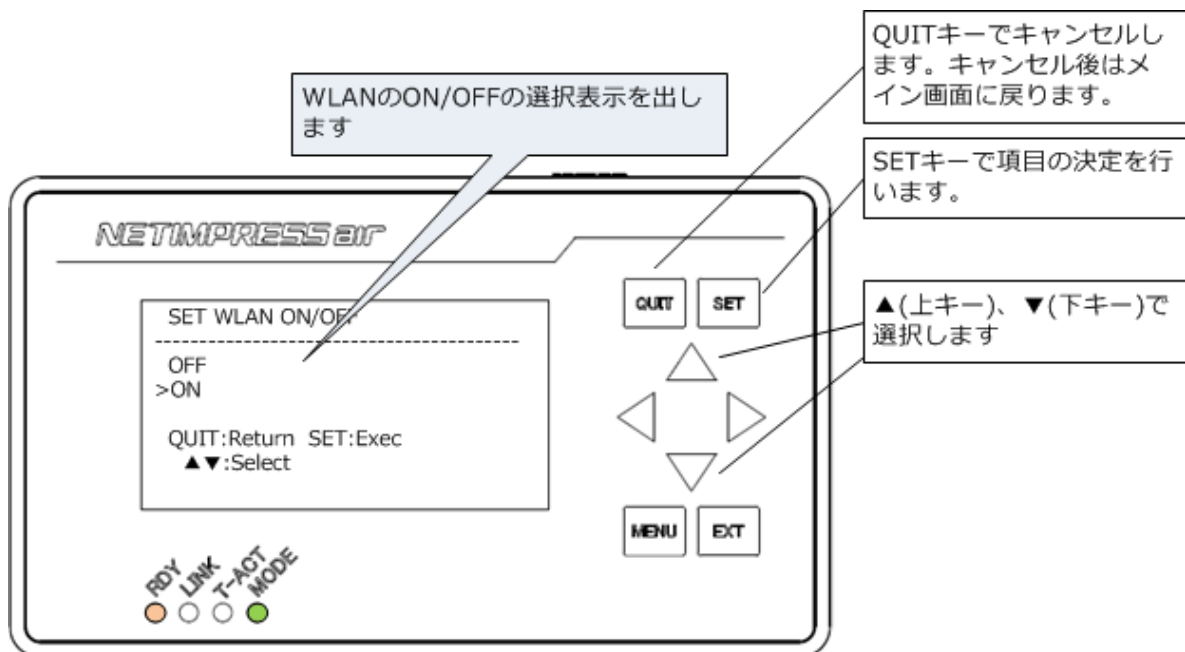
## 7.4.18. Wireless LAN を ON/OFF 設定を行う

Wireless LAN が搭載されているモデルを使用している時に、有効なモードになります。本操作では、Wireless LAN の ON/OFF 設定ができます。OFF に設定した場合、Wireless LAN は使用不可になります。

- ① MENU: WLAN のグループを表示し、” SET WLAN ON/OFF”に>(カーソル)を合わせて SET キーを押します。



- ② ▲(上キー)、▼(下キー)で ON / OFF を選択します。SET キーで決定します。  
SET キー入力後、本機は再起動します。





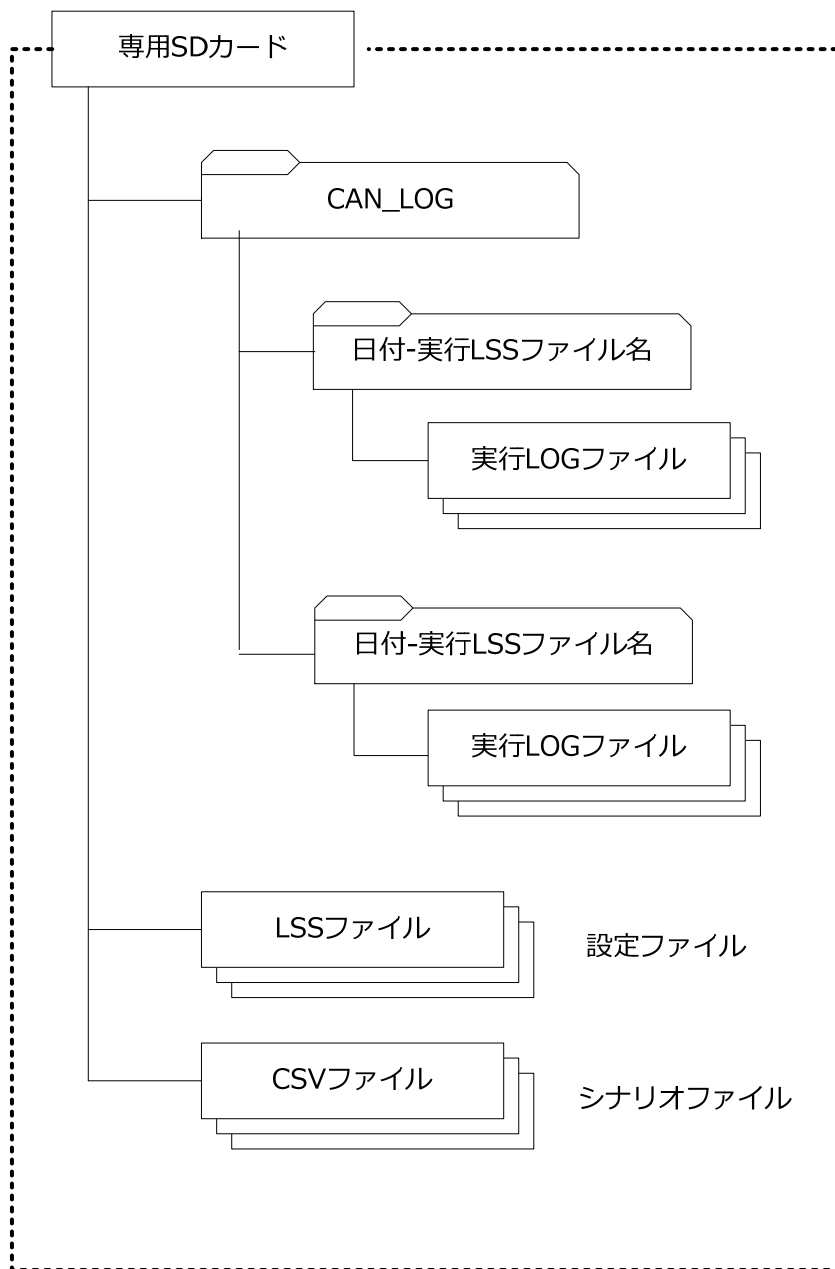
## 8. Appendix

この章では、本機で使用するフォルダ及びファイルの構成及び仕様、エラーメッセージ一覧について説明します。

### 8.1. フォルダ及びファイルの構成・仕様


本機に挿入される専用 SD カードで、使用するフォルダ及びファイルの構成、仕様について説明します。

以下、専用 SD カード内で使用する主なフォルダ、ファイルの構成になります。





## ● 制限事項

<p>ファイル・フォルダ名 に使用できる文字数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パスの情報を含めて最大 255 文字</li> <li>            パス情報のルートに C:¥ と扱うためルートに置くファイルは、最大 252 文字となります         </li> </ul>										
<p>ファイル・フォルダ名 に使用不可な文字</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 以下の文字は専用 SD カード内でのファイル・フォルダ名への設定は不可</li> </ul> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="padding: 0 10px;">%</td> <td style="padding: 0 10px;">¥</td> <td style="padding: 0 10px;">/</td> <td style="padding: 0 10px;">:</td> <td style="padding: 0 10px;">*</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 10px;">?</td> <td style="padding: 0 10px;">&lt;</td> <td style="padding: 0 10px;">&gt;</td> <td style="padding: 0 10px;"> </td> <td style="padding: 0 10px;">”</td> </tr> </table>	%	¥	/	:	*	?	<	>		”
%	¥	/	:	*							
?	<	>		”							
<p>ファイル・フォルダの 配置できる数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CAN_LOG フォルダ以下のサブフォルダ内のファイル：最大 50 個</li> <li>● ini ファイル：1 個（複数不可）</li> <li>● APD ファイル：1 個（複数不可）</li> <li>● YHL ファイル：1 個（複数不可）</li> <li>● LSS ファイル：複数可</li> <li>● CSV ファイル：複数可</li> </ul>										

### 8.1.1. CAN\_LOG フォルダ

スタンドアロンで実行したログファイルは、全て CAN\_LOG フォルダ以下に保存されます。

ロギングが開始されると、CAN\_LOG フォルダの中にサブフォルダを作成し、サブフォルダの中にログファイルを作成します。

サブフォルダ名と、ログファイル名は以下の通りです。

サブフォルダ名：

年月日時分秒+通し番号(3文字)-実行した LSS ファイル名

20150516105942000-001\_EXT\_START

ログファイル名

年月日時分秒+通し番号(5文字)

2015051610594200000.csv

連続でロギングを実行した時に、サブフォルダにファイルが 50 個以上となった時は新規にサブフォルダを作成して(通し番号+1 して作成)、ログファイルも通し番号を+1 して保存します。

### 8.1.2. ログファイル

ログファイルのフォーマットは以下の通りとなります。

[1]	2015/1/14 11:30														
[2]	CAN1	500	75	0											
[3]	CAN2	250	75	0											
[4]	Start/End Trigger	EXTKey													
[5]	Logging Start	TRG_IN	E												
[6]	Logging End	CAN	1	00001234											
[7]	ID Filter CAN1	1	R	100	7F										
	ID Filter CAN2	1	D	180	F										
[8]	Send_Cycle_CAN1	5000													
[9]	Send_CAN1	1	STD	100	8	11	22	33	44	55	66	77	88		
	Send_Cycle_CAN2	5000													
	Send_CAN2	1	STD	100	8	11	22	33	44	55	66	77	88		
[A]	[B]	[C]	[D]	[E]	[F]	[G]								[H]	
Time,	ch,	Type,	ID,	T/R	DLC,	D0,	D1,	D2,	D3,	D4,	D5,	D6,	D7,	st,	
00000100,	1,	S	0000010F,	R,	4,	12,	34,	56,	78,	,	,	,	,	,	
00010100,	2,	S	00001234,	R,	7,	55,	AA,	55,	11,	22,	33,	44,	,	,	
00012000,	1,	S	00001234,	R,	3,	55,	66,	77,	,	,	,	,	,	,	
00103000	1													S	

ヘッダ部：

[1] ログ開始時間

ログ開始の条件が成立しログを開始した日時を記録します。

[2], [3] CAN1、CAN2 情報

ログ開始条件に指定されている内容を記録します。

列	記述	内容
1	CANx	-
2	125 250 500 1000	ボーレート
3	65 70 75 80 85	サンプリングポイント

[4] 開始/終了条件

条件に指定されている内容を記録します。

列	記述	内容
1	Start/End Trigger	-
2	None EXT Key ACC_TRG_IN Edge ACC_TRG_IN Level TRG_IN Edge TRG_IN Level	開始/終了条件なし 本体キー入力 ACC トリガ入力 エッジ ACC トリガ入力 レベル トリガ IN 入力 エッジ トリガ IN 入力 レベル

## [5] ログイン開始トリガ

条件に指定されている内容を記録します。

列	記述	内容
1	Logging Start	-
2	EXT Key ACC_TRG_IN Edge ACC_TRG_IN Level TRG_IN Edge TRG_IN Level Logging Start,CAN1 Logging Start,CAN2	本体キー入力 ACC トリガ入力 エッジ ACC トリガ入力 レベル トリガ IN 入力 エッジ トリガ IN 入力 レベル CAN1 入力 CAN2 入力
3	STD EX	CAN : 標準 CAN : 拡張
4	0~1FFFFFFF	CAN : ID 指定

## [6] ログイン終了トリガ

条件に指定されている内容を記録します。

列	記述	内容
1	Logging End	-
2	EXT Key ACC_TRG_IN Edge ACC_TRG_IN Level TRG_IN Edge TRG_IN Level Logging Start,CAN1 Logging Start,CAN2 TimeXXXX	本体キー入力 ACC トリガ入力 エッジ ACC トリガ入力 レベル トリガ IN 入力 エッジ トリガ IN 入力 レベル CAN1 入力 CAN2 入力 時間経過
3	STD EX	CAN : 標準 CAN : 拡張
4	0~1FFFFFFF	CAN : ID 指定

## [7] ID フィルタ CAN1, CAN2

受信フィルタに指定されている条件を記録します。

列	記述	内容
1	ID_Filter_CANx	-
2	1~16	フィルタ番号
3	R D	受信 破棄
4	STD EXT	標準 拡張
4	0~1FFFFFFF	ID 指定
5	0~1FFFFFFF	ID マスク指定 (指定なしの場合空白)

## [8] 送信周期 CAN1, CAN2

送信設定が有効な場合、送信周期を表示します

列	記述	内容
1	Send_Cycle_CAN1	-
2	1~5000	送信周期

## [9] 送信設定 CAN1, CAN2

受信フィルタに指定されている条件を記録します。

列	記述	内容
1	Send_CAN1	-
2	1~8	フィルタ番号
3	STD EXT	標準 拡張
4	0~1FFFFFFF	ID 指定
5	0~8	データサイズ
6~	0~FF	データ

ログデータ：

[A] タイムスタンプ

測定開始時からの相対時間を記録します。10 進数表現で単位は[usec]です。

[B] CAN チャンネル番号

メッセージを受信/送信した CAN のチャンネル番号を記録します。

[C] フレームタイプ

測定したメッセージのフォーマットを記録します。

メッセージのフレームタイプごとに以下の文字列を記録します。

フレームタイプ	記述
標準フレーム	S
拡張フレーム	X
リモートフレーム	R
エラーフレーム	E

[D] メッセージ ID

測定したメッセージの識別用 ID を記録します。標準フォーマットの ID は上位 21bit、拡張フォーマットの ID は上位 3bit をそれぞれ 0 拡張し、0 詰め 8 桁の 16 進数で表現します。

[E] 送受信情報

フレームタイプがデータフレーム・リモートフレームの場合、送信は T, 受信は R で記録します。

フレームタイプがエラーフレームの場合は空欄となります。

## [F] データ長コード

フレームタイプがデータフレームの場合、測定したメッセージのデータフィールドに格納されているデータのサイズを記録します。10 進数表現で単位は[Byte]です。フレームタイプがリモートフレームエラーフレームの場合は空欄となります。

## [G] メッセージ

フレームタイプがデータフレームの場合、測定したメッセージのデータフィールドをバイト単位でカンマ区切りして記録します。データフィールドの内容は受信順に D[0]からデータ長コード分記録します。

データ長コードが 8 未満の場合、記録するデータの無い項目は空欄となります。フレームタイプがリモートフレーム、エラーフレームの場合は D[0]から D[7]は全て空欄となります。

## [H] ステータス

CAN バスでのエラーステータスの状態を示します。正常時は表示なし

ステータス	記述
スタッフエラー	S
フォームエラー	F
CRC エラー	C
エラーパッシブ	E
バスオフ	B



### 8.1.3. シナリオファイル

シナリオファイルは、PC上でテキスト編集可能なCSV形式のファイルになります。

ファイル名は任意の名称とし、専用SDカードのルートディレクトリに置いて使用します。

シナリオの実行は、シナリオファイルに指定された情報の先頭から読み込んで実行します。

シナリオファイルには、CANの送信データ、受信待ち（一致確認）、ループ指定、ウェイトの設定が行えます。記述フォーマットは以下の通りとなります。

#### ● 送信

Send, CANチャンネル番号, 標準/拡張, 送信ID, DLC, CANメッセージ, メッセージ送信後の次のコマンドまでのウェイト(ms), タイムアウト(ms)

記述例：

```
send,1,E,189FFF00,4,01020304,10,100
```

CANチャンネル	: 1
標準/拡張	: 拡張
送信ID	: 189FFF00
DLC	: 4
CANメッセージ	: 01 02 03 04
ウェイト	: 10ms
送信タイムアウト	: 100ms

#### ● 受信待ち

recv, CANチャンネル番号, 標準/拡張, 受信ID, DLC, CANメッセージ, フィルタ, タイムアウト

記述例：

```
recv,2,S,7E0,8,0001000077005580,00030000FF00FFC0
```

CANチャンネル	: 2
標準/拡張	: 標準
送信ID	: 7E0
DLC	: 8
CANメッセージ	: 00 01 00 00 77 00 55 80
フィルタ	: 00 03 00 00 FF 00 FF C0 (フィルタ Bit が 1 の部分は比較対象とする)
受信タイムアウト	: 100ms

● ループ

loop, 回数(0 指定で無限ループ)  
end

記述例 :

```
loop,5, // loop count 5
send,2,S,500,4,12345678,20 // wait 20ms
send,2,S,501,4,9ABCDEF0,40 // wait 40ms
end,
```

● ウェイト

wait, ウェイト時間(ms)

記述例 :

```
wait,100
```

● コメント

```
// コメント
```

指定方法

コマンド名	設定値(カッコ内は補足)
CAN チャンネル番号	1 or 2 (Ch1 or Ch2)
標準／拡張	S or E (Standard or Extended)
送信 ID／受信 ID	0~1FFFFFFF 16 進で入力
DLC(メッセージサイズ)	送信:送信メッセージサイズ 受信待ち:受信比較メッセージサイズ 指定数:0~

	<p>【制限事項】</p> <p>DLC より CAN メッセージが短い場合はエラー</p> <p>DLC より CAN メッセージが長い場合は、メッセージ数だけ処理する</p>
CAN メッセージ	<p>4byte 指定の場合</p> <p>11223344</p> <p>8byte 指定の場合</p> <p>1122334455667788</p> <p>数値は 0~FF までの 16 進で入力する</p>
フィルタ	<p>1 が指定されているところのみ判定</p> <p>CAN メッセージ / フィルタ</p> <p>00010004 / 00030000</p> <p>2byte 目の bit0,1 のみ判定し b'01 で OK</p> <p>フィルタ指定なしの場合は、CAN メッセージとの全一致とする</p>
ウェイト時間／次のメッセージまでのウェイト	<p>ms 単位で指定 (指定範囲: 1~60000)</p> <p>【制限事項】</p> <p>上限: 60000ms</p>
送信／受信 タイムアウト	<p>ms 単位で指定</p> <p>【制限事項】</p> <p>上限: 60000ms</p> <p>記述無しまたは 0 の場合はタイムアウトなし (無限)</p>

記述例 :

```
send,1,E,189FFF00,4,01020304,10,100 // wait 10ms TimeOut 100ms
send,1,E,123456,8,1122334455667788,20 // wait 20ms
send,1,S,7F0,4,12345678,20 // wait 20ms
send,1,S,7F8,4,9ABCDEF0,40 // wait 40ms
loop,5, // loop count 5
send,2,S,500,4,12345678,20 // wait 20ms
send,2,S,501,4,9ABCDEF0,40 // wait 40ms
end,
wait,100
recv,1,S,100,8,0001000077005580,00030000FF00FFC0,1000 // TimeOut 1000ms
loop,5, // loop count 5
send,1,E,C005400,8,1234567811223344,50 // wait 50ms
send,1,E,C0054FF,4,9ABCDEF0,40 // wait 100ms
end,
```

## 8.2. エラーメッセージ一覧

### 8.2.1. 本体

エラーコード	内容	詳細
0x 1004	CM FILE NOT FOUND	CM ファイルが存在しない。
0x 1008	FUNCTION NOT SUPPORT	サポートしていないファンクション。
0x 1009	DEVICE FUNCTION NOT SUPPORT	サポートしていない T-ACT コマンド。
0x 1013	HPARAM INI FORMAT ERR XX	ini ファイルの XX 行目のパラメータ名または値が異常
0x 1015	PARAMETER ERR XX	ソフトウェアパラメータが正常にダウンロードできなかった場合のエラー。
0x 102A	CM FORMAT ERR	定義体が正常にダウンロードできなかった場合のエラー。
0x 1072	FILE NOT EXIST	指定されたファイルが見つからない場合に出力されるエラー。
0x 1074	FOLDER NOT EXIST	ソフトウェア品番の情報から、カレントディレクトリに選択する YIM フォルダが SD カード内に存在しない場合に出力されるエラー
0x 1075	FOLDER EXIST	指定されたフォルダが既に存在する場合のエラー。
0x 10A1	ETHER SEND TIMEOUT	WLAN 送信時にタイムアウトが発生しました。 (WLAN 通信時のエラー)
0x 10A3	ETHER RECV TIMEOUT	WLAN 受信時にタイムアウトが発生しました。 (WLAN 通信時のエラー)
0x 10A4	ETHER ERR	WLAN 通信中に切断されました。 (WLAN 通信時のエラー)
0x 10A6	USB RECV ERR	USB 送信時にタイムアウトが発生しました。 (USB 通信時のエラー)

0x 10A7	USB SEND ERR	USB 受信時にタイムアウトが発生しました。 (USB 通信時のエラー)
0x 10A8	USB NOT CONNECT	USB が接続されていません。 (USB 通信時のエラー)
0x 10A5	NEXT COMMAND NOT RECV	WLAN 通信で正常な応答を受信できませんでした。 (WLAN 通信時のエラー)
0x 1108	DEVICE INITIALIZE COM ERR	起動時ターゲットケーブルチェックでのエラー。
0x 1118	VBAT TOO LOW XXXX	ターゲット側の電源異常、または本体側 VB への入力電圧が低くなったために出力されるエラー。
0x 1180	YIM NOT REGISTER	YIM 未定義エラー。
0x 1181	CM NOT REGIST	カレントディレクトリに設定された YIM フォルダに、定義体が登録されていない場合に出力されるエラー。
0x F000	FS_ERR_IO	起動中に現在挿入されている SD カードと別のカードを挿入した場合に出力されるエラー。
0xF001 ~ 0xF026	FS ERR XX	SD カード内のファイル異常時に出力されるエラー。

## 8.2.2. AZ992

エラーコード	内容	詳細
100:Prohibition of multiplex starting.	AZ992 を複数起動エラー	AZ992 を複数起動しようとした。 PC 上で起動できる AZ992 は 1 台のみです。
110:Logging Configuration Set Error.(xxxx)	ロギング設定エラー	ロギング設定に異常があります。 (xxxx)が付加されている場合、xxxx の部分には異常がある場所が表示されています。
111:Too Many Receive Filter Items.	受信フィルタ数エラー	受信フィルタの個数が上限に達しています。 受信フィルタはチャンネルごとに 16 個まで設定可能です。
112:Too Many Send Items.	定周期送信設定数エラー	定周期送信設定の個数が上限に達しています。 定周期送信設定はチャンネルごとに 8 個まで設定可能です。
119:Configuration File Format Error.	ロギング設定ファイルフォーマットエラー	ロギング設定ファイルのフォーマットに異常があります。 ロギング設定ファイルが正しく作成できていることをご確認ください。
120:Search Item Input Error.	検索条件エラー	入力された検索条件に異常があります。 検索条件の入力をご確認ください。
130:Too Many View Filter Items.	ビューフィルタ数エラー	ビューフィルタの個数が上限に達しています。 ビューフィルタは 4 個まで設定可能です。
131:View Filter Input Error.	ビューフィルタ設定エラー	ビューフィルタ設定に異常があります。
132:View Filter File Format Error.	ビューフィルタファイルフォーマットエラー	ビューフィルタファイルのフォーマットに異常があります。 ビューフィルタファイルが正しく作成できていることをご確認ください。
140:Log Data Convert	ログデータ変換エラー	モニタモードでロギング中に受信し

Error.		たログデータに異常があります。
142:Log File Upload Error.	ログファイルアップロードエラー	ログファイルのアップロード中に異常が発生しました。
143:Log File Format Error.	ログファイルフォーマットエラー	ログファイルのフォーマットに異常があります。
144:Log File Open Error.	ログファイルオープンエラー	ログファイルの読み込みに失敗しました。
152:File Size Error.	ファイルサイズエラー	読み込もうとしたファイルのサイズが異常です。 正しいファイルを読み込もうとしているかご確認ください。
153:File Save Error.	ファイルセーブエラー	ファイルの保存に失敗しました。
154:Storage Full.	PC 側の一時領域フル	PC 側の一時領域がいっぱいになりました。 ログデータウインドウを閉じるか、PC 側の一時領域容量を大きくしてください。
155:File Overwrite Error.	ファイルの上書きエラー	アップロード先のファイルを上書きできませんでした。
156:File Open Error.	ファイルオープンエラー	ファイルのオープンに失敗しました。
160:WLAN Input Error.	Wireless LAN 設定エラー	Wireless LAN 設定が異常です。
200:Send Timeout.	送信タイムアウト	本機へのデータ送信がタイムアウトしました。
201:Receive Timeout.	受信タイムアウト	本機からのデータ受信がタイムアウトしました。
202:USB Connect Error.	USB 接続エラー	本機と USB 接続できませんでした。
203:USB Disconnect Error.	USB 切断エラー	本機との USB 切断が正しく行えませんでした。
204:Disconnected.	本機と未接続	本機と接続されていません。
205:Command Retry Over.	コマンド送信リトライ回数オーバー	コマンド送信が既定の回数以内に正常終了しませんでした。
206:Data Send Fail.	送信失敗	データ送信に失敗しました。



207:Data Receive Fail.	受信失敗	データ受信に失敗しました。
208:Illegal Receive.	異常応答	本機からの応答が異常です。
209:Connection Fail.	接続失敗	本機と接続できませんでした。
210:Disconnection Fail.	切断失敗	本機から正常に切断できませんでした。



---

## NET IMPRESS air 操作マニュアル(ロガー編)

株式会社D T Sインサイト

URL : [https://www.dts-insight.co.jp/support/support\\_netimpress\\_air/](https://www.dts-insight.co.jp/support/support_netimpress_air/)

2017年2月6日 第2版発行